●陸軍需品廠令

昭和十六年一月二十五日
勅令第八六号

陸軍需品廠令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副総理、陸軍大臣）

陸軍需品廠令

第一條　陸軍需品廠ハ陸軍需品（陣中用品、酒保品、建築材料及其ノ需品）ノ購買、製造、修理、貯蔵及補給ヲ掌リ且陸軍需品ニ關スル調査、試験ヲ行フ

第二條　陸軍需品廠ハ需品本廠及需品支廠ヨリ成ル

本廠ハ東京ニ、支廠ハ所要ノ地ニ之ヲ置ク

陸軍大臣ハ必要ニ應ジ本廠又ハ支廠ノ出張所ヲ置クコトヲ得

第三條　陸軍需品廠ニ左ノ職員ヲ置ク

本廠　本廠長　廠員　附　准士官、下士官及判任文官

支廠　支廠長　廠員　附　准士官、下士官及判任文官

出張所ヲ置キタル場合ニ於テハ出張所長ハ廠員ヲ以テ之ニ充ツ

廠長ハ航空ニ關スル燃料及船舶ノ製造、調査及研究ニ關シテハ陸軍航空本部長ノ區處ヲ承ク

第六條　部長ハ廠長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

第七條　製造所長及貯藏所長ハ廠長ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌理ス

第八條　廠員及附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第九條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第十條　廠長ハ官廳又ハ民間ヨリ燃料又ハ脂、油ニ關スル製造、研究又ハ試驗ニ付指導ノ依賴アルトキハ第一條ノ規定ニ依ル業務ニ妨ナキ限リ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ之ニ應ズルコトヲ得

第十一條　需品廠ハ戰地外ニ在ル製造所又ハ貯藏所ニ衛兵ヲ置クノ必要アルトキハ製造所長又ハ貯藏所長ハ所在地所管部隊長ニ衛兵ノ派遣ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ廠長ニ報告スベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年陸達第四十二號ハ昭和十六年一月二十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年一月二十四日限リ之ヲ廢止ス

理陸部軍長東京經	廠陸長軍需品本	官廳支入出廠官牧
佐高陸官級軍先東官經ノ經理主計部	主ヲ陸計ル軍佐高官級先廠任ノ員	官廳支入出廠代官理
ノ經支ノ經ノ洲ス	ル廳需モ入ノ廠ヲ牧除官ク及ル支牧出官	所管區分
所管但ニシ廳他、滿ス	モ入ノ廳ヲ牧除官ク及ル支牧出官	所管區分
所管但ニシ廳他、滿ス	モ入ノ廳ヲ牧除官ク及ル支牧出官	所管區分

陸軍需品廠及陸軍東京經理部ニ關スル昭和十二年陸達第四十二號ハ昭和十六年一月二十四日限リ之ヲ廢止ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍被服廠令

昭和十四年八月五日
勅令第五百三十六號

改正　昭和一五年第四九一號

陸軍被服廠條例改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍被服廠令

第一條　陸軍被服廠ハ陸軍被服品及其ノ修理器具ノ購買、製造、修理、貯藏及補給ヲ掌リ且被服品及其ノ修理器具ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ但シ陸軍航空技術研究所所掌ノモノヲ除ク

陸軍被服廠ハ前項ノ外經理部幹部候補生及繼、裝工下士官候補者ニ對シ必要ナル教育ヲ行フコトヲ得

第二條　陸軍被服廠ハ被服本廠及被服支廠ヨリ成ル

本廠ハ東京ニ、支廠ハ所要ノ地ニ之ヲ置ク

陸軍大臣ハ必要ニ應ジ本廠又ハ支廠ノ出張所ヲ置クコトヲ得

第三條　陸軍被服廠ニ左ノ職員ヲ置ク

本廠
　本廠長
　廠員
　附
　下士官及判任文官
支廠
　支廠長
　廠員
　附
　下士官及判任文官

出張所ヲ置キタル場合ニ於テハ出張所長ハ廠員ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　本廠長ハ陸軍大臣ニ隷シ被服廠ノ業務ヲ總理ス

第五條　支廠長ハ本廠長ノ命ヲ承ケ支廠ノ業務ヲ掌理ス

第六條　廠員及附ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔輯一一九〕

●陸軍糧秣廠令

昭和十四年八月五日
勅令第五百三十七號

改正　昭和一五年第四九二號

陸軍糧秣廠條例改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍糧秣廠令

第一條　陸軍糧秣廠ハ陸軍糧秣品及給養器具ノ購買、製造、修理、貯藏及補給ヲ掌リ且糧秣品及給養器具ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ但シ陸軍航空技術研究所所掌ノモノヲ除ク

陸軍糧秣廠ハ前項ノ外經理部幹部候補生ニ對シ必要ナル教育ヲ行フコトヲ得

第二條　陸軍糧秣廠ハ糧秣本廠及糧秣支廠ヨリ成ル

本廠ハ東京ニ、支廠ハ所要ノ地ニ之ヲ置ク

陸軍大臣ハ必要ニ應ジ本廠又ハ支廠ノ出張所ヲ置クコトヲ得

第三條　陸軍糧秣廠ニ左ノ職員ヲ置ク

本廠
　本廠長
　廠員
　附
　下士官及判任文官
支廠
　支廠長
　廠員
　附
　下士官及判任文官

出張所ヲ置キタル場合ニ於テハ出張所長ハ廠員ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　本廠長ハ陸軍大臣ニ隷シ糧秣廠ノ業務ヲ總理ス

第五條　支廠長ハ本廠長ノ命ヲ承ケ支廠ノ業務ヲ掌理ス

第六條　廠員及附ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔輯一一三〕

●陸軍倉庫令

明治四十年八月二十三日
勅令第二百九十號

改正　大正八年第九九號、第三九六號、一〇年第四四〇號
昭和一四年第五三八號

陸軍倉庫條例ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍倉庫令

第一條　陸軍倉庫ハ朝鮮又ハ臺灣ニ在ル陸軍諸部隊所要ノ糧秣、被服、陣營具、衛生材料、軍器材料及路機ノ貯藏、調辨、製造及補給ヲ掌ル

第二條　陸軍倉庫ハ京城及臺北ニ之ヲ置ク

第三條　朝鮮軍司令官又ハ臺灣軍司令官ハ必要ニ應シ支庫又ハ出張所ヲ設置スルコトヲ得

支庫又ハ出張所ノ位置ハ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第四條　陸軍倉庫ニ左ノ職員ヲ置ク

倉庫長
倉庫員
下士官及判任文官

第五條　倉庫長ハ朝鮮軍司令官又ハ臺灣軍司令官ニ隷シ陸軍倉庫ノ事務ヲ掌理ス

第六條　倉庫員ハ倉庫長ノ命ヲ承ケ事務ニ服ス

第七條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍製絨廠令

昭和十五年四月一日
勅令第二百十一號

改千住製絨所官制改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍製絨廠令

第一條　陸軍製絨廠ハ陸軍所要ノ絨類及毛糸類ノ製造及購買ヲ掌リ且絨類及毛糸類ノ製造ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ

陸軍製絨廠ハ前項ノ規定ニ依ル業務ニ妨ナキ限リ陸軍所要ノ副產物ノ加工ヲ爲スコトヲ得

陸軍製絨廠ハ前二項ノ外經理部幹部候補生ニ對シ必要ナル敎育ヲ行フコトヲ得

第二條　陸軍大臣ハ必要ニ應ジ陸軍製絨廠ノ製造所又ハ出張所ヲ置クコトヲ得

第三條　陸軍製絨廠ニ左ノ職員ヲ置ク

廠長
廠員
附
下士官及判任文官

製造所又ハ出張所ヲ置キタル場合ニ於テハ製造所長又ハ出張所長ハ廠員ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　廠長ハ陸軍大臣ニ隷シ陸軍製絨廠ノ業務ヲ總理シ且所轄ノ土地及建造物ノ經營ヲ掌ル

第五條　廠員及附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

〔輯一〇九〕

第六條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第七條　廠長ハ官廳又ハ民間ヨリ絨類又ハ毛糸類ノ製造、試驗、製造ノ指導又ハ製造ノ技術ニ從事スル者ノ養成ノ依頼アルトキハ第一條ノ規定ニ依ル業務ニ妨ナキ限リ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ニ應ズルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正七年六月一日
陸軍省告示第十五號

【千住製絨所官制第一條ノ二】ニ依リ官廳又ハ民間當業者ニ於テ絨類、毛絲其ノ他之ニ準スヘキ物品ノ試驗若ハ製造ノ指導ノ爲千住製絨所ノ職員、職工ノ派遣又ハ技術從業者ノ養成ヲ依頼セムトスルトキハ其ノ要件ヲ具シ千住製絨所ニ願出ヘシ派遣者ノ旅費、職工ノ給料其ノ他試驗、指導ニ要スル一切ノ費用ハ依頼者ニ於テ負擔スルモノトス

●陸軍衞生材料廠令

昭和四年九月二日
勅令第二百六十四號

改正　昭和一二年第五三七號、一四年第五三九號、一五年第四八二號

改陸軍衞生材料廠條例改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍衞生材料廠令

第一條　陸軍衞生材料廠ハ陸軍衞生材料ノ購買、製造、修理、貯藏及補給ヲ掌リ廠工下士官ノ養成ニ任ジ且陸軍衞生材料ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ

第一條ノ二　陸軍衞生材料廠ハ陸軍衞生材料本廠及衞生材料支廠ヨリ成ル

第三輯　官規　第一章　官制　第十款　陸軍省及陸軍所管

本廠ハ東京ニ、支廠ハ所要ノ地ニ之ヲ置ク

陸軍大臣ハ必要ニ應ジ本廠又ハ支廠ノ出張所ヲ置クコトヲ得

第二條　陸軍衞生材料廠ニ左ノ職員ヲ置ク

本廠
　本廠長
　廠員
　附
　下士官及判任文官
支廠
　支廠長
　廠員
　附
　下士官及判任文官

出張所ヲ置キタル場合ニ於テハ出張所長ハ廠員ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　本廠長ハ陸軍大臣ニ隷シ陸軍衞生材料廠ノ業務ヲ總理ス

第三條ノ二　支廠長ハ本廠長ノ命ヲ承ケ支廠ノ業務ヲ掌理ス

第四條　廠員及附ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス

〔輯一一三〕

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍獸醫資材廠令

昭和十五年七月二十日
勅令第四百八十一號

●陸軍軍需監督官令

昭和十三年一月十五日
勅令第三十號

改正　昭和一五年第二六一號、第四九六號、一六年第八三號

陸軍獸醫資材廠令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍獸醫資材廠令

第一條　陸軍獸醫資材廠ハ陸軍獸醫材料、蹄鐵其ノ他ノ獸醫資材ノ購買、製造、修理、貯藏及補給ヲ掌リ且獸醫資材ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ

第二條　陸軍獸醫資材廠ハ獸醫資材本廠及獸醫資材支廠ヨリ成ル

本廠ハ東京ニ、支廠ハ所要ノ地ニ之ヲ置ク

陸軍大臣ハ必要ニ應ジ本廠又ハ支廠ノ出張所ヲ置クコトヲ得

第三條　陸軍獸醫資材廠ニ左ノ職員ヲ置ク

本廠
　本廠長
　廠員
　附
　下士官及判任文官
支廠
　支廠長
　廠員
　附
　下士官及判任文官

出張所ヲ置キタル場合ニ於テハ出張所長ハ廠員ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　本廠長ハ陸軍大臣ニ隷シ陸軍獸醫資材廠ノ業務ヲ總理ス

第五條　支廠長ハ本廠長ノ命ヲ承ケ支廠ノ業務ヲ掌理ス

第六條　廠員及附ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス

附　則

本令ハ昭和十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔輯一一九〕

四　軍需品ノ製造及修理ニ關スル工場設備及研究ノ指導
五　軍需品ノ製造及修理ニ關スル原價ノ技術上ヨリスル調査研究
六　工場ノ經營ニ關スル技術上ノ調査及監督

第六條　會計監督官ハ所屬上官ノ命ヲ承ケ第一條ノ民間工場ニ付左ノ業務ヲ掌ル

一　軍需品ノ製造及修理ニ關スル原價調査及原價ノ經理上ヨリスル調査研究
二　工場ノ經營ニ關スル經理上ノ調査及監督

第七條　會計監督官ハ軍需品ノ製造及修理ニ關スル原價調査ニ關シテハ當該契約擔任官ノ區處ヲ承クルモノトス

第八條　監督官補及會計監督官補ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍航空本部令中左ノ通改正ス

第一條第二項ヲ左ノ如ク改ム

陸軍航空本部ハ前項ノ外航空兵科諸軍隊ノ當該兵科專門教育ノ斉一進歩ヲ圖ル

第四條第二項ヲ削ル

第十一條　削除

第十二條　削除

●昭和十三年陸達第四號（軍需監督官令ニ規定スル軍需品工場ノ監督ニ關スル件）

〔輯八三〕

昭和十三年二月一日
陸達第四號

軍需監督官令ニ規定スル軍需品工場ノ監督ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　陸軍軍需監督官令第二條ノ部隊（以下單ニ之ヲ部隊ト稱ス）ニ於テ同令第一條ニ規定スル民間工場ニ對スル監督ヲ爲サントスルトキハ各部隊ノ長官ハ當該工場主ト聯メ其ノ旨ヲ契約シ置クモノトス

前項ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ工場名及契約條項ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

第二條　經理ニ關スル監督ヲ爲スベキ工場ハ特ニ指定スルモノノ外當該部隊ノ長官ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

第三條　各部隊ノ長官ハ每年三月及九月ニ工場監督概況書（三部）ヲ調製シ陸軍大臣ニ提出スルモノトス

第四條　各部隊ノ長官ハ監督官長、監督官、會計監督官、監督官補及會計監督官補ノ執務要領ヲ定メ陸軍大臣ニ之ヲ報告スルモノトス

第五條　監督業務中各部隊間ノ連繫事項ニ付テハ特ニ定ムルモノノ外部隊相互ノ協定ニ依ル

附　則

昭和九年陸達第一號ハ之ヲ廢止ス

●臨時陸軍檢疫所官制

勅令第二百五十一號
大正三年十二月十一日

陸軍檢疫所官制ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副陸軍）

臨時陸軍檢疫所官制

第一條　臨時陸軍檢疫所ハ陸軍大臣ノ管理ニ屬シ內地ニ於テ地方ノ檢疫ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條　臨時陸軍檢疫所ノ位置及開閉ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第三條　臨時陸軍檢疫所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長

所員　三十七人

【下士】、判任文官　六十一人

第四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮監督ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第五條　所員ハ所長ノ命ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ分掌ス

第六條　【下士】及判任文官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮監督ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第八條　所員及【下士】、判任文官ハ必要ニ應シ之ヲ增加スルコトヲ得

第九條　所長及所員ハ陸軍將校、同相當官又ハ陸軍部內ノ高等文官中ヨリ之ヲ命ス

第十條　所員及【下士】、判任文官ハ所長及所員ノ職務ヲ助ク

第十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ分掌ス

第十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第四十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第四十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第四十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第四十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第四十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第四十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第四十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第四十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第四十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第四十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第五十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第五十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第五十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第五十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第五十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第五十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第五十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第五十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第五十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第五十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第六十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第六十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第六十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第六十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第六十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第六十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第六十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第六十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第六十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第六十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第七十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第七十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第七十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第七十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第七十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第七十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第七十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第七十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第七十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第七十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第八十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第八十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第八十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第八十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第八十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第八十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第八十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第八十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第八十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第八十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第九十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第九十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第九十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第九十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第九十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第九十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第九十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第九十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第九十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第九十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百二十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百二十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百二十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百二十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百二十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百二十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百二十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百二十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百二十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百二十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百三十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百三十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百三十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百三十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百三十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百三十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百三十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百三十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百三十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百三十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百四十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百四十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百四十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百四十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百四十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百四十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百四十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百四十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百四十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百四十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百五十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百五十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百五十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百五十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百五十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百五十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百五十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百五十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百五十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百五十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百六十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百六十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百六十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百六十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百六十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百六十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百六十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百六十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百六十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百六十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百七十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百七十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百七十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百七十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百七十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百七十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百七十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百七十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百七十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百七十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百八十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百八十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百八十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百八十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百八十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百八十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百八十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百八十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百八十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百八十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百九十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百九十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百九十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百九十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百九十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百九十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百九十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百九十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百九十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第百九十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百二十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百二十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百二十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百二十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百二十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百二十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百二十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百二十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百二十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百二十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百三十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百三十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百三十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百三十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百三十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百三十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百三十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百三十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百三十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百三十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百四十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百四十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百四十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百四十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百四十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百四十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百四十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百四十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百四十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百四十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百五十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百五十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百五十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百五十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百五十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百五十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百五十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百五十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百五十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百五十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百六十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百六十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百六十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百六十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百六十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百六十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百六十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百六十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百六十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百六十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百七十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百七十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百七十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百七十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百七十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百七十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百七十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百七十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百七十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百七十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百八十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百八十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百八十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百八十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百八十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百八十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百八十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百八十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百八十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百八十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百九十條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百九十一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百九十二條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百九十三條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百九十四條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百九十五條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百九十六條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百九十七條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百九十八條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第二百九十九條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三百條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ檢疫所ノ事務ヲ掌理ス

第三百一條　所長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ

●靖國神社附屬遊就館令

昭和十三年勅令第百九十二號
昭和十三年十月三十一日

靖國神社附屬遊就館令ヲ左ノ通改正ス

第一條　靖國神社附屬遊就館ハ戰役ニ關スル記念品及武器ノ沿革竝ニ國防ノ作興ニ關スル參考ニ供シ且國防精神ノ涵養ニ資スル所トス

第二條　遊就館ニ左ノ職員ヲ置ク

館長
主事　三人
書記　二人

第三條　館長ハ陸軍大臣及海軍大臣ノ監督ヲ承ケ館務ヲ掌理ス

第四條　主事ハ館長ノ命ヲ承ケ館務ヲ分掌ス

第五條　書記ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第六條　館長及主事ハ奏任官ノ待遇トシ陸軍大臣及海軍大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ任免ス

書記ハ何任官ノ待遇トシ陸軍大臣及海軍大臣之ヲ命ス

第七條　遊就館職員ノ任用、服務、俸給、旅費等ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●教育總監部令

昭和十三年勅令第三百十五號
昭和十三年七月十二日

陸軍大臣ノ管掌ニ屬スル教育總監部令ヲ左ノ通定ム

教育總監部令

第一條　教育總監部ハ陸軍軍隊ノ教育（航空部隊等ノ教育ヲ除ク）竝ニ所轄學校及陸軍衛生部員ニ關スル事項ヲ掌ル所トス

第二條　教育總監ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ陸軍中將以下ノ軍人ニ關スル事項ヲ掌理シ天皇ニ直隸ス

第三條　教育總監ハ陸軍軍隊教育ノ進歩ヲ圖リ教育總監部ヲ統督シ所下學校ノ管理ヲ監督ス

第四條　教育總監ニ參謀長一人ヲ置キ陸軍中將又ハ少將ヲ以テ之ニ充ツ

第五條　參謀長ハ上官ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理シ部員ヲ指揮監督ス

第六條　參謀長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スヘキ者ヲ豫メ定メ置クヘシ

第七條　教育總監部ニ副官及部員ヲ置ク

副官ハ參謀長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

部員ハ參謀長ノ命ヲ承ケ教育ニ關スル調査研究ニ從事ス

第八條　教育總監ハ其ノ職務ノ一部ヲ分チ所轄學校ノ長ニ委任スルコトヲ得

第九條　第三條乃至第八條ニ規定スルモノノ外教育總監部ノ組織ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本令ハ明治三十一年三月十日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十一年勅令第二十五號教育總監部條例ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●參謀本部條例

明治四十一年勅令第二百九十號
明治四十一年十二月十九日

第一條　參謀本部ハ國防及用兵ノ事ヲ掌ル所トス

第二條　參謀總長ハ陸軍大將若ハ陸軍中將ヲ以テ親補シ天皇ニ直隸シ帷幄ノ軍務ニ參畫シ國防及用兵ニ關スル計畫ヲ掌リ參謀本部ヲ統轄ス

第三條　參謀總長ハ參謀ノ職ニ在ル陸軍將校ヲ統轄シ其ノ教育ニ任シ陸軍大學校及陸地測量部ヲ管轄ス

第四條　參謀次長ハ參謀總長ヲ輔佐シ本部一切ノ事務ヲ整理ス

第五條　參謀本部部長ハ參謀總長ノ命ヲ承ケ課長以下ヲ指揮シ其ノ主務ヲ掌理ス

第六條　參謀本部ノ編制ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　參謀本部ニ於ケル服務規則ハ參謀總長之ヲ定ム

●陸軍參謀條例

勅令第二十一號
明治三十一年二月八日

陸軍參謀條例ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大總理、副署）

陸軍參謀條例

第一章　陸軍參謀條例ノ適用

第一條　參謀將校ハ高等將師ノ職務ヲ輔佐シ陸軍ニ國防及用兵ニ關スル職務ヲ掌ル其ノ他特別ノ任務ハ各條規ノ定ムル所ニ依ル

第二條　參謀將校ハ高等將師ノ職務ヲ輔佐シ陸軍ニ國防及用兵ニ關スル職務ヲ掌ル所ノ參謀總長ノ職務ヲ除ク外陸軍大臣及海軍大臣之ヲ定ム

第三條　參謀ノ職ニ補スヘキ者ハ各兵科ノ大尉以上ニシテ左ノ資格ヲ有スル者ヲ選ヒ參謀總長之ヲ奏請シ補ス

一　陸軍大學校ヲ卒業シ一個年以上隊附勤務ニ服シタル者

二　參謀ヲ志望セル將校ニシテ參謀總長ノ選任ヲ經タル者

第四條　參謀將校ハ高等將師ノ職務ヲ輔佐スル每ニ少クモ一個年四箇月隊附勤務ニ服セシムルヲ例トス

第五條　參謀將校ハ其ノ職務ニ於テ緊要ト認メタル事項ハ之ヲ在任中ニ實施セシムルヲ要ス

第六條　參謀將校ハ每年凡ソ二個月四兵科ヲ通テ隊附勤務ニ服セシムルヲ例トス

附則

第七條　本條例ハ明治三十一年三月十日ヨリ施行ス

第八條　明治二十一年勅令第二十五號參謀本部條例ハ本條例施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●參謀本部條例

明治四十一年勅令第二百九十號
明治四十一年十二月十九日

昭和十二年勅令第二百號ニ依リ左ノ通改正

陸軍參謀本部條例ヲ改正シ之ヲ施行ス（陸軍大臣、參謀總長副署）

參謀本部條例

第一條　參謀本部ハ國防及用兵ノ事ヲ掌ル所トス

第二條　參謀總長ハ陸軍大將若ハ陸軍中將ヲ以テ親補シ天皇ニ直隸シ帷幄ノ軍務ニ參畫シ國防及用兵ニ關スル計畫ヲ掌リ參謀本部ヲ統轄ス

第三條　參謀總長ハ參謀ノ職ニ在ル陸軍將校ヲ統轄シ其ノ教育ニ任シ陸軍大學校及陸地測量部ヲ管轄ス

第四條　參謀次長ハ參謀總長ヲ輔佐シ本部一切ノ事務ヲ整理ス

第五條　參謀本部部長ハ參謀總長ノ命ヲ承ケ課長以下ヲ指揮シ其ノ主務ヲ掌理ス

第六條　參謀本部ノ編制ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　參謀本部ニ於ケル服務規則ハ參謀總長之ヲ定ム

第八條　參謀本部ニ付置ノ主管事項中教育ニ關スル事項及之ニ關聯スル制度ニ付テハ本部長及令兵監ノ主管事項中教育ニ關スル事項並ニ陸軍大臣ノ管掌ニ屬スル事項ヲ除ク外陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ參謀總長之ヲ統轄ス

第九條　第三條乃至第八條ニ規定スルモノノ外參謀本部ノ組織ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第十條　削除

第十一條　削除

第十二條　削除

第十三條　課員、部員、副官及附ハ當該部長ノ命ヲ承ケ各擔任ノ職務ヲ分掌ス

第十四條　各兵監ハ教育總監ノ指揮ヲ承ケ當該陸軍ノ部隊（海兵團ニ在リテハ其ノ教育ニ關スル事項ヲ掌リ其ノ職下ノ學校ノ管理ヲ監督シ當該陸軍ノ部隊ニ關スル事項ニ付テハ其ノ兵監

前項ノ外通信兵監ニ在リテハ各隊（航空部隊ヲ除ク）通信ノ技術ノ統制竝ニ暗號ノ教育ニ關スル事項ヲ掌ル

第十五條　各兵監ハ教育總監ノ命ヲ承ケ其ノ主管ノ事項ニ付當該隊種ノ部隊ヲ査閲シ之ニ關スル意見ヲ當該部隊長ニ調示シ又ハ講評ヲ行ヒ且其ノ成績ヲ教育總監ニ報告シ關係長官ニ通報スルモノトス

第十六條　各兵監ハ陸軍士官學校ヲ巡閲シ當該隊種ノ學生及生徒ノ教育ニ關シ意見アルトキハ之ヲ教育總監ニ具申ス

前項ノ外砲兵監ハ陸軍砲工學校及豐橋陸軍豫備士官學校ヲ、工兵監ハ陸軍砲工學校ヲ、輜重兵監ハ久留米陸軍豫備士官學校ヲ巡閲シ當該兵科ノ學生及生徒ノ教育ニ關シ意見アルトキハ之ヲ教育總監ニ具申ス

第十七條　各兵監部附ハ當該兵監ヲ輔佐シ部務ヲ分掌ス

各兵監部附ハ前項ノ外兵監ノ命ヲ承ケ第十五條及第十六條ニ規定スル兵監ノ職務ヲ行フコトヲ得

第十八條　各兵監部部員ハ當該兵監ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ分擔ス

第十九條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ服ス

附　則

本令ハ昭和十三年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十三年軍令陸第十六號（典令ニ基ク教範等ニ關スル件）

昭和十三年七月十二日
軍令陸第十六號

改正　昭和一三年第二八號

廢典令ニ基ク教範等ニ關スル件ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

教育總監ハ陸軍大臣及參謀總長ト協議シ軍隊教育ニ關シ典令ニ基ク教範ヲ定メ陸軍大臣之ヲ令達ス但シ航空兵科專門ノ教育ニ關シテハ陸軍航空總監陸軍大臣、參謀總長及教育總監ト協議シテ之ヲ定ムルモノトス

前項ノ外教育總監ハ陸軍大臣及參謀總長ト協議シ軍隊教育ノ實施ニ關スル規定ニ付臨時ノ措置ヲ爲スコトヲ得但シ航空兵科專門ノ教育ノ實施ニ關シテハ陸軍航空總監陸軍大臣、參謀總長及教育總監ト協議シ臨時ノ措置ヲ爲スコトヲ得

●昭和十四年軍令陸第一號（教育總監部第二部長ノ輕裝甲車隊等ノ本科專門教育ニ關スル職務ノ件）

昭和十四年一月十四日
軍令陸第一號

廢教育總監部第二部長ノ輕裝甲車隊等ノ本科專門教育ニ關スル職務ノ件ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

當分ノ內教育總監部第二部長ハ輕裝甲車隊及通信隊ノ本科專門ノ教育ニ付當該關隊ヲ檢閲シ之ニ關スル意見ヲ關隊長ニ調示シ檢閲ノ實況ヲ教育總監ニ報告シ關係長官ニ通報スルモノトス

●陸軍將校生徒試驗委員條例

改正　大正九年第六號

〔輯一二二〕

廢陸軍將校生徒試驗委員條例ヲ改定シ之ガ施行ヲ命ス（陸軍大臣副署）

陸軍將校生徒試驗委員條例

第一條　陸軍將校生徒試驗委員ハ將校生徒ノ召募試驗ニ任スルモノニシテ之ヲ分テテ常置委員及臨時委員ノ二トス

第二條　常置委員ハ之ヲ教育總監部ニ置キ陸軍士官學校豫科生徒及陸軍幼年學校生徒ノ召募試驗竝試驗問題其ノ他試驗ニ關スル事項ヲ調査立案シ陸軍士官學校豫科生徒及陸軍幼年學校生徒ノ志願書類ヲ審査シ且陸軍士官學校豫科生徒及陸軍幼年學校生徒ノ召募試驗ノ成績ヲ調査スルモノニシテ其ノ組織左ノ如シ

常置委員長
常置委員
常置委員主事

第三條　前條ノ職員ハ他ニ本職アル者ヲ以テ參補ス但シ主事ハ教育總監部ノ職員ヲ以テ參補ス

第四條　常置委員長ハ教育總監ニ隷シ委員以下ヲ統督シ試驗ノ事項ニ關シテハ教育總監ニ對シ其ノ責ニ任ス

第五條　常置委員ハ試驗問題ノ起案竝試驗成績ノ調査ヲ分擔ス

第六條　常置委員主事ハ試驗ニ關スル一切ノ事務ヲ處理シ委員長ニ對シ事務整理ノ責ニ任ス

第七條　常置委員主事ノ下ニ書記トシテ判任文官ヲ置キ教育總監部ノ職員ヲシテ之ヲ參務セシム

第八條　教育總監ハ常置委員長ノ具申ニ依リ常置委員ノ外所管ノ將校【同相當官】陸軍教授及判任文官ヲシテ試驗事務ヲ補助セシムルコトヲ得

第九條　臨時委員ハ各檢査場ニ就キ試驗ヲ實施スルモノニシテ各師團長部下佐官中ヨリ所要ノ人員ヲ選テ之ヲ命シ但シ第一師團長ハ近衞師團長ニ協議シ近衞師團ノ佐官ヲ臨時委員ニ加フルコトヲ得

臨時委員ハ試驗實施ノ事項ニ關シ師團長ニ對シテ其ノ責ニ任ス

第十條　師團長ハ前條臨時委員ノ外必要ニ應シ其ノ部下大中尉ヲシテ試驗ノ事務ヲ補助セシムルコトヲ得但シ第一師團長ハ近衞師團長ニ協議シ近衞師團ノ大中尉ヲ補助員ニ加フルコトヲ得

第十一條　臨時委員ハ書記トシテ准士官【下士】ヲ使用スルコトヲ得

第十二條　師團長ハ試驗ノ實施ニ關シ教育總監ニ對シテ其ノ責ニ任ス

〔輯一二五〕

●陸軍航空總監部令

昭和十三年十二月九日
軍令陸第二十一號

改正　昭和一六年第一七號

廢陸軍航空總監部令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

陸軍航空總監部令

第一條　陸軍航空總監部ハ陸軍航空兵軍隊ノ教育ニ關スル事項ヲ掌ル所トス

第二條　陸軍航空總監ハ陸軍大將又ハ陸軍中將ヲ以テ之ニ親補シ　天皇ニ直隷ス

第三條　陸軍航空總監ハ陸軍航空總監部ノ業務ヲ總理シ隷下學校ヲ管轄ス

第四條　陸軍航空總監ハ軍政及人事ニ關シテハ陸軍大臣、作戰計畫ニ關聯スル事項及動員計畫ニ關シテハ參謀總長、教育（航空部隊專門ノ教育ヲ

除ク）ニ關シテハ教育總監ノ區處ヲ承ク

第五條　陸軍航空總監ハ軍隊教育期ノ終ニ於テ陸軍航空兵軍隊ノ教育（航空專門ノ教育ヲ除ク）ノ狀況及意見ヲ教育總監ニ報告スベシ

第六條　陸軍航空總監部ニ總務部及教育部ヲ、各部ニ所要ノ課ヲ置ク

第七條　總務部ニ於テハ左ノ業務ヲ掌ル

一　總監部ノ業務整理ニ關スル事項

二　總監部ノ庶務、人事、給與及用度ニ關スル事項

三　所轄學校ノ編制、制度及動員ニ關スル事項

四　所轄學校ノ兵器業務ニ關スル事項

五　所轄學校ノ會計經理ニ關スル事項

六　所轄學校ノ衞生醫事（衞生材料ニ關スル業務ヲ除ク）ニ關スル事項

第八條　教育部ニ於テハ左ノ業務ヲ掌ル

一　航空兵軍隊ノ教育ニ關スル事項

二　所轄學校ニ關スル事項（總務部所掌事項ヲ除ク）

三　航空兵ノ演習ニ關スル事項

四　航空兵關係ノ典令範ニ關スル研究、審議、編纂等ニ關スル事項

第九條　陸軍航空總監部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長
課長
副官
部員
准士官、下士官及判任文官

第十條　部長ハ陸軍航空總監ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

第十一條　課長ハ上官ノ命ヲ承ケ課務ヲ掌理ス

第十二條　副官及部員ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十三條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

附　則

本令ハ昭和十三年十二月十日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍及海軍文官教官制

明治十九年十一月二日
勅令第六十八號

改正　明治四〇年第一七八號、四三年第五六號
大正五年第二二七號、一五年第三四三號
昭和五年第一〇一號、九年第六〇號、一五年第七八八號、一六年第四六八號

（總理、陸軍、海軍大臣副署）

陸軍及海軍文官教官ニ關シ左ノ如ク勅定ス

第一條　陸軍又ハ海軍ノ諸學校及技能者養成所又ハ工員若ハ雇員ノ養成所ヲ置カレタル各廳、海軍練習航空隊竝ニ海軍技手養成所ニ武官教官ノ外文官教官ヲ置ク左ノ如シ

教授　奏任
助教　判任

第二條　陸軍大學校若クハ海軍大學校ニハ各一人ヲ限リ勅任ノ教授ヲ置クコトヲ得

第三條　教授助教ノ人員ハ其需要ニ從ヒ陸軍大臣若クハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

〔纂一二五〕

●昭和六年勅令第十九號（陸軍名譽教授及海軍名譽教授ニ關スル件）

昭和六年三月二十六日
勅令第十九號

改正　昭和一六年第七八五號

陸軍名譽教授及海軍名譽教授ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

（總理、陸軍、海軍大臣副署）

陸軍大學校、陸軍科學學校、陸軍士官學校、陸軍航空士官學校若ハ陸軍豫科士官學校又ハ海軍大學校、海軍兵學校、海軍機關學校若ハ海軍經理學校ノ教育ニ付功績顯著ナル者ニハ各陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ奏薦ニ依リ陸軍名譽教授又ハ海軍名譽教授ノ名稱ヲ與フルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔纂一二五〕

●陸軍大學校令

昭和八年三月二十二日　軍令陸第七號

陸軍大學校令ヲ改定シ之ヲ施行ス（陸軍大臣副署）

（昭和二年勅令第三號、昭和八年勅令第一八號、昭和一二年勅令第七號、一六年勅令第一三號改正）

陸軍大學校令

第一條　陸軍大學校ハ將校ヲシテ高等用兵ニ關スル學術ヲ修得シ併セテ軍事ニ關スル調査及研究ニ須要ナル學識ヲ增進セシメ且高等用兵ニ關スル學術ノ研究ヲ行フ所トス

第二條　陸軍大學校ノ教育綱領ハ參謀總長之ヲ定ム

第三條　本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長　副官　事務官　學校附　兵事課教官　馬術教官　劍術教官　下士官、判任文官

第四條　校長ハ參謀總長ニ隷シ校務ヲ總理シ學生、專科學生及航空學生教育ノ責ニ任ス

第五條　事務ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育及研究ノ統一ヲ圖リ學生、專科學生及航空學生ノ入校ヨリ卒業ニ至ル迄ノ學業ニ關スル事項ヲ掌理ス

第六條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第七條　兵事課教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術ノ教授ニ任ス

馬術教官ハ學生及專科學生ノ馬術訓練ニ任シ兼テ校廳ニ關スル一切ノ事項及馬匹ノ調教ヲ掌ル

劍術教官ハ學生及專科學生ノ劍術訓練ニ任ス

第八條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ學術ノ研究ニ任ス

第九條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任シ且諸般ノ研究ヲ分擔ス

第十條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ業務ニ服ス

第十一條　學生ハ兵科（憲兵ヲ除ク）將校ノ中少尉任官後滿八年迄ノ者ニシテ二年以上隊務ニ服シ學識ニ富ミ身體頑健勤務精勵忠誠堅確將來優秀ノ見込十分ニシテ且選拔試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

陸軍諸學校ノ職員及同學校ニ於テ之ニ準ズルコトヲ得

第十二條　專科學生ハ兵科（憲兵ヲ除ク）少佐、大尉ニシテ一年以上實施ニ關スル細部ノ事項ハ陸軍大臣、參謀總長協議決定ス

前項ノ外參謀總長ハ參謀成績考查ノ參照ニ資スル爲必要ト認ムル事項ヲ陸軍大臣ニ通牒ス

第十三條　學生ノ修學期間ハ滿ネ三年トス

第十四條　專科學生ノ修學期間ハ滿ネ一年トス

第十四條ノ二　航空學生ノ修學期間ハ滿ネ四月トス

第十五條　學生及專科學生ノ採用ニ關スル事項ハ陸軍大臣、參謀總長協議シテ之ヲ定ム

第十六條　學生、專科學生及航空學生ノ團隊其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第十七條　學生、專科學生及航空學生中不適當ト認ムル者アルトキハ校長ノ申由ヲ具シ參謀總長ニ上申シ參謀總長ハ之ヲ主管シ陸軍大臣ニ移シ陸軍大臣ハ之ニ退校ヲ命シ原所管ニ復歸セシムヘキ者ハ陸軍大臣、參謀總長協議シテ之ヲ定ム

第十八條　校長ハ每年教育上適當ノ時期ニ於テ學生ヲ必要ナル部隊ニ派遣シ隊附勤務ヲ爲サシムヘシ

前項ノ隊附勤務ハ學生ヲ指揮監督ノ下ニ隊長ノ管理ニ屬シ其ノ成績ヲ校長ニ報告ス

第十九條　學生隊附勤務ヲ終リタルトキハ當該部隊長ハ其ノ成績ヲ校長ニ通報ス

第二十條　校長ハ學生、專科學生及航空學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績ヲ審查シ參謀總長ニ提出ス

第二十一條　參謀總長ハ修業成績考查ノ參照ニ資スル爲考查ノ方法ヲ定メ之ヲ陸軍大臣及校長ニ移ス

前項ノ外參謀總長ハ修業成績ニ關シ必要ナル事項ヲ陸軍大臣ニ通牒ス

第二十二條　校長ハ卒業ノ學生及專科學生ニ卒業證書ヲ付與ス

第二十三條　校長ハ卒業シタル學生、專科學生及航空學生ヲ原所管ニ復歸セシムヘキ者ハ陸軍大臣、參謀總長協議シテ之ヲ定ム

第二十四條　校長ハ每年夏期ニ於テ學生及專科學生ニ二十日以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第二十五條　武官タル教官ニハ校務ニ差支ナキ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシメ又ハ演習ニ參加セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十五條ノ規定ハ昭和八年四月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十二年軍令陸第十號（陸軍大學校學生等ノ資格ニ關スル件）

昭和十二年十二月十一日　軍令陸第十號

陸軍大學校學生等ノ資格ニ關スル件ヲ制定シ之ヲ施行ス（陸軍大臣副署）

陸軍大學校學生及專科學生ニシテ陸軍大學校令ノ規定ニ拘ラス之ヲ變更スル場合又ハ陸軍大學校學生ニシテ出動部隊ニ屬シタル者ノ陸軍大學校ニ於ケル學生ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十五年以前ニ任官シタル將校ニシテ戰時又ハ事變ニ際シ戰地又ハ事變地ニ出動セル部隊ニ屬シタル者ノ陸軍大學校學生タルノ資格中除隊ニ服シタル期間ニ付テハ陸軍大學校令第十一條第一項ノ規定ニ拘ハラス之ヲ一年以上トス

昭和十二年十二月十一日
陸達第六十號

戰傷ニ因リ身體ニ故障ヲ生シタル者ノ陸軍大學校學生及專科學生タルノ資格ニ關スル件左ノ通定ム

陸軍大學校令第十一條又ハ第十二條ニ依ル身體ニ關スル學生又ハ專科學生タルノ資格中戰傷ニ因リ身體ニ故障ヲ生シタルモ現役ニ堪フル者ハ學生又ハ專科學生タルノ資格ヲ有スルモノトス

●昭和十四年軍令陸第三號（陸軍大學校令ノ臨時特例ニ關スル件）

昭和十四年五月十六日
軍令陸第三號

（陸軍大臣副署）

陸軍大學校令ノ臨時特例ニ關スル件ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

陸軍大學校令第十二條ニ規定スル專科學生タルノ資格中一年以上軍隊ニ於テ中隊長又ハ大隊長（中隊長又ハ大隊長ニ準ズル隊長ヲ含ム）トシテ其ノ職務ヲ執リタルコトハ當分ノ內之ヲ必要トセザルモノトス

昭和十六年九月二十二日
軍令陸第二十四號

陸軍大學校令ノ臨時特例ニ關スル件ヲ制定シ之ヲ施行ヲ命ス

〔昇一二七〕

●陸軍士官學校令

昭和十二年四月八日
勅令第百十號

改正　昭和一二年第五六六號、一三年第七四四號、一四年第五七九號、一五年第六八九號、一六年第六〇七號

陸軍士官學校令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍士官學校令

第一條　陸軍士官學校ハ兵科（憲兵及航空關係ノ者ヲ除ク以下之ニ同ジ）現役將校ト爲スベキ生徒及學生ヲ教育スル所トス

前項ノ外陸軍士官學校ニ於テハ外國陸軍將校候補者（以下留學生ト稱ス）ノ教育ヲ行フ

第二條　生徒ハ兵科士官候補生ニシテ所定ノ除附勤務ヲ修得シタル者ヲ以テ之ニ充テ兵科將校ニ必要ナル教育ヲ受ケシム通常每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ二年トス

第三條ノ二　學生ハ左ノ二種トシ通常每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

丁種學生　特別志願將校（昭和八年勅令第十二號ニ依リ充用セラレ居ル者ヲ謂フ）ニシテ昭和十四年勅令第七百三十一號第二條ノ規定ニ依リ派遣セラレタル者ヲ以テ之ニ充テ兵科現役將校タルニ必要ナル教育ヲ受ケシム

己種學生　兵科少尉候補者ヲ以テ之ニ充テ兵科將校タルニ必要ナル教育ヲ受ケシム

第三條　生徒、學生及留學生ノ教育ヲ分チテ訓育竝ニ學科及術科教育トシ其ノ教育綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第四條　生徒、學生及留學生ノ教育ノ實施ハ敎則ニ依ル其ノ敎則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ教育總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第五條　生徒ノ學科教育及之ニ關聯スル訓育ニ任セシムル爲陸軍士官學校ニ教授部ヲ置ク

第六條　生徒ノ訓育及術科教育ヲ行フ爲陸軍士官學校ニ生徒隊ヲ置ク

第六條ノ二　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍士官學校ニ學生隊ヲ置ク

第六條ノ三　留學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍士官學校ニ留學生隊ヲ置ク

第六條ノ四　生徒、學生及留學生ノ機甲車輛ノ操縱及工術ノ教育竝ニ之ニ關聯スル訓育ニ任セシムル爲陸軍士官學校ニ機甲部ヲ置ク

第七條　生徒ノ馬術教育及之ニ關聯スル訓育ニ任セシムル爲陸軍士官學校ニ馬術部ヲ置ク

第七條ノ二　兵器ノ修理竝ニ生徒、學生及留學生ノ實習ニ供スル爲陸軍士官學校ニ材料廠ヲ置ク

第八條　陸軍士官學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教授部長
教授部敎官
教授部附
生徒隊長
生徒隊副官
生徒隊大隊長
生徒隊中隊長
生徒隊附
學生隊長
學生隊副官
學生隊中隊長
學生隊敎官
學生隊馬術敎官
學生隊附

〔昇一二九〕

第　第　第　

●陸軍豫科士官學校令

昭和十二年四月八日
勅令第百十一號

廢陸軍豫科士官學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、陸軍）

昭和二年勅令第五六七號、一五年勅令第六〇號、一六年勅令第四〇六號

陸軍豫科士官學校令

第一條　陸軍豫科士官學校ハ兵科士官候補生ト爲スベキ生徒ヲ教育スル所トス

第二條　生徒ハ陸軍幼年學校ヲ卒業シタル者又ハ陸軍將校タルコトヲ志願シ召集試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充テ兵科士官候補生ニ必要ナル教育ヲ受ケシムル爲毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿十二年トス

第三條　削除

第四條　生徒ノ採用ニ關スル事項及入校期日ニ付テハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五條　生徒ノ教育ヲ分チテ學科、技術及術科教育トシ其ノ教育ノ綱領ヲ教育總監之ヲ定ム

第六條　生徒ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ教育總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第七條　生徒ノ學科及技術教育並ニ之ニ關聯スル訓育ニ任ゼシムル爲陸軍豫科士官學校ニ教授部ヲ置ク

第八條　生徒ノ訓育及術科教育ヲ行フ爲陸軍豫科士官學校ニ生徒隊ヲ置ク

第九條　生徒ノ局術教育及之ニ關聯スル訓育ニ任ゼシムル爲陸軍豫科士官學校ニ材料廠ノ一部ヲ置ク

第九條ノ二　兵器ノ修理及生徒ノ實習ニ供スル爲陸軍豫科士官學校ニ材料廠ノ一部ヲ置ク

第十條　官衙ハ教官ヲ以テ之ニ充ツ

第十一條　生徒ニ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第十二條　生徒ノ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ風儀ヲ害シ其ノ情狀重キ者

二　學業ニ堪ヘス又ハ成績不良ニシテ改悛ノ見込ナキ者

三　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

四　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

五　前各號ノ外將校タルニ適セザル者

第十三條　陸軍豫科士官學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教授部長
教授部附
教官
生徒隊長
生徒隊副官
生徒隊中隊長
生徒隊附
馬術部長
材料廠長
材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第十四條　校長ハ生徒ノ學科及技術教育ヲ總監シ學務ヲ總理ス

第十五條　教授部長ハ校長ノ命ヲ承ケ教授部附ヲ指揮監督シ教授ノ實施ヲ掌ル

第十六條　教官ハ教授部長ノ命ヲ承ケ學科又ハ技術教育及之ニ關聯スル訓育ノ一部ヲ分擔ス

校長ハ教官ノ內一人ヲ教頭ト爲シ教授部長ノ命ヲ承ケ學科及技術教育ノ總理ヲ補佐セシメ又教官ノ內若干人ヲ科長ト爲シ教授部長ノ命ヲ承ケ教授部ノ學科及技術教育ノ分擔監理セシム

第十七條　生徒隊長ハ生徒ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ訓育及術科教育ノ掌理ニ關スル一切ノ業務ヲ掌理ス

第十八條　生徒隊副官ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ生徒隊ノ庶務ヲ掌ル

第十九條　生徒隊中隊長ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ訓育及術科教育ヲ擔任ス

第二十條　生徒隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十一條　乃至第二十四條　削除

第二十五條　馬術部長ハ校長ノ命ヲ承ケ馬術教育及之ニ關聯スル訓育ニ關シ一切ノ業務ヲ掌理ス

第二十六條　馬術教官ハ馬術部長ノ命ヲ承ケ馬術部ノ業務ヲ分擔ス

第二十六條ノ二　村料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十六條ノ三　村料廠附ハ村料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十七條　准士官及下士官ハ上官ノ命ヲ承ケ術科教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第二十八條　生徒ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十九條　生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第三十條　生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第三十一條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ風儀ヲ害シ其ノ情狀重キ者

二　學業ニ堪ヘス又ハ成績不良ニシテ改悛ノ見込ナキ者

三　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

四　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

五　前各號ノ外將校タルニ適セザル者

第十二條　幹事ハ校長ヲ補佐シ庶務ヲ整理ス

第十三條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ整理シ教育ノ統一ヲ圖ル

第十四條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十五條　教授部長ハ校長ノ命ヲ承ケ其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

教授部附ハ教授部長ノ命ヲ承ケ其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十六條　教官ハ教授部長ノ命ヲ承ケ學科又ハ技術教育及之ニ關聯スル訓育ヲ分擔ス

校長ハ教官ノ內一人ヲ教頭ト爲シ教授部長ノ命ヲ承ケ學科及技術教育ノ總理ヲ補佐セシメ又教官ノ內若干人ヲ科長ト爲シ教授部長ノ命ヲ承ケ教授部ノ學科及技術教育ノ分擔監理セシム

第十七條　生徒隊長ハ生徒ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ訓育及術科教育ノ掌理ニ關スル一切ノ業務ヲ掌理ス

第十八條　生徒隊副官ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ生徒隊ノ庶務ヲ掌ル

第十九條　生徒隊中隊長ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ訓育及術科教育ヲ擔任ス

第二十條　生徒隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十一條　乃至第二十四條　削除

第二十五條　馬術部長ハ校長ノ命ヲ承ケ馬術教育及之ニ關聯スル訓育ニ關シ一切ノ業務ヲ掌理ス

第二十六條　馬術教官ハ馬術部長ノ命ヲ承ケ馬術部ノ業務ヲ分擔ス

第二十六條ノ二　村料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十六條ノ三　村料廠附ハ村料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十七條　准士官及下士官ハ上官ノ命ヲ承ケ術科教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第二十八條　生徒ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十九條　生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第三十條　生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第三十一條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ風儀ヲ害シ其ノ情狀重キ者

二　學業ニ堪ヘス又ハ成績不良ニシテ改悛ノ見込ナキ者

三　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

四　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

五　前各號ノ外將校タルニ適セザル者

第三十二條　生徒中傷病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ情狀酌量スヘキ者ハ之ヲ所要ノ期間滿了セシムル爲休學ヲ命ジ又ハ次期ノ生徒ト爲スコトヲ得

第三十三條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長ノ上申ニ依リ教育總監之ヲ處理ス

第三十四條　校長ハ生徒卒業ノ期ニ至リ尚ホ學術ノ修メ得ザル者アルトキハ其ノ理由ヲ具シ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ修業成績ヲ證明スル者ニ在リテハ其ノ所屬部隊ニ之ヲ入校セシムル爲生徒補充ニ關シ教育總監ノ指定シタ

●陸軍豫備士官學校令

昭和十三年三月二十六日
勅令第百三十九號

改正　昭和一四年第五一七號、一五年第四八三號、一六年第七四六號

廢陸軍豫備士官學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍豫備士官學校令

第一條　陸軍豫備士官學校ハ豫備役將校ト爲スベキ生徒ヲ教育スル所トス

第一條ノ二　陸軍豫備士官學校ハ前橋及豐橋ニ各一、久留米ニ二ヲ置ク

陸軍豫備士官學校ハ其ノ所在地名ヲ冠稱ス但シ久留米ニ置クモノニ在リテハ所在地名ノ下ニ第一又ハ第二ノ番號ヲ附ス

前橋陸軍豫備士官學校、豐橋陸軍豫備士官學校及久留米第一陸軍豫備士官學校ニ於テハ歩、砲兵豫備役將校ト爲スベキ生徒ヲ、久留米第二陸軍豫備士官學校ニ於テハ輜重兵豫備役將校ト爲スベキ生徒ヲ教育ス

第二條　生徒ハ甲種幹部候補生ヲ以テ之ニ充テ通常每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ十一月トス

第三條　生徒ノ教育綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第四條　生徒ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ教育總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第五條　陸軍豫備士官學校（久留米第二陸軍豫備士官學校ヲ除ク）ニ生徒隊ヲ置ク

第六條　陸軍豫備士官學校（久留米第二陸軍豫備士官學校ヲ除ク）ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
學校附
生徒隊長

〔輯一二五〕

生徒隊副官
生徒隊中隊長
生徒隊機關銃中隊長
生徒隊歩兵砲中隊長
生徒隊通信中隊長
生徒隊附
准士官、下士官及判任文官

久留米第一陸軍豫備士官學校ニハ生徒隊通信中隊長ヲ置カズ

第六條ノ二　久留米第二陸軍豫備士官學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
學校附
中隊長
中隊附
准士官、下士官及判任文官

第七條　校長ハ教育總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第八條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第九條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル但シ教育ノ擔任ニ關シテハ生徒隊長ノ區處ヲ受ク

第十條　生徒隊長ハ生徒隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌理ス

第十一條　生徒隊副官ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ生徒隊ノ庶務ヲ掌ル

第十二條　生徒中隊長、生徒隊機關銃中隊長、生徒隊歩兵砲中隊長及生徒隊通信中隊長ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ教育ヲ擔任ス

中隊長ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ擔任ス

第十三條　生徒隊附及中隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第十四條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ術科教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第十五條　生徒ハ校内ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第十六條　生徒ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第十七條　生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第十八條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修業ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外豫備役將校タルニ適セズト認ムル者

第十九條　生徒中前條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ教育總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

退校セシメラレタル生徒ハ之ヲ歸隊セシム

第二十條　校長ハ生徒卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ之ヲ歸隊セシム

前項ノ場合ニ於テ教育總監ハ生徒ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ移シ校長ハ各生徒ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

〔輯一二六〕

第二十一條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十二條　校長ハ生徒ノ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十三年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年入校ノ生徒ノ修學期間ハ概ネ七月トス

●陸軍航空士官學校令

昭和十三年十二月十日
勅令第七百四十五號

（改正　昭和一四年第五〇一號、一五年第四九七號、第六五八號）

陸軍航空士官學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

第一條　陸軍航空士官學校ハ航空關係ノ兵科將校ト爲スヘキ生徒及學生ヲ教育スル所トス

第二條　生徒ハ陸軍豫科士官學校生徒ノ課程ヲ卒業シ兵科士官候補生ヲ命セラレタル者ヲ以テ之ニ充テ航空關係ノ兵科將校ニ必要ナル教育ヲ受ケシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年八月トス

第三條　學生ハ兵科（憲兵ヲ除ク）少尉候補者ヲ以テ之ニ充テ航空關係ノ兵科將校ニ必要ナル教育ヲ受ケシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第四條　生徒及學生ノ教育ヲ分チテ訓育竝ニ學科及術科教育トシ其ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第五條　生徒及學生ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條　生徒及學生ノ學科教育竝ニ之ニ關聯スル訓育及術科教育ニ任セシムル爲陸軍航空士官學校ニ教授部ヲ置ク

第七條　生徒及學生ノ訓育及術科教育ヲ行フ爲陸軍航空士官學校ニ生徒隊及學生隊ヲ置ク

第八條　兵器ノ修理竝ニ生徒及學生ノ實習ニ供スル爲陸軍航空士官學校ニ材料廠ヲ置ク

第八條ノ二　陸軍大臣ハ必要ニ應ジ陸軍航空士官學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九條　陸軍航空士官學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教授部長
教官
生徒隊長
生徒隊副官
生徒隊中隊長
生徒隊附
學生隊長
學生隊副官
學生隊中隊長
學生隊附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

分教所ヲ置キタル場合ニ於テハ分教所長ハ將校タル前項ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ

第十條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

〔一三八ノ八〕

第十一條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ整理シ教育ノ統一ヲ圖ル

第十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十三條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十三條ノ二　教授部長ハ校長ノ命ヲ承ケ學科教育竝ニ之ニ關聯スル訓育及術科教育ヲ統理ス

第十四條　教官ハ教授部長ノ命ヲ承ケ學科教育竝ニ之ヲ關聯スル訓育及術科教育ヲ分擔ス

第十五條　生徒隊長ハ生徒隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育及術科教育ヲ掌理ス

第十六條　生徒隊副官ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ生徒隊ノ庶務ヲ掌ル

第十七條　生徒隊中隊長ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育及術科教育ヲ擔任ス

第十八條　生徒隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十八條ノ二　學生隊長ハ學生隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ學生ノ訓育及術科教育ヲ掌理ス

第十八條ノ三　學生隊副官ハ學生隊長ノ命ヲ承ケ學生隊ノ庶務ヲ掌ル

第十八條ノ四　學生隊中隊長ハ學生隊長ノ命ヲ承ケ學生ノ訓育及術科教育ヲ擔任ス

第十八條ノ五　學生隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十九條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十一條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ術科教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十二條　生徒ハ校內ニ、學生ハ校外ニ居住セシムルコトヲ得

トキハ學生ヲ校內ニ起居セシムルコトヲ得

生徒及學生ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十三條　生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

學生ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十四條　生徒及學生ハ情狀ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十五條　生徒及學生左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外將校タルニ適セズト認ムル者

第二十六條　生徒及學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ生徒若ハ學生ト爲スコトヲ得

前條第三號又ハ第四號ノ規定ニ依リ退校セシメラレタル生徒ニシテ尙望アリト認ムルモノハ退校後一回ヲ限リ更ニ之ヲ入校セシムルコトヲ得

第二十七條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長ノ上申ニ依リ陸軍航空總監陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

第二十八條　校長ハ生徒及學生卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ生徒ニ在リテハ著除時日ヲ指定シ所屬部隊ニ之ヲ入除セシメ學生ニ在リテハ之ヲ歸除セシム

前項ノ場合ニ於テ陸軍航空總監ハ生徒及學生ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各生徒及學生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル生徒及學生修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第二十九條　校長ハ生徒ニ每年冬季二週間以內夏季四週間以內ノ休暇ヲ、學生ニ二十日以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

〔一一三〕　〔一一六〕

シムルコトヲ得

第三十一條　校長ハ生徒及學生ノ教育上必要アルトキハ教育總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ陸軍士官學校ノ航空兵科將校ト爲スベキ生徒又ハ學生タル者ハ各本令ニ依ル陸軍航空士官學校ノ生徒又ハ學生ト爲リタルモノトス

●陸軍幼年學校令

昭和十五年三月九日
勅令第八十九號

改正　昭和一六年第四〇七號

陸軍幼年學校令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍幼年學校令

第一條　陸軍幼年學校ハ生徒ニ陸軍豫科士官學校生徒タルニ必要ナル素養ヲ與フル爲軍事上ノ必要ヲ顧慮シテ普通學科ヲ教授シ軍人精神ヲ涵養スル所トス

第二條　陸軍幼年學校ハ之ヲ東京、仙臺、名古屋、大阪、廣島及熊本ニ置ク

陸軍幼年學校ハ其ノ所在地名ヲ冠稱ス

第三條　生徒ハ陸軍將校タルコトヲ志願シ召募試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充テ通常每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ三年トス

第四條　生徒ノ採用ニ關スル事項及入校期日ニ付テハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五條　生徒ノ教育ヲ分チテ訓育及學科教育トシ其ノ教育綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第六條　生徒ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ教育總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第七條　生徒ノ學科教育及之ニ關聯スル訓育ニ任セシムル爲陸軍幼年學校ニ教授部ヲ置ク

第八條　生徒ノ訓育ヲ行フ爲陸軍幼年學校ニ訓育部ヲ置ク

第九條　陸軍幼年學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
學校附
教官
訓育部長
生徒監
下士官及判任文官

前項ノ職員中將校及下士官ヲ以テ之ニ充ツルモノニ在リテハ豫備役又ハ後備役ノ者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十條　校長ハ教育總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十一條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十二條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十三條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學科教育及之ニ關聯スル訓育ヲ分擔ス

校長ハ教官タル陸軍教授ノ內一人ヲ教頭ト爲シ校長ノ命ヲ承ケ教授部ノ業務ヲ監理セシム

〔輯一二二〕

第十四條　訓育部長ハ訓育部ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ訓育ヲ掌理ス

第十五條　削除

第十六條　生徒監ハ訓育部長ノ命ヲ承ケ訓育ヲ擔任ス

第十七條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ事務ニ從事ス

第十八條　生徒ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第十九條　生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十條　生徒ハ在校中被服、糧食其ノ他ノ費用トシテ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ若干ノ納金ヲ爲スモノトス但シ特別ノ事由アル者ニ對シテハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ特ニ納金ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得

第二十一條　生徒中已ムヲ得ザル事由ニ因リ退校ヲ願出ヅル者アルトキハ其ノ事情ニ依リ之ヲ許可スルコトアルベシ

第二十二條　教育上必要アルトキハ校長ハ生徒ニ警戒ヲ加フルコトヲ得

前項ノ警戒ニ關スル規程ハ教育總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第二十三條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　屢法則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傷痍疾病ニ因リ修業ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外將來將校タルニ適セズト認ムル者

前項各號ノ外納金滯納ノ場合ニハ退校セシムルコトアルベシ

第二十四條　生徒中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アルモノハ次期ノ生徒ト爲スコトヲ得

第二十五條　第二十一條又ハ前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長ノ上申ニ依リ教育總監之ヲ處理ス

第二十六條　校長ハ生徒卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ之ヲ陸軍豫科士官學校ニ入校セシム但シ卒業者中傷痍疾病ニ因リ陸軍豫科士官學校生徒ト爲スヲ得ザル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條　校長ハ生徒ニ每年春季、冬季各二週間以內、夏季四週間以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第二十八條　校長ハ卒業者ニ卒業ノ日ヨリ陸軍豫科士官學校入校ノ日ニ至ル迄休暇ヲ與フルコトヲ得此期間ニ於ケル生徒ノ身分ハ陸軍幼年學校ニ屬ス

第二十九條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十五年陸軍省令第十五號
（陸軍幼年學校生徒ノ納金ニ關スル件）

昭和十五年五月二十二日
陸軍省令第十五號

陸軍幼年學校生徒ノ納金ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　陸軍幼年學校生徒中左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ貧產ヲ顧慮シ若

〔輯一二二〕

千名ヲ限リ特ニ納金ノ全額又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得

一　戰死シ又ハ公務ニ因リ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シタル軍人又ハ文官ノ子

二　恩給法ニ依リ軍人又ハ準軍人トシテノ普通恩給又ハ增加恩給ヲ受クルノ權利ヲ得タル者ノ子

三　現役陸海軍佐尉官又ハ十二年以上軍務ニ精勵シタル陸海軍准士官以下ノ軍人ノ子

十七年以上陸海軍部內ニ在リテ軍務ニ精勵シタル奏任又ハ判任文官ノ子

四　特ニ國家ニ功勞アル軍人又ハ文官ニシテ死亡シタル者ノ子

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ子ハ父ト同一ノ家ニ在ル者ニ限リ養子ニ在リテハ前項ニ規定スル軍人又ハ文官ノ指定家督相續人タル者ニ限ル

第二條　生徒中納金ノ全額ヲ收ムル者ヲ自費生、納金ノ全額ヲ免除セラレタル者ヲ特待生、其ノ一部ヲ免除セラレタル者ヲ半特待生ト稱ス

第三條　特待生及半特待生ト爲スベキ人員及其ノ區分ハ教育總監陸軍大臣ニ協議シ之ヲ定ム

第四條　自費生及半特待生ノ納金額ハ別ニ之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍歩兵學校令

昭和十一年七月二十七日
軍令陸第五號

改正　昭和一四年第七號

陸軍歩兵學校令ヲ改定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

陸軍歩兵學校令

第一條　陸軍歩兵學校ハ學生ニ歩兵隊ニ必要ナル學術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ併セテ歩兵ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行ヒ以テ歩兵教育ノ進歩ヲ圖リ且歩兵用兵器其ノ他ノ資材ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

第二條　學生ヲ分チテ左ノ三種トス

佐官學生　歩兵科中、少佐ヲ以テ之ニ充テ歩兵ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

甲種學生　歩兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ戰術、教練、陣中勤務及射撃ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　歩兵科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ射撃、通信又ハ化學戰ニ關スル學術ヲ修習セシム射撃ノ學生ニ在リテハ通常毎年二回、通信又ハ化學戰ノ學生ニ在リテハ通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ射撃ノ學生ニ在リテハ概ネ四月、通信ノ學生ニ在リテハ概ネ六月、化學戰ノ學生ニ在リテハ概ネ三月トス

必要ニ應ジ他兵科（憲兵科ヲ除ク）佐尉官ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍歩兵學校ニ教育部ヲ置ク

第四條　歩兵ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲陸軍歩兵學校ニ研究部ヲ置ク

第五條　學生ノ教育竝ニ研究及試驗ニ充ツル爲陸軍歩兵學校ニ教導聯隊ヲ置キ歩兵隊ヨリ兵及所要ノ下士官ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第六條　兵器ノ整備及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲陸軍歩兵學校ニ材料廠ヲ置ク

第七條　軍犬ノ育成及訓練ヲ行フ爲陸軍歩兵學校ニ軍犬育成所ヲ置ク

第八條　陸軍歩兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官

學校附
教官
研究部部員
研究部主事
教導聯隊長
教導聯隊副官
教導聯隊大隊長
教導聯隊大隊副官
教導聯隊中隊長
教導聯隊機關銃中隊長
教導聯隊歩兵砲隊長
教導聯隊通信隊長
教導聯隊軽装甲車隊長
教導聯隊附
材料廠長
材料廠附
軍犬育成所長
軍犬育成所附
准士官、下士官及判任文官

第九條　校長ハ教育總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十一條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十二條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十三條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十四條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十六條　教導聯隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊内務ノ定則ヲ準用ス

第十七條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十八條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十九條　軍犬育成所長ハ校長ノ命ヲ承ケ軍犬ノ育成及訓練ニ任ズ

第二十條　軍犬育成所附ハ軍犬育成所長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十一條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第二十二條　學生ノ人員及入校期日ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十三條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校期日前ニ其ノ所屬部隊、官等及氏名ヲ陸軍大臣及教育總監ニ報告スベシ

第二十四條　學生ハ校外ニ居住セシメ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十五條　學生ノ隷屬其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十六條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ教育總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

〔輯一〇二〕

第二十七條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ學生ヲ歸隊セシム

前項ノ場合ニ於テ教育總監ハ學生ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ移シ校長ハ各學生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第二十八條　陸軍大臣ハ教育總監ノ通牒ニ依リ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十九條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十一年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●千葉陸軍戰車學校令

昭和十一年七月二十七日
軍令陸第六號

改正　昭和一四年第八號、一五年第三三號、一六年第五號

（陸軍大臣副署）

勅裁

千葉陸軍戰車學校令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

千葉陸軍戰車學校令

第一條　千葉陸軍戰車學校ハ學生ニ戰車隊又ハ輕裝甲車隊ニ必要ナル基礎ノ學術竝ニ通信及工術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ併セテ主トシテ此等ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行ヒ以テ戰車隊及輕裝甲車隊ノ教育ノ進歩ヲ圖リ且此等ニ必要ナル兵器其ノ他ノ資材ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

千葉陸軍戰車學校ニ於テハ前項ノ外練習下士官及練習兵ニ輕裝甲車ニ關スル教育ヲ行ヒ且工機兵ニ戰車及輕裝甲車ノ補給、修理等ニ任ズル部隊ノ作業要員トシテ必要ナル教育ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ四種トシ通常毎年一回入校セシム

乙種學生　兵科中、少尉及下士官ヲ以テ之ニ充テ通信ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

丙種學生　兵科中、少尉及下士官ヲ以テ之ニ充テ戰車ニ關スル技術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ八月トス但シ陸軍機甲本部長ハ修學ヲ終リタル學生ノ中ヨリ校長ノ選拔シタル若干名ノ者ヲ長期學生ト爲シ更ニ一年以内在學セシメ須要ナル學術ヲ修習セシムルコトヲ得

丁種學生　兵科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ戰車隊ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ戰車隊ノ者ニ在リテハ概ネ六月、其ノ他ノ者ニ在リテハ概ネ十月トス

輕裝甲車學生　兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ輕裝甲車隊ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ八月トス

第三條　練習下士官兵ハ各隊ヨリ分遣スル者ヲ以テ之ニ充テ輕裝甲車ニ關スル學術ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ八月トス

第四條乃至第六條　削除

第七條　學生ノ教育ヲ行フ爲千葉陸軍戰車學校ニ教育部ヲ置ク

第八條　戰車及輕裝甲車ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲千葉陸軍戰車

〔輯一二三〕

學校ニ研究部ヲ置ク

第九條　學生ノ教育竝ニ研究及試驗ニ充ツル爲千葉陸軍戰車學校ニ教導隊ヲ置キ戰車除ヨリ兵及所要ノ下士官ヲ分遣シテ之ヲ組成ス

第九條ノ二　練習下士官兵ノ教育ヲ行フ爲千葉陸軍戰車學校ニ練習隊ヲ置ク

第十條　兵器ノ整備及研究竝ニ學生及練習下士官兵ノ實習ニ供シ且工機兵ノ教育ヲ行フ爲千葉陸軍戰車學校ニ材料廠ヲ置ク

第十一條　千葉陸軍戰車學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教官
研究部部員
研究部主事
教導隊長
教導隊中隊長
教導隊附
練習隊長
練習隊副官
練習隊中隊長
練習隊附
材料廠長

第十二條　准士官、下士官及判任文官

第十三條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十四條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十五條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十六條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十七條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十八條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任シ且調査、研究及試驗ノ分擔ス

第十九條　教導隊及練習隊ノ職員ノ服務ニ付テハ軍隊内務ノ定ムル所ヲ準用ス

第二十條　削除

第二十條ノ二　練習隊長ハ校長ノ命ヲ承ケ練習下士官兵ノ教育ヲ掌理ス

第二十一條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務及工機兵ノ教育ヲ掌ル

第二十二條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十三條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十四條　學生ノ人員及入校期日ハ教育總監ノ通牒ニヨリ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十五條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官ハ修學上適當ノ者ヲ選定シ入校期日前ニ共ノ所屬部隊ノ官等及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且陸軍機甲本部長ニ通報スベシ

第二十六條　學生ハ校外ニ居住スル者ヲ除ク外校内ニ居住セシメ其ノ修學上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ兼職シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

第二十八條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ兼職シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十一年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍少年通信兵學校令

勅令第千六百十六號
昭和十六年十一月二十九日

陸軍少年通信兵學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副大臣、陸軍總理）

陸軍少年通信兵學校令

第一條　陸軍少年通信兵學校ハ通信關係ノ現役兵科下士官（航空通信關係ノモノヲ除ク）以下同ジ）ト爲スベキ生徒ノ教育スル所トス

第二條　生徒ハ通信關係ノ現役兵科下士官タルコトヲ志願シ召募試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充テ通信關係ノ現役兵科下士官ニ必要ナル教育ヲ受ケシムル者トス

第三條　生徒ノ採用ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第四條　生徒ノ教育ヲ分チテ四箇年ノ學科及術科教育トシ其ノ教育綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第五條　生徒ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ

信兵監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六節　生徒ノ學科教育及之ニ關スル訓育ニ任セシムル陸軍少年通信兵學校ニ生徒ヲ置ク

第七節　生徒ノ訓育及術科教育ヲ行フ爲陸軍少年通信兵學校ニ生徒ヲ置ク

第八節　兵器ノ修理及生徒ノ實習ニ供スル爲陸軍少年通信兵學校ニ材料廠ヲ置ク

第九節　陸軍少年通信兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
學校附
教官
生徒隊長
生徒隊副官
生徒隊中隊長
生徒隊附
材料廠長
材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第十節　校長ハ通信兵監ニ隸シ校務ヲ總理ス

第十一節　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十二節　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各掛任ノ業務ヲ掌ル

第十三節　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學科教育及之ニ關スル訓育ヲ分掌ス

第十四節　生徒隊長ハ生徒隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ訓育及術科教育ヲ掌理ス

第十五節　生徒隊副官ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ生徒隊ノ庶務ヲ掌ル

第十六節　生徒隊中隊長ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ訓育及術科教育ヲ擔任ス

第十七節　生徒隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第十八節　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十九節　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十節　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十一節　生徒ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十二節　生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十三節　生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十四節　生徒ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ憲法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外下士官ヲ以テ之ニ準ズト認ムル者

第二十五節　生徒中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ生徒トシテ認ムルモノハ校長其ノ由ヲ具シ通常アルトキハ校長ニ於テ當該ニ該當スル得

第二十六節　前二條ノ規定ニ依リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメラレンヲ生徒修學ヲ終リヲルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ處理スル

第二十七節　校長ハ生徒卒業ノ期ニ至リヲル其ノ修業成績ヲ調査シ之ヲ通信兵監ヲ經テ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ著隊日時ヲ指定シ之ヲ所屬部隊ニ入隊セシム

前項ノ場合ニ於テ校長ハ各生徒ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

學修セシメラレンヲル生徒修學ヲ終リヲルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ處理スル

實教フモノトス

第二十八節　校長ハ生徒ニ每年三週間以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第二十九節　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官ヲル職員ニ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十節　校長ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ請求シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

陸軍

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ陸軍通信學校ノ生徒ヲル者ハ陸軍少年通信兵學校ノ生徒ヲルモノトス

〔昭一二九〕

（昭和一四年勅令六一大正一四年勅令九改正）

陸軍騎兵學校令ヲ改定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

陸軍騎兵學校令

第一條　陸軍騎兵學校ハ學生ニ騎兵ニ必要ナル學術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ併セテ騎兵ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行ヒ以テ騎兵教育ノ進歩ヲ圖リ且騎兵用兵器其ノ他ノ裝具ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

陸軍騎兵學校ニ於テハ前項ノ外下士官候補者ニ騎兵科下士官ニ必要ナル教育ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ五種トス

佐官學生　騎兵科中、少佐ヲ以テ之ニ充テ騎兵ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシムル通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

甲種學生　騎兵科大、中尉ヲ以テ之ニ充テ戰術、軟鐵及陣中勤務ヲ修習セシムル通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ八月トス

乙種學生　騎兵科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ馬術其ノ他ノ騎兵科專門事項ニ關スル學術ヲ修習セシムル通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一月トス但シ陸軍裝甲車部隊長ハ修學ヲ終リタル學生ノ中ヨリ概ネ十一月トス

丙種學生　騎兵科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ射撃、通信、化學戰又ハ戰車及裝甲車ノ學生ニ在リテハ通常毎年一回、化學戰又ハ戰車及裝甲車ノ學生ニ在リテハ通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ三月、射撃、通信又ハ化學戰ノ學生ニ在リテハ概ネ四月、戰車及裝甲車ノ學生ニ在リテハ概ネ六月、化學戰ノ學生ニ在リテハ概ネ三月ヲ得

丁種學生　騎兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ騎兵ニ必要ナル學術ヲ修習セシムル通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

前項ノ外修學ヲ終リタル陸軍豫備役丁種學生ノ中ヨリ教育總監ノ選抜セシメタル者ヲ入校セシメ乙種長期學生ニ準ジ概ネ六月ノ修學ヲ必要ニ應ジ他兵科（憲兵科ヲ除ク）佐、尉官ヲ以テ學生ヲ（丁種學生ヲ除ク）トスルコトヲ得

第三條ノ二　下士官候補者ハ各隊ヨリ分遣スル騎兵科中ノ下士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシムル通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第三條ノ三　下士官候補者ノ教育綱領ニ基キ陸軍騎兵學校ニ教育部ヲ置ク

第三條ノ四　下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ルベキ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍騎兵學校長ノ具申ニ對シ教育總監之ヲ定ム

第四條　騎兵ニ關スル兵學ノ研究及試驗ヲ行フ爲陸軍騎兵學校ニ研究部ヲ置ク

第五條　學生ノ教育ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲又ハ通信ノ學生ニ在リテハ通信ノ爲又ハ戰車及裝甲車ノ學生ニ在リテハ戰車及裝甲車ノ爲必要ニ應ジ他ノ學術ヲ修習セシムルコトヲ得

第五條ノ二　下士官候補者ハ各隊ヨリ分遣スル騎兵科ノ下士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシムル通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第五條ノ三　下士官候補者ノ教育綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第五條ノ四　下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ルベキ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍騎兵學校長ノ具申ニ對シ教育總監之ヲ定ム

第六條　兵器ノ監爾及研究竝ニ學生及下士官候補者ノ實習ニ供スル爲陸軍騎兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教官
研究部部員
研究部主事
教務掛長
教務掛副官
教務掛中隊長
教務掛機關銃隊長
教務掛通信隊長
教務掛射撃隊長
教務掛附
下士官候補者隊長

第三編　官規　第一章　官制　第十款　陸軍省及陸軍所管　第三條　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍騎兵學校ニ教育部ヲ置ク

●陸軍騎兵學校令

昭和十一年勅令第一七七號　七月二十七日

下士官候補者陸副官
下士官候補者陸中隊長
下士官候補者陸附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ本部長ニ隷シ校務ヲ整理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ整理シ教育、圖書、庶務及試驗ノ事ヲ掌ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　專攻科ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ受ケ教育ヲ分擔ス

校長ハ教官若干名ヲ指定シ校區ニ關スル一切ノ業務ヲ掌ラシム

第十三條　庶務部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ圖書、庶務及試驗ヲ分擔ス

第十四條　庶務部主事ハ校長ノ命ヲ受ケ圖書、庶務及試驗ニ關スル文書ノ整理ニ任ジ且圖書、庶務及試驗ヲ分擔ス

第十五條　教務部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ニ付テハ軍隊內務ノ定則ヲ準用ス

第十五條ノ二　下士官候補者陸ヘ下士官候補者陸ヲ就ベ校長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ教育ヲ掌理ス

第十五條ノ三　下士官候補者陸副官ハ下士官候補者陸長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十五條ノ四　下士官候補者陸中隊長ハ下士官候補者陸長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ教育ヲ擔任ス

第十六條　陸軍大臣ハ教育總監ノ請求ニ依リ臨時ニ各兵科（重兵科ヲ除

キ）ノ將校ヲシテ學校以下ヲ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第十七條　校長ハ校務上屬官ノ時期ニ於テ武官ニ非ザル職員ニ陸軍部內ノ勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第十八條　校長ハ許可又ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ兼行集團長ニ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

第十九條　學生ノ人員及入校期日ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ定ム

第二十條　前條ノ告知アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適スル者ヲ選定シ入校期日ニ其ノ所屬部隊、官等及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且陸軍機甲本部長ニ通報スベシ

本部長ニ通報スベシ

第二十一條　學生ニ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　虛僞ノ申立ヲ爲シ又ハ情ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

二　下士官候補者ニ情願ヲ以テ退校セシムルトキ

三　修學ニ堪ヘザル疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザルニ至リタルトキ

四　修學疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者

第二十二條ノ二　下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十二條ノ三　下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　算記ヲ素リ又ハ軍法ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ武官ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　修業疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者

第二十三條ノ四　下士官候補者中修業疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザルニシテ將來ノ目途ナキ者ト認ムルトキハ之ヲ退校セシムルコトヲ得

第二十三條ノ五　前二條ノ規定ニ依リ退校スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル下士官候補者ハ之ヲ罷免セシム

第二十四條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績者ヲ調製シ之ヲ陸軍大臣ニ報出シ其ノ認可ヲ受ケ下士官ノ學生ニハ修業證書ヲ附與シ學生ヲ罷免セシム

前項ノ場合ニ於テ陸軍機甲本部長ハ教育總監ヲ經テ學生（下士官ノ學生ヲ除ク）ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各學生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ニ送付スルモノトス

第二十五條　校長ハ下士官候補者卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍機甲本部長ヲ經テ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業證書ヲ附與シ且其ノ氏名ヲ陸軍大臣ニ報告ス

前項ノ場合ニ於テ校長ハ各下士官候補者ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第二十六條　陸軍大臣ハ教育總監ノ請求ニ依リ臨時ニ各兵科（重兵科ヲ除

●陸軍野戰砲兵學校令

昭和十四年八月二十四日
勅令第六百十號

改正陸軍野戰砲兵學校令ヲ改定シ之ガ施行ヲ命ス（陸軍大臣副署）

陸軍野戰砲兵學校令

第一條　陸軍野戰砲兵學校ハ學生ニ野戰砲兵ニ必要ナル學術ノ講習ヲ爲サシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ併セテ野戰砲兵ニ關スル學術ノ調査及研究竝ニ野戰砲兵教育ノ進歩ヲ圖リ且砲兵情報ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行ヒ以テ野戰砲兵及砲兵情報用ノ兵器其ノ他ノ資材ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

陸軍野戰砲兵學校ニ於テハ前項ノ外所要ノ學生ニ砲兵情報及砲兵用自動車ニ關スル教育、下士官候補者ニ野戰砲兵除ノ下士官候補者ニ必要ナル教育ヲ、下士官及兵（幹部候補生ヲ含ム）ニ砲兵情報除ノ要員ニ必要ナル教育ヲ、所要ノ下士官及兵ニ幹部候補生ニ野戰砲兵除ノ下士官候補者ニ必要ナル教育ヲ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

ル教育ヲ行ヒ且陸兵用自動車ニ關スル問題ノ研究及試驗ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ八種トシ通常毎年一回（下士官ノ自動車學生ニ在リテハ二回）入校セシム

佐官學生　陸軍科中、少佐ヲ以テ之ニ充テ野戰陸兵ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ滿ネ三月トス

甲種學生　陸軍科大尉ヲ以テ之ニ充テ戰術及築城ノ修習ヲセシムル其ノ修學期間ハ滿ネ七月トス

乙種學生　陸軍科大、中尉ヲ以テ之ニ充テ射擊ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ滿ネ五月トス

丙種學生　陸軍科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ觀測、通信又ハ化學戰ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ觀測及通信ノ學生ニ在リテハ滿ネ三月トス滿ネ六月、化學戰ノ學生ニ在リテハ滿ネ三月トス

丁種學生　陸兵科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ馬術及馭法ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ滿ネ十月トス

戊種學生　陸兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ觀測、通信又ハ馭法其ノ他ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ滿ネ六月トス

特種學生　陸兵科ノ尉官及下士官ヲ以テ之ニ充テ陸兵情報ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ滿ネ六月トス

自動車學生　陸兵科中、少尉及下士官ヲ以テ之ニ充テ陸兵用自動車ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ滿校ニ在リテハ滿ネ十月、下士官ニ在リテハ滿ネ六月トス

必要ニ應ジ他兵科（騎兵科ヲ除ク）佐、尉官ヲ以テ學生（代種學生ヲ除ク）トスコトヲ得

第三條　下士官候補者ハ各隊ヨリ分遣スル者ヲ以テ之ニ充テ野戰陸兵隊ノ下士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシムル通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿ネ一年トス

第四條　陸軍大臣ハ教育總監ノ通牒ニ依リ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　下士官候補者ノ教育綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第六條　下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸兵監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第七條　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍野戰陸兵學校ニ教育部ヲ置ク

第八條　野戰陸兵學校ニ研究部ヲ置キ陸兵及陸兵情報ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲陸軍野戰陸兵學校ノ自動車部ヲ置ク

第九條　學生ノ教育竝ニ研究及試驗ニ充ツル爲陸軍野戰陸兵學校ニ教導部ヲ置ク

第十條　下士官候補者ノ教育ヲ行フ爲陸軍野戰陸兵學校ニ下士官候補者隊ヲ置ク

第十一條　學生ノ教育竝ニ研究及試驗ニ充テ且必要ノ下士官兵（幹部候補生ヲ含ム）ニ陸兵情報除ニ關スル教育ヲ行フ爲陸軍野戰陸兵學校ニ情報教習隊ヲ置キ野戰陸兵除ヨリ兵（幹部候補生ヲ含ム）及所要ノ下士官ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第十二條　兵器ノ整備及研究竝ニ學生、下士官候補者等ノ實習ニ供スル爲陸軍野戰陸兵學校ニ材料廠ヲ置ク

第十三條　自動車學生ノ教育竝ニ陸兵用自動車ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲陸軍野戰陸兵學校ニ自動車部ヲ置ク

第十四條　陸軍野戰陸兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教官
研究部部員
研究部主事
教導聯隊長
教導聯隊副官
教導聯隊大隊長
教導聯隊大隊副官
教導聯隊中隊長
教導聯隊觀測隊長
教導聯隊附
練習隊長
練習隊副官
練習隊中隊長
練習隊附
下士官候補者隊長
下士官候補者隊副官
下士官候補者隊中隊長
下士官候補者隊附
自動車部長
自動車部附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第十五條　校長ハ陸兵監ニ隸シ校務ヲ總理ス

第十六條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十八條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十九條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

校長ハ教官若干名ヲ指定シ校庭ニ關スル一切ノ業務ヲ掌ラシム

第二十條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第二十一條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第二十二條　教導聯隊及練習隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊内務ノ定則ヲ準用ス

第二十三條　下士官候補者隊ハ下士官候補者隊長ヲシテ校長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ教育ヲ掌理ス

第二十四條　下士官候補者隊副官ハ下士官候補者隊長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第二十五條　下士官候補者隊中隊長ハ下士官候補者隊長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ教育ヲ擔任ス

第二十六條　下士官候補者隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十七條　練習隊長ハ校長ノ命ヲ承ケ必要ノ下士官兵（幹部候補生ヲ含ム）ニ對スル砲兵情報隊ニ關スル教育ヲ掌理ス

第二十八條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十九條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第三十條　自動車部長ハ校長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌ル

第三十一條　自動車部附ハ自動車部長ノ命ヲ承ケ部務ヲ分擔ス

第三十二條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第三十三條　學生ノ人員及入校期日ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第三十四條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校期日前ニ其ノ所屬部隊、官等及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且砲兵監ニ通報スベシ

第三十五條　營外居住者タル學生ハ校外ニ、營内居住者タル學生及下士官候補者ハ校内ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ノ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第三十六條　學生及下士官候補者ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第三十七條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ砲兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第三十八條　下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第三十九條　下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者

第四十條　下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尚望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第四十一條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ砲兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル下士官候補者ハ之ヲ豁除セシム

第四十二條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ砲兵監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ下士官ノ學生ニハ修業證書ヲ附與シ學生ヲ豁除セシム

前項ノ場合ニ於テ砲兵監ハ教育總監ヲ經テ學生（下士官ノ學生ヲ除ク）ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各學生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第四十三條　校長ハ下士官候補者卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ砲兵監ヲ經テ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ附與シ之ヲ豁除セシム

前項ノ場合ニ於テ校長ハ各下士官候補者ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル下士官候補者修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第四十四條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十五條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

〔昇一〇二〕

●陸軍重砲兵學校令

昭和十一年七月二十七日
軍令陸第九號

改正　昭和一四年第一二號

廢陸軍重砲兵學校令ヲ改定シ之ヲ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

陸軍重砲兵學校令

第一條　陸軍重砲兵學校ハ學生ニ重砲兵隊ニ必要ナル學術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ併セテ重砲兵ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行ヒ以テ重砲兵教育ノ進歩ヲ圖リ且重砲兵用兵器其ノ他ノ資材（高射砲及照空ニ關スルモノヲ除ク）ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

陸軍重砲兵學校ニ於テハ前項ノ外練習下士官及練習兵ニ所要ノ特業教育ヲ、下士官候補者ニ重砲兵隊ノ下士官ニ必要ナル教育ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ五種トシ通常毎年一回入校セシム

佐官學生　砲兵科中、少佐ヲ以テ之ニ充テ重砲兵ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

甲種學生　砲兵科大、中尉ヲ以テ之ニ充テ戰術及射撃ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ七月トス

乙種學生　砲兵科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ射撃ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

丙種學生　砲兵科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ觀測、通信、砲塔、要塞電燈又ハ化學戰ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ化學戰ノ學生ニ在リテハ概ネ三月、其ノ他ノ學生ニ在リテハ概ネ六月トス

丁種學生　砲兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ觀測又ハ通信ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ他兵科（憲兵科ヲ除ク）尉官ヲ以テ學生（丁種學生ヲ除ク）ト爲スコトヲ得

第三條　練習下士官兵ヲ分チテ左ノ三種トシ重砲兵隊ヨリ分遣スル者ヲ以テ之ニ充テ通常毎年一回入校セシム

砲塔術練習下士官兵　砲塔術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ練習下士官ニ在リテハ概ネ十月、練習兵ニ在リテハ概ネ七月トス

通信術練習下士官兵　通信術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ七月トス

電燈術練習下士官兵　要塞電燈術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ五月トス

第四條　下士官候補者ハ各隊ヨリ分遣スル者ヲ以テ之ニ充テ重砲兵隊ノ下士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第五條　下士官候補者ノ教育綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第六條　下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱

教導除附
下士官候補者除附
村科廠附
准士官、下士官及判任文官
第十二條　校長ハ砲兵監ニ隷シ校務ヲ整理ス
第十三條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル
第十四條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル
第十五條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ職任ノ業務ヲ掌ル
第十六條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス
第十七條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス
第十八條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル表簿ノ寫其ノ他雜件ヲ整理シ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス
第十九條　教導除職員ノ服務ニ付テハ軍隊內務ノ定則ヲ準用ス
第二十條　教導除長ハ校長ノ命ヲ承ケ練習下士官兵ノ教育ヲ掌理ス
第二十條ノ二　下士官候補者除長ハ下士官候補者除ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ教育ヲ掌理ス
第二十條ノ三　下士官候補者除附ハ下士官候補者除長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル
第二十一條　村科廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル
第二十二條　村科廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス
村科廠附ハ村科廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス
第二十三條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス
第二十四條　學生ノ人員及入校期日ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告示ス
第二十五條　前條ノ告示アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校期日前ニ其ノ所屬部隊ヨリ官等及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且砲兵監ニ通報スベシ
第二十六條　學外居住者タル學生及練習下士官ハ校外ニ、學內居住者タル學生、練習下士官兵及下士官候補者ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得
第二十七條　學生、練習下士官兵及下士官候補者ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス
第二十八條　學生及練習下士官兵中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ砲兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシムル
退校セシメラレタル練習下士官兵ハ之ヲ簿除セシムル
第二十九條　下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス
第三十條　下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシムル
一　軍紀ヲ素リ又ハ屢法則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者
第三十一條　下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間內ニ修學セシムルコトヲ得
第三十二條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ、砲兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス
退校セシメラレンヌル下士官候補者ハ之ヲ簿除セシム
第三十三條　校長ハ學生及練習下士官兵ノ修學期末ニ於テ其ノ成績ヲ調製シ之ヲ砲兵監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ下士官以下ニハ修業證書ヲ付與シ學生及練習下士官兵ヲ簿除セシム
前項ノ場合ニ於テ砲兵監ハ教育總監ヲ經テ學生（下士官ノ學生ヲ除ク）ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス
第三十四條　校長ハ下士官候補者卒業ノ期ニ至リヌルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ砲兵監ヲ經テ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ之ヲ簿除セシム
前項ノ場合ニ於テ校長ハ各下士官候補者ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス
第三十五條　陸軍大臣ハ教育總監ノ通牒ニ依リ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十三條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス
第三十四條　學生ノ人員及入校期日ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告示ス
第三十五條　前條ノ告示アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校期日前ニ其ノ所屬部隊ヨリ官等及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且砲兵監ニ通報スベシ
第三十六條　學外居住者タル學生及練習下士官ハ校外ニ、學內居住者タル學生、練習下士官兵及下士官候補者ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得
第三十七條　學生、練習下士官兵及下士官候補者ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス
第三十八條　學生及練習下士官兵中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ砲兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシムル
退校セシメラレタル練習下士官兵ハ之ヲ簿除セシム
第三十九條　下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス
第四十條　下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシムル
一　軍紀ヲ素リ又ハ屢法則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

第三十六條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十七條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十一年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ陸軍重砲兵學校ノ練習生タル者ハ本令ニ依ル練習下士官又ハ練習兵ト爲リタルモノトス

●陸軍防空學校令

昭和十三年三月二十八日
軍令陸第三號

改正　昭和一四年第一二號

陸軍防空學校令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

陸軍防空學校令

第一條　陸軍防空學校ハ學生ニ地上防空ニ必要ナル學術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ併セテ地上防空ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行ヒ以テ地上防空教育ノ進歩ヲ圖リ且地上防空用兵器其ノ他ノ資材ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

陸軍防空學校ニ於テハ前項ノ外下士官候補者ニ高射砲兵隊ノ下士官ニ必要ナル教育ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ六種トシ通常毎年一回入校セシム

佐官學生　砲兵科中、少佐ヲ以テ之ニ充テ高射砲兵ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

甲種學生　砲兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ戰術竝ニ射撃及照空ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ七月トス

乙種學生　砲兵科大、中尉ヲ以テ之ニ充テ射撃ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ五月トス

丙種學生　砲兵科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ照空、通信又ハ化學戰ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ化學戰ノ學生ニ在リテハ概ネ三月、其ノ他ノ學生ニ在リテハ概ネ五月トス

丁種學生　砲兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ觀測其ノ他ノ學術ノ內所要ノ事項ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

特種學生　各兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ要地ノ防空ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ五月トス

必要ニ應ジ各兵科佐、尉官及下士官ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　下士官候補者ハ各隊ヨリ分遣スル者ヲ以テ之ニ充テ高射砲兵隊ノ下士官タルニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第四條　下士官候補者ノ教育綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第五條　下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ砲兵監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍防空學校ニ教育部ヲ置ク

第七條　地上防空ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲陸軍防空學校ニ研究部ヲ置ク

第八條　學生ノ教育竝ニ研究及試驗ニ充ツル爲陸軍防空學校ニ教導隊ヲ置キ高射砲兵隊ヨリ兵及所要ノ下士官ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第八條ノ二　下士官候補者ノ教育ヲ行フ爲陸軍防空學校ニ下士官候補者隊ヲ置ク

第九條　兵器ノ整備及研究竝ニ學生及下士官候補者等ノ實習ニ供スル爲陸軍防空學校ニ材料廠ヲ置ク

第十條　陸軍防空學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教官
研究部部員
研究部主事
教導隊長
教導隊副官
教導隊高射砲中隊長
教導隊機關砲中隊長
教導隊照空中隊長
教導隊附
下士官候補者隊長
下士官候補者隊附
材料廠長

第十一條　校長ハ砲兵監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十二條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十三條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十四條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十五條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十六條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十七條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十八條　教導隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊內務ノ定則ヲ準用ス

第十九條　下士官候補者隊長ハ下士官候補者隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ教育ヲ掌理ス

第十九條ノ二　下士官候補者隊附ハ下士官候補者隊長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十一條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十二條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十三條　學生ノ人員及入校期日ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十四條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定

材料廠附
准士官、下士官及判任文官

シ入校期日前ニ其ノ所屬部隊、官等及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且砲兵監ニ通報スルモノトス

第二十五條　營外居住者タル學生ハ校外ニ、營内居住者タル學生及下士官候補者ハ校内ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十六條　學生及下士官候補者ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十七條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ砲兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第二十八條　下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十九條　下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者

第三十條　下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ倘望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第三十一條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ砲兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル下士官候補者ハ之ヲ豫除セシム

第三十二條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ砲兵監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ下士官ノ學生ヲ除ク）ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各學生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第三十三條　校長ハ下士官候補者卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ砲兵監ヲ經テ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ之ヲ豫除セシム

前項ノ場合ニ於テ校長ハ各下士官候補者ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル下士官候補者修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準シ之ヲ取扱フモノトス

第三十四條　陸軍大臣ハ教育總監ノ通牒ニ依リ臨時ニ各兵科將校以下ヲ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十五條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ隨附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十六條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍工兵學校令

昭和十一年七月二十七日
軍令陸第十號

改正　昭和一四年第一三號

廢陸軍工兵學校令ヲ改定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

陸軍工兵學校令

第一條　陸軍工兵學校ハ學生ニ工兵隊ニ必要ナル學術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ併セテ工兵ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行ヒ以テ工兵教育ノ進歩ヲ圖リ且工兵用兵器其ノ他ノ資材ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

陸軍工兵學校ニ於テハ前項ノ外下士官候補者ニ工兵科下士官ニ必要ナル教育ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ五種トシ通常毎年一回入校セシム

佐官學生　工兵科中、少佐ヲ以テ之ニ充テ工兵ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

甲種學生　工兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ戰術及教練ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　工兵科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ工兵技術又ハ化學戰ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ工兵技術ノ學生ニ在リテハ概ネ六月、化學戰ノ學生ニ在リテハ概ネ三月トス

丙種學生　工兵科中、少尉及下士官ヲ以テ之ニ充テ工兵隊ノ器材ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ四月トス

丁種學生　工兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ工兵技術ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

第三條　陸軍工兵學校ハ學生ニ工兵隊ニ必要ナル學術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ併セテ工兵ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行ヒ以テ工兵教育ノ進歩ヲ圖リ且工兵用兵器其ノ他ノ資材ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

陸軍工兵學校ニ於テハ前項ノ外下士官候補者ニ工兵科下士官ニ必要ナル教育ヲ行フ

第四條　學生ヲ分チテ左ノ五種トシ通常毎年一回入校セシム

佐官學生　工兵科中、少佐ヲ以テ之ニ充テ工兵ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

甲種學生　工兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ戰術及教練ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

乙種學生　工兵科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ工兵技術又ハ化學戰ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ工兵技術ノ學生ニ在リテハ概ネ六月、化學戰ノ學生ニ在リテハ概ネ三月トス

丙種學生　工兵科中、少尉及下士官ヲ以テ之ニ充テ工兵隊ノ器材ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ四月トス

丁種學生　工兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ工兵技術ニ關スル學術ヲ修習セシムル其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

第五條　下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ工兵監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍工兵學校ニ教育部ヲ置ク

第七條　工兵ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲陸軍工兵學校ニ研究部ヲ置ク

第八條　學生ノ教育竝ニ研究及試驗ニ充ツル爲陸軍工兵學校ニ教導隊ヲ置キ工兵隊ヨリ兵及所要ノ下士官ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第八條ノ二　下士官候補者ノ教育ヲ行フ爲陸軍工兵學校ニ下士官候補者隊ヲ置ク

第九條　兵器其ノ他ノ資材ノ整備及研究竝ニ學生及下士官候補者ノ實習ニ供スル爲陸軍工兵學校ニ材料廠ヲ置ク

第十條　陸軍工兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附

教官
研究部部員
研究部主事
教導隊長
教導隊副官
教導隊中隊長
教導隊附
下士官候補者隊長
下士官候補者隊副官
下士官候補者隊中隊長
下士官候補者隊附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第十一條　校長ハ工兵監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十二條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十三條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十四條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十五條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十六條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十七條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十八條　教導隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊內務ノ定則ヲ準用ス

第十九條　下士官候補者隊長ハ下士官候補者隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ教育ヲ掌理ス

第十九條ノ二　下士官候補者隊副官ハ下士官候補者隊長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十九條ノ三　下士官候補者隊中隊長ハ下士官候補者隊長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ教育ヲ擔任ス

第十九條ノ四　下士官候補者隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十一條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十二條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十三條　學生ノ人員及入校期日ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十四條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校期日前ニ其ノ所屬部隊、官等及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且工兵監ニ通報スベシ

第二十五條　營外居住者タル學生ハ校外ニ、營內居住者タル學生及下士官候補者ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十六條　學生及下士官候補者ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十七條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ工兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第二十八條　下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十九條　下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者

第三十條　下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第三十一條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ工兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル下士官候補者ハ之ヲ歸隊セシム

第三十二條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ工兵監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ下士官ノ學生ニハ修業證書ヲ付與シ學生ヲ歸隊セシム

前項ノ場合ニ於テ工兵監ハ教育總監ヲ經テ學生(下士官ノ學生ヲ除ク)ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各學生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第三十三條　校長ハ下士官候補者卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ工兵監ヲ經テ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ之ヲ歸隊セシム

前項ノ場合ニ於テ校長ハ各下士官候補者ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル下士官候補者修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第三十四條　陸軍大臣ハ教育總監ノ通牒ニ依リ臨時ニ各兵科(憲兵科ヲ除ク)將校以下ヲ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十五條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ隨附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十六條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十一年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍輜重兵學校令

昭和十五年十一月二十九日
軍令陸第三十二號

於陸軍輜重兵學校令ヲ制定シ之ヲ施行ヲ命ズ(陸軍大臣副署)

陸軍輜重兵學校令

第一條　陸軍輜重兵學校ハ學生ニ輜重兵部隊ニ必要ナル學術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ併セテ輜重兵部隊ニ關スル學術ノ調査及研究

ヲ行ヒ以テ輜重兵部隊ノ教育ノ進歩ヲ圖リ且輜重兵部隊用兵器其ノ他ノ資材ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

陸軍輜重兵學校ニ於テハ前項ノ外輜重兵部隊ノ下士官ト爲スヘキ下士官候補者ヲ教育シ且兵站ノ實務（主トシテ輸送ニ關スル事項）ニ關スル研究及必要ニ應ジ之カ教育ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ四種トシ通常毎年一回入校セシム

佐官學生　兵科中、少佐ヲ以テ之ニ充テ輜重兵部隊ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

甲種學生　兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ戰術、教練及陣中勤務ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ七月トス

乙種學生　兵科中、少尉ヲ以テ之ニ充テ自動車隊若ハ輓馭馬隊ニ關スル學術又ハ通信若ハ化學戰ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ自動車隊及輓馭馬隊ノ學生ニ在リテハ概ネ十月、通信ノ學生ニ在リテハ概ネ六月、化學戰ノ學生ニ在リテハ概ネ三月トス

丙種學生　兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ自動車隊若ハ輓馭馬隊ニ關スル學術又ハ通信若ハ化學戰ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

第三條　下士官候補者ハ各隊ヨリ分遣スル者ヲ以テ之ニ充テ輜重兵部隊ノ下士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第四條　陸軍大臣ハ教育總監ノ通牒ニ依リ臨時ニ兵科將校以下ヲ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　下士官候補者ノ教育綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第六條　下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ輜重兵監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第七條　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍輜重兵學校ニ教育部ヲ置ク

第八條　輜重兵部隊ニ關スル調査、研究及試驗竝ニ兵站ノ實務（主トシテ輸送ニ關スル事項）ニ關スル研究ヲ行フ爲陸軍輜重兵學校ニ研究部ヲ置ク

第九條　學生ノ教育竝ニ研究及試驗ニ充ツル爲陸軍輜重兵學校ニ教導隊ヲ置キ各隊ヨリ兵及所要ノ下士官ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第十條　下士官候補者ノ教育ヲ行フ爲陸軍輜重兵學校ニ下士官候補者隊ヲ置ク

第十一條　兵器ノ整備及研究竝ニ學生及下士官候補者ノ實習ニ供スル爲陸軍輜重兵學校ニ材料廠ヲ置ク

第十二條　陸軍輜重兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教官
研究部部員
研究部主事
教導隊長
教導隊副官
教導隊中隊長

教導隊附
下士官候補者隊長
下士官候補者隊附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第十三條　校長ハ輜重兵監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十四條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十五條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十六條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十七條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

校長ハ教官若干名ヲ指定シ校庭ニ關スル一切ノ業務ヲ掌ラシム

第十八條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十九條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第二十條　教導隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊内務ノ定則ヲ準用ス

第二十一條　下士官候補者隊長ハ下士官候補者隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ教育ヲ掌理ス

第二十二條　下士官候補者隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十三條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十四條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十五條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十六條　學生ノ人員及入校期日ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十七條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校期日前ニ其ノ所屬部隊、官等及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且輜重兵監ニ通報スヘシ

第二十八條　營外居住者タル學生ハ校外ニ、營内居住者タル學生及下士官候補者ハ校内ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十九條　學生及下士官候補者ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第三十條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ輜重兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第三十一條　下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第三十二條　下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者

第三十三條　下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尚望アリト認ムル者ハ之ヲ所要ノ期間滯

●陸軍戸山學校令

（勅令第三〇二號　昭和六年第一七號、八年第二〇二號、大正十四年六月二十八日改正）

陸軍戸山學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

（天皇、陸軍大臣、副署）

陸軍戸山學校令

第一條　陸軍戸山學校ハ學生ニ體操、劍術及喇叭譜等ノ訓練ヲ爲シ且軍業ニ關スル研究及試驗ヲ行ヒ並軍業手補ヲ爲シ兼テ教育ノ必要ナル教育ヲ爲シ且軍業ニ關スル調査研究及試驗ヲ行フ所トス

第二條　學生ヲ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　各兵科（憲兵科ヲ除ク）中少尉及下士官ヲ以テ之ニ充テ體操、劍術等ノ訓練ヲ爲サシムル其ノ修學期間ハ概ネ五月トシ通常毎年二回入校セシム

乙種學生　各除（憲兵除ク）ノ喇叭兵（喇叭長候補者ヲ含ム）ヲ以テ之ニ充テ喇叭譜ノ訓練ヲ爲サシムル其ノ修學期間ハ概ネ二月トシ通常毎年二回入校セシム

第三條　前條ノ外臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校ニ必要ノ學術ヲ修得セシムルコトヲ得

第四條　軍業生徒ハ軍業部ニ志願ノ者ヲ選抜シテ之ニ充テ軍業手補ヲ爲サシムル爲ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ期間ハ概ネ二年トス

第五條　學生ノ教育ニ任セシメ又ハ教育ノ爲ニ必要ナル研究ヲ爲サシムル爲本校ニ研究部ヲ置ク

第六條　體操、劍術、喇叭譜及軍業等ニ關スル調査研究及試驗ヲ行ハシムル爲本校ニ研究部ヲ置ク

第七條　乙種學生ノ訓練、軍業手補ノ養成竝軍業ニ關スル研究及試驗ニ充ツル爲本校ニ研究部ヲ置ク

第八條　學生除ハ甲種下士官學生及乙種學生ヲ以テ之ヲ組成ス

第九條　本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
幹事
教官
研究部部員
研究部主事
學生隊附
學生隊長
軍業隊附
軍業隊長

第十條　校長ハ教育總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十一條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育及研究ノ統一ヲ圖ル

第十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十三條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術ノ授業ヲ分擔ス

第十五條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ヲ分擔ス

第十六條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査研究及試驗ニ必ヘルル資料ノ蒐集整理ニ任シ且調査研究及試驗ヲ分擔ス

第十七條　學生除ハ甲種下士官學生及乙種學生ヲ以テ之ヲ組成ス

第十八條　學生除ハ本校ニ軍業除ヲ置ク

本令ハ昭和十五年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

學セシムルコトヲ得

第三十四條　前二條ノ規定ニ該當スル者ノ外重兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル下士官候補者ハ之ヲ除ス

第三十五條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績等ノ調製ヲ爲シ之ヲ重兵監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ下士官ノ學生ニハ修學證書ヲ附與シ學生ヲ除ス

前項ノ場合ニ於テ輜重兵監ハ教育總監ヲ經テ學生（下士官ノ外）ヲ除ス

ノ修業成績等ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各學生ノ修業成績證書ヲ本人ノ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第三十六條　校長ハ下士官候補者卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績證書ヲ調製シ之ヲ教育總監ヲ經テ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ附與シ之ヲ除ス

前項ノ場合ニ於テ校長ハ各下士官候補者ノ修業成績證書ヲ本人ノ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第三十七條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官ヲ職員ニ除キ附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十八條　校長ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ專屬シ其ノ軍除又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

第三十九條　校長ハ校務ニ關シ直接ニ陸軍大臣ニ具申スルコトヲ得

第四十條　校長ハ學生ニ對シ懲罰ヲ加フルコトヲ得

第四十一條　校長ハ第三十四條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ輜重兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル下士官候補者ハ之ヲ除ス

第四十二條　學生ノ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　各兵科（憲兵科ヲ除ク）中少尉及下士官ヲ以テ之ニ充テ體操、劍術等ノ訓練ヲ爲サシムル其ノ修學期間ハ概ネ五月トシ通常毎年二回入校セシム

乙種學生　各除（憲兵除ク）ノ喇叭兵（喇叭長候補者ヲ含ム）ヲ以テ之ニ充テ喇叭譜ノ訓練ヲ爲サシムル其ノ修學期間ハ概ネ二月トシ通常毎年二回入校セシム

第四十三條　前條ノ外臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校ニ必要ノ學術ヲ修得セシムルコトヲ得

第四十四條　軍業生徒ハ軍業部ニ志願ノ者ヲ選抜シテ之ニ充テ軍業手補ヲ爲サシムル爲ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ期間ハ概ネ二年トス

第四十五條　學生ノ教育ニ任セシメ又ハ教育ノ爲ニ必要ナル研究ヲ爲サシムル爲本校ニ研究部ヲ置ク

第四十六條　體操、劍術、喇叭譜及軍業等ニ關スル調査研究及試驗ヲ行ハシムル爲本校ニ研究部ヲ置ク

第四十七條　乙種學生ノ訓練、軍業手補ノ養成竝軍業ニ關スル研究及試驗ニ充ツル爲本校ニ研究部ヲ置ク

第四十八條　學生除ハ甲種下士官學生及乙種學生ヲ以テ之ヲ組成ス

第四十九條　本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
幹事
教官
研究部部員
研究部主事
學生隊附
學生隊長
軍業隊附
軍業隊長

第五十條　校長ハ教育總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第五十一條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育及研究ノ統一ヲ圖ル

第五十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第五十三條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術ノ授業ヲ分擔ス

第五十五條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ヲ分擔ス

第五十六條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査研究及試驗ニ必ヘルル資料ノ蒐集整理ニ任シ且調査研究及試驗ヲ分擔ス

第五十七條　學生除ハ甲種下士官學生及乙種學生ヲ以テ之ヲ組成ス

第五十八條　本校ニ軍業除ヲ置ク

第十八條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第十九條　學生及第三條ノ規定ニ依リ修學セシムル者ノ入員、入校期日及修學期間ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十條　前條ノ告達アリタルトキハ師團長（臺灣ニ在リテハ臺灣軍司令官以下同シ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校前ニ其ノ所屬部隊及官等級氏名ヲ教育總監ニ報告スヘシ

第二十一條　士官學生ハ校外ニ、下士官學生及軍樂生徒ハ校内ニ居住セシメ修學ニ要スル兵器、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十二條　學生及軍樂生徒ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十三條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修業ノ見込ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ教育總監ノ認可ヲ受ケ退校歸隊セシム

第二十四條　軍樂生徒中左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ教育總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

一　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者

二　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

三　品行不正ニシテ改悛ノ見込ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修業ニ堪ヘサル者

第二十五條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ學生ノ成績ヲ審查シ修業成績書ヲ調製シ教育總監ノ認可ヲ受ケ師團長ヲ經テ本人所屬ノ隊長ニ送付シ且甲種下士官學生ニハ學術修業證書ヲ付與ス

第二十六條　軍樂生徒卒業ノ期ニ至リタルトキハ校長ハ考科列序表ヲ定メ教育總監ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與ス

第二十七條　軍樂生徒中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修業期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得サル者ニシテ尚望アルモノハ教育總監ノ認可ヲ受ケ若干日數間之ヲ滯學セシムルコトヲ得

第二十八條　職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十九條　研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ師團長ニ稟議シ其ノ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

第三十條　官廳又ハ民間ヨリ體操、劍術等ノ指導ノ依頼アルトキハ第一條ノ規定ニ依ル業務ニ妨ナキ限リ教育總監ノ認可ヲ受ケ之ニ應スルコトヲ得

附　則

本令ハ大正十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ陸軍戸山學校條例ニ依ル體操科學生又ハ諳調學生タル者ハ各本令ニ依ル甲種學生又ハ乙種學生ト爲リタルモノトス

●陸軍教導學校令

昭和二年七月一日
勅令第二百十二號

改正　昭和八年第七〇號、一四年第五八〇號

陸軍教導學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍教導學校令

第一條　陸軍教導學校ハ歩兵科現役下士官ト爲スヘキ學生ヲ教育スル所トス

第二條　陸軍教導學校ハ左ノ三箇所ニ置ク

仙臺　豐橋　熊本

第三條　學生ノ教育綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第四條　學生ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ教育總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第五條　學生ハ下士官候補者タル歩兵科現役兵ニシテ所定ノ期間在營シタル者ヲ以テ之ニ充テ其ノ修業期間ハ概ネ一年トシ毎年一回入校セシム但シ初年兵ヲ二期ニ分チ入營セシムヘキ部隊ニ屬スル者ニ在リテハ毎年二回ニ分チ入校セシムルコトヲ得

第六條　陸軍教導學校ニ學生隊ヲ置キ學生ヲ以テ之ヲ編成ス

第七條　陸軍教導學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
學校附
學生隊長
學生隊副官
學生除中隊長
學生除機關銃隊長
學生除歩兵砲隊長
學生除附
准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ教育總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ擔任シ其ノ他擔任ノ業務ヲ掌ル但シ教育ノ擔任ニ關シテハ學生隊長ノ區處ヲ受ク

第十一條　學生隊長ハ學生隊ヲ統ヘ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌理ス

第十二條　學生隊副官ハ學生隊長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十三條　學生除中隊長、同機關銃隊長及同歩兵砲隊長ハ學生隊長ノ命ヲ承ケ教育ヲ擔任ス

第十四條　學生除附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第十五條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第十六條　武官タル職員ニハ便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第十七條　學生ハ校内ニ居住セシメ其ノ修業ニ要スル兵器、圖書、器具及消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

學生ノ兵器及被服ハ其ノ所屬隊ヨリ携行セシム

第十八條　學生ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第十九條　學生ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十條　學生ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修業ニ堪ヘサル者

五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者

第六節　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍科學校ニ左ノ職員ヲ置ク

陸軍科學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第七節　陸軍科學校ニ左ノ職員ヲ置ク

陸軍科學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第八節　教官ハ技長ヲシテ之ニ充テ技長ヲシテ學生ノ教育ヲ總理セシム

教官ハ技長ヲシテ之ニ充テ技長ヲシテ學生ノ教育ヲ總理セシム

第九節　教官ハ陸軍士官及判任文官ヲシテ之ニ充テ技長ノ指揮ヲ輔佐シ學生ノ教育ニ當ラシム

教官ハ陸軍士官及判任文官ヲシテ之ニ充テ技長ノ指揮ヲ輔佐シ學生ノ教育ニ當ラシム

第十節　副官ハ技長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

副官ハ技長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ全校ノ規律ヲ保チ學生ノ名簿ヲ調製シ教育ノ統一ヲ圖ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ全校ノ規律ヲ保チ學生ノ名簿ヲ調製シ教育ノ統一ヲ圖ル

第十二節　技長ハ陸軍士官ノ上官ノ命ヲ承ケ軍事學科、普通學科又ハ術科教育ノ分擔

技長ハ陸軍士官ノ上官ノ命ヲ承ケ軍事學科、普通學科又ハ術科教育ノ分擔

第十三節　教官ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

教官ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ學科ヲ修ム

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ學科ヲ修ム

第十五節　下士官及判任文官ハ技長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

下士官及判任文官ハ技長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十六節　學生ハ技外ニ居住シ學生ノ教育上必要アルトキハ技長ノ命ヲ承ケ技外ニ居住セシムル他ノ教官ヲシテ之ヲ補助シ又ハ技術ヲ教授セシム

學生ハ技外ニ居住シ學生ノ教育上必要アルトキハ技長ノ命ヲ承ケ技外ニ居住セシムル他ノ教官ヲシテ之ヲ補助シ又ハ技術ヲ教授セシム

第十七節　學生ハ技外ニ居住セシムル他ノ教官ヲシテ之ヲ監督セシム

學生ハ技外ニ居住セシムル他ノ教官ヲシテ之ヲ監督セシム

第十八節　學生ハ技外ニ居住セシムル他ノ教官ヲシテ之ヲ監督セシム

學生ハ技外ニ居住セシムル他ノ教官ヲシテ之ヲ監督セシム

第十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第二十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第三十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第三十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第三十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第三十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第三十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第三十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第三十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第三十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第三十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第三十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第四十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第四十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第四十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第四十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第四十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第四十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第四十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第四十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第四十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第四十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第五十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第六十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第六十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第六十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第六十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第六十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第六十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第六十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第六十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第六十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第六十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第七十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第八十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第八十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第八十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第八十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第八十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第八十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第八十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第八十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第八十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第八十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第九十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第九十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第九十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第九十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第九十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第九十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第九十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第九十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第九十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第九十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百二十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百二十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百二十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百二十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百二十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百二十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百二十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百二十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百二十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百二十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百三十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百三十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百三十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百三十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百三十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百三十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百三十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百三十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百三十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百三十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百四十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百四十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百四十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百四十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百四十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百四十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百四十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百四十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百四十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百四十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百五十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百五十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百五十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百五十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百五十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百五十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百五十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百五十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百五十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百五十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百六十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百六十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百六十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百六十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百六十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百六十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百六十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百六十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百六十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百六十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百七十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百七十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百七十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百七十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百七十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百七十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百七十六節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百七十七節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百七十八節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百七十九節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百八十節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百八十一節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百八十二節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百八十三節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百八十四節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第百八十五節　學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

學生ハ技長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ

附則

本令ハ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ陸軍砲工學校高等科學生タル者中本令ニ依ル技術科學生ト爲スベキモノハ陸軍大臣之ヲ命ズ

前項ノ者ヲ除クノ外本令施行ノ際現ニ陸軍砲工學校普通科學生又ハ高等科學生タル者ハ各本令ニ依ル普通科學生又ハ高等科學生ト爲リタルモノトス

●陸軍兵器學校令

昭和十一年七月二十九日
勅令第二百三十一號

改正　昭和一二年第三七六號、一三年第五三四號、一四年第六二四號、一五年第二六一號、第四九八號、一六年第七八六號

陸軍工科學校令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍兵器學校令

第一條　陸軍兵器學校ハ學生ニ技術又ハ兵器（航空兵器ヲ除ク以下之ニ同ジ）勤務ニ必要ナル學術ヲ修得セシメ豫備役ノ兵技將校又ハ兵技下士官ト爲スベキ幹部候補生及兵技下士官ト爲スベキ生徒竝ニ兵技兵ヲ教育シ且兵器勤務、兵器ノ活用及兵器ノ修理ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ所トス

第十一條　准士官、下士官及判任文官
第十二條　幹部候補生除副官ヲ置ク
第十三條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル
第十四條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ職任ノ職務ヲ掌ル
第十五條ノ二　教育部教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學生ノ學術教育ヲ分擔ス
第十五條ノ三　許可認定試驗ニ關スル事務ハ校長ノ命ヲ承ケ關主、許可及試驗ニ關スル事務ヲ分擔ス
第十五條ノ四　學生ノ關主、許可及試驗ニ關スル事務ハ校長ノ命ヲ承ケ學生ノ關主ニ關スル事務ヲ掌理ス
第十五條　學生除副官ハ學生除長ノ命ヲ承ケ學生除ノ庶務ヲ掌ル
第十五條ノ六　學生除附ハ學生除長ノ命ヲ承ケ各其ノ職任ノ職務ヲ掌ル
第十五條ノ七　幹部候補生除教官ハ幹部候補生除長ノ命ヲ承ケ幹部候補生ノ教育ヲ掌理ス
第十五條ノ八　幹部候補生除副官ハ幹部候補生除長ノ命ヲ承ケ幹部候補生除ノ庶務ヲ掌ル
第十五條ノ九　幹部候補生除教官ハ幹部候補生除長ノ命ヲ承ケ幹部候補生ノ學術教育ヲ分擔ス
第十五條ノ十　幹部候補生除中除長ハ幹部候補生除長ノ命ヲ承ケ幹部候補生ノ關育ヲ總任ス
第十五條ノ十一　幹部候補生除附ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ職任ノ業務ヲ掌ル
第十六條　生徒除長ハ生徒除ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ教育ヲ掌理ス
第十七條　生徒除副官ハ生徒除長ノ命ヲ承ケ生徒ノ庶務ヲ掌ル
第十七條ノ二　生徒除教官ハ生徒除長ノ命ヲ承ケ生徒ノ學術教育ヲ分擔ス
第十七條ノ三　生徒除大除長ハ大除ヲ統ベ生徒除長ノ命ヲ承ケ水ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル
第十七條ノ四　生徒除大除ノ庶務ヲ掌ル

第十一條　准士官、下士官及判任文官
第十二條　幹部候補生除校長ノ命ヲ承ケ幹部候補生ノ教育ヲ掌理シ校務ヲ整理ス
第三條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第四條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第五條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第六條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第七條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第八條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第九條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第十條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス

第十一條　准士官、下士官及判任文官
第十二條　幹部候補生除校長ノ命ヲ承ケ幹部候補生ノ教育ヲ掌理シ校務ヲ整理ス
第三條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第四條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第五條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第六條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第七條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第八條　生徒ハ陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第九條　實習ニ供スル爲陸軍士官學校ニ於テ修學期間ヲ經タル者ニ就キ之ヲ命ス
第十條　陸軍兵器學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第三條　生徒ハ兵技下士官ヲ志願シ召募試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充テ兵技下士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ且一年ヲ通シ常每年一回入校セシムルモノトス
第三條ノ二　幹部候補生ハ兵技將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ且一年ヲ通シ常每年一回入校セシムルモノトス
第四條　幹部候補生ハ兵技將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ且一年ヲ通シ常每年一回入校セシムルモノトス
第四條ノ二　幹部候補生ハ兵技將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ且一年ヲ通シ常每年一回入校セシムルモノトス
第五條　幹部候補生ハ兵技將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ且一年ヲ通シ常每年一回入校セシムルモノトス
第六條　幹部候補生ハ兵技將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ且一年ヲ通シ常每年一回入校セシムルモノトス
第七條　幹部候補生ハ兵技將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ且一年ヲ通シ常每年一回入校セシムルモノトス
第八條　幹部候補生ハ兵技將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ且一年ヲ通シ常每年一回入校セシムルモノトス
第九條　幹部候補生ハ兵技將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ且一年ヲ通シ常每年一回入校セシムルモノトス
第十條　幹部候補生ハ兵技將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシメ且一年ヲ通シ常每年一回入校セシムルモノトス

第三十四條　陸軍大臣ハ臨時ニ兵器學校（航空關係ノ教官ヲ除ク）及技術部將校ヲ以下ノ陸軍兵器學校ニ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル作學ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十五條　校長ハ每年己種學生ニ二十日以內、生徒ニ三週間以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十六條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官ヲルノ職員ニ他ノ部除附勤務ヲ命ジ又ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ノ爲生徒ニ必要ナル作業ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十七條　校長ハ學生、幹部候補生及生徒ノ教育上必要アルトキハ陸軍大臣ノ承認ヲ經テ陸軍ノ學校又ハ軍隊ノ除ヲ使用スルコトヲ得

階　級

本令ハ昭和十一年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

階　級（昭和十五年勅令第四百九十八號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ陸軍工科學校ノ甲種學生ヲルノ者ハ本令ニ依ル丙種學生トナル

他ノ勅令中陸軍工科學校トアルハ陸軍兵器學校ト、

階　級（昭和十六年勅令第七百八十六號）

本令ハ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ陸軍兵器學校ノ丙種學生及丁種學生ヲルノ者ハ夫々第二條ノ改正規定ニ依ル己種學生及戊種學生ト爲リヲルモノトス

●東京陸軍航空學校令

昭和十二年十月二十三日
勅令第五百九十九號

改正　昭和一三年勅百七一號、第七四六號、一五年第二九五號、第五〇二號、第五七九號

第一章　官制

第一條　東京陸軍航空學校ハ幹部候補生、學生及生徒ニ對シ航空ニ關スル教育ヲ爲ス

第二條　東京陸軍航空學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長　一人　陸軍大佐又ハ陸軍中佐

副官　一人　陸軍大尉又ハ陸軍中尉

教官　若干人　陸軍大佐、陸軍中佐又ハ陸軍少佐

教官　若干人　陸軍大尉又ハ陸軍中尉

教官　若干人　陸軍少尉又ハ陸軍大尉

教官　若干人　陸軍中尉又ハ陸軍少尉

教官　若干人　陸軍少尉

教育隊長　一人　陸軍大尉又ハ陸軍中尉

教育隊副官　一人　陸軍中尉又ハ陸軍少尉

教育隊大隊長　一人　陸軍少佐

教育除中除長
教育除附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第九條　校長ハ陸軍航空総監ニ隷シ校務ヲ掌理ス
第十條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教官ノ統一ヲ図ル
第十一條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル
第十二條　学校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各種任ノ業務ヲ掌ル
第十三條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ学科教育ヲ分掌ス但シ事決教官ニ關シテハ教育除長ノ區處ヲ承ク

第十四條　教育除長ハ教育除ヲ指揮シ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌理ス
第十五條　教育除副官ハ教育除長ノ命ヲ承ケ教育除ノ庶務ヲ掌ル
第十五條ノ二　教育除大除長ハ大除ヲ指揮シ教育除長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌ル
第十六條　教育除中除長ハ大除長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌任ス
第十七條　教育除附ハ上官ノ命ヲ承ケ各種任ノ業務ヲ掌ル
第十八條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル
第十九條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分掌ス
第二十條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ従事ス

第二十一條　生徒ハ校内ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得
第二十二條　生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十三條　生徒ハ情實ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ
第二十四條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム
一　軍紀ヲ素リ又ハ軍法ニ則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ悔悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傳染病病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外少年飛行兵タルニ適セズト認ムル者

第二十五條　生徒中傳染病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ於ケル學科ノ參考ヲ得ザル者ニシテ何等カノ方法ヲ以テスルモ之ヲ補フノ見込ナキ者ハ校長ノ意見ヲ具シ生徒ヲ退校セシムルコトヲ得

第二十六條　前二條ノ規定ニ該當スル者ヲ除クノ外校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空総監ヲ經テ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

第二十七條　校長ハ生徒中傳染病ニ罹リ又ハ罹ルノ疑アル者ニ對シ適當ノ處置ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十八條　陸軍大臣ハ陸時ニ兵科（當兵ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十九條　校長ハ生徒ニ每年三週間以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十條　校長ハ卒業者ノ日ヨリ宇都宮陸軍飛行學校、大刀洗陸軍飛行學校、熊谷陸軍飛行學校、所澤陸軍航空通信學校又ハ陸軍航空整備學校ノ生徒ヲ以テ補充スルコトヲ得

第三十一條　校長ハ卒業者中傳染病其ノ他ノ事故ニ因リ定期ニ入校シ難キ者ニ對シ相當ノ期間ヲ與フルコトヲ得

第三十二條　生徒ハ情實ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ
第三十三條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム
一　軍紀ヲ素リ又ハ軍法ニ則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ悔悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傳染病病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外少年飛行兵タルニ適セズト認ムル者

第三十四條　生徒ハ情實ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ
第三十五條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム
一　軍紀ヲ素リ又ハ軍法ニ則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ悔悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傳染病病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外少年飛行兵タルニ適セズト認ムル者

第三十六條　前二條ノ規定ニ該當スル者ヲ除クノ外校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空総監ヲ經テ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

第三十七條　校長ハ生徒中傳染病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ於ケル學科ノ參考ヲ得ザル者ニシテ何等カノ方法ヲ以テスルモ之ヲ補フノ見込ナキ者ハ校長ノ意見ヲ具シ生徒ヲ退校セシムルコトヲ得

第三十八條　陸軍航空総監ハ校長ヲシテ卒業者ニ對シ宇都宮陸軍飛行學校、大刀洗陸軍飛行學校、熊谷陸軍飛行學校、所澤陸軍航空通信學校又ハ陸軍航空整備學校ノ生徒ヲ以テ補充スルコトヲ得ル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十九條　校長ハ生徒ニ每年三週間以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第四十條　校長ハ卒業者ノ日ヨリ宇都宮陸軍飛行學校、大刀洗陸軍飛行學校、熊谷陸軍飛行學校、所澤陸軍航空通信學校又ハ陸軍航空整備學校ニ入校ノ日ニ至ルマデ卒業者中傳染病其ノ他ノ事故ニ因リ定期ニ入校シ難キ者ニ對シ相當ノ期間ヲ與フルコトヲ得但シ此ノ期間ニ於ケル生徒ノ身分ハ東京陸軍航空學校ニ屬ス

第四十一條　校長ハ陸軍航空総監ニ隷シ校務ヲ掌理シ教官ノ統一ヲ図ル
第四十二條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教官ノ統一ヲ図ル
第四十三條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル
第四十四條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各種任ノ業務ヲ掌ル
第四十五條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ学科教育ヲ分掌ス但シ事決教官ニ關シテハ教育除長ノ區處ヲ承ク

第四十六條　教育除中除長ハ大除長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌任ス
第四十七條　教育除附ハ上官ノ命ヲ承ケ各種任ノ業務ヲ掌ル
第四十八條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル
第四十九條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分掌ス
第五十條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ従事ス

第五十一條　生徒ハ校内ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得
第五十二條　生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第五十三條　生徒ノ教育綱領ハ陸軍航空総監之ヲ定ム
第五十四條　生徒ノ教育ハ陸軍航空総監ノ定ムル所ニ依リ其ノ實施ハ教育綱領ニ基キ校長之ヲ定ム

第五十五條　陸軍航空総監ハ校務ヲ總理ス

●宇都宮陸軍飛行學校令

勅令第五百七十九號
昭和十五年十月四日

第一條　宇都宮陸軍飛行學校ハ飛行機操縦ニ従事スル少年飛行兵及少年飛行兵トス
第二條　生徒ハ東京陸軍航空學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充テ飛行機操縦ノ教育ヲ爲スヘキ生徒ノ教育スル所トス
第三條　陸軍大臣ハ陸時ニ兵科（當兵ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得
第四條　生徒ノ教育綱領ハ陸軍航空総監之ヲ定ム

第一條　宇都宮陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク
校長
幹事
副官
學校附
教育除長
教育除副官
教育除中除長
教育除附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第二條　校長ハ陸軍大臣ノ指揮ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬ノ將校、下士官及兵ヲ統率ス
第三條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理ス
第四條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル
第五條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各種任ノ業務ヲ掌ル
第六條　教育除長ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌理ス
第七條　教育除副官ハ教育除長ノ命ヲ承ケ教育除ノ庶務ヲ掌ル
第八條　教育除中除長ハ大除長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌任ス
第九條　教育除附ハ上官ノ命ヲ承ケ各種任ノ業務ヲ掌ル
第十條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル
第十一條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分掌ス
第十二條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ従事ス

第十三條　生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第十一條　陸軍大臣ハ必要ニ應ジ大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第二十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二十一條　陸軍大臣ハ必要ニ應ジ大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第五十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第五十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第五十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第五十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第五十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第五十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第五十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第五十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第五十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第五十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第六十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第六十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第六十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第六十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第六十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第六十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第六十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第六十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第六十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第六十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第七十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第七十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第七十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第七十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第七十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第七十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第七十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第七十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第七十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第七十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第八十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第八十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第八十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第八十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第八十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第八十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第八十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第八十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第八十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第八十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第九十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百二十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百二十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百二十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百二十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百二十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百二十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百二十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百二十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百二十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百二十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百三十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百三十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百三十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百三十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百三十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百三十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百三十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百三十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百三十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百三十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百四十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百四十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百四十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百四十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百四十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百四十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百四十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百四十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百四十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百四十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百五十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百五十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百五十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百五十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百五十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百五十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百五十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百五十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百五十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百五十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百六十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百六十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百六十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百六十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百六十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百六十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百六十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百六十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百六十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百六十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百七十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百七十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百七十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百七十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百七十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百七十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百七十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百七十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百七十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百七十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百八十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百八十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百八十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百八十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百八十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百八十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百八十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百八十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百八十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百八十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百九十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百九十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百九十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百九十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百九十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百九十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百九十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百九十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百九十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第百九十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百二十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百二十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百二十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百二十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百二十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百二十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百二十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百二十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百二十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百二十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百三十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百三十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百三十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百三十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百三十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百三十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百三十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百三十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百三十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百三十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百四十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百四十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百四十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百四十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百四十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百四十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百四十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百四十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百四十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百四十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百五十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百五十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百五十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百五十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百五十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百五十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百五十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百五十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百五十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百五十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百六十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百六十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百六十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百六十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百六十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百六十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百六十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百六十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百六十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百六十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百七十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百七十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百七十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百七十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百七十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百七十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百七十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百七十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百七十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百七十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百八十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百八十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百八十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百八十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百八十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百八十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百八十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百八十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百八十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百八十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百九十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百九十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百九十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百九十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百九十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百九十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百九十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百九十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百九十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第二百九十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百二十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百二十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百二十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百二十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百二十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百二十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百二十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百二十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百二十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百二十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百三十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百三十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百三十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百三十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百三十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百三十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百三十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百三十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百三十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百三十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百四十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百四十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百四十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百四十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百四十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百四十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百四十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百四十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百四十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百四十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百五十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百五十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百五十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百五十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百五十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百五十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百五十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百五十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百五十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百五十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百六十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百六十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百六十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百六十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百六十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百六十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百六十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百六十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百六十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百六十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百七十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百七十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百七十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百七十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百七十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百七十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百七十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百七十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百七十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百七十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百八十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百八十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百八十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百八十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百八十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百八十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百八十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百八十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百八十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百八十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百九十條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百九十一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百九十二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百九十三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百九十四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百九十五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百九十六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百九十七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百九十八條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第三百九十九條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四百條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四百一條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四百二條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四百三條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四百四條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四百五條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四百六條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第四百七條　大刀洗陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコト

第二十條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分掌ス

第二十一條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十二條　第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員、召集期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十三條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ召集期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十四條　生徒ハ校内ニ居住セシム

少年飛行兵及生徒ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十五條　生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十六條　生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十七條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外少年飛行兵タルニ適セズト認ムル者

第二十八條　生徒中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ倘望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ生徒ト爲スコトヲ得

第二十九條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ヲ經テ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

第三十條　校長ハ生徒卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與ス

滯學セシメラレタル生徒修學ヲ終リタルトキハ前項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第三十一條　校長ハ生徒ニ毎年三週間以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十二條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ職員ニ除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十三條　校長ハ教育上必要アルトキハ教育總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔輯一一五〕

●熊谷陸軍飛行學校令

昭和十年七月三十日
勅令第二百二十四號

改正　昭和一二年第六〇〇號、一三年第七四七號、一五年第二九六號、第五〇一號

廢熊谷陸軍飛行學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

熊谷陸軍飛行學校令

第一條　熊谷陸軍飛行學校ハ飛行機操縱ニ從事スル少年飛行兵及少年飛行兵ト爲スベキ生徒ヲ教育シ且飛行機操縱ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ所トス

第二條　生徒ハ東京陸軍航空學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充テ飛行機操縱ニ從事スル少年飛行兵タルニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ飛行機操縱ニ關スル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　削除

第五條　生徒ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第六條　生徒ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第七條　飛行機操縱ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行ハシムル爲熊谷陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

第八條　少年飛行兵、生徒及第三條ノ規定ニ依リ召集シタル者ノ教育ヲ行フ爲熊谷陸軍飛行學校ニ教育隊ヲ置ク

第九條　兵器ノ修理竝ニ少年飛行兵及生徒ノ實習ニ供スル爲熊谷陸軍飛行學校ニ材料廠ヲ置ク

第九條ノ二　陸軍大臣ハ必要ニ應ジ熊谷陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第十條　熊谷陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教育隊長
教育隊副官
教育隊大隊長
教育隊中隊長
教育隊附
研究部部員
研究部主事
材料廠長
材料廠附

〔輯一一五〕

准士官、下士官及判任文官
分教所ヲ置キタル場合ニ於テハ分教所長ハ將校タル前項ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ

第十一條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十二條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十三條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十四條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十五條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條ノ二　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條ノ三　教育隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊内務ノ定則ヲ準用ス

第十六條　教育隊長ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌理ス

第十七條　教育隊大隊長ハ教育隊長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌ル

第十八條　教育隊中隊長ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ擔任ス

第十九條　教育隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十一條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十二條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十三條　生徒ハ校内ニ居住セシム
少年飛行兵及生徒ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十四條　生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十五條　生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十六條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム
一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外少年飛行兵タルニ適セズト認ムル者

第二十七條　削除

第二十八條　生徒中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尚望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ生徒ト爲スコトヲ得

第二十九條　第二十六條又ハ前條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ヲ經テ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

第三十條　校長ハ生徒卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與ス
滯學セシメラレタル生徒修學ヲ終リタルトキハ前項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第三十一條　校長ハ生徒ニ毎年三週間以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十二條　第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員、召集期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第三十三條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長）ハ修學ニ適當ナル者ヲ

選定シ召集期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第三十四條　職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十五條　教育上必要アルトキハ校長ハ教育總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年勅令第六十八號ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ昭和八年勅令第六十八號ニ依ル操縱生徒タル者ハ本令ニ依ル相當年ノ操縱生徒ト爲リタルモノトス

附　則（昭和十二年勅令第六百號）

本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依ル操縱生徒タル者ハ本令ニ依ル相當年ノ操縱生徒ト爲リタルモノトス

當分ノ内熊谷陸軍飛行學校ニ於テハ特種學生ニ航法又ハ氣象ニ關スル學術ヲ修得セシメ且航法及氣象ニ關スル學術竝ニ航空兵器ノ調査、研究竝ニ試驗ヲ行フ

前項ノ特種學生ハ航空兵科尉官及下士官ヲ以テ之ニ充テ通常航法ニ付テハ尉官ヲ毎年一回、氣象ニ付テハ尉官及下士官ヲ毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

附　則（昭和十五年勅令第二百九十六號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依ル第一年次操縱生徒タル者ハ本令ニ依ル生徒ト爲リタルモノトシ本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依ル特種生徒タル者ハ第二條ノ二ニ規定スル者ト爲リタルモノトス

●岐阜陸軍飛行學校令

昭和十五年八月一日
勅令第五百號

朕岐阜陸軍飛行學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

岐阜陸軍飛行學校令

第一條　岐阜陸軍飛行學校ハ操縱候補生及飛行機操縱ニ從事スベキ下士官候補者ヲ教育スル所トス

第二條　操縱候補生ハ各隊ヨリ分遣スル操縱候補生ヲ以テ之ニ充テ飛行機操縱ニ從事スル豫備役將校タルニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

第三條　下士官候補者ハ各隊ヨリ分遣スル陸軍補充令第八十三條第一項ノ下士官候補者ヲ以テ之ニ充テ飛行機操縱ニ從事スル豫備役下士官タルニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

第四條　陸軍大臣ハ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　操縱候補生及下士官候補者ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第六條　操縱候補生及下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ

前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第七條　操縱候補生、下士官候補者及第四條ノ規定ニ依リ召集シタル者ノ教育ヲ行フ爲岐阜陸軍飛行學校ニ教育隊ヲ置ク

第八條　兵器ノ修理竝ニ操縱候補生及下士官候補者ノ實習ニ供スル爲岐阜陸軍飛行學校ニ材料廠ヲ置ク

第九條　陸軍大臣ハ必要ニ應ジ岐阜陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第十條　岐阜陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教育隊長
教育隊副官
教育隊中隊長
教育隊附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

分教所ヲ置キタル場合ニ於テハ分教所長ハ將校タル前項ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ

第十一條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十二條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育ノ統一ヲ圖ル

第十三條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十四條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第十五條　教育隊長ハ教育隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌理ス

第十六條　教育隊副官ハ教育隊長ノ命ヲ承ケ教育隊ノ庶務ヲ掌ル

第十七條　教育隊中隊長ハ教育隊長ノ命ヲ承ケ教育ヲ擔任ス

第十八條　教育隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第十九條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十一條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十二條　第四條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員、召集期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十三條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ召集期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十四條　操縱候補生及下士官候補者ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十五條　操縱候補生及下士官候補者ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十六條　操縱候補生及下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十七條　操縱候補生及下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ忍ビ難キ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外操縱候補生ニ在リテハ豫備役ノ幹部、下士官候補者ニ在リテハ豫備役下士官タルニ適セズト認ムル者

第二十八條　操縱候補生及下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ倚望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第二十九條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル操縱候補生及下士官候補者ハ之ヲ歸隊セシム

第三十條　校長ハ操縱候補生又ハ下士官候補者卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ之ヲ歸隊セシム

前項ノ場合ニ於テ陸軍航空總監ハ操縱候補生ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各操縱候補生又ハ下士官候補者ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル操縱候補生又ハ下士官候補者修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第三十一條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ職員ニ除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十二條　校長ハ教育上必要アルトキハ教育總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ熊谷陸軍飛行學校ニ在學スル操縱候補生又ハ陸軍補充令第八十三條第一項ノ下士官候補者ハ各本令ニ依ル操縱候補生又ハ下士官候補者ト爲リタルモノトス

●水戸陸軍飛行學校令

昭和十三年七月一日
勅令第四百六十九號

改正　昭和一三年第七四八號、一五年第二九七號・第五〇二號

第一條　水戸陸軍飛行學校ハ學生ニ航空關係ノ火器及對空射撃ニ關スル學術ヲ修得セシメ戰技其ノ他ニ從事スル少年飛行兵及航空兵科現役下士官ト爲スベキ下士官候補者ヲ敎育シ且火器、對空射撃等ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ所トス

水戸陸軍飛行學校ニ於テハ前項ノ外航空ニ關スル地上勤務ニ從事スベキ航空兵科幹部候補生ニ必要ナル敎育ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ四種トシ通常每年二回入校セシム

甲種學生　航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ飛行機用火器ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ對空火器ニ關スル學術ヲ修習

セシム其ノ修業期間ハ概ネ六月トス

丙種學生　航空兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ飛行機用火器ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ四月トス

丁種學生　航空兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ對空火器ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ四月トス

必要ニ應ジ他兵科（憲兵科ヲ除ク）ノ尉官及下士官ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　幹部候補生ハ各隊ヨリ分遣スル航空兵科甲種幹部候補生ヲ以テ之ニ充テ飛行機ノ武裝、自動車又ハ高射機關銃（高射機關砲ヲ含ム以下之ニ同ジ）ニ關スル學術ヲ修習セシム通常毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ飛行機ノ武裝ニ關スル學術ヲ修習セシム者ニ在リテハ概ネ一年、自動車又ハ高射機關銃ニ關スル學術ヲ修習スル者ニ在リテハ概ネ六月トス

第四條　下士官候補者ハ各隊ヨリ分遣スル航空兵科下士官候補者ヲ以テ之ニ充テ飛行機ノ武裝、自動車又ハ高射機關銃ニ關スル學術ヲ修習セシム通常毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ飛行機ノ武裝ニ關スル學術ヲ修習スル者ニ在リテハ概ネ一年、自動車又ハ高射機關銃ニ關スル學術ヲ修習スル者ニ在リテハ概ネ六月トス

第五條　陸軍大臣ハ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第六條　幹部候補生及下士官候補者ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第七條　幹部候補生及下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第八條　學生ノ教育ヲ行フ爲水戸陸軍飛行學校ニ教育部ヲ置ク

第九條　火器、對空射撃等ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲水戸陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

第十條　少年飛行兵、幹部候補生及下士官候補者ノ教育ヲ行フ爲水戸陸軍飛行學校ニ教育隊ヲ置ク

第十一條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生、少年飛行兵、幹部候補生及下士官候補者ノ實習ニ供スル爲水戸陸軍飛行學校ニ材料廠ヲ置ク

第十二條　水戸陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教官
研究部部員
研究部主事
教育隊長
教育隊副官
教育隊中隊長
教育隊附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第十三條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十四條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統

第十五條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十六條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十七條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十八條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十九條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資材ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十九條ノ二　教育隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊内務ノ定則ヲ準用ス

第二十條　教育隊長ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌理ス

第二十一條　削除

第二十二條　教育隊中隊長ハ教育隊長ノ命ヲ承ケ教育ヲ擔任ス

第二十三條　教育隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十四條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十五條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十六條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十七條　學生及第五條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十八條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十九條　營外居住者タル學生ハ校外ニ、營内居住者タル學生、幹部候

補生及下士官候補者ハ校内ニ居住セシム

學生、少年飛行兵、幹部候補生及下士官候補者ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第三十條　學生、幹部候補生及下士官候補者ノ願届其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第三十一條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第三十二條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尚望アリト認ムルモノハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第三十三條　幹部候補生及下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第三十四條　幹部候補生及下士官候補者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外幹部候補生ニ在リテハ豫備役ノ幹部、下士官候補者ニ在リテハ現役下士官タルニ適セズト認ムル者

第三十五條　下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尚望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第三十六條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸

軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル幹部候補生及下士官候補者ハ之ヲ歸除セシム

第三十七條　校長ハ學生又ハ下士官候補者ノ修學期末ニ於テ學生又ハ下士官候補者ノ成績ヲ審査シ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ下士官タル學生ニハ修業證書ヲ、下士官候補者ニハ卒業證書ヲ付與シ學生及下士官候補者ヲ歸除セシム

前項ノ場合ニ於テ陸軍航空總監ハ學生（下士官タル學生ヲ除ク）ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ學生又ハ下士官候補者ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第三十八條　校長ハ幹部候補生卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ之ヲ歸除セシム

前項ノ場合ニ於テ陸軍航空總監ハ幹部候補生ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各幹部候補生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第三十九條　削除

第四十條　職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十一條　研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ教育總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍除ヲ使用スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則（昭和十五年勅令第二百九十七號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依ル第一年次通信生徒タル者ハ本令ニ依ル生徒ト爲リタルモノトス

●陸軍航空通信學校令

昭和十五年八月一日
勅令第四百九十九號

陸軍航空通信學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

第一條　陸軍航空通信學校ハ學生ニ航空關係ノ通信ニ關スル學術ヲ修得セシメ通信ニ從事スル少年飛行兵及少年飛行兵ト爲スベキ生徒竝ニ航空關係ノ通信ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ所トス

陸軍航空通信學校ニ於テハ前項ノ外戰技其ノ他ニ從事スル少年飛行兵ニ必要ナル航空關係ノ通信ニ關スル教育ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ五種トシ丁種學生ニ在リテハ通常每年二回、其ノ他ノ學生ニ在リテハ通常每年一回入校セシム

甲種學生　航空兵科ノ少佐又ハ大尉ヲ以テ之ニ充テ航空通信部隊ニ必要ナル戰術、教練、陣中勤務等ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　陸軍航空士官學校生徒ノ課程ヲ卒業シタル航空兵科尉官ヲ

以テ之ニ充テ通信ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ一年トス其ノ課程ヲ普通科ト稱ス

前項ノ課程ヲ終リタル者ノ中ヨリ陸軍航空總監ノ選拔シタル二分ノ一以內ノ者ヲ更ニ概ネ一年在學セシメ尙須要ナル學術ヲ修習セシム其ノ課程ヲ高等科ト稱ス

丙種學生　陸軍航空士官學校學生ノ課程ヲ卒業シタル航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ航空通信部隊ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ八月トス

丁種學生　航空兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ主トシテ航空通信部隊ノ下士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

特種學生　航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ暗號書ノ作製及取扱竝ニ暗號勤務ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ四月トス但シ陸軍航空總監ハ修學ヲ終リタル學生ノ中ヨリ校長ノ選拔シタル若干名ノ者ヲ長期學生ト爲シ更ニ二月以內在學セシメ暗號ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシムルコトヲ得

必要ニ應ジ他兵科（憲兵科ヲ除ク）ノ尉官及下士官ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　生徒ハ東京陸軍航空學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充テ通信ニ從事スル少年飛行兵タルニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第四條　幹部候補生ハ各隊ヨリ分遣スル航空兵科甲種幹部候補生ヲ以テ之ニ充テ航空兵科豫備役將校ニ必要ナル通信ニ關スル學術ヲ修習セシム通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第三輯　官規　第一章　官制　第十款　陸軍省及陸軍所管

第五條　下士官候補者ハ各隊ヨリ分遣スル航空兵科下士官候補者ヲ以テ之ニ充テ通信ニ從事スル航空兵科現役下士官タルニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第六條　陸軍大臣ハ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第七條　生徒、幹部候補生及下士官候補者ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第八條　生徒、幹部候補生及下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第九條　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍航空通信學校ニ教育部ヲ置ク

第十條　通信ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲陸軍航空通信學校ニ研究部ヲ置ク

第十一條　少年飛行兵、生徒、幹部候補生及下士官候補者ノ教育ヲ行フ爲陸軍航空通信學校ニ教育隊ヲ置ク

第十二條　學生ノ教育竝ニ通信ニ關スル研究及試驗ニ資スル爲陸軍航空通信學校ニ教導隊ヲ置キ各隊ヨリ兵ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第十三條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生、少年飛行兵、生徒、幹部候補生及下士官候補者ノ實習ニ供スル爲陸軍航空通信學校ニ材料廠ヲ置ク

第十四條　陸軍航空通信學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附

教官
研究部部員
研究部主事
教育隊長
教育隊副官
教育隊中隊長
教育隊附
教導隊長
教導隊副官
教導隊中隊長
教導隊附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第十五條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十六條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十八條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第十九條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第二十條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第二十一條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第二十二條　教育隊及教導隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊內務ノ定則ヲ準用ス

第二十三條　教育隊長ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌理ス

第二十四條　教育隊中隊長ハ教育隊長ノ命ヲ承ケ教育ヲ擔任ス

第二十五條　教育隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十六條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十七條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十八條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十九條　學生及第六條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第三十條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第三十一條　管外居住者タル學生ハ校外ニ、管內居住者タル學生、生徒、幹部候補生及下士官候補者ハ校內ニ居住セシム

學生、少年飛行兵、生徒、幹部候補生及下士官候補者ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第三十二條　學生、幹部候補生及下士官候補者ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第三十三條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第三十四條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第三十五條　生徒、幹部候補生及下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第三十六條　生徒、幹部候補生及下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外生徒ニ在リテハ少年飛行兵、幹部候補生ニ在リテハ豫備役ノ幹部、下士官候補者ニ在リテハ現役下士官タルニ適セズト認ムル者

第三十七條　生徒及下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ生徒ニ在リテハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ生徒ト爲シ、下士官候補者ニ在リテハ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第三十八條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ生徒ニ在リテハ陸軍航空總監ヲ經テ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ、其ノ他ノ者ニ在リテハ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル幹部候補生及下士官候補者ハ之ヲ歸隊セシム

第三十九條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ之ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第四十條　校長ハ生徒、幹部候補生又ハ下士官候補者卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ幹部候補生及下士官候補者ニ在リテハ之ヲ歸隊セシム

前項ノ場合ニ於テ陸軍航空總監ハ學生（下士官タル學生ヲ除ク）ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各學生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル學生修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第四十條　校長ハ生徒、幹部候補生又ハ下士官候補者卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ幹部候補生及下士官候補者ニ在リテハ之ヲ歸隊セシム

前項ノ場合ニ於テ陸軍航空總監ハ幹部候補生ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各幹部候補生又ハ下士官候補者ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル生徒又ハ下士官候補者修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第四十一條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ職員ニ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十二條　校長ハ每年乙種學生ニ二十日以內、生徒ニ三週間以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第四十三條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ教育總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ水戸陸軍飛行學校ニ在學スル少年飛行兵タル者（戰技其ノ他ニ從事スル少年飛行兵タル者ヲ除ク）又ハ生徒タル者ハ各本令ニ依ル少年飛行兵又ハ生徒ト爲リタルモノトス

●陸軍航空整備學校令

昭和十三年七月一日
勅令第四百七十號

改正　昭和一三年第七四九號、一五年第二九八號、第五〇四號、第六五九號

陸軍航空整備學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍航空整備學校令

第一條　陸軍航空整備學校ハ學生ニ航空兵器ノ整備ニ關スル學術ヲ修得セシメ航空兵器ノ整備ニ從事スル少年飛行兵及少年飛行兵ト爲スヘキ生徒ヲ教育シ且航空兵器ノ整備ノ實施ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ所トス

第七條　陸軍航空整備學校ニ少年飛行兵及生徒ノ教育ヲ行フ（第一教育除ク、學生及幹部候補生ノ教育ヲ行フ（第二教育除ヲ置ク

第八條　兵器ノ修理竝ニ學生、少年飛行兵、生徒及幹部候補生ノ實習ニ供スル爲陸軍航空整備學校ニ材料廠ヲ置ク

第九條　陸軍航空整備學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
研究部員
研究部主事
第一教育除長
第一教育除副官
第一教育除大隊長
第一教育除中隊長
第一教育除附
第二教育除長
第二教育除副官
第二教育除中隊長
第二教育除附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第十條　校長ハ陸軍航空整備學校ノ幹事ヲ、學生及幹部候補生ノ教育ヲ行フ（第一教育除ヲ、學生及幹部候補生ノ教育ヲ行フ（第二教育除ヲ置ク

第十一條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ掌理ス

第十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十三條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ職任ノ事務ヲ掌ル

第十三條ノ二　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ三　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ四　第一教育除學生ノ分隊ニ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ關スル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿六月トス

乙種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ必要ナル其ノ學術ヲ修得セシムル通常每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條　生徒ハ東京陸軍航空學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ從事スル少年飛行兵タルニ必要ナル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條ノ二　幹部候補生ハ各隊ヨリ分遣スル兵科甲種幹部候補生ヲ以テ航空兵器ノ整備又ハ航空技術部候補生ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ於テ前項ノ學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス、但シ幹部候補生ニ在リテハ其ノ期間ヲ滿六月トスルコトヲ得

第四條　陸軍大臣ハ隨時ニ兵科（憲兵ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　生徒及幹部候補生ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第六條　生徒及幹部候補生ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條ノ二　航空兵器ノ整備ノ實施ニ關スル學術ノ研究及試驗ヲ行フ爲陸軍航空整備學校ニ研究部ヲ置ク

第十條　校長ハ陸軍航空整備學校ノ幹事ヲ、學生及幹部候補生ノ教育ヲ行フ（第一教育除ク、研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十一條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ掌理ス

第十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十三條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ職任ノ事務ヲ掌ル

第十三條ノ二　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ三　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ四　第一教育除學生ノ分隊ニ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ關スル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿六月トス

乙種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ必要ナル其ノ學術ヲ修得セシムル通常每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條　生徒ハ東京陸軍航空學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ從事スル少年飛行兵タルニ必要ナル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條ノ二　幹部候補生ハ各隊ヨリ分遣スル兵科甲種幹部候補生ヲ以テ航空兵器ノ整備又ハ航空技術部候補生ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ於テ前項ノ學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス、但シ幹部候補生ニ在リテハ其ノ期間ヲ滿六月トスルコトヲ得

第四條　陸軍大臣ハ隨時ニ兵科（憲兵ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　生徒及幹部候補生ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第六條　生徒及幹部候補生ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條ノ二　航空兵器ノ整備ノ實施ニ關スル學術ノ研究及試驗ヲ行フ爲陸軍航空整備學校ニ研究部ヲ置ク

第七條　陸軍航空整備學校ニ少年飛行兵及生徒ノ教育ヲ行フ爲第一教育除ク、學生及幹部候補生ノ教育ヲ行フ爲第二教育除ヲ置ク

第八條　兵器ノ修理竝ニ學生、少年飛行兵、生徒及幹部候補生ノ實習ニ供スル爲陸軍航空整備學校ニ材料廠ヲ置ク

第九條　陸軍航空整備學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
研究部員
研究部主事
第一教育除長
第一教育除副官
第一教育除大隊長
第一教育除中隊長
第一教育除附
第二教育除長
第二教育除副官
第二教育除中隊長
第二教育除附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第十條　校長ハ陸軍航空整備學校ノ幹事ヲ、學生及幹部候補生ノ教育ヲ行フ（第一教育除ク、研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十一條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ掌理ス

第十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十三條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ職任ノ事務ヲ掌ル

第十三條ノ二　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ三　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ四　第一教育除學生ノ分隊ニ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ關スル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿六月トス

乙種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ必要ナル其ノ學術ヲ修得セシムル通常每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條　生徒ハ東京陸軍航空學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ從事スル少年飛行兵タルニ必要ナル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條ノ二　幹部候補生ハ各隊ヨリ分遣スル兵科甲種幹部候補生ヲ以テ航空兵器ノ整備又ハ航空技術部候補生ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ於テ前項ノ學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス、但シ幹部候補生ニ在リテハ其ノ期間ヲ滿六月トスルコトヲ得

第四條　陸軍大臣ハ隨時ニ兵科（憲兵ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　生徒及幹部候補生ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第六條　生徒及幹部候補生ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條ノ二　航空兵器ノ整備ノ實施ニ關スル學術ノ研究及試驗ヲ行フ爲陸軍航空整備學校ニ研究部ヲ置ク

第十條　校長ハ陸軍航空整備學校ノ幹事ヲ、學生及幹部候補生ノ教育ヲ行フ（第一教育除ク、研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十一條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ掌理ス

第十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十三條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ職任ノ事務ヲ掌ル

第十三條ノ二　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ三　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ四　第一教育除學生ノ分隊ニ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ關スル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿六月トス

乙種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ必要ナル其ノ學術ヲ修得セシムル通常每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條　生徒ハ東京陸軍航空學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ從事スル少年飛行兵タルニ必要ナル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條ノ二　幹部候補生ハ各隊ヨリ分遣スル兵科甲種幹部候補生ヲ以テ航空兵器ノ整備又ハ航空技術部候補生ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ於テ前項ノ學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス、但シ幹部候補生ニ在リテハ其ノ期間ヲ滿六月トスルコトヲ得

第四條　陸軍大臣ハ隨時ニ兵科（憲兵ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　生徒及幹部候補生ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第六條　生徒及幹部候補生ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條ノ二　航空兵器ノ整備ノ實施ニ關スル學術ノ研究及試驗ヲ行フ爲陸軍航空整備學校ニ研究部ヲ置ク

第十條　校長ハ陸軍航空整備學校ノ幹事ヲ、學生及幹部候補生ノ教育ヲ行フ（第一教育除ク、研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十一條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ掌理ス

第十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十三條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ職任ノ事務ヲ掌ル

第十三條ノ二　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ三　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ四　第一教育除學生ノ分隊ニ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ關スル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿六月トス

乙種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ必要ナル其ノ學術ヲ修得セシムル通常每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條　生徒ハ東京陸軍航空學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ從事スル少年飛行兵タルニ必要ナル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條ノ二　幹部候補生ハ各隊ヨリ分遣スル兵科甲種幹部候補生ヲ以テ航空兵器ノ整備又ハ航空技術部候補生ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ於テ前項ノ學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス、但シ幹部候補生ニ在リテハ其ノ期間ヲ滿六月トスルコトヲ得

第四條　陸軍大臣ハ隨時ニ兵科（憲兵ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　生徒及幹部候補生ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第六條　生徒及幹部候補生ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條ノ二　航空兵器ノ整備ノ實施ニ關スル學術ノ研究及試驗ヲ行フ爲陸軍航空整備學校ニ研究部ヲ置ク

第十條　校長ハ陸軍航空整備學校ノ幹事ヲ、學生及幹部候補生ノ教育ヲ行フ（第一教育除ク、研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十一條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ掌理ス

第十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十三條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ職任ノ事務ヲ掌ル

第十三條ノ二　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ三　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ研究及試驗ノ統理ヲ掌ル

第十三條ノ四　第一教育除學生ノ分隊ニ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ關スル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿六月トス

乙種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官及航空兵器ノ整備ニ必要ナル其ノ學術ヲ修得セシムル通常每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條　生徒ハ東京陸軍航空學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ從事スル少年飛行兵タルニ必要ナル學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス

第三條ノ二　幹部候補生ハ各隊ヨリ分遣スル兵科甲種幹部候補生ヲ以テ航空兵器ノ整備又ハ航空技術部候補生ヲ以テ之ニ充テ航空整備學校ニ於テ前項ノ學術ヲ修習セシムル通常每年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ滿一年トス、但シ幹部候補生ニ在リテハ其ノ期間ヲ滿六月トスルコトヲ得

第四條　陸軍大臣ハ隨時ニ兵科（憲兵ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　生徒及幹部候補生ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第六條　生徒及幹部候補生ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條ノ二　航空兵器ノ整備ノ實施ニ關スル學術ノ研究及試驗ヲ行フ爲陸軍航空整備學校ニ研究部ヲ置ク

本令施行ノ際現ニ陸軍航空技術學校ノ生徒ト爲リヲル者ハ本令ニ依ル生徒ノ規定ニ依ル第一年次技術生徒ヲル者ハ本令ニ依ル生徒ト爲リヲルモノトス

●下志津陸軍飛行學校令

昭和十三年一月一日
軍令陸第一七號

改正 昭和二三年勅二四號、一五年第一四號、一六年第九號

陸下志津陸軍飛行學校令ヲ改定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

下志津陸軍飛行學校令

第一條　下志津陸軍飛行學校ハ學生ニ偵察飛行除ニ必要ナル學術ヲシテ共ニ之ヲ各除ニ普及シ併セテ偵察飛行除ニ關スル調査研究及試驗ヲ行フ爲下志津陸軍飛行除ニ置ク

第二條　學生ハ分ケテ左ノ四種トス

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ戰術及偵察ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縱術ヲ修得シタル航空關係ノ兵科將校下士官ヲ以テ之ニ充テ偵察飛行除操縱者ニ必要ナル學術ヲ修習セシムル爲每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

特種學生　航空關係ノ兵科將校下士官ヲ以テ之ニ充テ偵察ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ五月トス

丙種學生　航空關係ノ兵科將校下士官ヲ以テ之ニ充テ寫眞ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

必要ニ應ジ兵科（兵ヲ除ク）將校下士官ヲ以テ甲種、乙種又ハ特種學生ト爲ス

第三十條　校長ハ學生ノ修學期未ニ於テ學生ノ願出シ其ノ認可ヲ受ケ學生ニ修業成績證書ヲ付與シ之ヲ陸軍航空技術學校令ニ依ル相當年ノ生徒ト爲リヲルモノトス

前項ノ場合ニ於テ校長ハ學生ノ修業成績證書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第三十一條　校長ハ生徒ヲ各部隊ニ於ケル修業成績證書ヲ附與シ之ヲ陸軍航空技術學校令ニ依ル生徒ト爲リヲル者ハ本令施行ノ際現ニ陸軍航空技術學校令ノ規定ニ依ル生徒ヲル者ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十五年勅令第三百九十八號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十二條　校長ハ生徒ニ每年三週間以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十三條　職員ニ校ニ於ケル勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條　教官上必要アルトキハ校長ハ教官ヲ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ對シ其ノ校外ニ於ケル使用ヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍航空技術學校令ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ陸軍航空技術學校令ノ規定ニ依ル生徒ヲル者ハ本令ニ依ル生徒ト爲リヲルモノトス

第三十一條　校長ハ生徒ヲ各部隊ニ於ケル修業成績證書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ校長ハ學生ノ修業成績證書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第三十二條　校長ハ生徒ニ每年三週間以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十三條　職員ニ校ニ於ケル勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條　教官上必要アルトキハ校長ハ教官ヲ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ對シ其ノ校外ニ於ケル使用ヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍航空技術學校令ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ陸軍航空技術學校令ノ規定ニ依ル生徒ヲル者ハ本令ニ依ル生徒ト爲リヲルモノトス

第三十一條　校長ハ生徒ヲ各部隊ニ於ケル修業成績證書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ校長ハ學生ノ修業成績證書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第三十二條　校長ハ生徒ニ每年三週間以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十三條　職員ニ校ニ於ケル勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條　教官上必要アルトキハ校長ハ教官ヲ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ對シ其ノ校外ニ於ケル使用ヲ得

第三十五條　校長ハ學生ノ修學期未ニ於テ學生ノ願出シ其ノ認可ヲ受ケ學生ニ修業成績證書ヲ付與シ之ヲ陸軍航空技術學校令ニ依ル生徒ト爲リヲル者ニ對シ其ノ修業成績證書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第三十六條　陸軍大臣ハ必要ニ應ジ下志津陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置キヲル場合ハ分教所長ハ學校職員ヲル將校ヲ以テ之ニ充ツ

分教所ヲ置キヲル場合ハ分教所長ハ學校職員ヲル將校ヲ以テ之ニ充ツ

准士官、下士官及判任文官

第三十七條　兵器ノ修理及研究ニ學生ノ實習ニ供スル爲下志津陸軍飛行學校ニ材料廠ヲ置ク

第三十八條　下志津陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部主事

研究部部員

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第三十九條　校長ハ陸軍航空總監ニ隸シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ掌理ス

第四十條　學生ノ教育上必要アルトキハ校長ハ教官ヲ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ對シ其ノ校外ニ於ケル使用ヲ得

第四十一條　校長ハ陸軍航空總監ニ隸シ校務ヲ掌理ス

第四十二條　偵察飛行除ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲下志津陸軍飛行學校ニ教官ヲ置ク

第四十三條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第四十四條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第四十五條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル表科ノ寫集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第四十六條　削除

第四十七條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第四十八條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第四十九條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從ス

第五十條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）ハ入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第五十一條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官衙及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第五十二條　學外居住者ヌル學生（乙種學生ヲ除ク）ハ校外ニ、學內居住者ヌル下士官ノ學生ハ校內ニ居住セシメ、乙種學生ハ校內ニ起居セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スル外ニ於テ必要ノ修學始スルコトヲ得

第五十三條　學生ノ團體其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第五十四條　學生中傷病疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目的ヲ達シ得ザル者ハ

●明野陸軍飛行學校令

昭和十三年三月一日
軍令陸第十七號

改正　昭和二三年第二五號、一五年第二五號、一六年第一〇號

陸軍飛行學校令ヲ改定シ之ガ施行ヲ命ス（陸軍大臣副署）

明野陸軍飛行學校令

第一條　明野陸軍飛行學校ハ陸軍飛行學校ノ學生ニ對スル飛行教育ノ外飛行ニ關スル研究及試驗ヲ行ヒ又陸軍飛行學校ノ學生ニ對スル飛行教育ノ補助ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條　學生ヲ分チテ左ノ二種トシ適宜毎年一回入校セシム

甲種學生　航空兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ戰術及空中戰闘ニ關スル學術ノ修習ヲ爲サシムル爲ノ學生

乙種學生　新ニ飛行機操縱術ヲ修得シ又ハ航空關係ノ兵科將官及見習士官ヲ以テ之ニ充テ戰闘飛行除操縱者ニ必要ナル學術ヲ修得セシムル爲ノ學生

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（准士官ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲明野陸軍飛行學校ニ教育部ヲ置ク

第五條　戰闘飛行除ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲明野陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

第五條ノ二　陸軍大臣ハ必要ニ應シ明野陸軍飛行學校ニ分教所ヲ置クコトヲ得

第六條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲明野陸軍飛行學校ニ材料廠ヲ置ク

第七條　明野陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官

校長ハ其ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ繙任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル責任ノ範圍ニ屬スル事務ヲ整理且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從ヒ其ノ人名ヲ入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員ハ必要アルトキハ校長ノ意見ヲ聽キ陸軍大臣之ヲ定ム

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長以下之ニ準ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十條　甲種學生ハ校外ニ居住セシメ、乙種學生ハ校內ニ起居セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十一條　學生ノ區隊其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十二條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第二十三條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ飛行機操縱者ニ必要ナル學術ヲ修得シタルト認ムルモノハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第二十四條　校長ハ學生ノ修學期未ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍大臣ニ提出シ前項ノ場合ニ於テ陸軍航空總監ハ學生ヲ除隊セシム

校長ハ本人ノ所管長官ヲ經テ之ヲ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル學生修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第二十五條　職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十六條　研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ教育總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ協議シ其ノ學校又ハ軍除ヲ使用スルコトヲ得

●濱松陸軍飛行學校令

昭和十三年七月一日
軍令陸第十三號

改正　昭和一三年勅二六四、一五年勅二六七、一六年勅二一

廢濱松陸軍飛行學校令ヲ改定シ之ヲ施行ノ件ヲ定ム（陸軍大臣副署）

濱松陸軍飛行學校令

第一條　濱松陸軍飛行學校ハ學生ニ陸軍飛行（航空機ニ關スル術科ヲ謂フ以下之ニ同シ）ニ必要ナル學術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ併セテ陸軍飛行ニ關スル調査及研究ヲ行ヒ以テ陸軍飛行隊教育ノ進歩ヲ圖リ且陸軍飛行ニ必要ナル兵器ノ調査、研究及試驗ヲ行フ所トス

第二條　學生ヲ分チテ左ノ二種トシ通信每年一回入校セシム

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ陸軍飛行ニ關スル學術及操縱ニ必要ナル學術ヲ修得セシムル爲其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縱術ヲ修得シ航空關係ノ兵科將校及見習士官ヲ以テ之ニ充テ陸軍飛行隊操縱者ニ必要ナル學術ヲ修習セシムル爲其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲濱松陸軍飛行學校ニ教育部ヲ置ク

第五條　陸軍飛行隊ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲濱松陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ修理及研究並ニ學生ノ實習ニ供スル爲濱松陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
軍醫
教官
研究部部員
研究部主事
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第七條　濱松陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
軍醫
教官
研究部部員
研究部主事
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隸シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　軍醫ハ校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集並ニ研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ庶務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ陸軍航空本部及陸軍航空本部長所管ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同シ）ハ修學ニ關スル者ノ人員（必要アルトキハ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十條　甲種學生ハ校外ニ居住セシメ、乙種學生ハ校內ニ起居セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十一條　學生ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十二條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ亦故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ意由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第二十三條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ亦故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ校長其ノ亦由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第二十四條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ學生ヲ臨除セシムル前項ノ場合ニ於テ陸軍航空總監ハ學生ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ本人ノ所管長官ヲ經テ之ヲ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ準用スル學生修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ準用スルモノトス

第二十五條　職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ除附轉務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十六條　研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ教官ニ飛行隊長ニ察議シ其ノ學校又ハ軍除ヲ使用スルコトヲ得

附則（昭和十五年勅令第六十六號）

本令ハ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

現ニ戰術學生又ハ爆撃學生ナル者ハ仍從前ノ例ニ依ル

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ庶務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ陸軍航空本部及陸軍航空本部長所管ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同シ）ハ修學ニ關スル者ノ人員（必要アルトキハ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達スル者ノ人員（必要アルトキハ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達スル者ノ人員（必要アルトキハ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十條　甲種學生ハ校外ニ居住セシメ、乙種學生ハ校內ニ起居セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十一條　學生ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十二條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ亦故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ亦由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第二十三條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ亦故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ校長其ノ亦由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第二十四條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ學生ヲ臨除セシムル前項ノ場合ニ於テ陸軍航空總監ハ學生ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ本人ノ所管長官ヲ經テ之ヲ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ準用スル學生修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ準用スルモノトス

第二十五條　職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ除附轉務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十六條　研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ教官ニ飛行隊長ニ察議シ其ノ學校又ハ軍除ヲ使用スルコトヲ得

附則（昭和十五年勅令第六十六號）

本令ハ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

現ニ戰術學生又ハ爆撃學生ナル者ハ仍從前ノ例ニ依ル

●鉾田陸軍飛行學校令

昭和十五年七月十三日
軍令陸第十七號

改正　昭和一六年軍令二號

陸軍飛行學校令ヲ制定シ之ヲ施行ス

陸軍大臣　副署

鉾田陸軍飛行學校令

第一條　鉾田陸軍飛行學校ハ學生ニ輕爆撃飛行ニ必要ナル學術ヲ修得セシメ及研究ヲ行ヒ以テ輕爆撃飛行ニ關スル學術ノ調査、研究及試驗ヲ行フ所トス

鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長　陸軍飛行學校ニ在ル將官又ハ佐官

教官　學校附

副官

幹事

研究部主事

研究部部員

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第二條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第三條　幹事ハ校長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第四條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第五條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分掌ス

第六條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ亦務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十條　甲種學生ハ校内ニ起居セシメ、乙種學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ學生ヲ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ輕爆撃飛行ノ指揮統率ニ關スル學術及爆撃ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縦術ヲ修得シタル航空關係ノ兵科尉官及其ノ指揮官ノ任ニ充テ輕爆撃飛行機操縦者ニ必要ナル術ヲ修習セシムル爲毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ教官ヲ置ク

第五條　輕爆撃飛行ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

材料廠ヲ置ク

第七條　鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ亦務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十條　甲種學生ハ校内ニ起居セシメ、乙種學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ學生ヲ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ輕爆撃飛行ノ指揮統率ニ關スル學術及爆撃ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縦術ヲ修得シタル航空關係ノ兵科尉官及其ノ指揮官ノ任ニ充テ輕爆撃飛行機操縦者ニ必要ナル術ヲ修習セシムル爲毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ教官ヲ置ク

第五條　輕爆撃飛行ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

校長ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第七條　鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ亦務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十條　甲種學生ハ校内ニ起居セシメ、乙種學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ學生ヲ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ輕爆撃飛行ノ指揮統率ニ關スル學術及爆撃ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縦術ヲ修得シタル航空關係ノ兵科尉官及其ノ指揮官ノ任ニ充テ輕爆撃飛行機操縦者ニ必要ナル術ヲ修習セシムル爲毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ教官ヲ置ク

第五條　輕爆撃飛行ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

校長ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第七條　鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ亦務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十條　甲種學生ハ校内ニ起居セシメ、乙種學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ學生ヲ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ輕爆撃飛行ノ指揮統率ニ關スル學術及爆撃ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縦術ヲ修得シタル航空關係ノ兵科尉官及其ノ指揮官ノ任ニ充テ輕爆撃飛行機操縦者ニ必要ナル術ヲ修習セシムル爲毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ教官ヲ置ク

第五條　輕爆撃飛行ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

校長ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第七條　鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ亦務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十條　甲種學生ハ校内ニ起居セシメ、乙種學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ學生ヲ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ輕爆撃飛行ノ指揮統率ニ關スル學術及爆撃ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縦術ヲ修得シタル航空關係ノ兵科尉官及其ノ指揮官ノ任ニ充テ輕爆撃飛行機操縦者ニ必要ナル術ヲ修習セシムル爲毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ教官ヲ置ク

第五條　輕爆撃飛行ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

校長ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第七條　鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ亦務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十條　甲種學生ハ校内ニ起居セシメ、乙種學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ學生ヲ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ輕爆撃飛行ノ指揮統率ニ關スル學術及爆撃ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縦術ヲ修得シタル航空關係ノ兵科尉官及其ノ指揮官ノ任ニ充テ輕爆撃飛行機操縦者ニ必要ナル術ヲ修習セシムル爲毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ教官ヲ置ク

第五條　輕爆撃飛行ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

校長ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第七條　鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ亦務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十條　甲種學生ハ校内ニ起居セシメ、乙種學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ學生ヲ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ輕爆撃飛行ノ指揮統率ニ關スル學術及爆撃ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縦術ヲ修得シタル航空關係ノ兵科尉官及其ノ指揮官ノ任ニ充テ輕爆撃飛行機操縦者ニ必要ナル術ヲ修習セシムル爲毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ教官ヲ置ク

第五條　輕爆撃飛行ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

校長ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第七條　鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ亦務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十條　甲種學生ハ校内ニ起居セシメ、乙種學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ學生ヲ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ輕爆撃飛行ノ指揮統率ニ關スル學術及爆撃ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縦術ヲ修得シタル航空關係ノ兵科尉官及其ノ指揮官ノ任ニ充テ輕爆撃飛行機操縦者ニ必要ナル術ヲ修習セシムル爲毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ教官ヲ置ク

第五條　輕爆撃飛行ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

校長ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第七條　鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ亦務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十條　甲種學生ハ校内ニ起居セシメ、乙種學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ學生ヲ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ輕爆撃飛行ノ指揮統率ニ關スル學術及爆撃ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縦術ヲ修得シタル航空關係ノ兵科尉官及其ノ指揮官ノ任ニ充テ輕爆撃飛行機操縦者ニ必要ナル術ヲ修習セシムル爲毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ教官ヲ置ク

第五條　輕爆撃飛行ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

校長ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第七條　鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ亦務ニ從事ス

第十八條　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所轄ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スベシ

第二十條　甲種學生ハ校内ニ起居セシメ、乙種學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ學生ヲ分チテ左ノ二種トス

甲種學生　航空關係ノ兵科大尉ヲ以テ之ニ充テ輕爆撃飛行ノ指揮統率ニ關スル學術及爆撃ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縦術ヲ修得シタル航空關係ノ兵科尉官及其ノ指揮官ノ任ニ充テ輕爆撃飛行機操縦者ニ必要ナル術ヲ修習セシムル爲毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　陸軍大臣ハ臨時ニ將校（憲兵ノ者ヲ除ク）以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ教官ヲ置ク

第五條　輕爆撃飛行ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲鉾田陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

校長ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

第七條　鉾田陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務

●陸軍航空技術學校令

昭和十三年七月一日
軍令陸第十四號

改陸軍航空技術學校令ヲ制定シ之ヲ施行ス（陸軍大臣副署）

勅令第三百五號
昭和一三年第二七號、一五年第一八號

第一章　陸軍航空技術學校

第一條　陸軍航空技術學校ハ學生ニ航空技術ニ必要ナル學術ヲ修得セシメ且航空兵器ノ整備ノ基礎、補給等ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ所トス

第二章　學生

第二條　學生ヲ分チテ左ノ三種トシ通常毎年一回入校セシム

甲種學生　航空兵科ノ少佐又ハ大尉ヲ以テ之ニ充テ航空技術、航空兵器ノ整備、補給等ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシムル爲ノ修學期間ハ六月トス

乙種學生　陸軍航空士官學校生徒ノ課程ヲ卒業シタル航空兵科將校ニシテ航空技術ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲ノ修學期間ハ一年トス之ヲ普通科ト稱ス

以テ之ニ充テ航空技術ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲ノ修學期間ハ一年トス

丙種學生　陸軍航空士官學校學生ノ課程ヲ卒業シタル航空兵科將校ニシテ航空技術ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲ノ修學期間ハ一年トス之ヲ高等科ト稱ス

前項ノ修學ヲ終リタル學生中ヨリ校長ノ選抜シタル者ニ對シ一年ヲ超エサル學生普通科ノ課程ヲ卒業シタル者及陸軍航空通信學校乙種學生普通科ノ課程ヲ卒業シタル者ノ中ヨリ選抜シタル者ヲ更ニ一年ヲ超エサル學術ヲ修習セシム

第三章　官規

第三條　陸軍大臣ハ陸軍航空技術學校ノ教官ヲ召集シ必要ノ場合ニ於テハ他兵科（憲兵科ヲ除ク）ノ少佐又ハ尉官ヲ以テ學生トナスコトヲ得

第四條　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍航空技術學校ニ教官部ヲ置ク

第五條　航空兵器ノ整備ノ基礎、補給等ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲陸軍航空技術學校ニ研究部ヲ置ク

第六條　兵器ノ整備及研究並ニ學生ノ實習ニ供スル爲陸軍航空技術學校ニ材料廠ヲ置ク

第四章　官制

第七條　陸軍航空技術學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教官
研究部部員
研究部主事
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第八條　校長ハ陸軍航空總監ニ屬シ校務ヲ總理ス

第九條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十二條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十三條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十四條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル科目ニ關シ研究部部員ヲ指導シ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十五條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十六條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第五章　學生及第三條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告示ス

第十九條　前條ノ告示アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部及陸軍航空本部長所管ノ官衙ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同シ）ハ學事ニ關シ當ナル者ヲ選定シ入校又ハ召集期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及陸軍航空總監ニ報告又ハ通報スヘシ

第六章　學事

第二十條　學生ハ校外ニ居住セシメ其ノ學事ニ要スル兵器、被服、圖書、非其、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十一條　學生ノ圖用其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十二條　學生中傷病疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシムルモノトス

第二十三條　學生中傷病疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得サル者ニシテ特ニ必要ト認ムル者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ修學期間ヲ延長セシムルモノトス

航空總監ノ認可ヲ受ケ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ學生ト爲スコトヲ得

第二十四條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ之ヲ陸軍航空總監ハ學生ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ前項ノ場合ニ於テ陸軍航空總監ハ學生ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ本人ノ所管長官ヲ經テ之ヲ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第二十六條　削除

第二十七條　校長ハ學生（甲種學生ヲ除ク）ニ毎年二十日以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第二十八條　職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十九條　研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ教育總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

附則

本令施行ノ際現ニ從前ノ陸軍航空技術學校令ニ依ル乙種學生ハ本令ニ依ル乙種學生ト爲リタルモノトシ其ノ修學期間ハ概ネ二年トス

●陸軍科學學校及陸軍航空技術學校員外學生令

昭和十六年四月五日
勅令第三百八十四號

改正　昭和一六年第七八七號

於陸軍航空技術學校員外學生令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

第一條　陸軍科學學校及陸軍航空技術學校員外學生令

陸軍科學學校及陸軍航空技術學校員外學生、乙種員外學生及丙種員外學生ヲ置キ甲種員外學生及乙種員外學生ニ在リテハ大學令ニ依ル大學ノ工學部又ハ理學部ニ於テ、丙種員外學生ニ在リテハ主トシテ工業ニ關スル學科ヲ教授スル專門學校ニ於テ夫々必要ナル學術ヲ研究セシムルコトヲ得

第二條　甲種員外學生ハ陸軍科學學校ニ置クモノニ在リテハ同校技術科學生ノ課程ヲ卒業シタル者、陸軍航空技術學校ニ置クモノニ在リテハ同校乙種學生高等科ノ課程ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

前項ノ外陸軍科學學校高等科學生ノ課程ヲ卒業シタル者ニシテ特ニ適當ナルモノハ同校甲種員外學生ニ之ヲ充ツルコトヲ得

乙種員外學生ハ主トシテ工業ニ關スル學科ヲ教授スル專門學校（研究科、選科等ノ別科ヲ除ク）ヲ卒業シタル者ノ中ヨリ採用スルモノトシ陸軍科學學校ニ置クモノニ在リテハ兵技尉官又ハ航空以外ノ技術ニ從事スル陸軍技師若ハ陸軍航空技術學校ニ置クモノニ在リテハ航技尉官又ハ航空技術ニ從事スル陸軍技師若ハ陸軍技手ヲ以テ之ニ充ツ

丙種員外學生ハ陸軍科學學校ニ置クモノニ在リテハ陸軍兵器學校ノ己種學生又ハ生徒ノ課程ヲ卒業シタル兵技准士官又ハ兵技下士官、陸軍航空技術學校ニ置クモノニ在リテハ陸軍航空整備學校甲種學生又ハ陸軍航空通信學校丁種學生ノ課程ヲ卒業シタル兵科下士官又ハ航技下士官ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　本令ニ依ル員外學生ノ採用、修學等ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

當分ノ內陸軍航空技術學校丙種學生ノ課程ヲ卒業シタル者ハ之ヲ陸軍航空技術學校丙種員外學生ト爲スコトヲ得

（昭和十六年勅令第七百八十七號）

附則

本令ハ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ陸軍兵器學校員外學生タル者ハ航空關係ノモノニ在リテハ第二條ノ改正規定ニ依ル陸軍航空技術學校甲種員外學生、其ノ他ノモノニ在リテハ同條ノ改正規定ニ依ル陸軍科學學校甲種員外學生ト爲リタルモノトス

本令施行ノ際現ニ陸軍兵器學校員外學生タル者ハ第二條ノ改正規定ニ依ル陸軍科學學校丙種員外學生ト爲リタルモノトス

當分ノ內陸軍科學學校丙種員外學生ハ陸軍兵器學校己種學生ノ課程ヲ卒業シタル少尉ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

●大正八年勅令第百五十三號（陸軍飛行學校ニ於テ民間ノ希望者ニ對シ航空術ヲ教授シ得ル ノ件）

大正八年四月二十八日
勅令第百五十三號

於陸軍航空學校ニ於テ民間ノ希望者ニ對シ航空術ヲ教授シ得ルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

【陸軍航空學校】ニ於テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ民間ノ希望者ニ對シ航空術ヲ教授スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍通信學校令

昭和十三年七月三十日
勅令第五百三十三號

改正　昭和一四年第五八一號、一六年第六五八號

於陸軍通信學校令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍通信學校令

第一條　陸軍通信學校ハ學生ニ通信ニ關スル學術ヲ修得セシメ通信ニ從事スベキ幹部候補生、下士官候補者及生徒ヲ教育シ且通信ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ所トス

陸軍通信學校ニ於テハ前項ノ外軍用鳩ノ育成、訓練及補充ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ六種トシ通常每年一回入校セシム

甲種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）ノ中、少佐又ハ大尉ヲ以テ之ニ充テ主トシテ通信部隊ニ必要ナル戰術、教練及陣中勤務ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

乙種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）大、中尉中通信ヲ修業シタル者ヲ以テ之ニ充テ通信部隊ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ八月トス但シ通信兵監ハ修學ヲ終リタル學生ノ中ヨリ校長ノ選拔シタル若干名ノ者ヲ長期學生ト爲シ更ニ一年以內在學セシメ須要ナル學術ヲ修習セシムルコトヲ得

丙種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）尉官ヲ以テ之ニ充テ通信技術ニ關スル基礎ノ學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ八月トス

丁種學生　兵科（憲兵ヲ除ク）下士官ヲ以テ之ニ充テ通信部隊ノ下士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ電工下士官ニ在リテハ概ネ三月、其ノ他ノ者ニ在リテハ概ネ八月トス

特種學生　兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ暗號書ノ作製及取扱竝ニ暗號勤務ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ三月トス但シ通信兵監ハ修學ヲ終リタル學生ノ中ヨリ校長ノ選拔シタル若干名ノ者ヲ長期學生ト爲シ更ニ二月以內在學セシメ暗號ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシムルコトヲ得

鳩學生　兵科（憲兵ヲ除ク）ノ尉官及下士官ヲ以テ之ニ充テ鳩通信ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ尉官ニ在リテハ概ネ二月、下士官ニ在リテハ概ネ四月トス但シ通信兵監ハ修學ヲ終リタル學生ノ中ヨリ校長ノ選拔シタル若干名ノ者ヲ長期學生ト爲シ更ニ六月以內在學セシメ軍用鳩ノ育成及訓練ニ必要ナル學術ヲ修習セシムルコト

第三十二條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第三十三條　學生ノ人員及入校期日ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第三十四條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣及通信兵監ニ報告又ハ通報スベシ

第三十五條　營外居住者タル學生ハ校外ニ、營内居住者タル學生、幹部候補生、下士官候補者及生徒ハ校内ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第三十六條　學生、幹部候補生及下士官候補者ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第三十七條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ通信兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第三十八條　幹部候補生、下士官候補者及生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第三十九條　幹部候補生、下士官候補者及生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ素リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外幹部候補生ニ在リテハ豫備役將校、下士官候補者及生徒ニ在リテハ下士官タルニ適セズト認ムル者

第四十條　下士官候補者及生徒中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ倘望アリト認ムルモノハ下士官候補者ニ在リテハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ、生徒ニ在リテハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ生徒ト爲スコトヲ得

第四十一條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ通信兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル幹部候補生及下士官候補者ハ之ヲ歸隊セシム

第四十二條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ通信兵監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ下士官タル學生ニハ修業證書ヲ付與シ學生ヲ歸隊セシム

前項ノ場合ニ於テ通信兵監ハ學生（下士官タル學生ヲ除ク）ノ修業成績書ヲ教育總監ヲ經テ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各學生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第四十三條　校長ハ幹部候補生、下士官候補者又ハ生徒卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ通信兵監ヲ經テ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ幹部候補生及下士官候補者ニ在リテハ之ヲ歸隊セシメ生徒ニ在リテハ著隊時日ヲ指定シ之ヲ所屬部隊ニ入隊セシム

前項ノ場合ニ於テ教育總監ハ幹部候補生ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ移シ校長ハ各幹部候補生、下士官候補者又ハ生徒ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル下士官候補者又ハ生徒修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

〔解一二四〕

第四十四條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ他ノ部隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十五條　校長ハ每年長期學生タル乙種學生ニ二十日以内、生徒ニ三週間以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第四十六條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依ル甲種學生又ハ乙種學生タル者ハ各本令ニ依ル乙種學生又ハ丁種學生ト爲リタルモノトス

昭和十六年十一月二十九日
勅令第千十七號

陸軍通信學校令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍通信學校令中左ノ通改正ス

第一條第一項、第七條、第十四條、第三十五條及第三十八條中「幹部候補生、下士官候補者及生徒」ヲ「幹部候補生及下士官候補者」ニ改ム

第四條　削除

第六條　削除

第八條及第三十九條中「幹部候補生、下士官候補者及生徒」ヲ「幹部候補生及下士官候補者」ニ改メ「及生徒」ヲ削ル

第十二條ノ二ヲ削ル

第三編　官規　第一章　官制　第十款　陸軍省及陸軍所管

第十五條中「生徒隊長」ヲ「生徒隊中隊長」ニ改ム

第二十條ノ二及第二十七條ノ三ヲ削ル

第三十六條第二項ヲ削ル

第四十條中「及生徒」ヲ削リ「下士官候補者ニ在リテハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ生徒ト爲スコトヲ得」ヲ「下士官候補者ニ在リテハ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得」ニ改ム

第四十三條第一項中「幹部候補生、下士官候補者又ハ生徒」ヲ「幹部候補生又ハ下士官候補者」ニ、「幹部候補生及下士官候補者ニ在リテハ之ヲ歸隊セシメ生徒ニ在リテハ著隊時日ヲ指定シ之ヲ所屬部隊ニ入隊セシム」ヲ「之ヲ歸隊セシム」ニ、同條第二項中「各幹部候補生、下士官候補者又ハ生徒」ヲ「各幹部候補生又ハ下士官候補者」ニ改メ同條第三項中「又ハ生徒」ヲ削ル

第四十五條中「、生徒ニ三週間以内」ヲ削ル

附　則

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍少年戰車兵學校令

昭和十六年十一月二十九日
勅令第千十五號

陸軍少年戰車兵學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

〔解一二九〕

第一條　陸軍少年戰車兵學校ハ戰車關係ノ現役兵科下士官ヲ爲スベキ生徒ヲ教育スル所トス

第二條　生徒ハ戰車關係ノ現役兵科下士官ヨリ志願シ召募試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充テ戰車關係ノ現役兵科下士官ニ必要ナル教育ヲ爲サシムル者ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　生徒ノ採用ニ關シ修學期間ハ概ネ二年トス

第四條　生徒ノ教育ヲ分チテ訓育並ニ學科及術科教育トシ其ノ教育綱領ハ教育總監之ヲ定ム

第五條　生徒ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍大臣之ヲ定ム

第六條　生徒ノ學科教育及之ニ關連スル訓育ニ任セシムル爲陸軍少年戰車兵學校ニ生徒隊ヲ置ク

第七條　生徒ノ訓育及術科教育ヲ行フ爲陸軍少年戰車兵學校ニ村松教導隊ヲ置ク

第八條　兵器ノ修理及生徒ノ實習ニ供スル爲陸軍少年戰車兵學校ニ材料廠ヲ置ク

第九條　陸軍少年戰車兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
學校附
教官
生徒隊長
生徒隊副官

第十條　校長ハ陸軍戰時編制ニ準ジ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ部下ヲ總理ス

第十一條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十二條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各諸任ノ業務ヲ掌ル

第十三條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學科教育及之ニ關連スル訓育ヲ分擔ス

第十四條　生徒隊長ハ生徒隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ訓育及術科教育ヲ管理ス

第十五條　生徒隊副官ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ生徒隊ノ庶務ヲ掌ル

第十六條　生徒隊中隊長ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ生徒隊中隊ヲ統率ス

第十七條　生徒隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各諸任ノ業務ヲ掌ル

第十八條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第十九條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十一條　生徒ハ校內ニ居住シ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十二條　生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十三條　生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十四條　生徒ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ憲法竝ニ法律ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者

第二十五條　生徒中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ修メ得ザル者ニシテ向學アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ生徒ト爲スコトヲ得

第二十六條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍轄區甲本部長ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

第二十七條　校長ハ生徒卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍轄區甲本部長ヲ經テ教育總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ著隊日時ヲ指定シ之ヲ所屬部隊ニ入隊セシムル

前項ノ場合ニ於テ校長ハ各生徒ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル生徒修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第二十八條　校長ハ生徒ニ每年三週間以內ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第二十九條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十條　校長ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ寫識シ其ノ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍戰車學校生徒教育令ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ陸軍戰車學校ノ生徒タル者ハ陸軍少年戰車兵學校ノ生徒トナリタルモノトス

陸軍戰車學校ノ生徒ニ關スル陸軍軍人軍屬及第五條中「及陸軍自動車學校」ヲ「、陸軍少年戰車兵學校及陸軍戰車學校」ニ改ム

●陸軍機甲整備學校令

昭和十六年七月十二日
軍令陸第十四號

改陸軍機甲整備學校令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

陸軍機甲整備學校令

第一條　陸軍機甲整備學校ハ學生ニ機甲車輛（戰車、裝甲車、牽引車、自動車等ヲ謂ヒ燃料、脂油ヲ含ム以下之ニ同ジ）ノ整備ニ必要ナル基礎ノ學術及其ノ整備ニ伴フ補給勤務ニ必要ナル學術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ併セテ此等學術ノ調査及研究ヲ行ヒ且機甲車輛ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

陸軍機甲整備學校ニ於テハ前項ノ外機甲車輛ノ整備ニ從事スベキ兵技兵ヲ教育ス

第二條　學生ヲ分チテ左ノ四種トス

佐官學生　兵科（憲兵及航空關係ノ者ヲ除ク）中、少佐ヲ以テ之ニ充テ機甲車輛ノ整備及之ニ伴フ補給勤務ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

乙種學生　兵科（憲兵及航空關係ノ者ヲ除ク）大、中尉ヲ以テ之ニ充テ機甲車輛ノ整備及之ニ伴フ補給勤務ニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ四月トス

丙種學生　兵科中、少尉又ハ兵技中、少尉ヲ以テ之ニ充テ機甲車輛ノ整備ニ必要ナル基礎ノ技術ヲ修習セシム通常毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ五月トス但シ陸軍機甲本部長ハ修學ヲ終リタル學生ノ中ヨリ校長ノ選拔シタル若干名ノ者ヲ長期學生ト爲シ更ニ一年以內在學セシメ須要ナル學術ヲ修習セシムルコトヲ得

戊種學生　兵科下士官及兵技下士官ヲ以テ之ニ充テ機甲車輛ノ整備ニ必要ナル基礎ノ技術ヲ修習セシム通常毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ五月トス

第三條　陸軍大臣ハ教育總監ノ通牒ニ依リ臨時ニ兵科及各部將校以下ヲ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　兵技兵ノ教育ニ關シテハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五條　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍機甲整備學校ニ教育部ヲ置ク

第六條　機甲車輛ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲陸軍機甲整備學校ニ研究部ヲ置ク

第七條　兵技兵ノ教育ヲ行ヒ且學生ノ教育竝ニ機甲車輛ニ關スル研究及試驗ニ充ツル爲陸軍機甲整備學校ニ練習隊ヲ置ク

第八條　兵器ノ整備、修理及研究竝ニ學生ノ實習ニ供スル爲陸軍機甲整備學校ニ材料廠ヲ置ク

第九條　陸軍機甲整備學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
附
教官
研究部部員
研究部主事

練習隊長
練習隊副官
練習隊中隊長
練習隊附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第十條　校長ハ陸軍機甲本部長ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十一條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査及研究ノ統一ヲ圖ル

第十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十三條　附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十五條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十六條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十七條　練習隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊內務ノ定則ヲ準用ス

第十八條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌理ス

第十九條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十一條　學生及第三條ノ規定ニ依リ修學セシムル者ノ入員、入校期日及修學期間ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十二條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校前ニ其ノ所屬部隊及官等氏名ヲ陸軍大臣及陸軍機甲本部長ニ報告又ハ通報スベシ

第二十三條　營外居住者タル學生ハ校外ニ、營內居住者タル學生ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十四條　學生ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

兵技兵ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十五條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ依リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍機甲本部長ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第二十六條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍機甲本部長ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ戊種學生ニハ修業證書ヲ附與シ學生ヲ歸隊セシム

前項ノ場合ニ於テ陸軍機甲本部長ハ教育總監ヲ經テ學生（戊種學生ヲ除ク）ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各學生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第二十七條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ他ノ部隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十八條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ稟議シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ陸軍自動車学校ニ在学生ル者ハ本令ニ依ル氏種学生ト
為リタルモノトス
他ノ軍令中陸軍自動車学校トアルハ陸軍機甲整備学校トス

●陸軍軍醫學校令

勅令第百十一号
昭和十二年十月二十九日

陸軍軍醫学校令（昭和二年勅令第七二号、一四年第五八二号）ノ一部ヲ改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副署）

陸軍軍醫学校令

第一條　陸軍軍醫学校ハ学生及幹部候補生ニ衛生部ノ学術ヲ修得セシメ並ニ軍陣醫学、軍陣薬学及軍事衛生ニ関スル調査、研究、試験及図書ノ編纂ヲ為シ且軍陣防疫学的ノ検索、村科、獣医防疫及治療品ノ製造ヲ為ス所トス

第二條　陸軍軍醫学校ニ於テハ前項ノ教育、調査及研究ニ資スル為一般患者ノ診療ヲ行フ

第三條　学生ヲ分チテ左ノ四種トス
甲種学生　乙種学生ノ修学ヲ終リタル軍醫大、中尉及薬剤大、中尉ニ就キ選抜試験ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充テ軍事衛生ニ関スル学術ヲ攻セシムル通常毎年一回入校セシメ其ノ修学期間ハ概ネ一年トス
乙種学生　初任ノ軍醫中、少尉及薬剤中、少尉ヲ以テ之ニ充テ衛生部ノ勤務ニ必要ナル学術ヲ修習セシムル通常毎年一回入校セシメ其ノ修学期間ハ概ネ一年トス但シ必要アリト認ムルトキハ之ヲ延長スルコトヲ得
陸軍大臣ハ修学ヲ終リタル学生ノ中ヨリ校長ノ選抜シタル若干名ノ者ヲ長期学生トシ更ニ概ネ一年在学セシメ其ノ須要ナル学術ヲ修習セシムルコトヲ得

第四條　学生及幹部候補生ノ教育ニ関シ陸軍大臣ノ定ムル事項ノ外衛生部佐官ヲ以テ佐官学生トシ必要ナル学術ヲ修習セシムル為ノ修学ニ関シテハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五條　学生及幹部候補生ノ教育ノ実施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條　学生及幹部候補生ノ教育ニ任ジ且軍事衛生ニ関スル図書ノ編纂ヲ為サシムル為陸軍軍醫学校ニ教育部ヲ置ク

第七條　軍事衛生ニ関スル調査、研究及試験ヲ行ハシムル為陸軍軍醫学校ニ研究部ヲ置ク

第八條　学生及幹部候補生ノ教育並ニ調査及研究ニ資スル為陸軍軍醫学校ニ診療部ヲ置ク

第九條　軍陣防疫学的ノ検索、村科、獣医防疫及治療品ノ製造ヲ為サシムル為陸軍軍醫学校ニ製造部ヲ置ク

第十條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫正ヲ以テ校長ヲ、陸軍軍醫監ヲ以テ副官ヲ、陸軍軍醫監又ハ陸軍軍醫正ヲ以テ部長ヲ置ク

第十一條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監又ハ陸軍軍醫正ヲ以テ教官ヲ置ク

第十二條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第十三條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第十四條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第十五條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第十六條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第十七條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第十八條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第十九條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第二十條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第二十一條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第二十二條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第二十三條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第二十四條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第二十五條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第二十六條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第二十七條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第二十八條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第二十九條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第三十條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第三十一條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第三十二條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第三十三條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第三十四條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第三十五條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第三十六條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第三十七條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第三十八條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第三十九條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第四十條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第四十一條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第四十二條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第四十三條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第四十四條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第四十五條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第四十六條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第四十七條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第四十八條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第四十九條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第五十條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第五十一條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第五十二條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第五十三條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第五十四條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第五十五條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第五十六條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第五十七條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第五十八條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第五十九條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第六十條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第六十一條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第六十二條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第六十三條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第六十四條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第六十五條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第六十六條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第六十七條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第六十八條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第六十九條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第七十條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第七十一條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第七十二條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第七十三條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第七十四條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第七十五條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第七十六條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第七十七條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第七十八條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第七十九條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第八十條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第八十一條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第八十二條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第八十三條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第八十四條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第八十五條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第八十六條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第八十七條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第八十八條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第八十九條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第九十條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第九十一條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第九十二條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第九十三條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第九十四條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第九十五條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第九十六條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第九十七條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第九十八條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第九十九條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

第百條　陸軍軍醫学校ニ陸軍軍醫監、陸軍軍醫正又ハ陸軍軍醫少佐ヲ以テ教官ヲ置ク

陸軍軍醫學校ニ防疫部ヲ置ク

第十條　陸軍軍醫學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教官
部員
下士官及判任文官

第十一條　校長ハ陸軍大臣ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十二條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究及試驗ノ統一ヲ圖ル

第十三條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十四條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十五條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育及圖書ノ編纂ヲ分擔ス

第十六條　部員ハ校長ノ命ヲ承ケ各擔任ノ部務ヲ掌ル

第十七條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第十八條　營外居住者タル學生ハ校外ニ、營內居住者タル學生及幹部候補生ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第十九條　學生及幹部候補生ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十條　學生及幹部候補生ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十一條　學生（丙種學生及佐官學生ヲ除ク）中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ之ヲ退校セシム

第二十二條　丙種學生及幹部候補生左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外衞生部將校タルニ適セズト認ムル者

第二十三條　學生（丁種學生及佐官學生ヲ除ク）中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ學生ト爲スコトヲ得

第二十四條　前三條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

第二十五條　陸軍大臣ハ乙種學生ニシテ傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ退校ヲ命ジタル者其ノ事故止ミタルトキハ必要ニ應ジ教育上便宜ノ時期ニ於テ再ビ之ニ入校ヲ命ズルコトヲ得

第二十六條　校長ハ學生（佐官學生ヲ除ク）又ハ幹部候補生ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍大臣ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ學生（丁種學生及佐官學生ヲ除ク）及幹部候補生ニハ卒業證書ヲ、丁種學生ニハ修業證書ヲ付與シ學生及幹部候補生ヲ歸隊セシム

前項ノ場合ニ於テ校長ハ各學生（佐官學生ヲ除ク）又ハ幹部候補生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所管軍醫部長及本人ノ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル學生修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第二十七條　陸軍大臣ハ臨時ニ衞生部將校以下ヲ陸軍軍醫學校ニ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十八條　校長ハ甲種學生ヲ修學ノ爲大學令ニ依ル大學ノ醫學部又ハ傳染病研究所等ヘ派遣スルコトヲ得

第二十九條　陸軍大臣ハ必要ニ應ジ陸軍衞生部尉官學生トシテ衞生部尉官ヲ陸軍軍醫學校ニ入校セシムルコトヲ得其ノ修學ニ關シテハ陸軍大臣之ヲ定ム

第三十條　校長ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ第一條第二項ニ規定スル一般患者ノ診療ニ關シ規程ヲ定ム

第三十一條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ他ノ部隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十二條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ教育總監、陸軍航空總監、軍司令官、師團長、飛行集團長、陸軍技術本部長又ハ陸軍航空本部長ニ稟議シ又ハ協議シ其ノ所管ニ屬スル部隊ノ人員又ハ資材ヲ充用スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十一年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十四年勅令第五百八十三號

（陸軍軍醫學校令ノ臨時特例ニ關スル件）

昭和十四年八月十九日
勅令第五百八十三號

陸軍軍醫學校令ノ臨時特例ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

（總理、陸軍大臣副署）

陸軍軍醫學校甲種學生ハ當分ノ內陸軍軍醫學校令第二條第一項ノ規定ニ拘ラズ軍醫中、少尉若ハ藥劑中、少尉ニ任官後滿四年以上ノ軍醫大、中尉若ハ藥劑大、中尉又ハ軍醫少佐若ハ藥劑少佐ニ進級後滿二年以下ノ者ニシテ選拔試驗ニ合格シタルモノヲ以テ之ニ充ツルモノトス但シ乙種學生ノ修學ヲ終リタル者ニ限ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍獸醫學校令

昭和十三年七月三十日
勅令第五百三十六號

改正　昭和一四年第五八四號

廢陸軍獸醫學校令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

（總理、陸軍大臣副署）

陸軍獸醫學校令

第一條　陸軍獸醫學校ハ學生、幹部候補生及下士官候補者ニ獸醫部ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ修得セシメ竝ニ軍陣獸醫學及軍用動物ノ衞生ニ關スル

問生、研究、試驗及圖書ノ編纂ヲ爲シ且陸軍部隊ニ要スル軍陣衛生ノ學的ノ檢索材料、豫防品及治療品ノ製造ヲ爲ス所トス

陸軍衛生學校ハ前項ノ教育、調査及研究ノ外陸軍衛生ニ關スル事務ヲ掌理シ校務ヲ總理ス

病、軍馬ノ裝蹄並ニ一般ノ軍用動物ノ診療及研究ニ關スル事項ヲ掌ル

陸軍獸醫學校ハ陸軍衛生學校ニ準ス

第二節　學生

學生ヲ分チテ左ノ四種トシ通常毎年一回入校セシム

甲種學生　獸醫大、中尉中選拔試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充テ軍隊ニ於テ修習セシメ其ノ修學期間ハ統ネテ一年トス

乙種學生　初任ノ獸醫中、少尉ヲ以テ之ニ充テ獸醫部ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ統ネテ一年トス

丙種學生　獸醫部少尉候補者ヲ以テ之ニ充テ獸醫部將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ統ネテ一年トス

丁種學生　獸醫部下士官ヲ以テ之ニ充テ技能向上ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ統ネテ五月トス

前項ノ外獸醫部ノ將校ヲ以テ佐官學生ト爲シ必要ナル學術ヲ修習セシメ又ハ將官ヲ以テ佐官學生ト爲シ必要ナル學術ヲ修習セシムルコトヲ得其ノ修學ニ關シテハ陸軍大臣之ヲ定ム

第三節　官規

第一款　官等

陸軍ノ官等ハ之ヲ分チテ將官、佐官、尉官、下士官及兵卒ノ五等トス

第二款　官階

陸軍ノ官階ハ之ヲ分チテ將官ニ大將、中將、少將ノ三階トス

佐官ニ大佐、中佐、少佐ノ三階トス

尉官ニ大尉、中尉、少尉ノ三階トス

下士官ニ曹長、軍曹、伍長ノ三階トス

兵卒ニ上等兵、一等兵、二等兵ノ三階トス

第三款　官職

陸軍ノ官職ハ之ヲ分チテ將官ニ親補職、將官職、佐官職、尉官職、下士官職及兵卒職トス

親補職ハ之ヲ將官ニ充ツ

將官職ハ之ヲ將官又ハ佐官ニ充ツ

佐官職ハ之ヲ佐官又ハ尉官ニ充ツ

尉官職ハ之ヲ尉官又ハ下士官ニ充ツ

下士官職ハ之ヲ下士官又ハ兵卒ニ充ツ

兵卒職ハ之ヲ兵卒ニ充ツ

第四款　官職ノ補任

親補職ハ之ヲ親任官ニ補ス

將官職ハ之ヲ將官ニ補ス

佐官職ハ之ヲ佐官ニ補ス

尉官職ハ之ヲ尉官ニ補ス

下士官職ハ之ヲ下士官ニ補ス

兵卒職ハ之ヲ兵卒ニ補ス

第五款　官職ノ補任資格

親補職ニ補スルニハ將官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

將官職ニ補スルニハ將官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

佐官職ニ補スルニハ佐官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

尉官職ニ補スルニハ尉官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

下士官職ニ補スルニハ下士官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

兵卒職ニ補スルニハ兵卒ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

第六款　官職ノ補任方法

親補職ニ補スルニハ將官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

將官職ニ補スルニハ將官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

佐官職ニ補スルニハ佐官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

尉官職ニ補スルニハ尉官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

下士官職ニ補スルニハ下士官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

兵卒職ニ補スルニハ兵卒ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

第七款　官職ノ補任資格

親補職ニ補スルニハ將官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

將官職ニ補スルニハ將官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

佐官職ニ補スルニハ佐官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

尉官職ニ補スルニハ尉官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

下士官職ニ補スルニハ下士官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

兵卒職ニ補スルニハ兵卒ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

第八款　官職ノ補任資格

親補職ニ補スルニハ將官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

將官職ニ補スルニハ將官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

佐官職ニ補スルニハ佐官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

尉官職ニ補スルニハ尉官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

下士官職ニ補スルニハ下士官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

兵卒職ニ補スルニハ兵卒ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

第九款　官職ノ補任資格

親補職ニ補スルニハ將官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

將官職ニ補スルニハ將官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

佐官職ニ補スルニハ佐官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

尉官職ニ補スルニハ尉官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

下士官職ニ補スルニハ下士官ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

兵卒職ニ補スルニハ兵卒ニシテ陸軍大臣ノ推薦ニ依リ天皇ノ親任ヲ經タル者ヲ以テ之ニ充ツ

第十款　陸軍省及陸軍所管

陸軍省ハ陸軍ニ關スル庶務ヲ掌理ス

陸軍省ニ左ノ局ヲ置ク

人事局

恩賞局

軍事課

馬政課

陸軍所管ハ左ノ如シ

陸軍大臣官房

陸軍省人事局

陸軍省軍事課

陸軍省馬政課

陸軍省恩賞局

陸軍省經理局

陸軍省衛生部

陸軍省獸醫部

陸軍省法務部

陸軍省軍事課ニ於テ掌理スル事務ニ關シ必要ノ修學ヲ爲サシムル將校以下ヲ召集シ又ハ臨時ニ獸醫部將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムル事ヲ得

陸軍大臣ハ臨時ニ獸醫部將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムル事ヲ得

陸軍大臣ハ學生ノ採用ニ關スル事項及入校期日ニ付テハ陸軍大臣之ヲ定ム

幹部候補生及下士官候補者ノ教育綱領ニ關スル事項及入校期日ニ付テハ陸軍大臣之ヲ定ム

幹部候補生及下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教育綱領ニ依リ其ノ教育ヲ掌ル

教育綱領ハ前條ノ規定ニ基キ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

學生、幹部候補生及下士官候補者ノ教育ヲ行フ校長ハ教育ノ實施ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

用動物ノ衛生ニ關スル獸醫學及軍用動物ノ組織ヲ爲ス爲陸軍獸醫學校ニ教育部ヲ置ク

學生ノ衛生ニ關スル獸醫學及軍用動物ノ衛生ニ關スル研究及試驗ヲ行フ爲

ネ一年トス

第四條　陸軍大臣ハ臨時ニ獸醫部將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムル事ヲ得

第五條　學生ノ採用ニ關スル事項及入校期日ニ付テハ陸軍大臣之ヲ定ム

第六條　學生、幹部候補生及下士官候補者ノ教育綱領ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第七條　學生、幹部候補生及下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教育綱領ニ依リ其ノ教育ヲ掌ル

第八條　學生、幹部候補生及下士官候補者ノ教育ヲ行ヒ且軍隊ニ於ケル學生ノ修學ヲ監督ス

第九條　軍隊獸醫學校ニ研究部ヲ置ク

第十條　陸軍獸醫學校ニ研究ニ關スル事務ヲ掌理ス

第十一條　學生、幹部候補生及下士官候補者ノ教育並ニ軍隊獸醫學及軍用動物ノ衛生ニ關スル調査ニ從事スル者ヲ以テ之ニ充ツ

第十二條　陸軍獸醫學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部員

防疫部員

病

局

厩

長

准士官、下士官及兵

病

局

厩

員

第十三條　幹部候補生ハ校長ノ命ヲ承ケ陸軍大臣ニ隸シ校務ヲ掌理ス

第十四條　幹部候補生ハ校長ノ命ヲ承ケ教育、調査及研究等ノ一部ヲ擔任ス

第十五條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十六條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十七條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育及圖書ノ編纂ヲ分擔ス

第十八條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ部務ヲ分擔ス

第十九條　防疫部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ部務ヲ分擔ス

第二十條　病馬廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十一條　准士官、下士官及病馬廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十二條　准士官、下士官及病馬廠長ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ庶務ニ從事ス

第二十三條　學生、幹部候補生及下士官候補者ハ校外ニ居住スル者ヲ除ク外校内ニ居住ス

第二十四條　學生、幹部候補生及下士官候補者ハ官品、兵器、被服、寢具、消耗品等ノ支給ヲ受ケ又ハ貸付ヲ得

第二十五條　學生、幹部候補生及下士官候補者ハ校長ノ命令ニ從ヒ其ノ他ノ學生ニ準ス

第二十六條　學生、幹部候補生及下士官候補者ハ病ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ退校スルコトヲ得

第二十七條　丙種學生、幹部候補生及下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退校セシム

病ヲ修習スルニ必要ナル期間ニ滿ツルコト能ハサル者

學術ヲ修習スルニ必要ナル期間ニ滿ツルコト能ハサル者

學術ヲ修習スルニ必要ナル學力ヲ有セサル者

第二十八條　學生、幹部候補生及下士官候補者ノ中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術ヲ修メ得ヘキ見込ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ退校セシメ得ヘシ

第二十九條　前二條ノ規定ニ依リ退校ヲ命セラレタル者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

第三十條　陸軍大臣ハ乙種學生、幹部候補生及下士官候補者ハ之ヲ其ノ事故ニ因リ退校セシメタル場合ニ於テ情狀ニ依リ其ノ入校ノ期日ヨリ一年ヲ超エサル期間ニ限リ再ヒ之ヲ入校セシメ修學ヲ命スルコトヲ得

第三十一條　校長ハ學生、佐官學生及尉官學生ノ他ノ事故ニ因リ退校セシメタル場合ニ於テ情狀ニ依リ其ノ入校ノ期日ヨリ一年ヲ超エサル期間ニ限リ再ヒ之ヲ入校セシムルコトヲ得

ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第三十二條　校長ハ甲種學生及附官學生ヲ修學ノ爲大學令ニ依ル大學、傳染病研究所又ハ戰疫調査所ヘ派遣スルコトヲ得

第三十三條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ他ノ部隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條　校長ハ學生(丁種學生、佐官學生及附官學生ヲ除ク)ニ毎年二十日以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十五條　校長ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ第一條第二項ニ規定スル陸軍部隊ノ病馬ノ收療、軍馬ノ裝蹄竝ニ一般ノ軍用動物ノ診療及裝蹄ニ關シ規程ヲ定ム

第三十六條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ參謀總長、教育總監、軍司令官、師團長、陸軍技術本部長又ハ軍馬補充部本部長ニ稟議シ又ハ協議シ其ノ所管ニ屬スル部隊ノ人員、軍用動物又ハ資材ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依ル專攻學生又ハ乙種學生タル者ノ修學ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

●昭和十四年勅令第六百七十三號

(陸軍獸醫學校令ノ臨時特例ニ關スル件)

昭和十四年九月三十日
勅令第六百七十三號

於陸軍獸醫學校令ノ臨時特例ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

(總理、陸軍大臣副署)

陸軍獸醫學校甲種學生ハ當分ノ內陸軍獸醫學校令第二條第一項ノ規定ニ依ルノ外陸軍獸醫少佐ニ進級後二年ニ滿タザル者ニシテ選拔試驗ニ合格シタルモノヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍經理學校令

昭和十年十二月二十九日
勅令第三百二十五號

改正　昭和一三年第五三五號、一四年第五八五號、一五年第八二八號

於陸軍經理學校令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

(總理、陸軍大臣副署)

陸軍經理學校令

第一條　陸軍經理學校ハ經理部附官タル學生ニ陸軍經理ニ關スル諸般ノ學術ヲ修得セシメ、經理部將校ト爲スベキ生徒、學生及幹部候補生竝ニ主計下士官ト爲スベキ下士官候補者ヲ教育シ竝ニ陸軍經理ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行ヒ且陸軍經理ニ關スル圖書ノ編纂ヲ爲ス所トス

第二條　學生ヲ分チテ左ノ四種トシ通常毎年一回入校セシム

甲種學生　主計大、中尉(丙種學生ノ修學ヲ終リタル者ヲ除ク)中選拔試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充テ陸軍經理ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ二年トス

乙種學生　丙種學生ノ修學ヲ終リ二年以上軍除ニ勤務シタル者ヲ以テ之ニ充テ陸軍經理ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

丙種學生　陸軍補充令第二十四條第三號ノ規定ニ依リ任官シタル主計中尉ヲ以テ之ニ充テ陸軍經理ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ八月トス

丁種學生　經理部少尉候補者ヲ以テ之ニ充テ經理部將校ニ必要ナル學

術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第三條　生徒ヲ分チテ左ノ二種トシ通常毎年一回入校セシム

獸科生徒　經理部將校タルコトヲ志願シ召募試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充テ經理部士官候補生ニ必要ナル某種ノ學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ二年トス

本科生徒　經理部士官候補生ニシテ所定ノ除附勤務ヲ修得シタル者ヲ以テ之ニ充テ經理部將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ一年八月トス

第三條ノ二　幹部候補生ハ各除ヨリ分遣スル經理部甲種幹部候補生ヲ以テ之ニ充テ豫備役經理部將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ五月乃至八月トス

第三條ノ三　下士官候補者ハ各除ヨリ分遣スル者ヲ以テ之ニ充テ主計下士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第四條　學生及生徒ノ採用ニ關スル事項及入校期日ニ付テハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五條　學生、生徒、幹部候補生及下士官候補者ノ教育ヲ分チテ學術教育及訓育トシ其ノ教育綱領ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第六條　學生、生徒、幹部候補生及下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第七條　學生、生徒、幹部候補生及下士官候補者ノ教育ニ任ジ且陸軍經理ニ關スル圖書ノ編纂ヲ爲サシムル爲陸軍經理學校ニ教育部ヲ置ク

第八條　陸軍經理ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行ハシムル爲陸軍經理學校ニ研究部ヲ置ク

第九條　生徒及幹部候補生ノ訓育ヲ行フ爲陸軍經理學校ニ生徒隊ヲ置ク

第三輯　官規　第一章　官制　第十款　陸軍省及陸軍所管

第九條ノ二　下士官候補者ノ訓育ヲ行フ爲陸軍經理學校ニ下士官候補者隊ヲ置ク

第十條　陸軍經理學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
教官
研究部部員
生徒隊長
生徒隊副官
生徒隊中隊長
生徒隊附
下士官候補者隊長
下士官候補者隊副官
下士官候補者隊中隊長
下士官候補者隊附
准士官、下士官及判任文官

第十一條　校長ハ陸軍大臣ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十二條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ整理シ教育、調査及研究ノ統一ヲ圖ル

第十三條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十四條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十五條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術ノ授業及圖書ノ編纂ヲ分擔ス

第十六條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査及研究ヲ分擔ス

第十七條　生徒隊長ハ生徒隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ生徒及幹部候補生ノ訓育ヲ掌理ス

第十八條　生徒隊副官ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ生徒隊ノ庶務ヲ掌ル

第十九條　生徒隊中隊長ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ生徒及幹部候補生ノ訓育ヲ擔任ス

第二十條　生徒隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十條ノ二　下士官候補者隊長ハ下士官候補者隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ訓育ヲ掌理ス

第二十條ノ三　下士官候補者隊副官ハ下士官候補者隊長ノ命ヲ承ケ下士官候補者隊ノ庶務ヲ掌ル

第二十條ノ四　下士官候補者隊中隊長ハ下士官候補者隊長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ訓育ヲ擔任ス

第二十條ノ五　下士官候補者隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十一條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十二條　學生ハ校外ニ、生徒、幹部候補生及下士官候補者ハ校内ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十三條　學生、幹部候補生及下士官候補者ノ願届其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十四條　學生、生徒、幹部候補生及下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十五條　甲種、乙種及丙種ノ學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第二十六條　甲種、乙種及丙種ノ學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尚望アリト認ムルモノハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第二十七條　陸軍大臣ハ甲種、乙種及丙種ノ學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ退校セシメラレタル者其ノ事故止ミタルトキハ必要ニ應ジ教育上便宜ノ時期ニ於テ再ビ之ニ入校ヲ命ズルコトヲ得

第二十八條　生徒、丁種學生、幹部候補生及下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外經理部ノ將校又ハ下士官タルニ適セズト認ムル者

第二十九條　生徒、丁種學生及下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尚望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ生徒ニ在リテハ次期ノ生徒ト爲スコトヲ得

前條第三號又ハ第四號ノ規定ニ依リ退校セシメラレタル本科生徒ニシテ

尚望アリト認ムル者ハ退校後一回ヲ限リ更ニ之ヲ入校セシムルコトヲ得

第三十條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

第三十一條　校長ハ學生、生徒、幹部候補生又ハ下士官候補者ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍大臣ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ學生、本科生徒、幹部候補生及下士官候補者ニ在リテハ之ヲ歸隊セシメ豫科生徒ノ課程ヲ卒業シ經理部士官候補生ヲ命セラレタル者ニ在リテハ著隊時日ヲ指定シ之ヲ所屬部隊ニ入隊セシム前項ノ場合ニ於テ校長ハ各學生、生徒、幹部候補生又ハ下士官候補者ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所管經理部長及本人ノ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

滯學セシメラレタル學生、生徒又ハ下士官候補者修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第三十二條　甲種及乙種ノ學生中成績優秀ノ者ハ卒業ノ際陸軍大臣ニ於テ之ヲ陸軍經理學校員外學生ト爲シ引續キ更ニ一年間在學セシメ又ハ大學令ニ依ル大學ニ於テ必要ノ學術ヲ研究セシムルコトヲ得其ノ修學ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第三十三條　陸軍大臣ハ臨時ニ經理部佐、尉官ヲ陸軍經理學校ニ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條　校長ハ學生（丙種學生ヲ除ク）ニ毎年二十日以内ノ休暇ヲ、生徒ニ毎年冬季二週間以内夏季四週間以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十五條　校長ハ豫科生徒ノ課程ヲ卒業シ經理部士官候補生ヲ命セラレタル者ニ其ノ入隊前ニ於テ一週間以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十六條　校長ハ甲種學生ヲシテ其ノ修學期間内適當ノ時期ニ於テ他ノ部隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十七條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ他ノ部隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ陸軍經理學校ノ專攻學生又ハ乙種學生タル者ハ各本令ニ依ル乙種學生又ハ丙種學生ト爲リタルモノトス

本令施行ノ際現ニ陸軍經理學校丁種學生タル者ノ修學期間ハ仍從前ノ例ニ依ル

從前ノ規定ニ依リ陸軍經理學校乙種學生ノ修學ヲ終リタル者ハ之ヲ本令ニ依ル丙種學生ノ修學ヲ終リタル者ト見做ス

當分ノ内丙種學生ハ昭和十年勅令第三百二十六號附則第二項ニ規定スル經理部士官候補者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ丙種學生ノ修學ヲ終リタル者ハ之ヲ乙種學生ニ充ツルコトナク選拔試驗ヲ經テ甲種學生ニ充ツルコトヲ得

●陸軍憲兵學校令

昭和十二年八月二日
勅令第三百七十八號

改正　昭和一五年第五〇五號

陸軍憲兵學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍憲兵學校令

第一條　陸軍憲兵學校ハ憲兵科ノ將校又ハ下士官タル學生ニ憲兵ニ必要ナル學術ヲ修得セシメ憲兵科將校ト爲スヘキ學生ヲ敎育シ且憲兵ノ業務ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行フ所トス

陸軍憲兵學校ニ於テハ前項ノ外憲兵敎習兵ノ敎育ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ四種トシ通常每年一回入校セシム

甲種學生　憲兵科ノ少佐又ハ大尉中選拔試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充テ憲兵ノ業務ニ關スル須要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

乙種學生　各兵科（憲兵科ヲ除ク）尉官ヲ以テ之ニ充テ憲兵科將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

丙種學生　憲兵科少尉候補者ヲ以テ之ニ充テ憲兵科將校ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

丁種學生　憲兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ實務ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

第三條　憲兵敎習兵ハ各隊ヨリ分遣スル者ヲ以テ之ニ充テ憲兵上等兵及憲兵科下士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常每年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第四條　學生及憲兵敎習兵ノ敎育綱領ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五條　學生及憲兵敎習兵ノ敎育ノ實施ハ敎則ニ依ル其ノ敎則ハ前條ノ敎育綱領ニ基キ憲兵司令官ヲ經テ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第六條　學生及憲兵敎習兵ノ敎育ニ任セシムル爲陸軍憲兵學校ニ敎育部ヲ置ク

第六條ノ二　憲兵ノ業務ニ關スル學術ノ調査及研究ヲ行フ爲陸軍憲兵學校ニ研究部ヲ置ク

第七條　憲兵敎習兵ノ訓育ヲ行フ爲陸軍憲兵學校ニ敎習隊ヲ置ク

第八條　陸軍憲兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
幹事
副官
學校附
敎官
研究部員
研究部主事
敎習隊長
敎習隊副官
敎習隊中隊長
敎習隊附
准士官、下士官及判任文官

第九條　校長ハ陸軍大臣ニ隷シ校務ヲ總理ス但シ學生及憲兵敎習兵ノ敎育ニ關シテハ憲兵司令官ノ區處ヲ承クルモノトス

第十條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ敎育、調査及研究ノ統一ヲ圖ル

第十一條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十二條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十三條　敎官ハ校長ノ命ヲ承ケ敎育ヲ分擔ス

第十三條ノ二　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査及研究ヲ分擔ス

第十三條ノ三　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査及研究ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査及研究ヲ分擔ス

第十四條　敎習隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊內務ノ定則ヲ準用ス

第十五條　敎習隊長ハ校長ノ命ヲ承ケ憲兵敎習兵ノ訓育ニ任ズ

第十六條　敎習隊中隊長ハ敎習隊長ノ命ヲ承ケ憲兵敎習兵ノ訓育ヲ擔任ス

第十七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第十七條ノ二　甲種學生ノ採用ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十八條　丁種學生ノ人員及入校期日ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適當ナル者ヲ選定シ入校期日前ニ其ノ所屬部隊、等級及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第二十條　學生ハ校外ニ、憲兵敎習兵ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十一條　學生及憲兵敎習兵ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十二條　學生（丁種學生ヲ除ク）及憲兵敎習兵ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第二十三條　學生（丙種學生ヲ除ク）中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ之ヲ退校セシム

第二十四條　丙種學生及憲兵敎習兵左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者
二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者
五　前各號ノ外憲兵科將校又ハ憲兵上等兵タルニ適セズト認ムル者

第二十五條　學生及憲兵敎習兵中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ倘望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシメ又ハ次期ノ學生ト爲スコトヲ得

第二十六條　前三條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

第二十七條　校長ハ學生及憲兵敎習兵ノ修學期末ニ於テ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍大臣ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ學生（丁種學生ヲ除ク）及憲兵敎習兵ニハ卒業證書ヲ、丁種學生ニハ修業證書ヲ付與シ學生及憲兵敎習兵ヲ所屬部隊ニ歸除セシム

前項ノ場合ニ於テ校長ハ各學生及憲兵敎習兵ノ修業成績書ヲ憲兵司令官ニ及本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付ス

滯學セシメラレタル學生及憲兵敎習兵修學ヲ終リタルトキハ前二項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第二十七條ノ二　甲種學生中成績優秀ノ者ハ之ヲ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依

リ第二條ニ規定スル課程ヲ終リタル後引續キ更ニ滿ネ一年在學セシメ又ハ陸軍大學校若ハ大學令ニ依ル大學ニ於テ必要ナル學術ヲ研究セシムルコトヲ得

第二十八條　陸軍大臣ハ臨時ニ憲兵科將校以下ヲ陸軍憲兵學校ニ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十九條　校長ハ教育上必要アルトキハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ學生及憲兵教習兵ヲシテ憲兵除ニ於テ勤務ヲ修習セシムルコトヲ得

第三十條　校長ハ學生（丁種學生ヲ除ク）ニ毎年二十日以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第三十一條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ憲兵除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

憲兵練習所令ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ憲兵練習所ノ甲種學生、乙種學生又ハ丙種學生タル者ハ各陸軍憲兵學校ノ甲種學生、乙種學生又ハ丙種學生ト爲リタルモノトス但シ其ノ修學期間ハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和十五年勅令第五百五號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依ル乙種學生又ハ丙種學生タル者ハ各本令ニ依ル丙種學生又ハ丁種學生ト爲リタルモノトス

●昭和七年勅令第二十號（陸軍憲兵學校學生ノ修業期間變更ニ關スル件）

昭和七年三月五日
勅令第二十號

於憲兵練習所學生ノ修業期間變更ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

（總理、陸軍大臣副署）

【憲兵練習所】學生ノ修業期間ハ【憲兵練習所令第十一條】ノ規定ニ拘ラズ當分ノ內陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年八月二十日
陸達第四十號

【憲兵練習所】學生ノ修業期間ハ當分ノ內左ノ通短縮ス

甲種、丙種學生　九月以內

乙種學生　十一月以內

附　則

昭和十年陸達第二十號ハ之ヲ廢止ス

●陸軍習志野學校令

昭和十六年六月十二日
軍令陸第八號

於陸軍習志野學校令ヲ改定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

第一條　陸軍習志野學校ハ學生ニ瓦斯防護等ニ關スル學術ヲ修得セシムルト共ニ之ヲ各隊ニ普及シ且此等ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ所トス

第二條　學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍習志野學校ニ教育部ヲ置ク

第三條　瓦斯防護等ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ爲陸軍習志野學校ニ研究部ヲ置ク

第四條　學生ノ教育竝ニ調査、研究及試驗ニ充ツル爲陸軍習志野學校ニ教導聯隊ヲ置キ各隊ヨリ所要ノ下士官兵ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第五條　校長ハ化兵監ニ隷シ校務ヲ總理ス

第六條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査、研究、試驗等ノ統一ヲ圖ル

第七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第八條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第九條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ分擔ス

第十條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十一條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十二條　教導聯隊職員ノ服務ニ付テハ軍隊內務ノ定則ヲ準用ス

第十三條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第十四條　學生ハ兵科（憲兵ヲ除ク）將校及下士官ヲ以テ之ニ充テ其ノ人員及入校期日ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十五條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校期日前ニ其ノ所屬部隊、官等及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且化兵監ニ通報スベシ

第十六條　管外居住者タル學生ハ校外ニ、管內居住者タル學生ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第十七條　學生ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第十八條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ依リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ化兵監ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第十九條　校長ハ學生ノ修學奬勵ニ於テ修業成績書ヲ調製シ之ヲ化兵監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ下士官ノ學生ニハ修業證書ヲ附與シ學生ヲ歸隊セシム

前項ノ場合ニ於テ化兵監ハ教育總監ヲ經テ學生（下士官ノ學生ヲ除ク）ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各學生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第二十條　陸軍大臣ハ教育總監ノ通牒ニ依リ臨時ニ兵科及各部ノ將校以下ヲ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十一條　校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ除附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十二條　校長ハ研究又ハ教育上必要アルトキハ陸軍航空總監、軍司令官、師團長、飛行集團長等ニ稟議シ其ノ部隊ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令中教導聯隊ニ關スル改正事項ハ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十二年勅令第四百七十號（陸軍ノ諸學校令ノ特例ニ關スル件）

昭和十二年九月二日
勅令第四百七十號

於陸軍ノ諸學校令ノ特例ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

（總理、陸軍大臣副署）

●衛戍令

勅令第四十三號　明治四十二年三月十九日

（改正　大正九年勅令第三一二號、同年勅令第三一三號、昭和二年勅令第一五二號、同年勅令第一六九號、同年勅令第二一〇號、同年勅令第二一五號、同年勅令第二四一號、同年勅令第二四二號、同年勅令第二四三號、同年勅令第二四四號、同年勅令第二四五號、同年勅令第二四六號、同年勅令第二四七號、同年勅令第二四八號、同年勅令第二四九號、同年勅令第二五〇號、同年勅令第二五一號、同年勅令第二五二號、同年勅令第二五三號、同年勅令第二五四號、同年勅令第二五五號、同年勅令第二五六號、同年勅令第二五七號、同年勅令第二五八號、同年勅令第二五九號、同年勅令第二六〇號、同年勅令第二六一號、同年勅令第二六二號、同年勅令第二六三號、同年勅令第二六四號、同年勅令第二六五號、同年勅令第二六六號、同年勅令第二六七號、同年勅令第二六八號、同年勅令第二六九號、同年勅令第二七〇號、同年勅令第二七一號、同年勅令第二七二號、同年勅令第二七三號、同年勅令第二七四號、同年勅令第二七五號、同年勅令第二七六號、同年勅令第二七七號、同年勅令第二七八號、同年勅令第二七九號、同年勅令第二八〇號、同年勅令第二八一號、同年勅令第二八二號、同年勅令第二八三號、同年勅令第二八四號、同年勅令第二八五號、同年勅令第二八六號、同年勅令第二八七號、同年勅令第二八八號、同年勅令第二八九號、同年勅令第二九〇號、同年勅令第二九一號、同年勅令第二九二號、同年勅令第二九三號、同年勅令第二九四號、同年勅令第二九五號、同年勅令第二九六號、同年勅令第二九七號、同年勅令第二九八號、同年勅令第二九九號、同年勅令第三〇〇號、同年勅令第三〇一號、同年勅令第三〇二號、同年勅令第三〇三號、同年勅令第三〇四號、同年勅令第三〇五號、同年勅令第三〇六號、同年勅令第三〇七號、同年勅令第三〇八號、同年勅令第三〇九號、同年勅令第三一〇號、同年勅令第三一一號、同年勅令第三一二號、同年勅令第三一三號、同年勅令第三一四號、同年勅令第三一五號、同年勅令第三一六號、同年勅令第三一七號、同年勅令第三一八號、同年勅令第三一九號、同年勅令第三二〇號、同年勅令第三二一號、同年勅令第三二二號、同年勅令第三二三號、同年勅令第三二四號、同年勅令第三二五號、同年勅令第三二六號、同年勅令第三二七號、同年勅令第三二八號、同年勅令第三二九號、同年勅令第三三〇號、同年勅令第三三一號、同年勅令第三三二號、同年勅令第三三三號、同年勅令第三三四號、同年勅令第三三五號、同年勅令第三三六號、同年勅令第三三七號、同年勅令第三三八號、同年勅令第三三九號、同年勅令第三四〇號、同年勅令第三四一號、同年勅令第三四二號、同年勅令第三四三號、同年勅令第三四四號、同年勅令第三四五號、同年勅令第三四六號、同年勅令第三四七號、同年勅令第三四八號、同年勅令第三四九號、同年勅令第三五〇號、同年勅令第三五一號、同年勅令第三五二號、同年勅令第三五三號、同年勅令第三五四號、同年勅令第三五五號、同年勅令第三五六號、同年勅令第三五七號、同年勅令第三五八號、同年勅令第三五九號、同年勅令第三六〇號、同年勅令第三六一號、同年勅令第三六二號、同年勅令第三六三號、同年勅令第三六四號、同年勅令第三六五號、同年勅令第三六六號、同年勅令第三六七號、同年勅令第三六八號、同年勅令第三六九號、同年勅令第三七〇號、同年勅令第三七一號、同年勅令第三七二號、同年勅令第三七三號、同年勅令第三七四號、同年勅令第三七五號、同年勅令第三七六號、同年勅令第三七七號、同年勅令第三七八號、同年勅令第三七九號、同年勅令第三八〇號、同年勅令第三八一號、同年勅令第三八二號、同年勅令第三八三號、同年勅令第三八四號、同年勅令第三八五號、同年勅令第三八六號、同年勅令第三八七號、同年勅令第三八八號、同年勅令第三八九號、同年勅令第三九〇號、同年勅令第三九一號、同年勅令第三九二號、同年勅令第三九三號、同年勅令第三九四號、同年勅令第三九五號、同年勅令第三九六號、同年勅令第三九七號、同年勅令第三九八號、同年勅令第三九九號、同年勅令第四〇〇號、同年勅令第四〇一號、同年勅令第四〇二號、同年勅令第四〇三號、同年勅令第四〇四號、同年勅令第四〇五號、同年勅令第四〇六號、同年勅令第四〇七號、同年勅令第四〇八號、同年勅令第四〇九號、同年勅令第四一〇號、同年勅令第四一一號、同年勅令第四一二號、同年勅令第四一三號、同年勅令第四一四號、同年勅令第四一五號、同年勅令第四一六號、同年勅令第四一七號、同年勅令第四一八號、同年勅令第四一九號、同年勅令第四二〇號、同年勅令第四二一號、同年勅令第四二二號、同年勅令第四二三號、同年勅令第四二四號、同年勅令第四二五號、同年勅令第四二六號、同年勅令第四二七號、同年勅令第四二八號、同年勅令第四二九號、同年勅令第四三〇號、同年勅令第四三一號、同年勅令第四三二號、同年勅令第四三三號、同年勅令第四三四號、同年勅令第四三五號、同年勅令第四三六號、同年勅令第四三七號、同年勅令第四三八號、同年勅令第四三九號、同年勅令第四四〇號、同年勅令第四四一號、同年勅令第四四二號、同年勅令第四四三號、同年勅令第四四四號、同年勅令第四四五號、同年勅令第四四六號、同年勅令第四四七號、同年勅令第四四八號、同年勅令第四四九號、同年勅令第四五〇號、同年勅令第四五一號、同年勅令第四五二號、同年勅令第四五三號、同年勅令第四五四號、同年勅令第四五五號、同年勅令第四五六號、同年勅令第四五七號、同年勅令第四五八號、同年勅令第四五九號、同年勅令第四六〇號、同年勅令第四六一號、同年勅令第四六二號、同年勅令第四六三號、同年勅令第四六四號、同年勅令第四六五號、同年勅令第四六六號、同年勅令第四六七號、同年勅令第四六八號、同年勅令第四六九號、同年勅令第四七〇號、同年勅令第四七一號、同年勅令第四七二號、同年勅令第四七三號、同年勅令第四七四號、同年勅令第四七五號、同年勅令第四七六號、同年勅令第四七七號、同年勅令第四七八號、同年勅令第四七九號、同年勅令第四八〇號、同年勅令第四八一號、同年勅令第四八二號、同年勅令第四八三號、同年勅令第四八四號、同年勅令第四八五號、同年勅令第四八六號、同年勅令第四八七號、同年勅令第四八八號、同年勅令第四八九號、同年勅令第四九〇號、同年勅令第四九一號、同年勅令第四九二號、同年勅令第四九三號、同年勅令第四九四號、同年勅令第四九五號、同年勅令第四九六號、同年勅令第四九七號、同年勅令第四九八號、同年勅令第四九九號、同年勅令第五〇〇號、同年勅令第五〇一號、同年勅令第五〇二號、同年勅令第五〇三號、同年勅令第五〇四號、同年勅令第五〇五號、同年勅令第五〇六號、同年勅令第五〇七號、同年勅令第五〇八號、同年勅令第五〇九號、同年勅令第五一〇號、同年勅令第五一一號、同年勅令第五一二號、同年勅令第五一三號、同年勅令第五一四號、同年勅令第五一五號、同年勅令第五一六號、同年勅令第五一七號、同年勅令第五一八號、同年勅令第五一九號、同年勅令第五二〇號、同年勅令第五二一號、同年勅令第五二二號、同年勅令第五二三號、同年勅令第五二四號、同年勅令第五二五號、同年勅令第五二六號、同年勅令第五二七號、同年勅令第五二八號、同年勅令第五二九號、同年勅令第五三〇號、同年勅令第五三一號、同年勅令第五三二號、同年勅令第五三三號、同年勅令第五三四號、同年勅令第五三五號、同年勅令第五三六號、同年勅令第五三七號、同年勅令第五三八號、同年勅令第五三九號、同年勅令第五四〇號、同年勅令第五四一號、同年勅令第五四二號、同年勅令第五四三號、同年勅令第五四四號、同年勅令第五四五號、同年勅令第五四六號、同年勅令第五四七號、同年勅令第五四八號、同年勅令第五四九號、同年勅令第五五〇號、同年勅令第五五一號、同年勅令第五五二號、同年勅令第五五三號、同年勅令第五五四號、同年勅令第五五五號、同年勅令第五五六號、同年勅令第五五七號、同年勅令第五五八號、同年勅令第五五九號、同年勅令第五六〇號、同年勅令第五六一號、同年勅令第五六二號、同年勅令第五六三號、同年勅令第五六四號、同年勅令第五六五號、同年勅令第五六六號、同年勅令第五六七號、同年勅令第五六八號、同年勅令第五六九號、同年勅令第五七〇號、同年勅令第五七一號、同年勅令第五七二號、同年勅令第五七三號、同年勅令第五七四號、同年勅令第五七五號、同年勅令第五七六號、同年勅令第五七七號、同年勅令第五七八號、同年勅令第五七九號、同年勅令第五八〇號、同年勅令第五八一號、同年勅令第五八二號、同年勅令第五八三號、同年勅令第五八四號、同年勅令第五八五號、同年勅令第五八六號、同年勅令第五八七號、同年勅令第五八八號、同年勅令第五八九號、同年勅令第五九〇號、同年勅令第五九一號、同年勅令第五九二號、同年勅令第五九三號、同年勅令第五九四號、同年勅令第五九五號、同年勅令第五九六號、同年勅令第五九七號、同年勅令第五九八號、同年勅令第五九九號、同年勅令第六〇〇號、同年勅令第六〇一號、同年勅令第六〇二號、同年勅令第六〇三號、同年勅令第六〇四號、同年勅令第六〇五號、同年勅令第六〇六號、同年勅令第六〇七號、同年勅令第六〇八號、同年勅令第六〇九號、同年勅令第六一〇號、同年勅令第六一一號、同年勅令第六一二號、同年勅令第六一三號、同年勅令第六一四號、同年勅令第六一五號、同年勅令第六一六號、同年勅令第六一七號、同年勅令第六一八號、同年勅令第六一九號、同年勅令第六二〇號、同年勅令第六二一號、同年勅令第六二二號、同年勅令第六二三號、同年勅令第六二四號、同年勅令第六二五號、同年勅令第六二六號、同年勅令第六二七號、同年勅令第六二八號、同年勅令第六二九號、同年勅令第六三〇號、同年勅令第六三一號、同年勅令第六三二號、同年勅令第六三三號、同年勅令第六三四號、同年勅令第六三五號、同年勅令第六三六號、同年勅令第六三七號、同年勅令第六三八號、同年勅令第六三九號、同年勅令第六四〇號、同年勅令第六四一號、同年勅令第六四二號、同年勅令第六四三號、同年勅令第六四四號、同年勅令第六四五號、同年勅令第六四六號、同年勅令第六四七號、同年勅令第六四八號、同年勅令第六四九號、同年勅令第六五〇號、同年勅令第六五一號、同年勅令第六五二號、同年勅令第六五三號、同年勅令第六五四號、同年勅令第六五五號、同年勅令第六五六號、同年勅令第六五七號、同年勅令第六五八號、同年勅令第六五九號、同年勅令第六六〇號、同年勅令第六六一號、同年勅令第六六二號、同年勅令第六六三號、同年勅令第六六四號、同年勅令第六六五號、同年勅令第六六六號、同年勅令第六六七號、同年勅令第六六八號、同年勅令第六六九號、同年勅令第六七〇號、同年勅令第六七一號、同年勅令第六七二號、同年勅令第六七三號、同年勅令第六七四號、同年勅令第六七五號、同年勅令第六七六號、同年勅令第六七七號、同年勅令第六七八號、同年勅令第六七九號、同年勅令第六八〇號、同年勅令第六八一號、同年勅令第六八二號、同年勅令第六八三號、同年勅令第六八四號、同年勅令第六八五號、同年勅令第六八六號、同年勅令第六八七號、同年勅令第六八八號、同年勅令第六八九號、同年勅令第六九〇號、同年勅令第六九一號、同年勅令第六九二號、同年勅令第六九三號、同年勅令第六九四號、同年勅令第六九五號、同年勅令第六九六號、同年勅令第六九七號、同年勅令第六九八號、同年勅令第六九九號、同年勅令第七〇〇號、同年勅令第七〇一號、同年勅令第七〇二號、同年勅令第七〇三號、同年勅令第七〇四號、同年勅令第七〇五號、同年勅令第七〇六號、同年勅令第七〇七號、同年勅令第七〇八號、同年勅令第七〇九號、同年勅令第七一〇號、同年勅令第七一一號、同年勅令第七一二號、同年勅令第七一三號、同年勅令第七一四號、同年勅令第七一五號、同年勅令第七一六號、同年勅令第七一七號、同年勅令第七一八號、同年勅令第七一九號、同年勅令第七二〇號、同年勅令第七二一號、同年勅令第七二二號、同年勅令第七二三號、同年勅令第七二四號、同年勅令第七二五號、同年勅令第七二六號、同年勅令第七二七號、同年勅令第七二八號、同年勅令第七二九號、同年勅令第七三〇號、同年勅令第七三一號、同年勅令第七三二號、同年勅令第七三三號、同年勅令第七三四號、同年勅令第七三五號、同年勅令第七三六號、同年勅令第七三七號、同年勅令第七三八號、同年勅令第七三九號、同年勅令第七四〇號、同年勅令第七四一號、同年勅令第七四二號、同年勅令第七四三號、同年勅令第七四四號、同年勅令第七四五號、同年勅令第七四六號、同年勅令第七四七號、同年勅令第七四八號、同年勅令第七四九號、同年勅令第七五〇號、同年勅令第七五一號、同年勅令第七五二號、同年勅令第七五三號、同年勅令第七五四號、同年勅令第七五五號、同年勅令第七五六號、同年勅令第七五七號、同年勅令第七五八號、同年勅令第七五九號、同年勅令第七六〇號、同年勅令第七六一號、同年勅令第七六二號、同年勅令第七六三號、同年勅令第七六四號、同年勅令第七六五號、同年勅令第七六六號、同年勅令第七六七號、同年勅令第七六八號、同年勅令第七六九號、同年勅令第七七〇號、同年勅令第七七一號、同年勅令第七七二號、同年勅令第七七三號、同年勅令第七七四號、同年勅令第七七五號、同年勅令第七七六號、同年勅令第七七七號、同年勅令第七七八號、同年勅令第七七九號、同年勅令第七八〇號、同年勅令第七八一號、同年勅令第七八二號、同年勅令第七八三號、同年勅令第七八四號、同年勅令第七八五號、同年勅令第七八六號、同年勅令第七八七號、同年勅令第七八八號、同年勅令第七八九號、同年勅令第七九〇號、同年勅令第七九一號、同年勅令第七九二號、同年勅令第七九三號、同年勅令第七九四號、同年勅令第七九五號、同年勅令第七九六號、同年勅令第七九七號、同年勅令第七九八號、同年勅令第七九九號、同年勅令第八〇〇號、同年勅令第八〇一號、同年勅令第八〇二號、同年勅令第八〇三號、同年勅令第八〇四號、同年勅令第八〇五號、同年勅令第八〇六號、同年勅令第八〇七號、同年勅令第八〇八號、同年勅令第八〇九號、同年勅令第八一〇號、同年勅令第八一一號、同年勅令第八一二號、同年勅令第八一三號、同年勅令第八一四號、同年勅令第八一五號、同年勅令第八一六號、同年勅令第八一七號、同年勅令第八一八號、同年勅令第八一九號、同年勅令第八二〇號、同年勅令第八二一號、同年勅令第八二二號、同年勅令第八二三號、同年勅令第八二四號、同年勅令第八二五號、同年勅令第八二六號、同年勅令第八二七號、同年勅令第八二八號、同年勅令第八二九號、同年勅令第八三〇號、同年勅令第八三一號、同年勅令第八三二號、同年勅令第八三三號、同年勅令第八三四號、同年勅令第八三五號、同年勅令第八三六號、同年勅令第八三七號、同年勅令第八三八號、同年勅令第八三九號、同年勅令第八四〇號、同年勅令第八四一號、同年勅令第八四二號、同年勅令第八四三號、同年勅令第八四四號、同年勅令第八四五號、同年勅令第八四六號、同年勅令第八四七號、同年勅令第八四八號、同年勅令第八四九號、同年勅令第八五〇號、同年勅令第八五一號、同年勅令第八五二號、同年勅令第八五三號、同年勅令第八五四號、同年勅令第八五五號、同年勅令第八五六號、同年勅令第八五七號、同年勅令第八五八號、同年勅令第八五九號、同年勅令第八六〇號、同年勅令第八六一號、同年勅令第八六二號、同年勅令第八六三號、同年勅令第八六四號、同年勅令第八六五號、同年勅令第八六六號、同年勅令第八六七號、同年勅令第八六八號、同年勅令第八六九號、同年勅令第八七〇號、同年勅令第八七一號、同年勅令第八七二號、同年勅令第八七三號、同年勅令第八七四號、同年勅令第八七五號、同年勅令第八七六號、同年勅令第八七七號、同年勅令第八七八號、同年勅令第八七九號、同年勅令第八八〇號、同年勅令第八八一號、同年勅令第八八二號、同年勅令第八八三號、同年勅令第八八四號、同年勅令第八八五號、同年勅令第八八六號、同年勅令第八八七號、同年勅令第八八八號、同年勅令第八八九號、同年勅令第八九〇號、同年勅令第八九一號、同年勅令第八九二號、同年勅令第八九三號、同年勅令第八九四號、同年勅令第八九五號、同年勅令第八九六號、同年勅令第八九七號、同年勅令第八九八號、同年勅令第八九九號、同年勅令第九〇〇號、同年勅令第九〇一號、同年勅令第九〇二號、同年勅令第九〇三號、同年勅令第九〇四號、同年勅令第九〇五號、同年勅令第九〇六號、同年勅令第九〇七號、同年勅令第九〇八號、同年勅令第九〇九號、同年勅令第九一〇號、同年勅令第九一一號、同年勅令第九一二號、同年勅令第九一三號、同年勅令第九一四號、同年勅令第九一五號、同年勅令第九一六號、同年勅令第九一七號、同年勅令第九一八號、同年勅令第九一九號、同年勅令第九二〇號、同年勅令第九二一號、同年勅令第九二二號、同年勅令第九二三號、同年勅令第九二四號、同年勅令第九二五號、同年勅令第九二六號、同年勅令第九二七號、同年勅令第九二八號、同年勅令第九二九號、同年勅令第九三〇號、同年勅令第九三一號、同年勅令第九三二號、同年勅令第九三三號、同年勅令第九三四號、同年勅令第九三五號、同年勅令第九三六號、同年勅令第九三七號、同年勅令第九三八號、同年勅令第九三九號、同年勅令第九四〇號、同年勅令第九四一號、同年勅令第九四二號、同年勅令第九四三號、同年勅令第九四四號、同年勅令第九四五號、同年勅令第九四六號、同年勅令第九四七號、同年勅令第九四八號、同年勅令第九四九號、同年勅令第九五〇號、同年勅令第九五一號、同年勅令第九五二號、同年勅令第九五三號、同年勅令第九五四號、同年勅令第九五五號、同年勅令第九五六號、同年勅令第九五七號、同年勅令第九五八號、同年勅令第九五九號、同年勅令第九六〇號、同年勅令第九六一號、同年勅令第九六二號、同年勅令第九六三號、同年勅令第九六四號、同年勅令第九六五號、同年勅令第九六六號、同年勅令第九六七號、同年勅令第九六八號、同年勅令第九六九號、同年勅令第九七〇號、同年勅令第九七一號、同年勅令第九七二號、同年勅令第九七三號、同年勅令第九七四號、同年勅令第九七五號、同年勅令第九七六號、同年勅令第九七七號、同年勅令第九七八號、同年勅令第九七九號、同年勅令第九八〇號、同年勅令第九八一號、同年勅令第九八二號、同年勅令第九八三號、同年勅令第九八四號、同年勅令第九八五號、同年勅令第九八六號、同年勅令第九八七號、同年勅令第九八八號、同年勅令第九八九號、同年勅令第九九〇號、同年勅令第九九一號、同年勅令第九九二號、同年勅令第九九三號、同年勅令第九九四號、同年勅令第九九五號、同年勅令第九九六號、同年勅令第九九七號、同年勅令第九九八號、同年勅令第九九九號、同年勅令第一〇〇〇號、同年勅令第一〇〇一號、同年勅令第一〇〇二號、同年勅令第一〇〇三號、同年勅令第一〇〇四號、同年勅令第一〇〇五號、同年勅令第一〇〇六號、同年勅令第一〇〇七號、同年勅令第一〇〇八號、同年勅令第一〇〇九號、同年勅令第一〇一〇號、同年勅令第一〇一一號、同年勅令第一〇一二號、同年勅令第一〇一三號、同年勅令第一〇一四號、同年勅令第一〇一五號、同年勅令第一〇一六號、同年勅令第一〇一七號、同年勅令第一〇一八號、同年勅令第一〇一九號、同年勅令第一〇二〇號、同年勅令第一〇二一號、同年勅令第一〇二二號、同年勅令第一〇二三號、同年勅令第一〇二四號、同年勅令第一〇二五號、同年勅令第一〇二六號、同年勅令第一〇二七號、同年勅令第一〇二八號、同年勅令第一〇二九號、同年勅令第一〇三〇號、同年勅令第一〇三一號、同年勅令第一〇三二號、同年勅令第一〇三三號、同年勅令第一〇三四號、同年勅令第一〇三五號、同年勅令第一〇三六號、同年勅令第一〇三七號、同年勅令第一〇三八號、同年勅令第一〇三九號、同年勅令第一〇四〇號、同年勅令第一〇四一號、同年勅令第一〇四二號、同年勅令第一〇四三號、同年勅令第一〇四四號、同年勅令第一〇四五號、同年勅令第一〇四六號、同年勅令第一〇四七號、同年勅令第一〇四八號、同年勅令第一〇四九號、同年勅令第一〇五〇號、同年勅令第一〇五一號、同年勅令第一〇五二號、同年勅令第一〇五三號、同年勅令第一〇五四號、同年勅令第一〇五五號、同年勅令第一〇五六號、同年勅令第一〇五七號、同年勅令第一〇五八號、同年勅令第一〇五九號、同年勅令第一〇六〇號、同年勅令第一〇六一號、同年勅令第一〇六二號、同年勅令第一〇六三號、同年勅令第一〇六四號、同年勅令第一〇六五號、同年勅令第一〇六六號、同年勅令第一〇六七號、同年勅令第一〇六八號、同年勅令第一〇六九號、同年勅令第一〇七〇號、同年勅令第一〇七一號、同年勅令第一〇七二號、同年勅令第一〇七三號、同年勅令第一〇七四號、同年勅令第一〇七五號、同年勅令第一〇七六號、同年勅令第一〇七七號、同年勅令第一〇七八號、同年勅令第一〇七九號、同年勅令第一〇八〇號、同年勅令第一〇八一號、同年勅令第一〇八二號、同年勅令第一〇八三號、同年勅令第一〇八四號、同年勅令第一〇八五號、同年勅令第一〇八六號、同年勅令第一〇八七號、同年勅令第一〇八八號、同年勅令第一〇八九號、同年勅令第一〇九〇號、同年勅令第一〇九一號、同年勅令第一〇九二號、同年勅令第一〇九三號、同年勅令第一〇九四號、同年勅令第一〇九五號、同年勅令第一〇九六號、同年勅令第一〇九七號、同年勅令第一〇九八號、同年勅令第一〇九九號、同年勅令第一一〇〇號、同年勅令第一一〇一號、同年勅令第一一〇二號、同年勅令第一一〇三號、同年勅令第一一〇四號、同年勅令第一一〇五號、同年勅令第一一〇六號、同年勅令第一一〇七號、同年勅令第一一〇八號、同年勅令第一一〇九號、同年勅令第一一一〇號、同年勅令第一一一一號、同年勅令第一一一二號、同年勅令第一一一三號、同年勅令第一一一四號、同年勅令第一一一五號、同年勅令第一一一六號、同年勅令第一一一七號、同年勅令第一一一八號、同年勅令第一一一九號、同年勅令第一一二〇號、同年勅令第一一二一號、同年勅令第一一二二號、同年勅令第一一二三號、同年勅令第一一二四號、同年勅令第一一二五號、同年勅令第一一二六號、同年勅令第一一二七號、同年勅令第一一二八號、同年勅令第一一二九號、同年勅令第一一三〇號、同年勅令第一一三一號、同年勅令第一一三二號、同年勅令第一一三三號、同年勅令第一一三四號、同年勅令第一一三五號、同年勅令第一一三六號、同年勅令第一一三七號、同年勅令第一一三八號、同年勅令第一一三九號、同年勅令第一一四〇號、同年勅令第一一四一號、同年勅令第一一四二號、同年勅令第一一四三號、同年勅令第一一四四號、同年勅令第一一四五號、同年勅令第一一四六號、同年勅令第一一四七號、同年勅令第一一四八號、同年勅令第一一四九號、同年勅令第一一五〇號、同年勅令第一一五一號、同年勅令第一一五二號、同年勅令第一一五三號、同年勅令第一一五四號、同年勅令第一一五五號、同年勅令第一一五六號、同年勅令第一一五七號、同年勅令第一一五八號、同年勅令第一一五九號、同年勅令第一一六〇號、同年勅令第一一六一號、同年勅令第一一六二號、同年勅令第一一六三號、同年勅令第一一六四號、同年勅令第一一六五號、同年勅令第一一六六號、同年勅令第一一六七號、同年勅令第一一六八號、同年勅令第一一六九號、同年勅令第一一七〇號、同年勅令第一一七一號、同年勅令第一一七二號、同年勅令第一一七三號、同年勅令第一一七四號、同年勅令第一一七五號、同年勅令第一一七六號、同年勅令第一一七七號、同年勅令第一一七八號、同年勅令第一一七九號、同年勅令第一一八〇號、同年勅令第一一八一號、同年勅令第一一八二號、同年勅令第一一八三號、同年勅令第一一八四號、同年勅令第一一八五號、同年勅令第一一八六號、同年勅令第一一八七號、同年勅令第一一八八號、同年勅令第一一八九號、同年勅令第一一九〇號、同年勅令第一一九一號、同年勅令第一一九二號、同年勅令第一一九三號、同年勅令第一一九四號、同年勅令第一一九五號、同年勅令第一一九六號、同年勅令第一一九七號、同年勅令第一一九八號、同年勅令第一一九九號、同年勅令第一二〇〇號、同年勅令第一二〇一號、同年勅令第一二〇二號、同年勅令第一二〇三號、同年勅令第一二〇四號、同年勅令第一二〇五號、同年勅令第一二〇六號、同年勅令第一二〇七號、同年勅令第一二〇八號、同年勅令第一二〇九號、同年勅令第一二一〇號、同年勅令第一二一一號、同年勅令第一二一二號、同年勅令第一二一三號、同年勅令第一二一四號、同年勅令第一二一五號、同年勅令第一二一六號、同年勅令第一二一七號、同年勅令第一二一八號、同年勅令第一二一九號、同年勅令第一二二〇號、同年勅令第一二二一號、同年勅令第一二二二號、同年勅令第一二二三號、同年勅令第一二二四號、同年勅令第一二二五號、同年勅令第一二二六號、同年勅令第一二二七號、同年勅令第一二二八號、同年勅令第一二二九號、同年勅令第一二三〇號、同年勅令第一二三一號、同年勅令第一二三二號、同年勅令第一二三三號、同年勅令第一二三四號、同年勅令第一二三五號、同年勅令第一二三六號、同年勅令第一二三七號、同年勅令第一二三八號、同年勅令第一二三九號、同年勅令第一二四〇號、同年勅令第一二四一號、同年勅令第一二四二號、同年勅令第一二四三號、同年勅令第一二四四號、同年勅令第一二四五號、同年勅令第一二四六號、同年勅令第一二四七號、同年勅令第一二四八號、同年勅令第一二四九號、同年勅令第一二五〇號、同年勅令第一二五一號、同年勅令第一二五二號、同年勅令第一二五三號、同年勅令第一二五四號、同年勅令第一二五五號、同年勅令第一二五六號、同年勅令第一二五七號、同年勅令第一二五八號、同年勅令第一二五九號、同年勅令第一二六〇號、同年勅令第一二六一號、同年勅令第一二六二號、同年勅令第一二六三號、同年勅令第一二六四號、同年勅令第一二六五號、同年勅令第一二六六號、同年勅令第一二六七號、同年勅令第一二六八號、同年勅令第一二六九號、同年勅令第一二七〇號、同年勅令第一二七一號、同年勅令第一二七二號、同年勅令第一二七三號、同年勅令第一二七四號、同年勅令第一二七五號、同年勅令第一二七六號、同年勅令第一二七七號、同年勅令第一二七八號、同年勅令第一二七九號、同年勅令第一二八〇號、同年勅令第一二八一號、同年勅令第一二八二號、同年勅令第一二八三號、同年勅令第一二八四號、同年勅令第一二八五號、同年勅令第一二八六號、同年勅令第一二八七號、同年勅令第一二八八號、同年勅令第一二八九號、同年勅令第一二九〇號、同年勅令第一二九一號、同年勅令第一二九二號、同年勅令第一二九三號、同年勅令第一二九四號、同年勅令第一二九五號、同年勅令第一二九六號、同年勅令第一二九七號、同年勅令第一二九八號、同年勅令第一二九九號、同年勅令第一三〇〇號、同年勅令第一三〇一號、同年勅令第一三〇二號、同年勅令第一三〇三號、同年勅令第一三〇四號、同年勅令第一三〇五號、同年勅令第一三〇六號、同年勅令第一三〇七號、同年勅令第一三〇八號、同年勅令第一三〇九號、同年勅令第一三一〇號、同年勅令第一三一一號、同年勅令第一三一二號、同年勅令第一三一三號、同年勅令第一三一四號、同年勅令第一三一五號、同年勅令第一三一六號、同年勅令第一三一七號、同年勅令第一三一八號、同年勅令第一三一九號、同年勅令第一三二〇號、同年勅令第一三二一號、同年勅令第一三二二號、同年勅令第一三二三號、同年勅令第一三二四號、同年勅令第一三二五號、同年勅令第一三二六號、同年勅令第一三二七號、同年勅令第一三二八號、同年勅令第一三二九號、同年勅令第一三三〇號、同年勅令第一三三一號、同年勅令第一三三二號、同年勅令第一三三三號、同年勅令第一三三四號、同年勅令第一三三五號、同年勅令第一三三六號、同年勅令第一三三七號、同年勅令第一三三八號、同年勅令第一三三九號、同年勅令第一三四〇號、同年勅令第一三四一號、同年勅令第一三四二號、同年勅令第一三四三號、同年勅令第一三四四號、同年勅令第一三四五號、同年勅令第一三四六號、同年勅令第一三四七號、同年勅令第一三四八號、同年勅令第一三四九號、同年勅令第一三五〇號、同年勅令第一三五一號、同年勅令第一三五二號、同年勅令第一三五三號、同年勅令第一三五四號、同年勅令第一三五五號、同年勅令第一三五六號、同年勅令第一三五七號、同年勅令第一三五八號、同年勅令第一三五九號、同年勅令第一三六〇號、同年勅令第一三六一號、同年勅令第一三六二號、同年勅令第一三六三號、同年勅令第一三六四號、同年勅令第一三六五號、同年勅令第一三六六號、同年勅令第一三六七號、同年勅令第一三六八號、同年勅令第一三六九號、同年勅令第一三七〇號、同年勅令第一三七一號、同年勅令第一三七二號、同年勅令第一三七三號、同年勅令第一三七四號、同年勅令第一三七五號、同年勅令第一三七六號、同年勅令第一三七七號、同年勅令第一三七八號、同年勅令第一三七九號、同年勅令第一三八〇號、同年勅令第一三八一號、同年勅令第一三八二號、同年勅令第一三八三號、同年勅令第一三八四號、同年勅令第一三八五號、同年勅令第一三八六號、同年勅令第一三八七號、同年勅令第一三八八號、同年勅令第一三八九號、同年勅令第一三九〇號、同年勅令第一三九一號、同年勅令第一三九二號、同年勅令第一三九三號、同年勅令第一三九四號、同年勅令第一三九五號、同年勅令第一三九六號、同年勅令第一三九七號、同年勅令第一三九八號、同年勅令第一三九九號、同年勅令第一四〇〇號、同年勅令第一四〇一號、同年勅令第一四〇二號、同年勅令第一四〇三號、同年勅令第一四〇四號、同年勅令第一四〇五號、同年勅令第一四〇六號、同年勅令第一四〇七號、同年勅令第一四〇八號、同年勅令第一四〇九號、同年勅令第一四一〇號、同年勅令第一四一一號、同年勅令第一四一二號、同年勅令第一四一三號、同年勅令第一四一四號、同年勅令第一四一五號、同年勅令第一四一六號、同年勅令第一四一七號、同年勅令第一四一八號、同年勅令第一四一九號、同年勅令第一四二〇號、同年勅令第一四二一號、同年勅令第一四二二號、同年勅令第一四二三號、同年勅令第一四二四號、同年勅令第一四二五號、同年勅令第一四二六號、同年勅令第一四二七號、同年勅令第一四二八號、同年勅令第一四二九號、同年勅令第一四三〇號、同年勅令第一四三一號、同年勅令第一四三二號、同年勅令第一四三三號、同年勅令第一四三四號、同年勅令第一四三五號、同年勅令第一四三六號、同年勅令第一四三七號、同年勅令第一四三八號、同年勅令第一四三九號、同年勅令第一四四〇號、同年勅令第一四四一號、同年勅令第一四四二號、同年勅令第一四四三號、同年勅令第一四四四號、同年勅令第一四四五號、同年勅令第一四四六號、同年勅令第一四四七號、同年勅令第一四四八號、同年勅令第一四四九號、同年勅令第一四五〇號、同年勅令第一四五一號、同年勅令第一四五二號、同年勅令第一四五三號、同年勅令第一四五四號、同年勅令第一四五五號、同年勅令第一四五六號、同年勅令第一四五七號、同年勅令第一四五八號、同年勅令第一四五九號、同年勅令第一四六〇號、同年勅令第一四六一號、同年勅令第一四六二號、同年勅令第一四六三號、同年勅令第一四六四號、同年勅令第一四六五號、同年勅令第一四六六號、同年勅令第一四六七號、同年勅令第一四六八號、同年勅令第一四六九號、同年勅令第一四七〇號、同年勅令第一四七一號、同年勅令第一四七二號、同年勅令第一四七三號、同年勅令第一四七四號、同年勅令第一四七五號、同年勅令第一四七六號、同年勅令第一四七七號、同年勅令第一四七八號、同年勅令第一四七九號、同年勅令第一四八〇號、同年勅令第一四八一號、同年勅令第一四八二號、同年勅令第一四八三號、同年勅令第一四八四號、同年勅令第一四八五號、同年勅令第一四八六號、同年勅令第一四八七號、同年勅令第一四八八號、同年勅令第一四八九號、同年勅令第一四九〇號、同年勅令第一四九一號、同年勅令第一四九二號、同年勅令第一四九三號、同年勅令第一四九四號、同年勅令第一四九五號、同年勅令第一四九六號、同年勅令第一四九七號、同年勅令第一四九八號、同年勅令第一四九九號、同年勅令第一五〇〇號、同年勅令第一五〇一號、同年勅令第一五〇二號、同年勅令第一五〇三號、同年勅令第一五〇四號、同年勅令第一五〇五號、同年勅令第一五〇六號、同年勅令第一五〇七號、同年勅令第一五〇八號、同年勅令第一五〇九號、同年勅令第一五一〇號、同年勅令第一五一一號、同年勅令第一五一二號、同年勅令第一五一三號、同年勅令第一五一四號、同年勅令第一五一五號、同年勅令第一五一六號、同年勅令第一五一七號、同年勅令第一五一八號、同年勅令第一五一九號、同年勅令第一五二〇號、同年勅令第一五二一號、同年勅令第一五二二號、同年勅令第一五二三號、同年勅令第一五二四號、同年勅令第一五二五號、同年勅令第一五二六號、同年勅令第一五二七號、同年勅令第一五二八號、同年勅令第一五二九號、同年勅令第一五三〇號、同年勅令第一五三一號、同年勅令第一五三二號、同年勅令第一五三三號、同年勅令第一五三四號、同年勅令第一五三五號、同年勅令第一五三六號、同年勅令第一五三七號、同年勅令第一五三八號、同年勅令第一五三九號、同年勅令第一五四〇號、同年勅令第一五四一號、同年勅令第一五四二號、同年勅令第一五四三號、同年勅令第一五四四號、同年勅令第一五四五號、同年勅令第一五四六號、同年勅令第一五四七號、同年勅令第一五四八號、同年勅令第一五四九號、同年勅令第一五五〇號、同年勅令第一五五一號、同年勅令第一五五二號、同年勅令第一五五三號、同年勅令第一五五四號、同年勅令第一五五五號、同年勅令第一五五六號、同年勅令第一五五七號、同年勅令第一五五八號、同年勅令第一五五九號、同年勅令第一五六〇號、同年勅令第一五六一號、同年勅令第一五六二號、同年勅令第一五六三號、同年勅令第一五六四號、同年勅令第一五六五號、同年勅令第一五六六號、同年勅令第一五六七號、同年勅令第一五六八號、同年勅令第一五六九號、同年勅令第一五七〇號、同年勅令第一五七一號、同年勅令第一五七二號、同年勅令第一五七三號、同年勅令第一五七四號、同年勅令第一五七五號、同年勅令第一五七六號、同年勅令第一五七七號、同年勅令第一五七八號、同年勅令第一五七九號、同年勅令第一五八〇號、同年勅令第一五八一號、同年勅令第一五八二號、同年勅令第一五八三號、同年勅令第一五八四號、同年勅令第一五八五號、同年勅令第一五八六號、同年勅令第一五八七號、同年勅令第一五八八號、同年勅令第一五八九號、同年勅令第一五九〇號、同年勅令第一五九一號、同年勅令第一五九二號、同年勅令第一五九三

一暴行ヲ受ケ自衛ノ爲止ムヲ得サルトキ
一多衆聚合シテ暴行ヲ爲スニ當リ兵器ヲ用ユルニ非サレハ鎭壓スルノ手段ナキトキ
一人及土地其他ノ物件ヲ防衛スルニ兵器ヲ用ユルニ非サレハ他ニ手段ナキトキ

第六　衞戍司令官ハ衞戍勤務ニ關スル規定中必要ナル事柄ハ地方官及憲兵ニ通報スヘシ

第六ノ二　衞戍司令官ハ豫メ災害又ハ非常ノ際ニ方リ必要ナル衞戍地ノ警備竝治安維持ノ方法ヲ計畫スヘシ

第六ノ三　衞戍司令官ハ災害又ハ非常ニ際シ地方官ヨリ兵力ノ請求ヲ受ケタルトキ事急ナレハ直ニ之ニ應スルコトヲ得
其ノ事地方官ノ請求ヲ待ツノ遑ナキトキハ兵力ヲ以テ便宜處置スルコトヲ得

第七　衞戍司令官ハ災害又ハ非常ノ際ニ方リ兵力ヲ用井ムトスルトキ若ハ用井タルトキハ之ヲ陸軍大臣及參謀總長ニ報告スヘシ但シ軍司令官又ハ師團長ノ統轄ニ屬スル衞戍司令官ニ在リテハ之ト同時ニ當該軍司令官又ハ師團長ニ報告スヘシ

第八　衞戍勤務執行ノ區域ハ衞戍司令官之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ軍司令官又ハ師團長ノ統轄ニ屬スル衞戍司令官ニ在リテハ當該軍司令官又ハ師團長ヲ經ヘキモノトス

第九　衞戍司令官ハ衞兵所備付物品ノ品目數ヲ定ムヘシ

第十　軍港、要港又ハ海軍部除所在地ノ衞戍司令官ハ職務ノ執行ニ關シ海軍ニ關聯スル事柄ハ豫メ海軍官憲ト協議スヘシ

第三章　衞戍勤務

第一款　通則

第十一　衞戍勤務ハ主トシテ衞戍衞兵及衞戍巡察ヲ以テ之ヲ行フ
衞戍勤務ニ服スル者ハ其必要ニ應シ兵科憲兵ヲノ者ヲ以テ之ニ充ツ（除ク）

第十二　衞戍勤務ニ服スル者ハ左ニ記スル場合ニ非サレハ兵器ヲ用ユルコトヲ得ス

〔輯一一五〕

第十三　衞戍勤務ニ服スル者ハ其任務ニ妨ナキ限リ左ニ揭ク者ヲ逮捕スルコトヲ得又軍人外ノ犯罪者ト雖之カ逮捕ノ爲憲兵又ハ警察官ヨリ援助ノ請求アルトキハ之ニ應スルコトヲ得但シ衞兵司令及其衞兵ノ約半數ハ何レノ場合ニ於テモ衞兵所ヲ離ルルコトヲ許サス
一暴行、殺人、逃亡、放火、賭博、强盜、竊盜等ノ現行犯人
一番内居住ノ下士官兵勤務ニ依ラス又ハ規定ニ反シテ營外ニ在ル者
總テ逮捕シタル者ハ軍人軍屬又ハ常人タルトニ依リ成ルヘク速ニ憲兵、警察官又ハ所屬部隊ニ引渡スヘシ

第十四　衞兵司令及巡察勤務ニ服スル者ハ軍人軍屬ノ現行犯ヲ認ムルトキハ其氏名所屬部隊ヲ琢問シ必要アルトキハ憲兵又ハ所屬部隊ニ引渡スヘシ

第二款　衞戍衞兵

第十五　衞戍衞兵ハ其營備スル官衙等ノ名稱ヲ冠シ某衞戍衞兵ト稱ス

第十六　衞戍衞兵ノ服務ハ通常二十四時間トシ一哨所ニ兵三名ヲ充テ單哨ニシテ概ネ一時間毎ニ交代スルモノトス但シ衞戍司令官ハ必要ニ應シ其兵數ヲ增加シ哨所ノ數ヲ增シ又ハ複哨、分哨ト爲スコトヲ得

〔輯一一五〕

第十七　衞戍司令官ハ衞戍衞兵ヲ衞戍地外ニ在ル彈藥庫火藥庫等ニ備フルトキ（分遣除ク）稱ス又ハ警備上其他必要ト認ムルトキハ衞戍衞兵ヲシテ約一週間若ハ必要期間連續服務セシムルコトヲ得

第十八　衞戍衞兵ノ服裝ハ陸軍服裝令ノ定ムル所ニ依ル

第十九　衞戍衞兵ハ其服務中通常背嚢ヲ負ハサルモノトス

第二十　衞戍衞兵ハ衞戍司令官ノ指定セル書籍ノ外閱讀スヘカラス又許可ナクシテ衞兵所ヲ離ルヘカラス衞兵司令衞舍ヲ離ルルヲ要スルトキハ代理者ヲ命シ置クヘシ

第二十一　衞戍司令官ハ夜間衞兵ノ約三分ノ一ニ衞兵所ニ於テ假眠ヲ許シ又毛布、枕、蚊帳ノ使用ヲ許スコトヲ得

第二十二　衞戍司令官ハ數日間連續服務スル衞戍衞兵ニシテ必要ト認メタルモノニ限リ其人員ヲ指定シテ之ニ晝夜共就眠又ハ假眠ヲ許スコトヲ得
前項ノ衞兵所ニ在リテハ寢具ヲ備付クルコトヲ得

第二十三　衞兵所ニハ非常用トシテ實包ヲ備フ但シ其彈藥函ノ鍵ハ衞兵司令之ヲ保管シ衞戍司令官ノ命令アルカ又ハ萬已ムヲ得サルニ非サレハ實包ヲ分配スヘカラス

第二十四　緊急ノ場合ニ備フル爲衞兵所ニハ衞戍司令官、最寄軍除、憲兵除、警察署、消防署等ノ所在及之ニ通スル道路ヲ示シタル要圖ヲ備ヘ必要ナル電話番號等ヲ記シ置クヘシ

第二十五　衞兵司令ハ勤務ノ輕重ニ應シ將校、准士官又ハ下士官ヲ以テ之ニ充テ衞舍掛歩哨掛ハ下士官若ハ上等兵ヲ以テ之ニ充ツ但シ衞舍掛ヲシテ一時歩哨掛ノ勤務ヲ執ラシメ衞兵ノ人員少ナキトキハ一名ヲシテ衞舍掛、歩哨掛ヲ兼ネシメ又上等兵ヲ以テ衞兵司令ト爲スコトヲ得

第二十六　衞兵司令官ハ衞戍司令官ノ命ヲ承ケ其任務ニ服シ且衞兵所及備付物品ノ清潔保存ノ責ニ任ス

第二十七　衞兵司令ハ歩哨ヲ出スヘキ哨所ノ數、巡察若ハ斥候ノ規定、幾害又ハ非常ノトキニ於ケル處置竝門ノ出入ヲ許スヘキ者及物品持出ニ付テハ豫メ衞戍司令官ノ指示ヲ受クヘキモノトス

第二十八　衞兵交代ノ際下番衞兵ハ通常衞兵所ノ前ニ於テ其左方ニ上番衞兵ノ爲餘地ヲ置キ整列シ兩衞兵ハ部隊相互ノ敬禮ヲ行ヒ下番衞兵司令ハ必要ノ申送ヲ爲シ歩哨ノ交代、物件ノ受渡ヲ了ヘタル後再ヒ部隊相互ノ敬禮ヲ行ヒ下番衞兵ハ退場ス

第二十九　衞兵司令ハ衞兵交代後直ニ各哨所ヲ巡視シ歩哨ニ其守則ヲ試問スヘシ爾後屢〻巡察シ歩哨ノ勤惰ヲ監視シ非違ヲ戒メ特ニ火災豫防ニ注意スヘシ

第三十　衞兵司令ハ門ノ出入若ハ倉庫ノ開扉等ヲ請フ者アルトキハ自ラ之ヲ檢シ疑ナキコトヲ確認スルニ非サレハ許スヘカラス但シ守警若ハ守衞ニ於テ之ヲ檢スルノ規定アルモノハ此限ニ在ラス

第三十一　衞兵司令ハ門ノ出入多キトキ又ハ倉庫開扉中等必要ト認ムルトキハ一時哨兵ヲ增スヘシ

第三十二　數日間連續服務スル衞戍衞兵ノ司令ハ警備ニ差支ナキ限リ衞兵ヲシテ教練ヲ行ハシムヘシ

第三十三　衞兵司令ハ衞兵中勤務ニ堪ヘ難キ病者ヲ生シ又ハ刑法ニ該ル犯人アリテ交代ヲ要スルトキハ直ニ當該所屬除ニ交代者ヲ請求スヘシ

第三十四　衞兵司令ハ衞兵所備付物品中修理又ハ交換ヲ要スルモノ及消耗品ハ之ヲ衞兵所所屬ノ官廳ニ請求スヘシ但シ故意又ハ過失ニ依ル破損缺

〔輯一一五〕

失ニ付テハ始末書ヲ徴シ衛戍司令官ニ差出スヘシ

第三十五　衛兵司令ハ火災及非常ノ際等至急ヲ要スルモノハ即時、其他服務中ノ出来事ハ衛兵交代ノトキ報告表ニ記入シ衛戍司令官ニ報告スヘシ

第三十六　衛令掛ハ衛兵司令ノ命ヲ承ケ営舎ヲ指揮シ衛兵所位之ニ属スル建物等内外ノ清潔保存ニ任シ備付物品ヲ監守シ特ニ火元取締ニ任スヘシ

第三十七　上番衛令掛ハ衛兵交代ノトキ下番衛令掛ヨリ他諸物品ヲ検シ之ヲ受領スヘシ若シ破損欠亡トキハ下番衛令掛ヨリ其経明書ヲ徴シ之ヲ衛兵司令ニ差出スヘシ

第三十八　歩哨掛ハ衛兵司令ノ命ヲ承ケ歩哨ノ交代ヲ掌リ哨令ノ清潔保存ニ任シ歩哨ヲシテ服装ヲ正フシ守則ヲ熟知シ且厳粛ニ之ヲ実施セシムヘシ

第三十九　衛兵交代ノトキ歩哨掛ハ上番歩哨ヲ率キテ哨所ニ至リ下番歩哨ニ向キ合ヒ又ハ之ニ立ハシメ下番歩哨掛立合ニテ守則ノ申継及其服務中見聞セシ亦作ノ儀告ヲ受ケシムヘシ

衛兵交代ノ場合ニ非サル歩哨ノ交代モ亦之ニ準ス

第四十　歩哨ハ厳ニ守則ヲ守リ常ニ耳目ヲ働カシ警戒ヲ怠ルヘカラス

第四十一　歩哨ハ常ニ姿勢動作ヲ正シ用務ノ外他人ト談話スヘカラス又頭巾ヲ冠ルコトヲ禁ス

第四十二　歩哨ハ雨雪ノトキ哨令ニ入ルコトヲ得但シ特ニ警戒ヲ要スルトキ又ハ敬礼ヲ行フ際ハ哨令ヨリ出ツヘシ

第四十三　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第四十四　歩哨ハ衛兵司令ノ命ヲ承ケ営舎ヲ指揮シ衛兵所位之ニ属スル建物等内外ノ清潔保存ニ任シ備付物品ヲ監守シ特ニ火元取締ニ任スヘシ

第四十五　上番衛令掛ハ衛兵交代ノトキ下番衛令掛ヨリ他諸物品ヲ検シ之ヲ受領スヘシ若シ破損欠亡トキハ下番衛令掛ヨリ其経明書ヲ徴シ之ヲ衛兵司令ニ差出スヘシ

第四十六　歩哨掛ハ衛兵司令ノ命ヲ承ケ歩哨ノ交代ヲ掌リ哨令ノ清潔保存ニ任シ歩哨ヲシテ服装ヲ正フシ守則ヲ熟知シ且厳粛ニ之ヲ実施セシムヘシ

第四十七　衛兵交代ノトキ歩哨掛ハ上番歩哨ヲ率キテ哨所ニ至リ下番歩哨ニ向キ合ヒ又ハ之ニ立ハシメ下番歩哨掛立合ニテ守則ノ申継及其服務中見聞セシ亦作ノ儀告ヲ受ケシムヘシ

衛兵交代ノ場合ニ非サル歩哨ノ交代モ亦之ニ準ス

第四十八　歩哨ハ厳ニ守則ヲ守リ常ニ耳目ヲ働カシ警戒ヲ怠ルヘカラス

第四十九　歩哨ハ常ニ姿勢動作ヲ正シ用務ノ外他人ト談話スヘカラス又頭巾ヲ冠ルコトヲ禁ス

第五十　歩哨ハ雨雪ノトキ哨令ニ入ルコトヲ得但シ特ニ警戒ヲ要スルトキ又ハ敬礼ヲ行フ際ハ哨令ヨリ出ツヘシ

第五十一　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第五十二　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第五十三　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第五十四　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第五十五　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第五十六　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第五十七　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第五十八　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第五十九　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第六十　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第六十一　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第六十二　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第六十三　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第六十四　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第六十五　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第六十六　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第六十七　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第六十八　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第六十九　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第七十　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第七十一　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第七十二　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第七十三　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第七十四　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第七十五　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第七十六　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第七十七　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第七十八　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第七十九　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第八十　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第八十一　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第八十二　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第八十三　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第八十四　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第八十五　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第八十六　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第八十七　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第八十八　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第八十九　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第九十　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第九十一　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第九十二　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第九十三　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第九十四　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第九十五　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第九十六　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第九十七　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第九十八　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第九十九　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第百　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第百一　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第百二　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第百三　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第百四　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第百五　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第百六　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第百七　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第百八　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第百九　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第百十　歩哨ハ衛戍勤務ニ関係アル上官及直属系統ノ団隊長ニ非サレハ之ニ対シ敬礼ヲ為スヘカラス

第五十二　衛戍巡察ヲ分チテ第一種巡察第二種巡察トス

第五十三　第一種巡察ハ主トシテ衛兵ノ勤務ヲ監察シ衛兵ノ勤務ヲ完ウスルモノトス

第一種巡察ハ通常一週間ニ於テ毎日少クモ一回定メラレタル箇所ヲ巡察ス

第五十四　第二種巡察ハ主トシテ軍人軍属ノ非違ヲ戒ムルモノニシテ休日其他臨時ニ外出ヲ許シタル場合ニ於テ定メラレタル区域ヲ各隊ヨリ巡察セシムルモノトス

第五十五　衛戍巡察勤務ニ服スル者ノ服装ハ第十八ニ同シ

第五十六　第一種巡察ハ衛兵ヲ監視シ若シ違反ノ際厳重ニ之ヲ矯正シ其状況ヲ営舎衛兵司令ニ通告スヘシ

第一種巡察ハ衛兵ヲ整列セシメ之ヲ検査スルコトヲ得但シ衛兵司令ニシテ第一種巡察ヨリ上級ナルトキハ次級ノ者其整列ノ指揮ヲ執ルモノトス

第五十七　衛戍巡察ハ必要ト認メタル地域外ト雖巡察スヘキモノトス

第五十八　衛戍巡察ハ軍人軍属ノ非違ヲ認メタルトキ下級者ニ在リテハ其非違ノ行為ナルコトヲ調査シ官氏名ヲ聞キ取リ其服装ヲ検シ必要アルトキハ所属部隊ニ引渡シ上級者ニ在リテハ其非違反者ヲ最寄憲兵若ハ所属部隊ニ引渡シ之ヲ衛戍司令官ニ報告スヘシ

第五十九　衛戍巡察ハ其巡察中ノ出来事ニシテ至急ヲ要スルモノハ即時其他ハ勤務ヲ終リタル後衛戍司令官ニ報告スヘシ

第六十　衛戍勤務ニ服スル者ノ直属系統ノ団隊長ハ部下服務ノ状態ヲ監督スル為巡察ニ従事セシムル場合ニ於テハ其巡察ノ区域ヲ指定シ且巡察ノ為必要ナル事項ヲ命スヘシ

第六十一　巡察ハ内務省ノ規定ニ依リ各隊ヨリ出シタル巡察ハ第二種巡察ニ準スヘシ

第四款　削除

第六十二　削除

第六十三　削除

第六十四　削除

第五款　削除

第六十五及第六十六　削除

第四章　徴用

第六十七　現役軍人ハ衛戍地外ニ居住スルコトヲ得ス但シ衛戍司令官ノ許可ヲ得必要ニ応シ衛戍地外ニ居住スルコトヲ得

第六十八　衛戍司令官ハ特ニ規定アルモノヲ除ク外徴式、召集ノ為ノ場合ニ於テ行フヘシ但シ其位置ニ復スル迄必要ノ最小限度ニ於テ行フモ妨ナシ

衛令前ニ在ル歩哨ハ陸軍徴発令ニ依リ衛兵監視ノ下ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ其位置ニ復スルノ速ナキトキハ現位置ニ於テ之ヲ行フモ妨ナシ

キハ「整列」ト呼フヘシ

衛令前ニ在ル歩哨ハ陸軍徴発令ニ依リ衛兵監視ノ下ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ其位置ニ復スル迄必要ノ最小限度ニ於テ行フモ妨ナシ

第六十九　衛戍司令官ハ特ニ規定アルモノヲ除ク外徴式、召集式、祭典等ノ為出勤スヘキ軍人及相当ノ服装ヲ定ムヘシ

第七十　衛戍司令官ハ徴式、召集式、祭典等ノ際ニ於ケル徴兵、徴発及軍馬徴発ノ為必要ト認メタル事項ハ之ヲ衛戍司令官ニ報告スヘシ

前項ノ巡察ヲ為シタルトキ必要ト認メタル事項ハ之ヲ衛戍司令官ニ報告スヘシ

第六十一　巡察ハ内務省ノ規定ニ依リ各隊ヨリ出シタル巡察ハ第二種巡察ニ準ス

第七十二　衛戍司令官ハ衛戍地及其附近ニ於テ兵器、伴馬、囚人、
　官人ノ逮捕及法廷又ハ死刑執行ノ場所ヲ警衛スル等ノ為衛戍地ノ軍隊ヲ使用スルコトヲ得
第七十三　衛戍司令官ハ命令及報告等ノ伝達ニ任スル為衛戍地ノ軍隊ヨリ所要ノ護衛兵ヲ出サシムルコトヲ得
第七十四　一時衛戍地ニ宿営スル軍隊ノ指揮ハ其ノ他一団ヲ為ス軍人軍属ノ引率者ハ其目的及豫定日時ヲ衛戍司令官ニ通報シ且衛戍上ニ関スル指示ヲ受クヘシ
第七十五　削除
（別表略ス）

●防衛総司令部令

昭和十六年七月七日
勅令第六百三十三號

防衛総司令部令ヲ制定シ之ヲ施行ス
陸軍大臣　副署
　防衛総司令部令

第一條　防衛総司令官ハ陸軍大将又ハ陸軍中将ヲ以テ之ニ充補シ直隷シ内地、朝鮮、台湾及樺太ノ防衛ニ任ス
第二條　防衛総司令官ハ防衛ニ関シ中部、西部、北部、朝鮮及台湾東部、南部ノ各軍司令官ヲ指揮ス
第三條　前條ノ規定ニ依リ兵力ヲ使用シタル場合ニ於テハ直ニ之ヲ陸軍大臣及参謀総長ニ報告シ且関係所管長官ニ通報スヘシ
第四條　防衛総司令官ハ防衛総長ノ区処ヲ承ケ各担任ノ業務ヲ掌ル
演習ノ為内地、朝鮮、台湾又ハ樺太ニ関スル防衛ニ関シ防衛総司令官ハ命令及報告ノ伝達ニ関シ陸軍大臣及参謀総長ニ対シ直接ニ上奏スルコトヲ得

第五條　防衛総司令官ハ陸軍大臣及参謀総長ノ区処ヲ承ケ防衛ニ関シテハ参謀総長ノ区処ヲ承ケ陸軍大臣、作戦計画ニ関シテハ陸軍大臣及参謀総長ノ区処ヲ承ケ陸軍ノ動員計画ニ関シテハ陸軍大臣ノ区処ヲ承ケ軍政及人事ニ関シテハ陸軍大臣ノ区処ヲ承ケ軍需品ノ調弁ニ関シテハ陸軍大臣ノ区処ヲ承ケ各其ノ主管ニ属スル事項ヲ掌理ス
第六條　総参謀長ハ防衛総司令官ヲ輔佐シ且総司令部内ノ業務ヲ整理ノ責ニ任ス
第七條　参謀、副官及附ハ参謀長ノ命ヲ承ケ各担任ノ業務ヲ掌ル
第八條　准参謀、士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ各担任ノ業務ヲ掌ル

前項ノ場合ニ於テハ業務ヲ妨ケルコトナシ
軍司令官ハ防衛ノ為其ノ軍管区内ニ在ル隷下外部隊ヲ区処スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ軍司令官ハ兼メ当該部隊ノ所管長官ト協議シ且陸軍大臣及参謀総長ニ報告スヘシ但シ緊急已ムヲ得サル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
第五條　軍司令官ハ防衛ニ関スル演習ノ為其ノ軍管区内ニ在ル隷下外部隊ヲ使用スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ当該部隊ノ所管長官ト兼メ協議スヘシ
第六條　軍司令官ハ地方官ヨリ地方ノ緊護ヲ維持スル為兵力ノ請求ヲ受ケ其ノ事地方長官ノ請求ヲ待ツノ遑ニ乏シク直ニ之ヲ得サルトキハ兵力ヲ以テ便宜処置スルコトヲ得
地方長官ノ請求ヲ待ツノ遑ニ乏シク且急ナレハ兵力ヲ以テ便宜処置スルコトヲ得

●軍司令部令

昭和二六年（改正）八號
昭和十六年十二月十三日
勅令第九百三十五號

陸軍司令部令ヲ制定シ之ヲ施行ス
陸軍大臣　副署
　軍司令部令

第一條　軍司令官ハ陸軍大将又ハ陸軍中将ヲ以テ之ニ充補シ隷下陸軍諸部隊ヲ統率シ軍事ニ係ル諸件ヲ掌理ス
第二條　軍司令官ハ其ノ管理ニ係ル各部隊ノ動員計画ヲ含ミ且隷下ニ在ル動員管理官ノ動員業務ヲ監督シ必要ナル指示ヲ与フルモノトス
第三條　軍司令官ハ部下師団及特ニ定ムル部隊ノ教育ヲ統監シ其ノ他ノ部隊下軍隊ノ練成ニ付其ノ責ニ任ス
第四條　軍司令官ハ軍管区ノ防衛ニ任シ但シ近衛師団長ノ行フ禁闕守衛勤務ヲ妨ケルコトナシ
軍司令官ハ防衛ノ為其ノ軍管区内ニ在ル隷下外部隊ヲ区処スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ軍司令官ハ兼メ当該部隊ノ所管長官ト協議シ且陸軍大臣及参謀総長ニ報告スヘシ但シ緊急已ムヲ得サル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
第五條　軍司令官ハ防衛ニ関スル演習ノ為其ノ軍管区内ニ在ル隷下外部隊ヲ使用スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ当該部隊ノ所管長官ト協議スヘシ
第六條　軍司令官ハ地方官ヨリ地方ノ緊護ヲ維持スル為兵力ノ請求ヲ受ケ其ノ事急ヲ要スルトキハ兵力ヲ以テ便宜処置スルコトヲ得
地方長官ノ請求ヲ待ツノ遑ナキトキハ兵力ヲ以テ便宜処置スルコトヲ得サルヘシ

第七條　軍司令官ハ陸軍大将又ハ陸軍中将ヲ以テ之ニ充補シ隷下陸軍諸部隊ヲ統率シ軍事ニ係ル諸件ヲ掌理ス
第八條　軍司令官ハ其ノ管理ニ係ル各部隊ノ動員計画ヲ含ミ且隷下ニ在ル動員管理官ノ動員業務ヲ監督シ必要ナル指示ヲ与フルモノトス
第九條　軍司令官ハ部下諸部隊ノ軍紀、風紀、内務、兵器、経理、衛生及教育総監ノ区処ヲ承ケ軍政及人事ニ関シテハ陸軍大臣ノ区処ヲ承ケ軍需品ノ調弁ニ関シテハ陸軍大臣及参謀総長ノ区処ヲ承ケ各其ノ主管ニ属スル事項ヲ掌理ス
第十條　軍司令官ハ軍政及人事ニ関シテハ陸軍大臣、動員計画及作戦計画ニ関シテハ参謀総長ノ区処ヲ承ケ陸軍ノ動員計画ニ関シテハ陸軍大臣及参謀総長ノ区処ヲ承ケ各其ノ主管ニ属スル事項ヲ掌理ス
第十一條　軍司令官ハ毎年歳末軍隊教育期ノ終ニ於テ軍事一般ノ状況報告ト共ニ管区ニ於ケル上級指揮官ノ統率指導ニ関シ陸軍大臣、参謀総長及教育総監ノ区処ヲ承ケ軍隊教育総監ノ区処ヲ承ケ軍紀、風紀、内務、兵器、経理、衛生及教育総監ノ区処ヲ承ケ軍隊教育期ノ終ニ於テ軍事一般ノ状況及意見ヲ上奏シ且陸軍大臣、参謀総長及教育総監ニ報告スヘシ
第十二條　軍司令部ニ左ノ各部ヲ置ク
一　参謀部
二　副官部
三　兵務部
四　兵器部
五　経理部
六　軍医部
七　獣医部
八　法務部
参謀部及副官部ヲ合シ庶務トス

前項ノ場合ニ於テハ当該部隊ノ所管長官ト兼メ協議スヘシ
第七條　第四條及前條ノ規定ニ依リ兵力ヲ使用シタル場合ニ於テハ直ニ之ヲ陸軍大臣及参謀総長ニ通報スヘシ
第八條　疫癘其ノ他非常ノ場合ニ際シ一時其ノ部下軍隊ヲ移動セシムルニ当リ急ヲ要スル為メ協議スヘキトキハ之ヲ実行シ後前條ニ準シ報告通報スヘシ
第九條　削除

第十三條　參謀長ハ軍司令官ヲ輔佐シ且軍司令部内ノ事務整理ノ責ニ任ス
第十四條　某條ノ各將校ハ參謀長ノ命ヲ承ケ各擔任ノ事務ヲ掌ル
第十五條　削除
第十六條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス
第十七條　兵務部、兵器部、經理部、軍醫部、獸醫部及法務部ニ於ケル各官ノ職責ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル
第十八條　各部長ヨリ軍司令官ニ具申スベキ事項ハ總メ參謀長ニ開陳シ其ノ承認ヲ承ケ又ハ軍司令官ニ報告シ且關係所管長官ニ通報スベシ
　附則
本令ハ昭和十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
左ノ軍令ハ之ヲ廢止ス
　防衛司令部令
　朝鮮軍司令部條例
　臺灣軍司令部條例

●師團司令部令

（軍令陸第十五號　昭和十五年三月十三日）

（昭和十六年勅令第一九號ニ依リ左ノ如ク改正）

陸軍大臣副署

第一條　師團司令部ハ陸軍中將ヲ以テ之ヲ親補シ軍司令官ニ隷シ部下陸軍諸部隊ノ統率ニ任ス

第二條　師團長ハ其ノ管理ニ係ル各部隊ノ動員計畫ヲ掌ル

師團長ハ其ノ管理ニ係ル陸軍諸部隊（軍司令官ノ隷下諸部隊ニ在リテハ該軍司令官ノ指定スルモノ及軍紀、風紀ヲ監督スル部隊ニ限ル）ノ軍紀、風紀ヲ監督ス

命ヲ承ケ軍司令部、師團司令部又ハ飛行集團司令部内ニ於ケル庶務ヲ總轄シ其ノ分掌ニ係ル會計經理整理ノ責ニ任シ且當該司令部内ノ取締ニ任ズ

第五條　軍司令部、師團司令部及飛行集團司令部以外ノ司令部ニ於ケル幕僚ノ服務ニ關シテハ特ニ規定アルモノノ外本令ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和八年軍令陸乙第十四號陸軍平時編制改正ニ伴ヒ之ヲ施行ス

●旅團司令部條例

明治四十一年一月二十九日
軍令陸第一號

改正　大正四年第二號、一三年第四號

旅團司令部條例ヲ改定シ之ヲ施行ヲ命ス（陸軍大臣副署）

旅團司令部條例

第一條　旅團長ハ少將ヲ以テ之ニ補シ部下軍隊ヲ統率ス

第二條　旅團長ハ部下各隊ノ教育進歩ノ斉一ヲ圖リ軍紀、風紀、内務、衛生及動員計畫ヲ統監ス

第三條　削除

第四條　削除

第五條　副官ハ旅團長ノ命ヲ承ケ司令部一般ノ事務ニ從事シ且司令部ノ經理事務ヲ掌ル

第六條　書記ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ服ス

●聯隊區司令部令

大正十二年五月二十四日
勅令第二百六十七號

改正　昭和一一年第二四六號、一二年第三七九號

聯隊區司令部令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

聯隊區司令部令

第一條　各聯隊區ニ聯隊區司令部ヲ置ク

第二條　聯隊區司令部ハ師團長ノ管理ニ屬シ當該聯隊區内ニ於ケル左ニ揭ク ル事務ヲ掌ル

一　徴兵及召募ニ關スル事務

二　在鄉軍人ノ服役及召集ニ關スル事務

三　在鄉將校團ニ關スル事務

四　在鄉軍人會ニ關スル事務

五　前各號ニ揭ケルモノノ外陸軍大臣ノ定ムル兵事事務

第三條　聯隊區司令部ニ左ノ職員ヲ置ク

司令官

部員

副官

下士官及判任文官

前項職員中下士官ハ現備役又ハ後備役ノ者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第四條　司令官ハ師團長ニ隷シ部務ヲ統理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第五條　部員及副官ハ司令官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第六條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ服ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●航空兵團司令部令

昭和十一年七月二十七日
軍令陸第十二號

改正　昭和一三年第二號

航空兵團司令部令ヲ制定シ之ヲ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

航空兵團司令部令

第一條　航空兵團司令官ハ陸軍大將又ハ陸軍中將ヲ以テ之ニ親補シ　天皇ニ直隷シ部下飛行部隊ヲ統率ス

第二條　航空兵團司令官ハ部下飛行部隊ノ練成ニ付其ノ責ニ任ズ但シ專門教育ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三條　航空兵團司令官ハ部下飛行部隊ノ動員計畫ヲ監督ス

第四條　航空兵團司令官ハ軍政及人事ニ關シテハ陸軍大臣、作戰計畫及動員計畫ニ關シテハ參謀總長、教育ニ關シテハ教育總監ノ區處ヲ承ク

第五條　航空兵團司令官ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ部下飛行部隊長ヲシテ當該部隊ノ經理、衛生其ノ他必要ナル事項ニ關シ師團長又ハ軍司令官ノ區處ヲ承ケシムルモノトス

第六條　航空兵團司令官ハ隨時部下飛行部隊ヲ檢閲シ每年概ネ軍隊教育期ノ終ニ於テ檢閲ノ實況及意見ヲ奏上シ且陸軍大臣、參謀總長及教育總監ニ報告スベシ

第七條　航空兵團司令部ニ左ノ職員ヲ置ク

參謀長
參謀
副官

第三輯　官規　第一章　官制　第十款　陸軍省及陸軍所管

部附
參謀及副官ヲ合シテ幕僚トス

第八條　參謀長ハ航空兵團司令官ヲ輔佐シ航空兵團司令官ニ對シテ事務整理ノ責ニ任ズ

第九條　幕僚ノ各將校及部附ハ參謀長ノ指揮ヲ承ケ各自擔任ノ事務ヲ掌ル

第十條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第十一條　疫疾其ノ他非常ノ場合ニ際シ航空兵團司令官ハ一時其ノ部下飛行部隊ヲ移動セントスルニ當リ急ヲ要スルトキハ之ヲ實行シタル後直ニ陸軍大臣、參謀總長ニ報告シ關係師團長ニ通報スベシ

附　則

本令ハ昭和十一年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●飛行集團司令部令

昭和十三年六月四日
軍令陸第十號

改正　昭和一三年第二三號

飛行集團司令部令ヲ制定シ之ヲ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

飛行集團司令部令

第一條　飛行集團長ハ陸軍中將ヲ以テ之ニ親補シ　天皇ニ直隷シ部下航空部隊ヲ統率ス

第二條　飛行集團長ハ部下航空部隊ノ練成ニ付其ノ責ニ任ズ

第三條　飛行集團長ハ其ノ管理ニ係ル各部團隊ノ動員計畫ヲ掌リ其ノ他ノ

部下航空部隊ノ動員計畫ヲ監督ス

第四條　疫疾其ノ他非常ノ場合ニ際シ飛行集團長ハ一時其ノ部下航空部隊ヲ移動セントスルニ當リ急ヲ要スルトキハ之ヲ實行シタル後直ニ陸軍大臣、參謀總長ニ報告シ關係ノ軍司令官、防衞司令官及師團長ニ通報スベシ

第五條　飛行集團長ハ軍政及人事ニ關シテハ陸軍大臣、動員計畫及作戰計畫ニ關シテハ參謀總長、教育ニ關シテハ陸軍航空總監ノ區處ヲ承ク

第六條　飛行集團長ハ隨時部下航空部隊ヲ檢閱シ每年概ネ軍隊教育期ノ終ニ於テ檢閱ノ實況及意見ヲ奏上シ且陸軍大臣、參謀總長及陸軍航空總監ニ報告スベシ

第七條　飛行集團司令部ニ左ノ各部及飛行班ヲ置ク

一　參謀部
二　副官部
三　兵器部
四　經理部
五　軍醫部

參謀部及副官部ヲ合シテ幕僚トス

兵器部、經理部及軍醫部ノ組織權限ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第八條　參謀長ハ飛行集團長ヲ輔佐シ飛行集團長ニ對シテ事務整理ノ責ニ任ズ

第九條　幕僚ノ各將校ハ參謀長ノ指揮ヲ承ケ各擔任ノ事務ヲ掌ル

第十條　飛行班ハ參謀長ノ命ヲ承ケ飛行機ヲ以テスル指揮、連絡等ノ業務ニ從事ス

第十一條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス

第十二條　各部長ヨリ飛行集團長ニ具申スベキ事項ハ豫メ參謀長ニ開陳シ其ノ承認ヲ承クベキモノトス

附　則

本令ハ昭和十三年六月十日ヨリ之ヲ施行ス

●臺灣守備隊司令部條例

明治四十年九月十七日
軍令陸第二號

改正　大正七年第一四號、八年第二二號、一〇年第四號
昭和四年第六號、一五年第二七號

於臺灣守備混成旅團司令部條例ヲ臺灣守備隊司令部條例ニ改定シ之ヲ施行ヲ命ス（陸軍大臣副署）

臺灣守備隊司令部條例

第一條　臺灣守備隊長ハ臺灣軍司令官ニ隸シ部下軍隊ヲ統率シ守備區域内ノ警戒及防衞ニ任ス

前項守備區域ハ臺灣軍司令官之ヲ定ム

第二條　守備隊長ハ部下軍隊ノ動員計畫ヲ監督シ又部下軍隊ノ練成ニ就キ其ノ責ニ任ス

第三條　削除

第四條　削除

第五條　守備隊長ハ守備區域内ニ在ル陸軍各部各隊ノ軍紀風紀ヲ統監ス

第六條　守備隊長ハ守備區域内ノ靜謐ヲ維持シ陸軍諸建築物ノ保護ニ任ス

守備區域内ノ靜謐ヲ維持スルカ爲地方官ヨリ兵力ヲ請求スルトキ事急ナレハ直ニ之ヲ決行シテ後臺灣軍司令官ニ報告スヘシ其ノ事守備區域外ニ渉ルトキト雖隣接地方ニシテ當該守備區域ノ關係長又ハ地方官ヨリ援助ヲ請求スルトキ若ハ猶豫セハ危害ニ陷ルヘキコトヲ察スルトキ亦同シ

第七條　守備隊長ハ守備區域内ノ警戒及防備ニ關シ要スレハ其ノ守備區域内ニ駐在スル憲兵隊長及陸軍諸官衙ノ長官又ハ其ノ派出員ニ命令若ハ通報スルモノトス

第八條　守備隊長ハ疫疾其ノ他非常ノ場合ニ際シ一時部下軍隊ヲ移轉セシメムトスルトキ急ヲ要スレハ之ヲ實行シテ後臺灣軍司令官ニ報告スヘシ

第九條　守備隊長ハ守備區域内ニ在ル海軍官憲ト交通シ必要ニ際シテハ協議シテ事ヲ處スルコトヲ得但シ直ニ之ヲ臺灣軍司令官ニ報告スヘシ

第十條　守備隊司令部ニ隊長ノ外左ノ職員ヲ置ク

副官
下士官

第十一條　副官ハ守備隊長ノ命ヲ承ケ司令部一般ノ事務ヲ掌ル

第十二條　下士官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ服ス

●關東軍司令部條例

大正八年四月十二日
軍令陸第十二號

第三編　官規　第一章　官制　第十款　陸軍省及陸軍所管

於關東軍司令部條例ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス（陸軍大臣副署）

關東軍司令部條例

第一條　關東軍司令官ハ陸軍大將又ハ陸軍中將ヲ以テ之ニ親補シ　天皇ニ直隸シ關東州及南滿洲ニ在ル陸軍諸部隊ヲ統率シ且關東州ノ防備及南滿洲ニ在ル鐵道線路ノ保護ニ任ス

第二條　軍司令官ハ軍政及人事ニ關シテハ陸軍大臣、作戰及動員計畫ニ關シテハ參謀總長、教育ニ關シテハ教育總監ノ區處ヲ承ク

第三條　軍司令官ハ關東州ノ防備及鐵道線路ノ保護ヲ行フ爲必要ト認ムルトキハ兵力ヲ使用スルコトヲ得

軍司令官ハ關東長官ヨリ其ノ管轄區域内ノ安寧秩序ヲ保持スル爲及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル警務上ノ必要ヨリ出兵ノ請求ヲ受クルトキハ之ニ應スルコトヲ得但シ事急ニシテ關東長官ノ請求ヲ待ツノ遑ナキトキハ兵力ヲ以テ便宜處置スルコトヲ得

前各項ノ場合ニ於テハ直ニ陸軍大臣及參謀總長ニ報告スヘシ

第四條　軍司令官ハ隨時部下諸部隊ヲ檢閱シ每年概ネ軍隊教育期ノ終ニ於テ軍事一般ノ景況及意見ヲ奏上シ且陸軍大臣、參謀總長及教育總監ニ報告スヘシ

第五條　關東軍司令部ニ左ノ各部ヲ置ク

一　參謀部
二　副官部
三　兵器部
四　經理部
五　軍醫部

六　獣醫部
七【法官部】

参謀部及副官部ヲ合シテ幕僚トス
兵器部、經理部、軍醫部、獣醫部及【法官部】ノ組織權限ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第六條　参謀長ハ軍司令官ヲ輔佐シ機務ニ參畫シ命令ノ普及竝實施ヲ監督シ事務整理ノ責ニ任ス

第七條　幕僚ノ各將校及同相當官ハ參謀長ノ指揮ヲ承ケ各自分擔ノ事務ヲ掌ル

第八條　下士ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ服ス

第九條　各部長ヨリ軍司令官ニ具申スヘキ事項ハ豫メ參謀長ニ開陳シ其ノ承認ヲ承クヘキモノトス

附　則

本令ハ大正八年四月十二日ヨリ之ヲ施行ス
關東都督府陸軍部條例ハ大正八年四月十二日限リ之ヲ廢止ス

●要塞司令部令

明治四十一年一月二十九日
軍令陸第二號

改正　大正七年第一一號、八年第一五號、第二二號
昭和七年第四號、一二年第九號、一六年第四號

陝要塞司令部條例ヲ改定シ之カ施行ヲ命ス（陸軍大臣副署）

要塞司令部令

第一條　要塞司令部ニ左ノ職員ヲ置ク

司令官
參謀
副官
部員
附

准士官、下士官、判任文官

要塞ノ位置ニ依リ參謀以下ノ職員中之ヲ置カサルコトヲ得

第二條　司令官ハ軍司令官ニ隷シ別ニ定ムル所ニ從ヒ部下軍隊ヲ統率ス

第二條ノ二　司令官ハ要塞ノ防衛計畫ヲ擔任シ要塞備付ノ兵器、器具材料及防禦營造物（築城部ノ管理ニ屬スルモノヲ除ク）ヲ管理シ軍需品ノ整備ニ任ス

第三條　司令官ハ部下軍隊ノ練成ニ付其ノ責ニ任シ軍紀、風紀、内務、經理、衞生、馬事及動員計畫ヲ統監ス

司令官ハ隷下ニ在ラサル重砲兵聯隊長、高射砲聯隊長ヲシテ防衞計畫上必要ナル事項ノ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　司令官ハ必要ニ應シ平時豫メ地方官ト協議シ臨戰若ハ合圍ノ場合ニ於テ軍隊ノ宿營給養及公共ノ保安ニ關シ必要ナル事項ヲ實行スルノ方法ヲ計畫スヘシ

第五條　司令官ハ必要ニ應シ市町村長ニ軍需品ニ關スル調査ヲ請求スルコトヲ得

第六條　司令官ハ演習若ハ試驗ノ爲要塞内ニ於テ備砲ノ使用ヲ許可スルコトヲ得

第七條　參謀ハ司令官ノ命ヲ承ケ要塞防衞計畫ニ關スル事項ヲ掌ル

第八條　副官、部員及附ハ司令官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

〔輯一二二〕

第九條　削除
第十條　削除
第十一條　削除
第十二條　削除
第十三條　准士官、下士官、判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ服ス

●昭和十一年軍令陸第二號（支那駐屯軍司令官ノ親補ニ關スル件）

昭和十一年四月二十八日
軍令陸第二號

陝支那駐屯軍司令官ノ親補ニ關スル件ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

支那駐屯軍司令官ハ之ヲ親補ス

附　則

本令ハ昭和十一年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十三年軍令陸第十七號（戰時又ハ事變ニ際シ一師團以上ノ團隊ヲ指揮スル司令官及師團長ノ親補ニ關スル件）

昭和十三年八月八日
軍令陸第十七號

陝戰時又ハ事變ニ際シ一師團以上ノ團隊ヲ指揮スル司令官及師團長ノ親補ニ關スル件ヲ改定シ之ガ施行ヲ命ズ（陸軍大臣副署）

戰時又ハ事變ニ際シ一師團以上ノ團隊ヲ指揮スル司令官及師團長（留守師團長ヲ除ク）ハ他ノ規定ニ依リ親補スルモノノ外本令ニ依リ之ヲ親補ス

附　則

本令施行ノ際現ニ留守師團長タル者ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

●陸軍兵事部令

昭和十四年八月二日
勅令第五百十八號

改正　昭和一六年第三二五號

陝陸軍兵事部令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍兵事部令

第一條　各兵事區ニ陸軍兵事部ヲ置ク

陸軍兵事部ハ當該兵事區名ヲ冠稱ス

各兵事區ノ區域ハ陸軍管區表ノ定ムル所ニ依ル

第二條　陸軍兵事部ハ當該兵事區内ノ左ノ事務ヲ掌ル

一　徴兵及召集ニ關スル事項
二　在郷軍人（將官ヲ除ク）ノ服役及召集ニ關スル事項
三　在郷將校團ニ關スル事項
四　在郷軍人會ニ關スル事項
五　前各號ニ揭ゲルモノノ外陸軍大臣ノ定ムル兵事ニ關スル事項

〔輯一二八〕

第三條　陸軍兵務部ニ左ノ職員ヲ置ク
部長
部員
下士官及判任文官
前項ノ職員中下士官ハ兼備役ノ者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
第四條　部長ハ憲兵軍司令官、關東軍司令官又ハ師團長ニ隷シ部務ヲ總理ス
第五條　部員ハ部長ノ命ヲ受ケ各其ノ擔任ハ業務ヲ掌ル
第六條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ受ケ事務ニ從事ス
階　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍兵務部令

昭和十六年七月二十九日
勅令第七百九十六號

第一條　陸軍兵務部令
第二條　陸軍兵務部ハ當該軍又ハ師團ノ管區內ニ於ケル左ニ掲グル兵事ニ關スル事項ヲ掌ル
一　召集ニ關スル事項
二　在鄉軍人會ニ關スル事項
三　國防思想ノ普及ニ關スル事項
四　學校ニ於ケル教練ニ關スル事項
五　軍人後援及職業補導ニ關スル事項
第三條　陸軍兵務部ニ左ノ職員ヲ置ク
部長
部員
下士官及判任文官
第四條　部長ハ憲兵軍司令官、關東軍司令官又ハ師團長ニ隷シ部務ヲ總理ス
第五條　部員ハ部長ノ命ヲ受ケ各其ノ擔任ハ業務ヲ掌ル
第六條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ受ケ事務ニ從事ス
階　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第七條　部員ハ部長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌ル
部ノ產業ニ關シ行フコトヲ得
第八條　官若ハ陸軍兵事部長ニ所要ノ指示ヲ爲シ又ハ聯隊區司令部若ハ陸軍兵事部ニ對シ聯隊區司令官ハ部長ハ所掌事項ニ關シ軍司令官又ハ師團長ノ命ヲ承ケ兵務部長ハ所要ノ指示ヲ爲スコトヲ得

陸軍兵務部令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシムル勅命ヲ奉ス

陸軍兵務部令

大總理臣副島陸軍大臣

第八條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス
階　則
本令ハ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍兵器部令

昭和十五年七月一日
勅令第三百五十八號

陸軍兵器部令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

（大臣副署）

陸軍兵器部令

第一條　本令ニ於テ陸軍兵器部ト稱スルハ軍兵器部、船圖兵器部及飛行兵器部ヲ謂フ

第二條　陸軍兵器部ハ當該軍司令官、船圖長又ハ飛行兵器長ニ隸屬スル部隊ヲ除ク）及陸軍大臣ノ特ニ定ムル部隊ノ兵器業務及兵器業務ニ從事スル將校以下ノ當該專門事項ノ教育ニ關スル事項ヲ掌ル

第三條　陸軍兵器部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長
部員
階

准士官及下士官

前項ノ職員ノ外必要ニ應シ判任文官ヲ置クコトヲ得

第四條　部長ハ當該軍司令官、船圖長又ハ飛行兵器長ニ隸シ部務ヲ掌理ス

第三章　官規　第一章　官制　第十表　陸軍有及陸軍所管

第五條　軍兵器部部長ハ船圖兵器部長ニ所要ノ指示ヲ爲スコトヲ得

第六條　部長ハ必要ニ應シ陸軍兵器部長ノ出張所ヲ置キ其ノ業務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七條　部長ハ所管部隊ニ於ケル陸軍兵器部所掌事項ニ關シ所轄軍司令官、船圖長若ハ飛行兵器長ノ命ヲ承ケ又ハ當該部隊ノ所管長官ニ稟請シ當該部隊長ニ所要ノ指示ヲ爲シ及當該部隊ノ業務ヲ視察セシム

第八條　部長ハ兵器ノ檢查竝ニ陸軍兵器廠又ハ陸軍航空本部長又ハ陸軍航空兵器廠委託兵器ノ保管ニ關シテハ陸軍兵器本部長又ハ陸軍航空本部長ノ區處ヲ承ク

第九條　部員及附ハ部長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌ル

第十條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ部務又ハ技術ニ從事スル

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

但シ兵器業務ニ從事スル將校以下ノ當該專門事項ノ教育ニ關シテハ陸軍航空本部長ノ區處ヲ、第二條第一項ノ規定ニ依リ陸軍大臣ノ特ニ定ムル部隊及同條第二項ニ規定スル部隊ノ兵器業務ニ關シテハ當該部隊ノ所管長官ノ區處ヲ承ク

●陸軍經理部令

昭和十五年八月一日
勅令第四百九十四號

改陸軍經理部令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍經理部令

第一條　本令ニ於テ陸軍經理部ト稱スルハ軍經理部、師團經理部及飛行集團經理部ヲ謂フ

第二條　陸軍經理部ハ當該軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ隷屬スル部隊（軍經理部ニ在リテハ師團長ニ隷屬スル部隊ヲ除ク）及陸軍大臣ノ特ニ定ムル部隊ノ會計經理竝ニ經理部將校以下ノ經理部專門事項ノ教育及勤務ニ關スル事項ヲ掌ル

第三條　陸軍經理部ハ前條ニ規定スル部隊ノ會計事務ノ監督及此等ノ部隊ノ土地建造物ノ經營ヲ掌ル

師團經理部ニ在リテハ前條及前項ノ外其ノ師管內ニ在ル同條ニ規定スル部隊以外ノ部隊（陸軍航空總監ニ隷屬スル部隊、陸軍航空本部長ニ隷屬スル部隊、陸軍氣象部、陸軍燃料廠及陸軍大臣ノ特ニ定ムル其ノ他ノ部隊ヲ除ク）ノ會計事務ノ監督、此等ノ部隊（陸軍被服廠、陸軍糧秣廠、陸軍製絨廠及陸軍經理學校ヲ除ク）ノ經理部將校以下ノ經理部專門事項ノ教育及勤務ニ關スル事項竝ニ其ノ師管內ニ在ル陸軍所屬ノ土地建造物ノ經營（國防ニ關スルモノ竝ニ前項ノ部隊、陸軍航空總監ニ隷屬スル部隊、陸軍航空本部長ニ隷屬スル部隊、陸軍氣象部、陸軍造兵廠、陸軍糧秣廠、陸軍被服廠及陸軍燃料廠ニ關スルモノヲ除ク）ヲ掌ル

陸軍大臣ハ必要ニ應ジ前二項ノ規定ニ依ル所管區分ヲ變更スルコトヲ得

第四條　陸軍經理部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長
部員
附
下士官及判任文官

第五條　部長ハ當該軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ隷シ部務ヲ掌理ス但シ會計事務ノ監督及土地建造物ノ經營ニ關シテハ陸軍大臣ニ直隷シ經理部將校以下ノ經理部專門事項ノ教育ニ關シテハ陸軍省經理局長ノ區處ヲ、第二條ノ規定ニ依リ陸軍大臣ノ特ニ定ムル部隊及第三條第二項第三項ノ規定ニ依ル部隊ニ於ケル陸軍經理部所掌事項（會計事務ノ監督及土地建造物ノ經營ニ關スル事項ヲ除ク）ニ關シテハ當該部隊ノ所管長官ノ區處ヲ承ク

前項但書前段ノ場合ニ於テ其ノ事項所管長官ニ直接關係ヲ有スルトキハ部長ハ之ヲ當該長官ニ報告スベシ

第六條　軍經理部長ハ師團經理部長ニ所要ノ指示ヲ爲スコトヲ得

第七條　部長ハ必要ニ應ジ陸軍經理部ノ出張所ヲ置キ其ノ業務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八條　部長ハ所管部隊ニ於ケル陸軍經理部所掌事項ニ關シ所屬軍司令官、師團長若ハ飛行集團長ノ命ヲ承ケ又ハ當該部隊ノ所管長官ニ稟議シ當該部隊長ニ所要ノ指示ヲ爲シ又當該部隊ノ査閱ヲ行フコトヲ得

第九條　部長ハ所管部隊ニ於ケル會計事務及土地建造物ノ檢查ヲ行フ

第十條　部長ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外所管部隊ノ廢品處分ヲ承認ス但シ當該部隊長ニ之ヲ分任スルコトヲ得

第十一條　部長ハ必要アルトキハ當該部隊長又ハ主任官吏ヲシテ會計經理ニ關スル簿表及報告書ヲ提出セシメ又ハ其ノ辯明ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條　部員及附ハ部長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌ル

第十三條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十五年陸達第五十號（陸軍經理部所管外部隊ノ會計事務ノ監督竝ニ陸軍經理部ノ所管區分ノ變更等ニ關スル件）

昭和十五年八月二十四日
陸達第五十號

陸軍經理部所管外部隊ノ會計事務ノ監督竝ニ陸軍經理部ノ所管區分ノ變更等ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　陸軍經理部令第二條ノ規定ニ依リ特ニ定ムル部隊ハ臺灣ニ在ル軍司令官ニ隷屬セザル部隊（飛行集團長又ハ陸軍航空本部長ニ隷屬スル部隊ヲ除ク）トシ當該軍經理部ノ所管トス

第二條　陸軍經理部令第三條第二項ノ規定ニ依リ會計事務ノ監督ニ關シ師團經理部ノ所管ヨリ除ク部隊ハ東京師管內ニ在ル陸軍技術本部、陸軍科學研究所、陸軍兵器廠、陸軍衞生材料廠、陸軍獸醫資材廠、陸軍製絨廠及臨時陸軍東京經理部トス

第三條　陸軍省經理局長ハ陸軍大臣ノ命ヲ承ケ前條ニ規定スル部隊ノ會計事務ヲ監督ス

第四條　陸軍省經理局長ハ會計事務ノ監督ノ爲其ノ所管ニ屬スル部隊ニ對シ所要ノ檢查ヲ施行スルコトヲ得

前項ノ檢查施行ニ關シテハ陸軍經理部令第十一條ノ規定ヲ準用ス

第五條　陸軍經理部令第三條第二項ノ規定ニ依ル陸軍被服廠、陸軍糧秣廠、陸軍製絨廠及陸軍經理學校ニ於ケル經理部將校以下ノ經理部專門事項ノ教育及勤務ニ關スル事項ハ當該官衙、學校ノ長之ヲ掌理ス

第六條　關東州及滿洲國ニ在ル部隊ノ經理部將校以下ノ經理部專門事項ノ教育及勤務ニ關スル事項竝ニ會計事務ノ監督及土地建造物ノ經營（土地建造物ノ經營ニ關シテハ陸軍造兵廠ヲ除ク）ハ總テ關東軍經理部ノ所管トス但シ經理部將校以下ノ經理部專門事項ノ教育及勤務ニ關スル事項竝ニ會計事務ノ監督ニ關シテハ陸軍經理部ヲ置カレタル部隊ニ屬スルモノヲ、經理部將校以下ノ經理部專門事項ノ教育及勤務ニ關スル事項ニ關シテハ陸軍航空總監、陸軍航空本部長ニ隷屬スル部隊ニ屬スルモノヲ除ク

關東軍經理部長ハ前項管掌事務ノ一部ヲ關東軍司令官ノ隷下ニ在ル陸軍經理部長ニ委託スルコトヲ得

第七條　陸軍經理部令第三條第三項ノ規定ニ依ル所管區分ノ變更竝ニ昭和十三年勅令第七百十三號（陸軍航空本部令中改正ノ件）附則第三項ノ規定ニ依ル會計事務ノ監督及土地建造物ノ經營ニ關スル事項ニ關シ別表ノ如ク定ム

附　則

本達ハ昭和十五年八月一日ヨリ之ヲ適用ス但シ昭和十六年三月三十一日迄ハ從前ノ所管區分ニ依ルコトヲ得

前項但書ノ期間內ニ於テ關係陸軍經理部長及陸軍航空本部第三部長ハ相互協議シ逐次定メラレタル所管ニ移行シ陸軍大臣ニ之ヲ報告スベシ

昭和十三年陸達第七十七號ハ之ヲ廢止ス

別表

所管	会計ノ監督	土地建物ノ管理	経理部於テ教育及勤務ニ関スル事項
陸軍経理部	一　東京衛戍総督部、陸軍大臣官房、陸軍省軍務局、陸軍省人事局、陸軍省兵務局、陸軍省経理局、陸軍省医務局、陸軍省軍事課、陸軍省新聞班、陸軍航空本部、陸軍技術本部、陸軍兵器本廠、陸軍造兵廠、陸軍被服本廠、陸軍糧秣本廠、陸軍燃料廠、陸軍獣疫廠、陸軍衛生材料廠、陸軍軍馬補充部、陸軍馬政局、陸軍教育総監部、陸軍士官学校、陸軍戸山学校、陸軍歩兵学校、陸軍騎兵学校、陸軍野砲兵学校、陸軍重砲兵学校、陸軍工兵学校、陸軍航空学校、陸軍輜重兵学校、陸軍通信学校、陸軍戦車学校、陸軍経理学校、陸軍獣医学校、陸軍幼年学校、陸軍予科士官学校、陸軍士官学校予科、陸軍航空整備学校、陸軍航空通信学校、陸軍航空審査部、陸軍航空本部技術部、陸軍航空本部教育部、陸軍航空本部総務部、陸軍航空本部整備部、陸軍航空本部生産部、陸軍航空本部資材部、陸軍航空本部補給部、陸軍航空本部調査部、陸軍航空本部庶務部、陸軍航空本部人事部、陸軍航空本部経理部、陸軍航空本部兵務部、陸軍航空本部医務部、陸軍航空本部軍事部、陸軍航空本部技術研究所、陸軍航空技術研究所、陸軍航空工廠、陸軍航空廠、陸軍航空補給廠、陸軍航空修理廠、陸軍航空支廠、陸軍航空修理支廠、陸軍航空補給処、陸軍航空修理処、陸軍航空補給所、陸軍航空修理所、陸軍航空補給隊、陸軍航空修理隊、陸軍航空補給班、陸軍航空修理班、陸軍航空補給廠支廠、陸軍航空修理廠支廠、陸軍航空補給処支処、陸軍航空修理処支処、陸軍航空補給所支所、陸軍航空修理所支所、陸軍航空補給隊支隊、陸軍航空修理隊支隊、陸軍航空補給班支班、陸軍航空修理班支班、陸軍航空補給廠支廠支処、陸軍航空修理廠支廠支処、陸軍航空補給処支処支所、陸軍航空修理処支処支所、陸軍航空補給所支所支隊、陸軍航空修理所支所支隊、陸軍航空補給隊支隊支班、陸軍航空修理隊支隊支班、陸軍航空補給廠支廠支処支所、陸軍航空修理廠支廠支処支所、陸軍航空補給処支処支所支隊、陸軍航空修理処支処支所支隊、陸軍航空補給所支所支隊支班、陸軍航空修理所支所支隊支班、陸軍航空補給隊支隊支班支廠、陸軍航空修理隊支隊支班支廠、陸軍航空補給班支班支廠支処、陸軍航空修理班支班支廠支処

●陸軍東京經理部令

勅令第四二三號　昭和十二年九月十三日

廢止　昭和二六年勅令八四號

陸軍東京經理部令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副總理、陸軍）

陸軍東京經理部令

第一條　陸軍東京經理部ハ陸軍東京經理費ニ係ル收入、支出、出納及此等ニ關スル計算、報告ヲ掌ラシムル爲臨時東京ニ陸軍東京經理部ヲ置ク

第二條　削除

第三條　陸軍東京經理部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長

部員

下士官及判任文官

前項ノ職員（判任文官ヲ除ク）ハ兼備役又ハ後備役ノ者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第四條　部長ハ陸軍大臣ニ隷シ部務ヲ總理ス

第五條　部員ハ部長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第六條　下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍氣象部令

勅令第四一四號　昭和十三年四月十一日

改正　昭和一三年勅令三六七、一四年三三五、五〇二號

陸軍氣象部令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副總理、陸軍）

陸軍氣象部令

第一條　陸軍氣象部ハ兵要氣象ニ關スル所究、調査、統計其ノ他ノ氣象ニ關スル事項ノ外陸軍氣象ニ關スル且氣象器材ノ研究及試驗竝ニ航空兵器ニ關スル氣象器材ノ審査ヲ掌リ臨時陸軍氣象業務ニ保ル收入、支出、出納及此等ニ關スル計算、報告ヲ爲ス爲臨時東京ニ陸軍東京經理部ヲ置ク

第二條　陸軍氣象部ニ總務課、第一課及第二課ヲ置キ其ノ業務ノ分掌ハ陸軍大臣之ヲ定ム

陸軍氣象部ニ所要ノ氣象觀測所ヲ置キ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ兵要氣象ノ觀測其ノ他ノ兵要氣象業務ヲ分掌セシム

陸軍大臣ハ必要ニ應ジ陸軍氣象部ノ出張所ヲ置クコトヲ得

第三條　陸軍氣象部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長

課長

氣象觀測所長

部員

教官

准士官、下士官及判任文官

出張所ヲ置キタル場合ニ於テハ出張所長ハ部員ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　部長ハ陸軍大臣ニ隷シ部務ヲ總理ス但シ統計ニ關シテハ參謀總長、航空氣象業務ニ關シテハ陸軍航空本部長ノ區處ヲ承クルモノトス

第四條ノ二　課長ハ部長ノ命ヲ承ケ課務ヲ掌理ス

第四條ノ三　氣象觀測所長ハ部長ノ命ヲ承ケ氣象觀測所ノ業務ヲ掌理ス

第五條　部員ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第六條　教官ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ教育ニ從事ス

第七條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第八條　事務ニ從事スル者ハ陸軍大臣ノ教育總監ニ協議シテ之ヲ定ム

第九條　陸軍大臣ハ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ所要ノ期間之ニ必要ナル修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條　陸軍氣象部ノ爲ス業務ノ協力ヲ必要トスルトキハ部長又ハ氣象觀測所長ハ陸軍航空本部長又ハ陸軍航空總監、陸軍航空教育總監、軍司令官、師團長、飛行集團長又ハ陸軍航空本部長ニ照會スルモノトス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍軍醫部令

昭和十五年八月一日
勅令第五百八號

朕陸軍軍醫部令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍軍醫部令

第一條　本令ニ於テ陸軍軍醫部ト稱スルハ軍軍醫部、師團軍醫部及飛行集團軍醫部ヲ謂フ

第二條　陸軍軍醫部ハ當該軍司令官、師團長又ハ飛行集團長ニ隸屬スル部隊ヲ除ク）及陸軍大臣ノ特ニ定ムル部隊ノ軍馬其ノ他ノ軍用動物ノ衞生及醫事竝ニ獸醫部將校以下ノ獸醫部專門事項ノ教育及勤務ニ關スル事項ヲ掌ル

師團獸醫部ニ在リテハ前項ノ外其ノ師管內ニ在ル同項ニ規定スル部隊以外ノ部隊（軍馬補充部、陸軍獸醫資材廠、陸軍獸醫學校及陸軍大臣ノ特ニ定ムル其ノ他ノ部隊ヲ除ク）ノ獸醫部將校以下ノ獸醫部專門事項ノ教育及勤務竝ニ獸醫資材ニ關スル事項ヲ掌ル

第三條　陸軍獸醫部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長
部員
下士官

第四條　部長ハ當該軍司令官又ハ師團長ニ隸シ部務ヲ掌理ス但シ獸醫部將校以下ノ衞生部專門事項ノ教育ニ關シテハ陸軍省醫務局長ノ區處ヲ、第二條第一項ノ規定ニ依リ陸軍大臣ノ特ニ定ムル部隊及同條第二項ニ規定スル部隊ニ於ケル陸軍軍醫部所掌事項ニ關シテハ當該部隊ノ所管長官ノ區處ヲ承ク

第五條　軍軍醫部長ハ師團軍醫部長ニ所要ノ指示ヲ爲スコトヲ得

第六條　部長ハ所管部隊ニ於ケル陸軍軍醫部所掌事項ニ關シ所屬軍司令官、師團長若ハ飛行集團長ノ命ヲ承ケ又ハ當該部隊ノ所管長官ニ稟議シ當該部隊長ニ所要ノ指示ヲ爲シ及當該部隊ノ查閱ヲ行フコトヲ得

第七條　部員ハ部長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌ル

第八條　下士官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔輯一一四〕

●陸軍獸醫部令

昭和十五年八月一日
勅令第五百九號

朕陸軍獸醫部條例改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍獸醫部令

第一條　本令ニ於テ陸軍獸醫部ト稱スルハ軍獸醫部及師團獸醫部ヲ謂フ

第二條　陸軍獸醫部ハ當該軍司令官又ハ師團長ニ隸屬スル部隊（軍獸醫部ニ在リテハ師團長ニ隸屬スル部隊ヲ除ク）及陸軍大臣ノ特ニ定ムル部隊ノ軍馬其ノ他ノ軍用動物ノ衞生及醫事竝ニ獸醫部將校以下ノ獸醫部專門事項ノ教育及勤務ニ關スル事項ヲ掌ル

師團獸醫部ニ在リテハ前項ノ外其ノ師管內ニ在ル同項ニ規定スル部隊以外ノ部隊（軍馬補充部、陸軍獸醫資材廠、陸軍獸醫學校及陸軍大臣ノ特ニ定ムル其ノ他ノ部隊ヲ除ク）ノ獸醫部將校以下ノ獸醫部專門事項ノ教育及勤務竝ニ獸醫資材ニ關スル事項ヲ掌ル

第三條　陸軍獸醫部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長
部員
下士官

第四條　部長ハ當該軍司令官又ハ師團長ニ隸シ部務ヲ掌理ス但シ獸醫部將校以下ノ獸醫部專門事項ノ教育ニ關シテハ陸軍省兵務局長ノ區處ヲ承ク

第五條　部長ハ當該軍司令官又ハ師團長ニ隸シ部務ヲ掌理ス但シ獸醫部將校以下ノ獸醫部專門事項ノ教育ニ關シテハ陸軍省醫務局長ノ區處ヲ承ク

第六條　部員ハ部長ノ命ヲ承ケ又ハ當該部隊ノ查閱ヲ行フコトヲ得

第七條　下士官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第八條　下士官ハ上官ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔輯一一八〕

●陸軍法務部令

昭和十五年十二月四日
勅令第八百三十一號

朕陸軍法務部令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、陸軍大臣副署）

陸軍法務部令

第一條　本令ニ於テ陸軍法務部ト稱スルハ軍法務部及師團法務部ヲ謂フ

第二條　陸軍法務部ハ當該軍司令官又ハ師團長ノ權限ニ屬スル左ノ事務ヲ掌ル

一　軍事司法ニ關スル事項
二　監獄ニ關スル事項

第三條　陸軍法務部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長
部員
判任文官

部長及部員ハ陸軍司法事務官ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　部長ハ當該軍司令官又ハ師團長ニ隸シ部務ヲ掌理シ法律事項ニ付其ノ諮問ニ應ズ

第三章　官職　第一章　官職　第十表　陸軍有及陸軍所事

第五條　部員ハ部長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌ル
第六條　判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍病院令

大正十一年八月二十九日　勅令第三百五十號

改正　大正二年勅令第八五號
昭和二年勅令第二七號、一一年勅令第三八七號、一三年勅令第六五〇號、一五年勅令第一〇號

陸軍病院令ノ改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、陸軍大臣副署）

陸軍病院令

第一條　陸軍病院ハ所要ノ陸軍部隊所在地ニ之ヲ置ク
陸軍病院ハ其ノ所在地名ヲ冠称ス但シ一地ニ二以上ノ病院在ルトキハ所在地名ノ下ニ第一、第二等ノ番號ヲ附ス

第二條　陸軍病院ハ其ノ所在地ノ陸軍部隊ノ患者ヲ收容治療シ衛生材料ヲ保管供給シ衛生試驗ヲ爲シ且衛生部見習士官、軍醫候補生、衛生部諸部候補生及衛生部下士官以下ノ教育ヲ掌ル

第三條　陸軍病院ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ特ニ必要ト認ムル患者ノ收容治療スルコトヲ得

第四條　一地ニ二以上ノ陸軍病院アルトキハ其ノ各病院ノ患者收容區分ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五條　陸軍部隊所在地ノ狀況及治療上ノ必要ニ依リ陸軍病院ニ分院又ハ療養所ヲ設クルコトヲ得其ノ設置、位置、名稱及患者收容區分ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第六條　陸軍病院（前條及本條所在ノモノヲ除ク）ハ之ヲ三等ニ區分ス

第七條　陸軍病院ニ左ノ職員ヲ置ク

病院長
病院附
准士官及下士官
看護婦長

前項ノ職員中准士官又ハ看護婦長ハ之ヲ置カザルコトヲ得

第八條　陸軍病院所在地ノ部隊衛生部員ハ之ヲシテ病院ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得

第九條　病院長ハ陸軍病院所在地所管ノ軍司令官若ハ師團長又ハ隷行第團長ニ隷ス其ノ職務區分ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

病院長ハ陸軍病院ノ業務ヲ總理シ病院内ノ軍紀及風紀維持ノ責ニ任ス

第十條　病院附ハ病院長ノ命ヲ承ケ其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル第八條ノ規定

第三條　陸軍病院ハ其ノ所在地ノ陸軍部隊ノ患者ヲ收容治療シ衛生材料ヲ保管供給シ衛生試驗ヲ爲シ且衛生部見習士官、軍醫候補生、衛生部諸部候補生及衛生部下士官以下ノ教育ヲ掌ル

第四條　陸軍病院ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ特ニ必要ト認ムル患者ヲ收容治療スルコトヲ得

第五條　一地ニ二以上ノ陸軍病院アルトキハ其ノ各病院ノ患者收容區分ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第六條　陸軍部隊所在地ノ狀況及治療上ノ必要ニ依リ陸軍病院ニ分院又ハ療養所ヲ設クルコトヲ得其ノ設置、位置、名稱及患者收容區分ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第七條　陸軍病院（前條及本條所在ノモノヲ除ク）ハ之ヲ三等ニ區分ス

第八條　陸軍病院ニ左ノ職員ヲ置ク

病院長
病院附
准士官及下士官
看護婦長

前項ノ職員中准士官又ハ看護婦長ハ之ヲ置カザルコトヲ得

第九條　陸軍病院所在地ノ部隊衛生部員ハ之ヲシテ病院ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得

第十條　病院長ハ陸軍病院所在地所管ノ軍司令官若ハ師團長又ハ隷行第團長ニ隷ス其ノ職務區分ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

病院長ハ陸軍病院ノ業務ヲ總理シ病院内ノ軍紀及風紀維持ノ責ニ任ス

第十一條　准士官及下士官ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス
第十二條　看護婦長ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ服務ス

●憲兵令

勅令第三百十七號　明治三十一年十一月三十日

（改正　明治三三年第三八一號、三三年第二五〇號、三四年第二九號、三五年第二三三號、三六年第五八號、三八年第二二三號、三八年第二七號、三九年第一〇〇號、第三九七號、一一年第二五三號、一四年第一二五號、大正二年第七號、八年第一〇〇號、九年第三九五號、一二年第六二號、一五年第七七六號、一六年第七四三號、第一〇五〇號）

憲兵條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム（司法、陸軍、海軍、大臣副署）

憲兵令

第一章　總則

第一條　憲兵ハ陸軍大臣ノ管轄ニ屬シ主トシテ軍事警察ヲ掌リ兼テ行政警察、司法警察ヲ掌ル

第二條　憲兵ハ其ノ職務ノ執行ニ付軍事警察ニ係ルモノハ陸軍大臣及海軍大臣、行政警察ニ係ルモノハ內務大臣、司法警察ニ係ルモノハ司法大臣ノ指揮ヲ承ク

第三條　憲兵ハ其ノ職務上ニ關シ正當ノ職權ヲ有スル者ヨリ要求アルトキハ直ニ之ニ應スヘシ

第四條　憲兵ハ其ノ職務ノ執行ニ關シ兵器ヲ用ユルコトヲ得

第五條　憲兵ハ左ニ記載スル場合ニアラサレハ兵器ヲ用ユルコトヲ得ス

特令ヲ以テ大使、南洋群島ニ在リテハ拓務大臣、行政事務ニ係ルモノハ樺太ニ在リテハ樺太廳長官、關東州ニ於テハ關東都督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東州ニ在リテハ清朝關衙ノ指揮ヲ承ケ朝鮮ニ在リテハ朝鮮軍司令官、臺灣ニ保ルモノハ臺灣軍司令官、關東州ニ於ケル軍事警察ニ係ルモノハ關東都督、行政事務ニ係ルモノハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東州ニ在リテハ清朝關衙ノ指揮ヲ承ケ朝鮮ニ於ケル軍事警察ニ係ルモノハ朝鮮軍司令官、臺灣ニ保ルモノハ臺灣軍司令官、行政事務ニ係ルモノハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、關東州ニ於ケル軍事警察ニ係ルモノハ關東都督、司法警察ニ係ルモノハ朝鮮ニ在リテ

整理ニ任ズ

第十一條ノ四　憲兵司令部各課長ハ憲兵司令官ノ命ヲ承ケ各課ノ事務ヲ掌理ス

第十二條　憲兵隊長ハ部下分隊ヲ統轄シ其ノ勤務ノ方法ヲ指定シ隊中ノ事務ヲ掌理ス

東京、大阪、久留米及旭川ノ憲兵隊ノ憲兵隊長ハ前項ノ外地方防衛ニ關スル軍事警察ニ關シ當該憲兵隊所在軍管區内ニ在ル他ノ憲兵隊ノ憲兵隊長ヲ區處ス

臺北憲兵隊ノ憲兵隊長ハ第一項ノ外憲兵ノ業務ニ關シ臺灣ニ在ル他ノ憲兵隊ノ憲兵隊長ヲ區處ス

第十三條　副官、部員、部附及憲兵隊附ハ各其ノ上官ノ命ヲ承ケ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十四條　削除

第十五條　憲兵分隊長ハ部下ヲ指揮監督シ其ノ勤務ノ方法ヲ指定シ分隊ノ事務ヲ處理ス

第十六條　分遣隊長ハ部下ヲ指揮監督シ擔任ノ勤務ニ服ス

第十七條　准士官、下士官、判任文官及憲兵長ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第十八條　憲兵隊ニ憲兵補ヲ附スルコトヲ得憲兵補ノ待遇ハ其ノ職務ニ應シ憲兵下士官、憲兵兵長又ハ陸軍兵ニ準ス

第十九條　憲兵ノ服務ニ係ル規定ハ各主管大臣之ヲ定ム但シ朝鮮ニ於ケル軍事警察ニ係ルモノハ朝鮮軍司令官、臺灣ニ於ケル軍事警察ニ係ルモノハ臺灣軍司令官、關東州ニ於ケル軍事警察ニ係ルモノハ關東軍司令官、行政警察、司法警察ニ係ルモノハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東州ニ在リテハ大使之ヲ定ム

第二十條　憲兵補ニ關スル規程ハ陸軍大臣之ヲ定ム

附　則

第二十一條　削除

第二十二條　削除

第二十三條　本令ハ明治三十一年十二月一日ヨリ施行ス

●大正十二年勅令第四百四十一號（各兵科ノ者ヲシテ憲兵ノ勤務ヲ補助セシムルノ件）

大正十二年十月十一日
勅令第四百四十一號

陸各兵科ノ者ヲシテ憲兵ノ勤務ヲ補助セシムルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、内務、海軍、陸軍、司法大臣副署）

第一條　陸軍大臣又ハ軍司令官ハ各兵科憲兵科ヲ除クノ者ニ補助憲兵ヲ命スルコトヲ得

交通斷絶等ノ爲已ムヲ得サル場合ニ在リテハ最寄團隊長ハ憲兵司令官、朝鮮憲兵隊司令官、憲兵隊長、交通斷絶等ノ爲已ムヲ得サル場合ニ在リテハ憲兵分隊長ヨリ請求ヲ受ケ之ヲ必要ト認ムルトキ亦前項ニ同シ

前項ノ場合ニ在リテハ直ニ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第二條　補助憲兵ハ憲兵司令官、朝鮮憲兵隊司令官、憲兵隊長又ハ憲兵分隊長ノ指揮ニ屬シ憲兵ノ勤務ヲ補助スルモノトス

補助憲兵ニ付テハ憲兵條例ヲ準用ス

第三條　補助憲兵ノ服裝ハ當該兵科ノモノニ異ルコトナシ但シ白地ニ赤色ヲ以テ「憲兵」ノ二字ヲ記シタル腕章ヲ左腕ニ纏フ必要ニ應シ憲兵ノ携帶スル兵器ニ準スルモノヲ携帶セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年勅令第二百八號ハ之ヲ廢止ス

●憲兵補規程

大正八年八月二十日
陸軍省令第二十六號

改正　大正九年第二二號、一四年第二號
昭和五年第一二號、一三年第五四號、一七年第一號

憲兵補規程左ノ通定ム

憲兵補規程

第一章　總則

第一條　憲兵補ハ上官ノ指揮監督ヲ承ケ勤務ニ服ス

第二條　本規程施行ニ關スル細則ハ憲兵司令官之ヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ取ルヘシ

第二章　採用、服務

第三條　憲兵補ハ朝鮮人又ハ臺灣人ニシテ憲兵補志願者中左ノ各號ニ該當スル者ヨリ之ヲ採用ス

一　年齡二十歲以上三十五歲以下ナル者
二　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者
三　素行善良ニシテ志操確實ナル者
四　身長一・五五メートル以上ニシテ身體强健ナル者
五　國民學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

第四條　憲兵補ハ採用後三月間勤務ニ必要ナル學術科ヲ修習セシメタル後實務ニ就カシムルモノトス但シ進歩ノ程度ニ依リ其ノ期間ヲ伸縮スルコトヲ得

第五條　憲兵補ノ服務期間ハ採用ノ日ヨリ其ノ年ノ翌翌年三月三十一日迄トス但シ本人ノ志願ニ依リ滿期後更ニ年限ヲ定メ四十五歲ニ至ル迄繼續服務セシムルコトヲ得

第六條　憲兵補ハ服務年限內ト雖傷痍疾病非行其ノ他官ノ都合ニ因リ解兎スルコトヲ得

第三章　身分、階級

第七條　憲兵補ノ身分ハ軍屬トス

第八條　憲兵補ノ階級竝身分取扱左ノ如シ

階級	身分取扱
監督憲兵補	憲兵曹長ニ準ス
上等憲兵補	憲兵軍曹ニ準ス
一等憲兵補	憲兵伍長ニ準ス
二等憲兵補	憲兵兵長ニ準ス
三等憲兵補	陸軍一等兵ニ準ス
四等憲兵補	陸軍二等兵ニ準ス

第四章　進級

第九條　憲兵補ノ進級ハ總テ拔擢ニ依リ級ヲ追ヒ進級セシム

第十條　憲兵補ハ左ノ實務停年ヲ超エタル者ニ非サレハ進級セシムルコトヲ得ス但シ憲兵補教習中ノ期間ハ實務停年ニ算入セス

四等憲兵補	六月
三等憲兵補	六月
二等憲兵補	一年
一等憲兵補	一年
上等憲兵補	二年

第十一條　憲兵補ハ當初四等憲兵補ニ採用ス但シ經歷及技能ニ依リ三等以上ノ憲兵補ニ採用スルコトヲ得

第十二條　憲兵補進級ノ手續ハ陸軍下士官兵進級ノ手續ニ準ス

第五章　服制

第十三條　憲兵補ノ服制ハ其ノ階級ニ應シ憲兵下士官以下ノ服制（三等憲兵補ハ陸軍一等兵、四等憲兵補ハ陸軍二等兵ノ肩章及襟章ヲ附ス）ニ準シ且襟ノ左右ニ銀色金屬製ノ憲兵ノ特別徽章ヲ附ス

第六章　給與

第十四條　憲兵補ノ給與ハ本令ニ規定スルモノノ外左ノ區分ニ依リ陸軍軍人ニ係ル朝鮮滿洲駐劄陸軍部隊給與令、同細則又ハ臺灣駐劄陸軍部隊給與規則、同細則ノ規定ヲ準用ス但シ初任手當及在勤加俸ハ之ヲ給セス又通譯加俸ハ國語及外國語ノ通譯ヲ命シタル者ニ限リ之ヲ給ス

監督憲兵補ハ	憲兵曹長
上等憲兵補ハ	憲兵軍曹
一等憲兵補ハ	憲兵伍長
二等憲兵補以下ハ	憲兵兵長

三等憲兵補ノ給料ハ憲兵兵長ノ給料ヨリ月額二圓ヲ、四等憲兵補ノ給料ハ同四圓ヲ、教習中ノ者ノ給料ハ同十圓ヲ減シタル額トス

第十五條　監督憲兵補一等給ノ者ハ營外居住トシ監督憲兵補二等給以下ノ者（教習中ノ者ヲ除ク）ハ外宿トス

外宿ノ者ニハ外宿手當ヲ給ス

第十五條ノ二　憲兵補ニハ必要ノ應シ宿舍及家具ヲ貸與スルコトヲ得

第十六條　憲兵補ニハ別表ニ依リ被服ヲ支給シ又ハ貸與ス

第十七條　憲兵補公務旅行ノ場合ニハ旅費ヲ給ス其ノ定額ハ陸軍旅費規則ノ定額內ニ於テ憲兵司令官之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ憲兵補助員ノ職ニ在ル者ニシテ憲兵補ニ採用セラレタル者ノ階級及給料等級區分左ノ如シ

階級	給料等級區分
特別給監督補助員	
上等憲兵補	憲兵軍曹三等給
一等給及二等給監督補助員特別給補助員	
上等憲兵補	憲兵軍曹四等給
三等給監督補助員一等給及二等給補助員	
一等憲兵補	憲兵伍長一等給
四等給以下監督補助員三等給補助員	
一等憲兵補	憲兵伍長二等給
四等給補助員	
二等憲兵補	
五等給補助員	
三等憲兵補	
六等給、七等給補助員	
四等憲兵補	

別表

憲兵補被服

品目	員數	給與期限
軍帽	一	四年
略帽	一	二年
冬衣	一	四年
冬袴	二	三年六月
夏衣	一	四年
夏袴	二	二年
外套	一	六年
雨衣	一	十年

朝鮮ニ在リテハ臺灣ニ準ス

夏衣袴	一三	年	支給セズ
外套	一十	年	二十年
マント	一十	年	十年
襟布	一四	月	三月
冬襦袢袴下	一一	年	一年七月
夏襦袢袴下	一一	年	一年一月六月
手袋	一三	月	三月
靴下	一三分ノ二	月	三分ノ二月
長靴	一二	年	二年
雑嚢	一六	年	六年
飯盒	二二	年	二十年
水筒	二二十三	年	二十三年

備考

本表ノ外朝鮮人憲兵補ニハ朝鮮滿洲駐劄陸軍部隊給與令細則第五表備付被服（其ノ三）ニ依ル特種被服ヲ、臺灣人憲兵補ニハ臺灣駐劄陸軍部隊給與規則細則第九表特種被服ヲ貸與スルモノトス

●憲補規程

昭和十二年十二月七日
陸軍省令第六十四號

憲補規程左ノ通定ム

憲補規程

第一章　總則

第一條　憲補ハ上官ノ指揮監督ヲ承ケ勤務ニ服ス

第二條　本規程施行ニ關スル細則ハ關東憲兵隊司令官之ヲ定メ關東軍司令官ノ認可ヲ受クベシ

第二章　採用、服務

第三條　憲補ハ滿洲國人民ニシテ憲補志願者中左ノ各號ニ該當スル者ヨリ之ヲ採用ス

一　年齡二十歲以上三十五歲以下ナル者

二　禁錮（之ニ相當スルモノヲ含ム）以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

三　素行善良、志操確實、思想正純ナル者

四　身長一米五五以上ニシテ身體强健ナル者

五　關東憲兵隊司令官ニ於テ實施スル採用試驗ニ合格シタル者

第四條　憲補ハ採用後約三月間勤務ニ必要ナル學術科ヲ修得セシメタル後實務ニ就カシムルモノトス但シ進歩ノ程度ニ依リ其ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

第五條　憲補ノ服務期間ハ採用ノ日ヨリ其ノ年ノ翌々年三月三十一日迄トス但シ本人ノ志願ニ依リ滿期後更ニ年限ヲ定メ四十五歲ニ至ル迄繼續服

〔輯一三一〕

務セシムルコトヲ得

第六條　憲補ハ服務年限內ト雖傷痍疾病非行其ノ他官ノ都合ニ因リ解兗スルコトヲ得

第三章　身分取扱、懲戒

第七條　憲補ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要アルトキハ之ヲ軍屬ト爲スコトヲ得

第八條　憲補ハ之ヲ一等憲補、二等憲補、三等憲補及四等憲補ニ分ツ其ノ身分取扱左ノ如シ

一等憲補　一等憲兵補ニ準ズ
二等憲補　二等憲兵補ニ準ズ
三等憲補　三等憲兵補ニ準ズ
四等憲補　四等憲兵補ニ準ズ

第九條　憲補ノ昇級ハ總テ拔擢ニ依リ級ヲ追ヒ昇級セシム

第十條　憲補ハ左ノ實務停年ヲ超エタル者ニ非ザレバ昇級セシムルコトヲ得ズ但シ憲補敎習中ノ期間ハ實務停年ニ算入セズ

四等憲補　六月
三等憲補　六月
二等憲補　一年

第十一條　憲補ハ當初四等憲補ニ採用ス但シ經歷及技能ニ依リ三等憲補ニ採用スルコトヲ得

第十二條　憲補昇級ノ手續ハ憲兵補進級ノ手續ニ準ズ

第十三條　憲補ノ懲戒ニ關シテハ關東軍司令官之ヲ定ム

第四章　服制

第十四條　憲補ノ服制ハ其ノ區分ニ應シ一等憲兵補以下ノ服制ニ準ジ且關東軍司令官ノ定ムル襟部徽章ヲ附ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔輯八二〕

●陸軍教化隊令

大正十二年十二月十七日
陸軍省令第二十二號

改正　昭和二年六月第三號

陸軍教化隊令ヲ制定シ之ヲ施行ス（陸軍大臣副署）

陸軍教化隊令

第一條　陸軍教化隊ハ陸軍兵ニシテ屢前項ノ規定ニ依リ教化隊ニ收容セラレタル者ノ改悛ノ狀ナキ者ヲ收容シ之ヲ教導感化スル所トス

第二條　陸軍教化隊ハ衞戍地ニ置ク

第三條　陸軍教化隊ニ左ノ職員ヲ置ク

隊長

附

下士官

前項ノ職員ハ兵役ニ服シ又ハ服セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第四條　陸軍教化隊ニハ所要ノ下士官及兵ノ派遣ニ關シテハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五條　前條ノ下士官及兵ハ上官ノ命ヲ承ケ隊務ヲ掌理ス

第六條　附ハ隊長ノ命ヲ承ケ隊務ニ服ス

第七條　下士官ハ上官ノ命ヲ承ケ隊務ニ服ス

第八條　前條ノ規定ハ陸軍教化隊ニ收容セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第九條　教化隊ニ職スル衞戍ハ歩兵隊ノ衞戍トス但シ特ニ必要アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第十條　教化隊ノ中原隊ニ於テ二等兵又ハ之ト同等教導ニ隨等セラレタル者ニシテ改悛ノ狀アリ其ノ成績優良ナルモノハ教化隊ニ於テ教導セシムルコトヲ得

第十一條　教化隊ノ携帶セシムルノ必要アル場合ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　教化兵ハ衞兵ノ勤務ニ服シ教化兵ニ兵器ヲ携帶セシメサルモノトス

第十三條　教化兵ニハ兵器ヲ携帶セシメサルモノトス但シ隊長ニ於テ之ヲ携帶セシムルノ必要アル場合ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　教化兵ノ中原隊ニ於テ二等兵又ハ之ト同等教導ニ隨等セラレタル者ニシテ改悛ノ狀アリ其ノ成績優良ナルモノハ教化隊ニ於テ教導セシムルコトヲ得

第十五條　教化兵ノ携有スル金錢ハ教化隊ニ於テ之ヲ保管ス

教化兵ハ隊長ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ前項ノ金錢ヲ使用スルコトヲ得ス

第十六條　教化兵ハ外出スルコトヲ許サス但シ隊長ニ於テ其ノ必要ヲ認ムルトキハ幹部ノ引率ヲ以テ之ヲ外出セシムルコトヲ得

第十七條　教化兵ニハ陸軍軍人休暇令ニ依ル休暇ヲ與ヘス但シ父母妻子ノ疾病危篤又ハ死亡等特情已ムヲ得サル場合ニ限リ隊長ニ於テ特ニ短期ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第十八條　隊長ハ教化兵中改悛ノ狀顯著ニシテ教化ノ必要ヲ認メサル者アルトキハ之ヲ原隊ニ復歸セシムヘシ

第十九條　教化隊ニ於テ教化スルノ必要アル者ヲ教化隊ニ編入スル場合及教化兵ヲ原隊ニ復歸セシメ又ハ之ヲ除隊セシムル場合ノ手續ニ付テハ陸軍大臣之ヲ定ム

第二十條　教化隊ニハ令教化兵ノ行狀修ヲ備ヘ賞罰及其ノ他ノ狀況ヲ詳錄スヘシ

第二十一條　教化兵ノ教化編領ハ軍司令官陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ム

第二十二條　教化兵ノ衣袴ニ關スル細則ハ軍司令官ノ認可ヲ受ケ陸軍之ヲ定ム

附　則

本令ハ大正十二年十二月十七日ヨリ之ヲ施行ス

他ノ軍令中懲治隊又ハ懲治卒トアルハ教化隊又ハ教化卒トス

勅令第五百七十二號
大正十二年十二月十七日

陸軍懲治隊條例ハ之ヲ廢止ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

他ノ勅令中懲治隊トアルハ教化隊、懲治卒トアルハ教化卒トス

●陸軍監獄官制

勅令第二百三十一號
明治四十二年九月二十八日

改正　大正八年勅令第九九號、同年第三九六號、一一年第六〇號、一二年第四七號、一四年第一五號
昭和二年勅令第一一號、第七八號、一六年第四〇八號

陸軍監獄官制ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣副署、陸軍）

陸軍監獄官制

第一條　陸軍監獄ハ軍法会議所在地（但シ久留米師管ニ在リテハ久留米衛戍地及小倉衛戍地）ニ之ヲ置キ其ノ名称ハ別表ニ依ル

第二條　各陸軍監獄ノ種類ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第三條　陸軍監獄ニ左ノ職員ヲ置ク

陸軍監獄長
陸軍監獄看守長
陸軍監獄看守

第四條　監獄長ハ奏任トシ監獄看守長ハ判任トシ監獄看守ハ判任官待遇トス

第五條　監獄長ハ陸軍大臣ノ定ムル軍司令官又ハ師団長ニ隷シ部下ノ官吏ヲ指揮監督シ監獄ノ事務ヲ掌理ス

第六條　監獄長ハ陸軍慣例令ノ規定ヲ準用シテ監獄ノ所属員ヲ懲戒ス

第七條　監獄長故アルトキハ上席監獄看守長其ノ事務ヲ代理ス

第八條　監獄看守長ハ監獄長ノ命ヲ承ケ庶務及戒護ニ従事シ監獄看守ヲ指揮監督ス

第九條　監獄看守ハ上官ノ命ヲ承ケ看守、厩丞、門衛等ノ事務ニ服ス

監獄看守ノ採用ニ関スル規程ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十條　監獄ノ所管長官ハ当該監獄内ノ衛生事務ヲ其ノ政令部除附衛生部将校以下ヲシテ管掌セシムルモノトス

附則

本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍監獄官制、明治三十二年勅令第十八號及明治四十年勅令第四十一號ハ之ヲ廃止ス

陸軍監獄ノ建物区分ニ関スル件左ノ通定ム

陸軍監獄ノ種類

陸軍監獄ノ名称	
東京陸軍刑務所	熊本陸軍拘禁所
大阪陸軍刑務所	旭川陸軍拘禁所
小倉陸軍刑務所	麗南陸軍拘禁所
丽岡陸軍拘禁所	宇都宮陸軍拘禁所
札幌陸軍拘禁所	金澤陸軍拘禁所
京城陸軍拘禁所	京都陸軍拘禁所
臺北陸軍拘禁所	姫路陸軍拘禁所
仙臺陸軍拘禁所	善通寺陸軍拘禁所
名古屋陸軍拘禁所	久留米陸軍拘禁所
廣島陸軍拘禁所	弘前陸軍拘禁所

（別表）

陸軍監獄ノ建物区分ニ関スル件左ノ通定ム

陸軍監獄ノ種類

禁所ニハ拘留場及拘置監ヲ置ク

陸軍監獄ノ種類左ノ通定ム

禁錮、禁錮監、拘留場及拘置監ヲ置キ徒刑ニ在ル者ハ懲役監ニ拘置ス

本令ハ大正十二年四月一日ヨリ施行ス

陸軍監獄ノ建物区分ニ関スル件左ノ通定ム

陸軍監獄ノ種類

禁所ニハ拘留場及拘置監ヲ置ク

陸軍監獄ノ種類左ノ通定ム

禁錮、禁錮監、拘留場及拘置監ヲ置キ徒刑ニ在ル者ハ懲役監ニ拘置

改正　大正八年第四〇號、九年第二九號、第一一九號、第三七四號、一一年第四三七號、一四年第二四一號、昭和二年第六八號

勅令第三十四號

明治四十四年三月三十一日

●明治四十四年勅令第三十六號
（朝鮮軍人ニ關スル件）

第一條　朝鮮軍人ハ第一表ニ依リ下欄ニ掲クル者ハ上欄ノ陸軍軍人ニ相當スルモノトス

第二條　朝鮮軍人ハ相當陸軍軍人ノ次席トス

第三條　朝鮮軍人ニハ相當陸軍軍人ノ制服ヲ著用セシム但シ襟ノ左右ニ金色ノ徽章ヲ附スル其ノ裁式形狀左ノ如シ

ノ本圖ハ實物ヲ示ス

廃　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

朝鮮軍人ニ關スル件

第一條　朝鮮軍人ハ第一表ニ依リ下欄ニ掲クル者ハ上欄ノ陸軍軍人ニ相當スルモノトス

第二條　朝鮮軍人ハ相當陸軍軍人ノ次席トス

第三條　朝鮮軍人ニハ相當陸軍軍人ノ制服ヲ著用セシム但シ襟ノ左右ニ金色ノ徽章ヲ附スル其ノ裁式形狀左ノ如シ

ノ本圖ハ實物ヲ示ス

第四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第二十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第二十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第二十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第二十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第二十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第二十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第二十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第二十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第二十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第二十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第三十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第三十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第三十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第三十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第三十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第三十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第三十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第三十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第三十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第三十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第四十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第四十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第四十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第四十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第四十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第四十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第四十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第四十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第四十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第四十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第五十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第五十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第五十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第五十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第五十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第五十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第五十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第五十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第五十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第五十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第六十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第六十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第六十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第六十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第六十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第六十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第六十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第六十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第六十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第六十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第七十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第七十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第七十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第七十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第七十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第七十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第七十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第七十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第七十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第七十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第八十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第八十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第八十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第八十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第八十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第八十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第八十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第八十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第八十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第八十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第九十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第九十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第九十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第九十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第九十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第九十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第九十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第九十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第九十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第九十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百二十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百二十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百二十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百二十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百二十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百二十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百二十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百二十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百二十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百二十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百三十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百三十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百三十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百三十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百三十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百三十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百三十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百三十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百三十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百三十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百四十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百四十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百四十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百四十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百四十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百四十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百四十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百四十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百四十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百四十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百五十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百五十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百五十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百五十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百五十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百五十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百五十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百五十七條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百五十八條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百五十九條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百六十條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百六十一條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百六十二條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百六十三條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百六十四條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百六十五條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百六十六條　朝鮮軍人ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、軍醫、軍吏、主計、獸醫ノ相當官ニ關スル件ヲ改正ス）

第百六十七條　朝鮮

第四條　朝鮮軍人ニシテ現役ニ在ル者ニハ俸二表ニ依リ俸給給料ヲ給ス
特務正校ニシテ現役ニ任セラレタル後勤續三年ヲ經過シタル者ニハ勤續加俸月額五圓ヲ給ス
俸給、給料及勤續加俸ノ支給、減額及停止ニ付テハ陸軍給與令ヲ準用ス

第五條　朝鮮歩兵隊ニ屬スル正校同相當官以下ニ對スル糧食ノ給與額ハ左ノ定額ニ依ル

將校	一人一日	六合
馬匹	一人一日	十八錢

特務正校ニシテ朝鮮歩兵隊ノ宿直勤務ニ服スル者ニハ前項ノ給與額ニ依リ糧食ヲ給ス

第六條　特務正校初任ノトキ給スル履綬手當ノ定額ハ三百七十五圓トス
朝鮮歩兵隊ニ屬スル特務正校ニハ履綬手當年額三十圓ヲ給ス其ノ支給區分ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第七條　朝鮮歩兵隊ニ屬スル正校同相當官以下死亡ノ場合ニ於ケル埋葬料ハ左ノ定額ニ依ル

正校同相當官、副校同相當官、參校同相當官	三十七圓五十錢
兵卒	十三圓

第八條　朝鮮軍人公務ニ依リ旅行スルトキハ相當陸軍軍人ニ準シ旅費ヲ給ス

階　圖

本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

階　圖（大正十四年勅令第三百四十一號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ陸軍計手ヲル者ハ陸軍二等計手ニ、陸軍調護長ヲル者ハ陸軍二等看護長ニ相當スル者トス

（第一表）

| | | |

第二十四條　海軍ノ水路部ハ水路ニ関スル事務ヲ掌ル
第二十五條　海軍ノ軍医部ハ軍医ニ関スル事務ヲ掌ル
第二十六條　海軍ノ主計部ハ主計ニ関スル事務ヲ掌ル
第二十七條　海軍ノ軍楽部ハ軍楽ニ関スル事務ヲ掌ル
第二十八條　海軍ノ技術部ハ技術ニ関スル事務ヲ掌ル
第二十九條　海軍ノ造船部ハ造船ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十條　海軍ノ造兵部ハ造兵ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十一條　海軍ノ建築部ハ建築ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十二條　海軍ノ艦政本部ハ艦政ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十三條　海軍ノ水路部ハ水路ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十四條　海軍ノ軍医部ハ軍医ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十五條　海軍ノ主計部ハ主計ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十六條　海軍ノ軍楽部ハ軍楽ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十七條　海軍ノ技術部ハ技術ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十八條　海軍ノ造船部ハ造船ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十九條　海軍ノ造兵部ハ造兵ニ関スル事務ヲ掌ル
第四十條　海軍ノ建築部ハ建築ニ関スル事務ヲ掌ル
第四十一條　海軍ノ艦政本部ハ艦政ニ関スル事務ヲ掌ル

第二十四條　海軍ノ水路部ハ水路ニ関スル事務ヲ掌ル
第二十五條　海軍ノ主計部ハ主計ニ関スル事務ヲ掌ル
第二十六條　海軍ノ軍医部ハ軍医ニ関スル事務ヲ掌ル
第二十七條　海軍ノ軍楽部ハ軍楽ニ関スル事務ヲ掌ル
第二十八條　海軍ノ技術部ハ技術ニ関スル事務ヲ掌ル
第二十九條　海軍ノ造船部ハ造船ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十條　海軍ノ造兵部ハ造兵ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十一條　海軍ノ建築部ハ建築ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十二條　海軍ノ艦政本部ハ艦政ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十三條　海軍ノ水路部ハ水路ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十四條　海軍ノ軍医部ハ軍医ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十五條　海軍ノ主計部ハ主計ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十六條　海軍ノ軍楽部ハ軍楽ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十七條　海軍ノ技術部ハ技術ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十八條　海軍ノ造船部ハ造船ニ関スル事務ヲ掌ル
第三十九條　海軍ノ造兵部ハ造兵ニ関スル事務ヲ掌ル
第四十條　海軍ノ建築部ハ建築ニ関スル事務ヲ掌ル
第四十一條　海軍ノ艦政本部ハ艦政ニ関スル事務ヲ掌ル

（別表）

本令ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

海軍省定員表

大臣

官房

局務人	局	備	兵	局	務	軍	電	信	課	長	大	副官	事務官	秘書官	参与官	欧米出張
長		長		長												
中		中		中												
少		少		少												
將	一	將	一	將	一											

第一課	第二課	第三課	第四課	第三課	第二課	第一課	課	長	大	中	少	佐	一
長	長	長	長	長	長	長							
大	大	大	大	中	大	大							
中	中	中	中	獵	中	中							
佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐							
一	一	一	一	一	一	一							

員	局	員	課	員	課
主計	獵	中	少	中	少
計	闘	少	佐	少	佐
監	中	佐	、	佐	、
中	少	佐	大	大	
中	佐	内	尉		
少	内	軍			
少	軍	務			
佐	務	一			
佐	一				
軍	四				
務	三				
一					
一					
四					

局	理	經	第一課	第二課	第三課	第四課	第五課	第六課
長			長	長	長	長	長	長
少將			中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐
計			大	大	大	大	大	大
中			一	一	一	一	一	一
一								

局務課	局務課	局	軍	需	局	育	局	欽
長	長	長	長	長	長	長	長	長
少將	少將	中將	少將	少將	中將	中將	中將	中將
一	中將	一	一	一	一	一	一	一

局	軍	課	第一課	第二課	第三課	第四課	第五課	第六課
員	軍	長	長	長	長	長	長	長
中	大	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐
少	中	佐	大	大	大	大	大	大
佐	少	佐	一	一	一	一	一	一
	佐							

局	員	局	主計	計	中	少	佐	内	軍	務	二	〔六〕
局	員	局	獵	闘	中	少	佐	内	軍	務	二	〔三〕
局	員	局	主	計	中	少	佐	内	軍	務	二	〔四〕

局	員	局	主計	計	中	少	佐	内	軍	務	二	〔四〕

●大正十一年勅令第八十九號（海軍所屬ノ編修書記及書記竝陸海軍ノ誓査ニ關スル件）

大正十一年勅令第二百五號　大正十一年四月一日

海軍所屬ノ編修書記及書記竝陸海軍ノ誓査ニ關スル件ヲ定ム

第一條　海軍所屬ノ編修書記及書記ニシテ陸軍ノ誓査ヲ要スル者ハ陸軍大臣（總理、海軍副署）ノ定ムル規程ニ依リ陸軍ノ誓査ヲ受ケシムヘシ

第二條　陸軍所屬ノ編修書記及書記ニシテ海軍ノ誓査ヲ要スル者ハ海軍大臣（總理、陸軍副署）ノ定ムル規程ニ依リ海軍ノ誓査ヲ受ケシムヘシ

第三條　陸軍大臣又ハ海軍大臣ハ前二條ノ誓査ヲ爲ス官吏ヲ指定スヘシ

第四條　陸軍誓査ノ採用ニ關スル規程ハ陸軍大臣、海軍誓査ノ採用ニ關スル規程ハ海軍大臣之ヲ定ム

第五條　陸軍所屬ノ編修書記及書記ニシテ陸軍ノ誓査ヲ受ケサル者ハ判任官トシ陸軍誓査及海軍誓査ハ判任官ノ待遇ヲ與フヘシ

第六條　海軍所屬ノ編修書記及書記ニシテ海軍ノ誓査ヲ受ケサル者ハ判任官トシ陸軍誓査及海軍誓査ハ判任官ノ待遇ヲ與フヘシ

第七條　本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年勅令第二百六十八號ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際在職ノ陸軍誓守ハ別ニ勅令ヲ以テ陸軍誓査ニ採用ス

●大正十年勅令第百二十一號（海軍所屬技師ノ平時定員及官等ニ關スル件）

大正十年四月十二日　勅令第百二十一號

海軍所屬技師ノ平時定員及官等ハ左ノ通トス

官等	定員
勅任	十一人
奏任	百二十六人
奏任	九人
奏任	一人
奏任	四百七十八人

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年勅令第百五號及明治三十七年勅令第二十五號ハ之ヲ廢止ス

●大正十一年勅令第八十九號（海軍所屬ノ編修書記及書記竝陸海軍ノ誓査ニ關スル件）

大正十一年勅令第八十九號　大正十一年三月三十一日

海軍所屬ノ編修書記及書記ニシテ陸軍ノ誓査ヲ要スル者ハ陸軍大臣（總理、海軍副署）ノ定ムル規程ニ依リ陸軍ノ誓査ヲ受ケシムヘシ

海軍所屬ノ編修書記及書記ニシテ海軍ノ誓査ヲ要スル者ハ海軍大臣（總理、陸軍副署）ノ定ムル規程ニ依リ海軍ノ誓査ヲ受ケシムヘシ

陸軍誓査ノ採用ニ關スル規程ハ陸軍大臣、海軍誓査ノ採用ニ關スル規程ハ海軍大臣之ヲ定ム

海軍所屬ノ編修書記及書記ニシテ陸軍ノ誓査ヲ受ケサル者ハ判任官トシ陸軍誓査及海軍誓査ハ判任官ノ待遇ヲ與フヘシ

陸軍所屬ノ編修書記及書記ニシテ海軍ノ誓査ヲ受ケサル者ハ判任官トシ陸軍誓査及海軍誓査ハ判任官ノ待遇ヲ與フヘシ

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年勅令第二百六十八號ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際在職ノ陸軍誓守ハ別ニ勅令ヲ以テ陸軍誓査ニ採用ス

●大正十年勅令第百二十一號（海軍所屬技師ノ平時定員及官等ニ關スル件）

大正十年四月十二日　勅令第百二十一號

海軍所屬技師ノ平時定員及官等ハ左ノ通トス

官等	定員
勅任	十一人
奏任	百二十六人
奏任	九人
奏任	一人
奏任	四百七十八人

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年勅令第百五號及明治三十七年勅令第二十五號ハ之ヲ廢止ス

●昭和十一年勅令第二百八十九號（海軍ニ臨時海軍通譯設置ノ件）

昭和十一年八月七日　勅令第二百八十九號

海軍ニ臨時海軍通譯ヲ設置スル件ヲ定ム

第一條　海軍ニ臨時海軍通譯ヲ設置スル必要アルトキハ勅令ヲ以テ定ムル所ニ依リ之ヲ設置ス

第二條　海軍通譯ハ奏任二十二人ヲ以テ定ム

第三條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第四條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ奏請ニ依リ勅任官ノ待遇ヲ與フルコトアリ

第五條　海軍通譯ニ關スル官制ハ別ニ之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●特設海軍部隊臨時職員設置制

昭和十六年十二月二十七日　勅令第千二百四號

（樞密院諮詢ヲ經サル緊急ノ必要ニ因リ特ニ勅裁ヲ以テ公布ス）

（樞密院、大東亞戰爭ニ際シ特設海軍部隊ニ必要ナル臨時職員ヲ置ク件ヲ定ム）

第一條　大東亞戰爭ニ際シ特設海軍部隊ニ必要ナル臨時職員ハ左ノ通トス

官等	定員
勅任	一人
奏任	百十一人
奏任	百二十六人
奏任	九人
奏任	一人

海軍司政官

海軍技師

海軍通譯

海軍技手

第二條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第三條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第四條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第五條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第六條　海軍司政官ハ奏任官ノ待遇ヲ有シ其ノ官等ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　海軍技師ハ奏任官ノ待遇ヲ有シ其ノ官等ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條　海軍通譯ハ奏任官ノ待遇ヲ有シ其ノ官等ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　海軍技手ハ判任官ノ待遇ヲ有シ其ノ官等ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　海軍司政官ハ高等官ノ它ノ命官ニ轉スルコトヲ得

第十一條　海軍技師ハ高等官ノ它ノ命官ニ轉スルコトヲ得

第十二條　海軍通譯ハ高等官ノ它ノ命官ニ轉スルコトヲ得

第十三條　海軍技手ハ判任官ノ它ノ命官ニ轉スルコトヲ得

第十四條　海軍司政官ニ在ラス且ツ海軍技師ニ在ラス且ツ海軍通譯ニ在ラス且ツ海軍技手ニ在ラサル者ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第十五條　海軍司政官ハ海軍技師ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第十六條　海軍技師ハ海軍司政官ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第十七條　海軍通譯ハ海軍司政官ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第十八條　海軍技手ハ海軍司政官ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第十九條　海軍司政官ハ海軍技師ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第二十條　海軍司政官ハ海軍通譯ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第二十一條　海軍司政官ハ海軍技手ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第二十二條　海軍技師ハ海軍通譯ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第二十三條　海軍技師ハ海軍技手ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第二十四條　海軍通譯ハ海軍技手ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第二十五條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十六條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二十七條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第二十八條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二十九條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第三十條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第三十一條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第三十二條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第三十三條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第三十四條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第三十五條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第三十六條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第三十七條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第三十八條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第三十九條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第四十條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第四十一條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第四十二條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第四十三條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第四十四條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第四十五條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第四十六條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第四十七條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第四十八條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第四十九條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第五十條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第五十一條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第五十二條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第五十三條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第五十四條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第五十五條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第五十六條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第五十七條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第五十八條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第五十九條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第六十條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第六十一條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第六十二條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第六十三條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第六十四條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第六十五條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第六十六條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第六十七條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第六十八條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第六十九條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第七十條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第七十一條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第七十二條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第七十三條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第七十四條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第七十五條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第七十六條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第七十七條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第七十八條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第七十九條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第八十條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第八十一條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第八十二條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第八十三條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第八十四條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第八十五條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第八十六條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第八十七條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第八十八條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第八十九條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第九十條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第九十一條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第九十二條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第九十三條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第九十四條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第九十五條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第九十六條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第九十七條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第九十八條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第九十九條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百一條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百二條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百三條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百四條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百五條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百六條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百七條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百八條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百九條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百十條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百十一條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百十二條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百十三條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百十四條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百十五條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百十六條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百十七條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百十八條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百十九條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百二十條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百二十一條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百二十二條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百二十三條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百二十四條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百二十五條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百二十六條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百二十七條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百二十八條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百二十九條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百三十條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百三十一條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百三十二條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百三十三條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百三十四條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百三十五條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百三十六條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百三十七條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百三十八條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百三十九條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百四十條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百四十一條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百四十二條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百四十三條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百四十四條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百四十五條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百四十六條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百四十七條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百四十八條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百四十九條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百五十條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百五十一條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百五十二條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百五十三條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百五十四條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百五十五條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百五十六條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百五十七條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百五十八條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百五十九條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百六十條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百六十一條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百六十二條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百六十三條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百六十四條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百六十五條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百六十六條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百六十七條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百六十八條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百六十九條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百七十條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百七十一條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百七十二條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百七十三條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百七十四條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百七十五條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百七十六條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百七十七條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百七十八條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百七十九條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百八十條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百八十一條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百八十二條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百八十三條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百八十四條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百八十五條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百八十六條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百八十七條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百八十八條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百八十九條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百九十條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百九十一條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百九十二條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百九十三條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百九十四條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百九十五條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第百九十六條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百九十七條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第百九十八條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第百九十九條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第二百條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百一條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第二百二條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百三條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第二百四條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百五條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第二百六條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百七條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第二百八條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百九條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第二百十條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百十一條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第二百十二條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百十三條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第二百十四條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百十五條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第二百十六條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百十七條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第二百十八條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百十九條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第二百二十條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百二十一條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第二百二十二條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百二十三條　海軍通譯ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル通譯ノ事務ヲ掌ル

第二百二十四條　海軍技手ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百二十五條　海軍司政官ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル事務ヲ掌ル

第二百二十六條　海軍技師ハ海軍大臣ノ指揮ヲ受ケ海軍ニ關スル技術ノ事項ヲ掌ル

第二百二十七條　海軍通譯ハ海軍大

●海軍艦政本部令

勅令第四百四十一號
大正九年十月一日

改正 大正一二年第二七號、一四年第三二號、一五年第三一九號
昭和二年第一九號、三年第一八號、八年第二八號、一〇年第八號、一一年第一二八號、一三年第二〇號、第七三八號、一四年第三二號、一五年第五八八號、第七〇〇號、一六年第八九六號

陸海軍艦政本部令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大禮使、陸軍副署）

第一章　官制
第二章　官職
第十一章　陸軍省及陸軍所管

●海軍將官會議條例

勅令第七十二號
明治二十二年五月二十九日

改正 明治二四年第一三四號、三二年第二七號

陸海軍將官會議條例ノ改正ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大禮使、陸軍副署）

陸軍將官會議條例

第一條　陸軍將官會議ハ東京ニ置キ陸軍ニ於ケル重要ノ事項ヲ審議スル所トス

第二條　陸軍將官會議ハ陸軍大臣ヲ以テ議長トシ議員若干人ヲ置キ陸軍將官ヲ以テ之ニ補ス

第三條　陸軍大臣ハ必要ニ依リ議員ニアラサル將官並將官相當官ニ臨時議員ノ命シ又上長官ヲシテ議事ニ參與セシムルコトヲ得

第四條　陸軍大臣ハ上能將官ヲ以テ議長トス

第五條　議員ニ於テ議案ヲ提出セントスルトキハ議長ヨリ下付スル議員ニ於テ議案ヲ提出セントスルトキハ議長ノ許可ヲ受クヘシ

第六條　陸軍將官會議ノ事務ハ陸軍大臣官房ニ於テ之ヲ處理ス

第一章　官制
第二章　官職
第十一章　陸軍省及陸軍所管

陸軍艦政本部令

第一條　陸軍艦政本部ハ左ノ事務ヲ掌ル所トス

一　艦船ノ始制修繕ニ關ノ計畫、審査、造修、研究、實驗及保存ニ關スル事項

二　兵器（航空兵器ヲ除ク）ノ計畫、審査、造修、研究及實驗竝ニ航空兵器ノ艦船裝備ニ關スル事項

三　兵器（航空兵器ヲ除ク）ノ準備、保管及供給ニ關スル事項

三ノ二　工作艦ニ有線通信裝置ノ計畫、審査、造修、研究、實驗及管理ニ關スル事項

四　陸軍工作廠ノ設備（航空關係ノ設備ヲ除ク）ノ計畫及審査ニ關スル事項

五　陸軍軍需部ニ於ケル兵器關係ノ設備（航空兵器關係ノ設備ヲ除ク）ノ計畫及審査ニ關スル事項

六　艦船兵器（航空兵器ヲ除ク）ノ造修ニ要スル軍需品、工場等ノ軍需工業動員ニ關スル事項

七　造船科造機科造兵科士官以下（燃料ニ關スル技術ニ從事スル造機科士官以下及航空兵器ニ關スル技術ニ從事スル造兵科士官以下ヲ除ク）ノ教育及本務ニ關スル事項

八　陸軍共濟組合ニ關スル事項

九　陸軍工廠、陸軍工作部、陸軍火藥廠及陸軍技術研究所ニ於ケル勞務ニ關スル事項

第二條　陸軍艦政本部ニ總務部、會計部、第一部、第二部、第三部、第四部、第五部、第六部及第七部ヲ置キ總務部ニ第一課、第二課、第三課ヲ、第一部ニ第一課及第二課ヲ置ク

第三章　官職
第一章　官制
第十一章　陸軍省及陸軍所管

陸軍艦政本部令

各部課ノ事務ノ分掌ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第三條　陸軍艦政本部ニ左ノ職員ヲ置ク

本部長
部長
課長
部員
附

前項職員ノ外必要ニ應シ出仕トシテ士官又ハ技師ヲ置ク

第四條　本部長ハ陸軍大臣ニ隷シ部務ヲ總理ス

第五條　本部長ハ部下ノ職員ヲ指揮監督シ又ハ故アルトキハ他ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第六條　本部長故障中又ハ故アルトキハ部下ノ職員序次ヲ以テ其ノ代理ヲ定ム

第七條　部長ハ本部長ノ命ヲ承ケ各部ノ事務ヲ掌ル

前項ノ外總務部長ハ本部長ヲ佐ケ陸軍艦政本部ノ事務ヲ整理ス

第八條　課長ハ部長ノ命ヲ承ケ各課ノ事務ヲ掌ル

第九條　部員ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第十條　陸軍艦政本部ニ判任文官ヲ置ク

第十一條　附ハ陸軍特務士官、准士官又ハ判任文官ヲ以テ之ニ充ツ上官ノ命ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス

第十二條　出仕ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

海軍技術本部令ハ之ヲ廢止ス
海軍技術本部ニ關スル從前ノ規定ハ海軍艦政本部ニ關スル規定トス

●海軍理事官設置制

勅令第二百七十二號
昭和九年七月十六日

改正　昭和一五年勅六〇〇號、一六年勅三一一號

陸海軍理事官設置制ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副署）

海軍理事官設置制

第一條　海軍ニ海軍理事官ヲ置ク
第二條　海軍理事官ハ奏任十一人ヲ以テ充ツ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
第三條　海軍理事官ハ軍令部、海軍艦政本部、海軍航空本部、鎮守府及海軍施設本部ニ於テ事務ヲ掌理ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十四年勅令第三百五十三號
（海軍ニ臨時海軍理事官及海軍省ニ臨時海軍事務官增置ノ件）

勅令第三四五號
昭和十四年六月十三日

改正　昭和一五年勅六〇一號、一六年勅七二〇號、第七九九號

陸海軍理事官設置制ニ依リ海軍ニ臨時海軍理事官ヲ置キ海軍省ニ臨時海軍事務官ヲ增置スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副署）

陸海軍理事官設置制ニ依リ海軍ニ臨時海軍理事官ヲ置キ海軍省ニ臨時海軍事務官ヲ增置スル件

第一條　海軍ニ臨時海軍理事官ヲ置ク
第二條　海軍省ニ臨時海軍事務官ヲ置ク

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

陸海軍技術研究所令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副署）

海軍技術研究所令

第一條　海軍技術研究所ハ海軍技術ノ研究、調査及各種ノ技術的試驗ニ關スルコトヲ掌ル
海軍技術研究所ハ前項ノ外必要ニ應シ兵器、工作物ヲ有線通信裝置及材料ノ製造及修理ヲ掌ル
第二條　海軍技術研究所ハ技術ノ研究又ハ技術從事者養成ノ依賴ヲ受ケタルトキハ前條ノ規定ニ依ル業務ニ支障ナキ限リ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ニ應スルコトヲ得
第三條　海軍技術研究所ニ總務課、會計課及醫務課竝ニ所要ノ部ヲ置ク
前項ニ規定スル各課及部ノ事務ノ分掌ハ海軍大臣之ヲ定ム
第四條　海軍技術研究所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長
部長
課長
所員
副所員

陸海軍工廠及海軍建築部ニ關スル事務ヲ掌理セシム
陸軍造兵又ハ土木建築ニ關スル事務ニ從事セシムル爲海軍ニ臨時海軍理事官ヲ置キ海軍ニ臨時海軍事務官ヲ置キ海軍航空本部、海軍施設本部ニ於テ事務ヲ掌理セシム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年勅令第二百二十七號海軍ニ臨時海軍理事官竝ニ臨時海軍事務官增置ノ件ヲ改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副署）

附則

本令ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●造船造兵監督官令

勅令第六十一　明治三十四年三月三十日

改正　明治三十三年第二十三号、四十二年第三十七號、大正四年第一大五号、五年第二十八號、九年第一大四號、一〇年第二九號、昭和二年第大四號、八年第二九號、九年第一〇一號

（海軍副大臣）

造船造兵監督官ノ任免ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ公布セシム

造船造兵監督官令

第一條　海軍ニ於テ艦船兵器ノ製造ヲ工場ニ委託シ及造船造兵用ノ材料品其ノ他工事用器具機械ヲ購入スルトキハ必要ニ應ジ左ノ職員ヲ置キ製造業ノ監督及購入物品ノ檢査ニ從事セシメ又會計ノ事務ヲ整理セシム

造船監督官
造兵監督官
造船造兵監督官會計官
造兵監督官會計官
造船監督官助手
造兵監督官助手
造船造兵監督官書記

前項職員ノ外必要ニ應シ造船造兵監督官ヲ置クコトヲ得

第二條　造船造兵監督官造船監督官造兵監督官造船造兵監督官會計官及造兵監督官會計官ハ海軍主計官ヲ以テ之ニ充ツ

造船監督官及造兵監督官ハ必要ニ應シ海軍特務士官又ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

前項職員ノ外必要ニ應シ造船造兵監督官ヲ置クコトヲ得

第三條　造船造兵監督官ハ海軍技師ヲ以テ之ニ充ツ

造船造兵監督官助手ハ海軍准士官下士官又ハ技手ヲ以テ之ニ充テ監督官書記ハ海軍書記ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　造船造兵監督官ハ海軍艦政本部長ノ命ヲ承ケ服務ス

造船造兵監督官會計官ハ海軍艦政本部長ノ、造兵監督官會計官ハ海軍航空本部長ノ命ヲ承ケ服務ス但シ會計ノ執行ニ關シテハ海軍大臣ノ命ヲ承ケ造兵監督官及造兵監督官會計官ハ其ノ所屬ニ從ヒ海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長ノ命ヲ承ケ服務ス

造船造兵監督官長ヲ置キタル場合ニ於テハ前三項ノ職員ハ造船造兵監督官長ノ命ヲ承ケ服務ス

監督官助手及監督官書記ハ上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第五條　第一條ニ定ムル職員ハ海軍艦政本部ノ職員トス但シ專ラ航空兵器ニ關スル事務ニ從事スル職員及造兵監督官會計官ハ海軍航空本部ノ職員トス

海軍造兵廠令、海軍廠型試驗所條例及海軍航空廠試驗所令ハ之ヲ廢止ス

●大正九年勅令第五百五十六號（造船造機造兵又ハ土木建築ノ事務ニ從事セシムル爲海軍艦政本部等ニ臨時職員設置ノ件）

勅令第五百五十六號　大正九年十二月六日

改正　大正一〇年勅令四〇九、一二年勅令三〇、一三年勅令三四八、一五年勅令二三、昭和二年勅令六八、三年勅令一九四、七年勅令三〇、八年勅令四四、一〇年勅令一二、一一年勅令一一二、一四年勅令一四八、一五年勅令一〇六、一六年勅令七二、一七年勅令一一二、一八年勅令一四三、一九年勅令一五七、二〇年勅令一〇二、一一年勅令一一三、一二年勅令一一四、一三年勅令一一五、一四年勅令一一六、一五年勅令一一七、一六年勅令一一八、一七年勅令一一九、一八年勅令一二〇、一九年勅令一二一、二〇年勅令一二二、二一年勅令一二三、二二年勅令一二四、二三年勅令一二五、二四年勅令一二六、二五年勅令一二七、二六年勅令一二八、二七年勅令一二九、二八年勅令一三〇、二九年勅令一三一、三〇年勅令一三二、三一年勅令一三三、三二年勅令一三四、三三年勅令一三五、三四年勅令一三六、三五年勅令一三七、三六年勅令一三八、三七年勅令一三九、三八年勅令一四〇、三九年勅令一四一、四〇年勅令一四二、四一年勅令一四三、四二年勅令一四四、四三年勅令一四五、四四年勅令一四六、四五年勅令一四七、四六年勅令一四八、四七年勅令一四九、四八年勅令一五〇、四九年勅令一五一、五〇年勅令一五二、五一年勅令一五三、五二年勅令一五四、五三年勅令一五五、五四年勅令一五六、五五年勅令一五七、五六年勅令一五八、五七年勅令一五九、五八年勅令一六〇、五九年勅令一六一、六〇年勅令一六二、六一年勅令一六三、六二年勅令一六四、六三年勅令一六五、六四年勅令一六六、六五年勅令一六七、六六年勅令一六八、六七年勅令一六九、六八年勅令一七〇、六九年勅令一七一、七〇年勅令一七二、七一年勅令一七三、七二年勅令一七四、七三年勅令一七五、七四年勅令一七六、七五年勅令一七七、七六年勅令一七八、七七年勅令一七九、七八年勅令一八〇、七九年勅令一八一、八〇年勅令一八二、八一年勅令一八三、八二年勅令一八四、八三年勅令一八五、八四年勅令一八六、八五年勅令一八七、八六年勅令一八八、八七年勅令一八九、八八年勅令一九〇、八九年勅令一九一、九〇年勅令一九二、九一年勅令一九三、九二年勅令一九四、九三年勅令一九五、九四年勅令一九六、九五年勅令一九七、九六年勅令一九八、九七年勅令一九九、九八年勅令二〇〇、九九年勅令二〇一、一〇〇年勅令二〇二、一〇一年勅令二〇三、一〇二年勅令二〇四、一〇三年勅令二〇五、一〇四年勅令二〇六、一〇五年勅令二〇七、一〇六年勅令二〇八、一〇七年勅令二〇九、一〇八年勅令二一〇、一〇九年勅令二一一、一一〇年勅令二一二、一一一年勅令二一三、一一二年勅令二一四、一一三年勅令二一五、一一四年勅令二一六、一一五年勅令二一七、一一六年勅令二一八、一一七年勅令二一九、一一八年勅令二二〇、一一九年勅令二二一、一二〇年勅令二二二、一二一年勅令二二三、一二二年勅令二二四、一二三年勅令二二五、一二四年勅令二二六、一二五年勅令二二七、一二六年勅令二二八、一二七年勅令二二九、一二八年勅令二三〇、一二九年勅令二三一、一三〇年勅令二三二、一三一年勅令二三三、一三二年勅令二三四、一三三年勅令二三五、一三四年勅令二三六、一三五年勅令二三七、一三六年勅令二三八、一三七年勅令二三九、一三八年勅令二四〇、一三九年勅令二四一、一四〇年勅令二四二、一四一年勅令二四三、一四二年勅令二四四、一四三年勅令二四五、一四四年勅令二四六、一四五年勅令二四七、一四六年勅令二四八、一四七年勅令二四九、一四八年勅令二五〇、一四九年勅令二五一、一五〇年勅令二五二、一五一年勅令二五三、一五二年勅令二五四、一五三年勅令二五五、一五四年勅令二五六、一五五年勅令二五七、一五六年勅令二五八、一五七年勅令二五九、一五八年勅令二六〇、一五九年勅令二六一、一六〇年勅令二六二、一六一年勅令二六三、一六二年勅令二六四、一六三年勅令二六五、一六四年勅令二六六、一六五年勅令二六七、一六六年勅令二六八、一六七年勅令二六九、一六八年勅令二七〇、一六九年勅令二七一、一七〇年勅令二七二、一七一年勅令二七三、一七二年勅令二七四、一七三年勅令二七五、一七四年勅令二七六、一七五年勅令二七七、一七六年勅令二七八、一七七年勅令二七九、一七八年勅令二八〇、一七九年勅令二八一、一八〇年勅令二八二、一八一年勅令二八三、一八二年勅令二八四、一八三年勅令二八五、一八四年勅令二八六、一八五年勅令二八七、一八六年勅令二八八、一八七年勅令二八九、一八八年勅令二九〇、一八九年勅令二九一、一九〇年勅令二九二、一九一年勅令二九三、一九二年勅令二九四、一九三年勅令二九五、一九四年勅令二九六、一九五年勅令二九七、一九六年勅令二九八、一九七年勅令二九九、一九八年勅令三〇〇、一九九年勅令三〇一、二〇〇年勅令三〇二、二〇一年勅令三〇三、二〇二年勅令三〇四、二〇三年勅令三〇五、二〇四年勅令三〇六、二〇五年勅令三〇七、二〇六年勅令三〇八、二〇七年勅令三〇九、二〇八年勅令三一〇、二〇九年勅令三一一、二一〇年勅令三一二、二一一年勅令三一三、二一二年勅令三一四、二一三年勅令三一五、二一四年勅令三一六、二一五年勅令三一七、二一六年勅令三一八、二一七年勅令三一九、二一八年勅令三二〇、二一九年勅令三二一、二二〇年勅令三二二、二二一年勅令三二三、二二二年勅令三二四、二二三年勅令三二五、二二四年勅令三二六、二二五年勅令三二七、二二六年勅令三二八、二二七年勅令三二九、二二八年勅令三三〇、二二九年勅令三三一、二三〇年勅令三三二、二三一年勅令三三三、二三二年勅令三三四、二三三年勅令三三五、二三四年勅令三三六、二三五年勅令三三七、二三六年勅令三三八、二三七年勅令三三九、二三八年勅令三四〇、二三九年勅令三四一、二四〇年勅令三四二、二四一年勅令三四三、二四二年勅令三四四、二四三年勅令三四五、二四四年勅令三四六、二四五年勅令三四七、二四六年勅令三四八、二四七年勅令三四九、二四八年勅令三五〇、二四九年勅令三五一、二五〇年勅令三五二、二五一年勅令三五三、二五二年勅令三五四、二五三年勅令三五五、二五四年勅令三五六、二五五年勅令三五七、二五六年勅令三五八、二五七年勅令三五九、二五八年勅令三六〇、二五九年勅令三六一、二六〇年勅令三六二、二六一年勅令三六三、二六二年勅令三六四、二六三年勅令三六五、二六四年勅令三六六、二六五年勅令三六七、二六六年勅令三六八、二六七年勅令三六九、二六八年勅令三七〇、二六九年勅令三七一、二七〇年勅令三七二、二七一年勅令三七三、二七二年勅令三七四、二七三年勅令三七五、二七四年勅令三七六、二七五年勅令三七七、二七六年勅令三七八、二七七年勅令三七九、二七八年勅令三八〇、二七九年勅令三八一、二八〇年勅令三八二、二八一年勅令三八三、二八二年勅令三八四、二八三年勅令三八五、二八四年勅令三八六、二八五年勅令三八七、二八六年勅令三八八、二八七年勅令三八九、二八八年勅令三九〇、二八九年勅令三九一、二九〇年勅令三九二、二九一年勅令三九三、二九二年勅令三九四、二九三年勅令三九五、二九四年勅令三九六、二九五年勅令三九七、二九六年勅令三九八、二九七年勅令三九九、二九八年勅令四〇〇、二九九年勅令四〇一、三〇〇年勅令四〇二、三〇一年勅令四〇三、三〇二年勅令四〇四、三〇三年勅令四〇五、三〇四年勅令四〇六、三〇五年勅令四〇七、三〇六年勅令四〇八、三〇七年勅令四〇九、三〇八年勅令四一〇、三〇九年勅令四一一、三一〇年勅令四一二、三一一年勅令四一三、三一二年勅令四一四、三一三年勅令四一五、三一四年勅令四一六、三一五年勅令四一七、三一六年勅令四一八、三一七年勅令四一九、三一八年勅令四二〇、三一九年勅令四二一、三二〇年勅令四二二、三二一年勅令四二三、三二二年勅令四二四、三二三年勅令四二五、三二四年勅令四二六、三二五年勅令四二七、三二六年勅令四二八、三二七年勅令四二九、三二八年勅令四三〇、三二九年勅令四三一、三三〇年勅令四三二、三三一年勅令四三三、三三二年勅令四三四、三三三年勅令四三五、三三四年勅令四三六、三三五年勅令四三七、三三六年勅令四三八、三三七年勅令四三九、三三八年勅令四四〇、三三九年勅令四四一、三四〇年勅令四四二、三四一年勅令四四三、三四二年勅令四四四、三四三年勅令四四五、三四四年勅令四四六、三四五年勅令四四七、三四六年勅令四四八、三四七年勅令四四九、三四八年勅令四五〇、三四九年勅令四五一、三五〇年勅令四五二、三五一年勅令四五三、三五二年勅令四五四、三五三年勅令四五五、三五四年勅令四五六、三五五年勅令四五七、三五六年勅令四五八、三五七年勅令四五九、三五八年勅令四六〇、三五九年勅令四六一、三六〇年勅令四六二、三六一年勅令四六三、三六二年勅令四六四、三六三年勅令四六五、三六四年勅令四六六、三六五年勅令四六七、三六六年勅令四六八、三六七年勅令四六九、三六八年勅令四七〇、三六九年勅令四七一、三七〇年勅令四七二、三七一年勅令四七三、三七二年勅令四七四、三七三年勅令四七五、三七四年勅令四七六、三七五年勅令四七七、三七六年勅令四七八、三七七年勅令四七九、三七八年勅令四八〇、三七九年勅令四八一、三八〇年勅令四八二、三八一年勅令四八三、三八二年勅令四八四、三八三年勅令四八五、三八四年勅令四八六、三八五年勅令四八七、三八六年勅令四八八、三八七年勅令四八九、三八八年勅令四九〇、三八九年勅令四九一、三九〇年勅令四九二、三九一年勅令四九三、三九二年勅令四九四、三九三年勅令四九五、三九四年勅令四九六、三九五年勅令四九七、三九六年勅令四九八、三九七年勅令四九九、三九八年勅令五〇〇、三九九年勅令五〇一、四〇〇年勅令五〇二、四〇一年勅令五〇三、四〇二年勅令五〇四、四〇三年勅令五〇五、四〇四年勅令五〇六、四〇五年勅令五〇七、四〇六年勅令五〇八、四〇七年勅令五〇九、四〇八年勅令五一〇、四〇九年勅令五一一、四一〇年勅令五一二、四一一年勅令五一三、四一二年勅令五一四、四一三年勅令五一五、四一四年勅令五一六、四一五年勅令五一七、四一六年勅令五一八、四一七年勅令五一九、四一八年勅令五二〇、四一九年勅令五二一、四二〇年勅令五二二、四二一年勅令五二三、四二二年勅令五二四、四二三年勅令五二五、四二四年勅令五二六、四二五年勅令五二七、四二六年勅令五二八、四二七年勅令五二九、四二八年勅令五三〇、四二九年勅令五三一、四三〇年勅令五三二、四三一年勅令五三三、四三二年勅令五三四、四三三年勅令五三五、四三四年勅令五三六、四三五年勅令五三七、四三六年勅令五三八、四三七年勅令五三九、四三八年勅令五四〇、四三九年勅令五四一、四四〇年勅令五四二、四四一年勅令五四三、四四二年勅令五四四、四四三年勅令五四五、四四四年勅令五四六、四四五年勅令五四七、四四六年勅令五四八、四四七年勅令五四九、四四八年勅令五五〇、四四九年勅令五五一、四五〇年勅令五五二、四五一年勅令五五三、四五二年勅令五五四、四五三年勅令五五五、四五四年勅令五五六、四五五年勅令五五七、四五六年勅令五五八、四五七年勅令五五九、四五八年勅令五六〇、四五九年勅令五六一、四六〇年勅令五六二、四六一年勅令五六三、四六二年勅令五六四、四六三年勅令五六五、四六四年勅令五六六、四六五年勅令五六七、四六六年勅令五六八、四六七年勅令五六九、四六八年勅令五七〇、四六九年勅令五七一、四七〇年勅令五七二、四七一年勅令五七三、四七二年勅令五七四、四七三年勅令五七五、四七四年勅令五七六、四七五年勅令五七七、四七六年勅令五七八、四七七年勅令五七九、四七八年勅令五八〇、四七九年勅令五八一、四八〇年勅令五八二、四八一年勅令五八三、四八二年勅令五八四、四八三年勅令五八五、四八四年勅令五八六、四八五年勅令五八七、四八六年勅令五八八、四八七年勅令五八九、四八八年勅令五九〇、四八九年勅令五九一、四九〇年勅令五九二、四九一年勅令五九三、四九二年勅令五九四、四九三年勅令五九五、四九四年勅令五九六、四九五年勅令五九七、四九六年勅令五九八、四九七年勅令五九九、四九八年勅令六〇〇、四九九年勅令六〇一、五〇〇年勅令六〇二、五〇一年勅令六〇三、五〇二年勅令六〇四、五〇三年勅令六〇五、五〇四年勅令六〇六、五〇五年勅令六〇七、五〇六年勅令六〇八、五〇七年勅令六〇九、五〇八年勅令六一〇、五〇九年勅令六一一、五一〇年勅令六一二、五一一年勅令六一三、五一二年勅令六一四、五一三年勅令六一五、五一四年勅令六一六、五一五年勅令六一七、五一六年勅令六一八、五一七年勅令六一九、五一八年勅令六二〇、五一九年勅令六二一、五二〇年勅令六二二、五二一年勅令六二三、五二二年勅令六二四、五二三年勅令六二五、五二四年勅令六二六、五二五年勅令六二七、五二六年勅令六二八、五二七年勅令六二九、五二八年勅令六三〇、五二九年勅令六三一、五三〇年勅令六三二、五三一年勅令六三三、五三二年勅令六三四、五三三年勅令六三五、五三四年勅令六三六、五三五年勅令六三七、五三六年勅令六三八、五三七年勅令六三九、五三八年勅令六四〇、五三九年勅令六四一、五四〇年勅令六四二、五四一年勅令六四三、五四二年勅令六四四、五四三年勅令六四五、五四四年勅令六四六、五四五年勅令六四七、五四六年勅令六四八、五四七年勅令六四九、五四八年勅令六五〇、五四九年勅令六五一、五五〇年勅令六五二、五五一年勅令六五三、五五二年勅令六五四、五五三年勅令六五五、五五四年勅令六五六、五五五年勅令六五七、五五六年勅令六五八、五五七年勅令六五九、五五八年勅令六六〇、五五九年勅令六六一、五六〇年勅令六六二、五六一年勅令六六三、五六二年勅令六六四、五六三年勅令六六五、五六四年勅令六六六、五六五年勅令六六七、五六六年勅令六六八、五六七年勅令六六九、五六八年勅令六七〇、五六九年勅令六七一、五七〇年勅令六七二、五七一年勅令六七三、五七二年勅令六七四、五七三年勅令六七五、五七四年勅令六七六、五七五年勅令六七七、五七六年勅令六七八、五七七年勅令六七九、五七八年勅令六八〇、五七九年勅令六八一、五八〇年勅令六八二、五八一年勅令六八三、五八二年勅令六八四、五八三年勅令六八五、五八四年勅令六八六、五八五年勅令六八七、五八六年勅令六八八、五八七年勅令六八九、五八八年勅令六九〇、五八九年勅令六九一、五九〇年勅令六九二、五九一年勅令六九三、五九二年勅令六九四、五九三年勅令六九五、五九四年勅令六九六、五九五年勅令六九七、五九六年勅令六九八、五九七年勅令六九九、五九八年勅令七〇〇、五九九年勅令七〇一、六〇〇年勅令七〇二、六〇一年勅令七〇三、六〇二年勅令七〇四、六〇三年勅令七〇五、六〇四年勅令七〇六、六〇五年勅令七〇七、六〇六年勅令七〇八、六〇七年勅令七〇九、六〇八年勅令七一〇、六〇九年勅令七一一、六一〇年勅令七一二、六一一年勅令七一三、六一二年勅令七一四、六一三年勅令七一五、六一四年勅令七一六、六一五年勅令七一七、六一六年勅令七一八、六一七年勅令七一九、六一八年勅令七二〇、六一九年勅令七二一、六二〇年勅令七二二、六二一年勅令七二三、六二二年勅令七二四、六二三年勅令七二五、六二四年勅令七二六、六二五年勅令七二七、六二六年勅令七二八、六二七年勅令七二九、六二八年勅令七三〇、六二九年勅令七三一、六三〇年勅令七三二、六三一年勅令七三三、六三二年勅令七三四、六三三年勅令七三五、六三四年勅令七三六、六三五年勅令七三七、六三六年勅令七三八、六三七年勅令七三九、六三八年勅令七四〇、六三九年勅令七四一、六四〇年勅令七四二、六四一年勅令七四三、六四二年勅令七四四、六四三年勅令七四五、六四四年勅令七四六、六四五年勅令七四七、六四六年勅令七四八、六四七年勅令七四九、六四八年勅令七五〇、六四九年勅令七五一、六五〇年勅令七五二、六五一年勅令七五三、六五二年勅令七五四、六五三年勅令七五五、六五四年勅令七五六、六五五年勅令七五七、六五六年勅令七五八、六五七年勅令七五九、六五八年勅令七六〇、六五九年勅令七六一、六六〇年勅令七六二、六六一年勅令七六三、六六二年勅令七六四、六六三年勅令七六五、六六四年勅令七六六、六六五年勅令七六七、六六六年勅令七六八、六六七年勅令七六九、六六八年勅令七七〇、六六九年勅令七七一、六七〇年勅令七七二、六七一年勅令七七三、六七二年勅令七七四、六七三年勅令七七五、六七四年勅令七七六、六七五年勅令七七七、六七六年勅令七七八、六七七年勅令七七九、六七八年勅令七八〇、六七九年勅令七八一、六八〇年勅令七八二、六八一年勅令七八三、六八二年勅令七八四、六八三年勅令七八五、六八四年勅令七八六、六八五年勅令七八七、六八六年勅令七八八、六八七年勅令七八九、六八八年勅令七九〇、六八九年勅令七九一、六九〇年勅令七九二、六九一年勅令七九三、六九二年勅令七九四、六九三年勅令七九五、六九四年勅令七九六、六九五年勅令七九七、六九六年勅令七九八、六九七年勅令七九九、六九八年勅令八〇〇、六九九年勅令八〇一、七〇〇年勅令八〇二、七〇一年勅令八〇三、七〇二年勅令八〇四、七〇三年勅令八〇五、七〇四年勅令八〇六、七〇五年勅令八〇七、七〇六年勅令八〇八、七〇七年勅令八〇九、七〇八年勅令八一〇、七〇九年勅令八一一、七一〇年勅令八一二、七一一年勅令八一三、七一二年勅令八一四、七一三年勅令八一五、七一四年勅令八一六、七一五年勅令八一七、七一六年勅令八一八、七一七年勅令八一九、七一八年勅令八二〇、七一九年勅令八二一、七二〇年勅令八二二、七二一年勅令八二三、七二二年勅令八二四、七二三年勅令八二五、七二四年勅令八二六、七二五年勅令八二七、七二六年勅令八二八、七二七年勅令八二九、七二八年勅令八三〇、七二九年勅令八三一、七三〇年勅令八三二、七三一年勅令八三三、七三二年勅令八三四、七三三年勅令八三五、七三四年勅令八三六、七三五年勅令八三七、七三六年勅令八三八、七三七年勅令八三九、七三八年勅令八四〇、七三九年勅令八四一、七四〇年勅令八四二、七四一年勅令八四三、七四二年勅令八四四、七四三年勅令八四五、七四四年勅令八四六、七四五年勅令八四七、七四六年勅令八四八、七四七年勅令八四九、七四八年勅令八五〇、七四九年勅令八五一、七五〇年勅令八五二、七五一年勅令八五三、七五二年勅令八五四、七五三年勅令八五五、七五四年勅令八五六、七五五年勅令八五七、七五六年勅令八五八、七五七年勅令八五九、七五八年勅令八六〇、七五九年勅令八六一、七六〇年勅令八六二、七六一年勅令八六三、七六二年勅令八六四、七六三年勅令八六五、七六四年勅令八六六、七六五年勅令八六七、七六六年勅令八六八、七六七年勅令八六九、七六八年勅令八七〇、七六九年勅令八七一、七七〇年勅令八七二、七七一年勅令八七三、七七二年勅令八七四、七七三年勅令八七五、七七四年勅令八七六、七七五年勅令八七七、七七六年勅令八七八、七七七年勅令八七九、七七八年勅令八八〇、七七九年勅令八八一、七八〇年勅令八八二、七八一年勅令八八三、七八二年勅令八八四、七八三年勅令八八五、七八四年勅令八八六、七八五年勅令八八七、七八六年勅令八八八、七八七年勅令八八九、七八八年勅令八九〇、七八九年勅令八九一、七九〇年勅令八九二、七九一年勅令八九三、七九二年勅令八九四、七九三年勅令八九五、七九四年勅令八九六、七九五年勅令八九七、七九六年勅令八九八、七九七年勅令八九九、七九八年勅令九〇〇、七九九年勅令九〇一、八〇〇年勅令九〇二、八〇一年勅令九〇三、八〇二年勅令九〇四、八〇三年勅令九〇五、八〇四年勅令九〇六、八〇五年勅令九〇七、八〇六年勅令九〇八、八〇七年勅令九〇九、八〇八年勅令九一〇、八〇九年勅令九一一、八一〇年勅令九一二、八一一年勅令九一三、八一二年勅令九一四、八一三年勅令九一五、八一四年勅令九一六、八一五年勅令九一七、八一六年勅令九一八、八一七年勅令九一九、八一八年勅令九二〇、八一九年勅令九二一、八二〇年勅令九二二、八二一年勅令九二三、八二二年勅令九二四、八二三年勅令九二五、八二四年勅令九二六、八二五年勅令九二七、八二六年勅令九二八、八二七年勅令九二九、八二八年勅令九三〇、八二九年勅令九三一、八三〇年勅令九三二、八三一年勅令九三三、八三二年勅令九三四、八三三年勅令九三五、八三四年勅令九三六、八三五年勅令九三七、八三六年勅令九三八、八三七年勅令九三九、八三八年勅令九四〇、八三九年勅令九四一、八四〇年勅令九四二、八四一年勅令九四三、八四二年勅令九四四、八四三年勅令九四五、八四四年勅令九四六、八四五年勅令九四七、八四六年勅令九四八、八四七年勅令九四九、八四八年勅令九五〇、八四九年勅令九五一、八五〇年勅令九五二、八五一年勅令九五三、八五二年勅令九五四、八五三年勅令九五五、八五四年勅令九五六、八五五年勅令九五七、八五六年勅令九五八、八五七年勅令九五九、八五八年勅令九六〇、八五九年勅令九六一、八六〇年勅令九六二、八六一年勅令九六三、八六二年勅令九六四、八六三年勅令九六五、八六四年勅令九六六、八六五年勅令九六七、八六六年勅令九六八、八六七年勅令九六九、八六八年勅令九七〇、八六九年勅令九七一、八七〇年勅令九七二、八七一年勅令九七三、八七二年勅令九七四、八七三年勅令九七五、八七四年勅令九七六、八七五年勅令九七七、八七六年勅令九七八、八七七年勅令九七九、八七八年勅令九八〇、八七九年勅令九八一、八八〇年勅令九八二、八八一年勅令九八三、八八二年勅令九八四、八八三年勅令九八五、八八四年勅令九八六、八八五年勅令九八七、八八六年勅令九八八、八八七年勅令九八九、八八八年勅令九九〇、八八九年勅令九九一、八九〇年勅令九九二、八九一年勅令九九三、八九二年勅令九九四、八九三年勅令九九五、八九四年勅令九九六、八九五年勅令九九七、八九六年勅令九九八、八九七年勅令九九九、八九八年勅令一〇〇〇、八九九年勅令一〇〇一、九〇〇年勅令一〇〇二、九〇一年勅令一〇〇三、九〇二年勅令一〇〇四、九〇三年勅令一〇〇五、九〇四年勅令一〇〇六、九〇五年勅令一〇〇七、九〇六年勅令一〇〇八、九〇七年勅令一〇〇九、九〇八年勅令一〇一〇、九〇九年勅令一〇一一、九一〇年勅令一〇一二、九一一年勅令一〇一三、九一二年勅令一〇一四、九一三年勅令一〇一五、九一四年勅令一〇一六、九一五年勅令一〇一七、九一六年勅令一〇一八、九一七年勅令一〇一九、九一八年勅令一〇二〇、九一九年勅令一〇二一、九二〇年勅令一〇二二、九二一年勅令一〇二三、九二二年勅令一〇二四、九二三年勅令一〇二五、九二四年勅令一〇二六、九二五年勅令一〇二七、九二六年勅令一〇二八、九二七年勅令一〇二九、九二八年勅令一〇三〇、九二九年勅令一〇三一、九三〇年勅令一〇三二、九三一年勅令一〇三三、九三二年勅令一〇三四、九三三年勅令一〇三五、九三四年勅令一〇三六、九三五年勅令一〇三七、九三六年勅令一〇三八、九三七年勅令一〇三九、九三八年勅令一〇四〇、九三九年勅令一〇四一、九四〇年勅令一〇四二、九四一年勅令一〇四三、九四二年勅令一〇四四、九四三年勅令一〇四五、九四四年勅令一〇四六、九四五年勅令一〇四七、九四六年勅令一〇四八、九四七年勅令一〇四九、九四八年勅令一〇五〇、九四九年勅令一〇五一、九五〇年勅令一〇五二、九五一年勅令一〇五三、九五二年勅令一〇五四、九五三年勅令一〇五五、九五四年勅令一〇五六、九五五年勅令一〇五七、九五六年勅令一〇五八、九五七年勅令一〇五九、九五八年勅令一〇六〇、九五九年勅令一〇六一、九六〇年勅令一〇六二、九六一年勅令一〇六三、九六二年勅令一〇六四、九六三年勅令一〇六五、九六四年勅令一〇六六、九六五年勅令一〇六七、九六六年勅令一〇六八、九六七年勅令一〇六九、九六八年勅令一〇七〇、九六九年勅令一〇七一、九七〇年勅令一〇七二、九七一年勅令一〇七三、九七二年勅令一〇七四、九七三年勅令一〇七五、九七四年勅令一〇七六、九七五年勅令一〇七七、九七六年勅令一〇七八、九七七年勅令一〇七九、九七八年勅令一〇八〇、九七九年勅令一〇八一、九八〇年勅令一〇八二、九八一年勅令一〇八三、九八二年勅令一〇八四、九八三年勅令一〇八五、九八四年勅令一〇八六、九八五年勅令一〇八七、九八六年勅令一〇八八、九八七年勅令一〇八九、九八八年勅令一〇九〇、九八九年勅令一〇九一、九九〇年勅令一〇九二、九九一年勅令一〇九三、九九二年勅令一〇九四、九九三年勅令一〇九五、九九四年勅令一〇九六、九九五年勅令一〇九七、九九六年勅令一〇九八、九九七年勅令一〇九九、九九八年勅令一一〇〇、九九九年勅令一一〇一、一〇〇〇年勅令一一〇二、一〇〇一年勅令一一〇三、一〇〇二年勅令一一〇四、一〇〇三年勅令一一〇五、一〇〇四年勅令一一〇六、一〇〇五年勅令一一〇七、一〇〇六年勅令一一〇八、一〇〇七年勅令一一〇九、一〇〇八年勅令一一一〇、一〇〇九年勅令一一一一、一〇一〇年勅令一一一二、一〇一一年勅令一一一三、一〇一二年勅令一一一四、一〇一三年勅令一一一五、一〇一四年勅令一一一六、一〇一五年勅令一一一七、一〇一六年勅令一一一八、一〇一七年勅令一一一九、一〇一八年勅令一一二〇、一〇一九年勅令一一二一、一〇二〇年勅令一一二二、一〇二一年勅令一一二三、一〇二二年勅令一一二四、一〇二三年勅令一一二五、一〇二四年勅令一一二六、一〇二五年勅令一一二七、一〇二六年勅令一一二八、一〇二七年勅令一一二九、一〇二八年勅令一一三〇、一〇二九年勅令一一三一、一〇三〇年勅令一一三二、一〇三一年勅令一一三三、一〇三二年勅令一一三四、一〇三三年勅令一一三五、一〇三四年勅令一一三六、一〇三五年勅令一一三七、一〇三六年勅令一一三八、一〇三七年勅令一一三九、一〇三八年勅令一一四〇、一〇三九年勅令一一四一、一〇四〇年勅令一一四二、一〇四一年勅令一一四三、一〇四二年勅令一一四四、一〇四三年勅令一一四五、一〇四四年勅令一一四六、一〇四五年勅令一一四七、一〇四六年勅令一一四八、一〇四七年勅令一一四九、一〇四八年勅令一一五〇、一〇四九年勅令一一五一、一〇五〇年勅令一一五二、一〇五一年勅令一一五三、一〇五二年勅令一一五四、一〇五三年勅令一一五五、一〇五四年勅令一一五六、一〇五五年勅令一一五七、一〇五六年勅令一一五八、一〇五七年勅令一一五九、一〇五八年勅令一一六〇、一〇五九年勅令一一六一、一〇六〇年勅令一一六二、一〇六一年勅令一一六三、一〇六二年勅令一一六四、一〇六三年勅令一一六五、一〇六四年勅令一一六六、一〇六五年勅令一一六七、一〇六六年勅令一一六八、一〇六七年勅令一一六九、一〇六八年勅令一一七〇、一〇六九年勅令一一七一、一〇七〇年勅令一一七二、一〇七一年勅令一一七三、一〇七二年勅令一一七四、一〇七三年勅令一一七五、一〇七四年勅令一一七六、一〇七五年勅令一一七七、一〇七六年勅令一一七八、一〇七七年勅令一一七九、一〇七八年勅令一一八〇、一〇七九年勅令一一八一、一〇八〇年勅令一一八二、一〇八一年勅令一一八三、一〇八二年勅令一一八四、一〇八三年勅令一一八五、一〇八四年勅令一一八六、一〇八五年勅令一一八七、一〇八六年勅令一一八八、一〇八七年勅令一一八九、一〇八八年勅令一一九〇、一〇八九年勅令一一九一、一〇九〇年勅令一一九二、一〇九一年勅令一一九三、一〇九二年勅令一一九四、一〇九三年勅令一一九五、一〇九四年勅令一一九六、一〇九五年勅令一一九七、一〇九六年勅令一一九八、一〇九七年勅令一一九九、一〇九八年勅令一二〇〇、一〇九九年勅令一二〇一、一一〇〇年勅令一二〇二、一一〇一年勅令一二〇三、一一〇二年勅令一二〇四、一一〇三年勅令一二〇五、一一〇四年勅令一二〇六、一一〇五年勅令一二〇七、一一〇六年勅令一二〇八、一一〇七年勅令一二〇九、一一〇八年勅令一二一〇、一一〇九年勅令一二一一、一一一〇年勅令一二一二、一一一一年勅令一二一三、一一一二年勅令一二一四、一一一三年勅令一二一五、一一一四年勅令一二一六、一一一五年勅令一二一七、一一一六年勅令一二一八、一一一七年勅令一二一九、一一一八年勅令一二二〇、一一一九年勅令一二二一、一一二〇年勅令一二二二、一一二一年勅令一二二三、一一二二年勅令一二二四、一一二三年勅令一二二五、一一二四年勅令一二二六、一一二五年勅令一二二七、一一二六年勅令一二二八、一一二七年勅令一二二九、一一二八年勅令一二三〇、一一二九年勅令一二三一、一一三〇年勅令一二三二、一一三一年勅令一二三三、一一三二年勅令一二三四、一一三三年勅令一二三五、一一三四年勅令一二三六、一一三五年勅令一二三七、一一三六年勅令一二三八、一一三七年勅令一二三九、一一三八年勅令一二四〇、一一三九年勅令一二四一、一一四〇年勅令一二四二、一一四一年勅令一二四三、一一四二年勅令一二四四、一一四三年勅令一二四五、一一四四年勅令一二四六、一一四五年勅令一二四七、一一四六年勅令一二四八、一一四七年勅令一二四九、一一四八年勅令一二五〇、一一四九年勅令一二五一、一一五〇年勅令一二五二、一一五一年勅令一二五三、一一五二年勅令一二五四、一一五三年勅令一二五五、一一五四年勅令一二五六、一一五五年勅令一二五七、一一五六年勅令一二五八、一一五七年勅令一二五九、一一五八年勅令一二六〇、一一五九年勅令一二六一、一一六〇年勅令一二六二、一一六一年勅令一二六三、一一六二年勅令一二六四、一一六三年勅令一二六五、一一六四年勅令一二六六、一一六五年勅令一二六七、一一六六年勅令一二六八、一一六七年勅令一二六九、一一六八年勅令一二七〇、一一六九年勅令一二七一、一一七〇年勅令一二七二、一一七一年勅令一二七三、一一七二年勅令一二七四、一一七三年勅令一二七五、一一七四年勅令一二七六、一一七五年勅令一二七七、一一七六年勅令一二七八、一一七七年勅令一二七九、一一七八年勅令一二八〇、一一七九年勅令一二八一、一一八〇年勅令一二八二、一一八一年勅令一二八三、一一八二年勅令一二八四、一一八三年勅令一二八五、一一八四年勅令一二八六、一一八五年勅令一二八七、一一八六年勅令一二八八、一一八七年勅令一二八九、一一八八年勅令一二九〇、一一八九年勅令一二九一、一一九〇年勅令一二九二、一一九一年勅令一二九三、一一九二年勅令一二九四、一一九三年勅令一二九五、一一九四年勅令一二九六、一一九五年勅令一二九七、一一九六年勅令一二九八、一一九七年勅令一二九九、一一九八年勅令一三〇〇、一一九九年勅令一三〇一、一二〇〇年勅令一三〇二、一二〇一年勅令一三〇三、一二〇二年勅令一三〇四、一二〇三年勅令一三〇五、一二〇四年勅令一三〇六、一二〇五年勅令一三〇七、一二〇六年勅令一三〇八、一二〇七年勅令一三〇九、一二〇八年勅令一三一〇、一二〇九年勅令一三一一、一二一〇年勅令一三一二、一二一一年勅令一三一三、一二一二年勅令一三一四、一二一三年勅令一三一五、一二一四年勅令一三一六、一二一五年勅令一三一七、一二一六年勅令一三一八、一二一七年勅令一三一九、一二一八年勅令一三二〇、一二一九年勅令一三二一、一二二〇年勅令一三二二、一二二一年勅令一三二三、一二二二年勅令一三二四、一二二三年勅令一三二五、一二二四年勅令一三二六、一二二五年勅令一三二七、一二二六年勅令一三二八、一二二七年勅令一三二九、一二二八年勅令一三三〇、一二二九年勅令一三三一、一二三〇年勅令一三三二、一二三一年勅令一三三三、一二三二年勅令一三三四、一二三三年勅令一三三五、一二三四年勅令一三三六、一二三五年勅令一三三七、一二三六年勅令一三三八、一二三七年勅令一三三九、一二三八年勅令一三四〇、一二三九年勅令一三四一、一二四〇年勅令一三四二、一二四一年勅令一三四三、一二四二年勅令一三四四、一二四三年勅令一三四五、一二四四年勅令一三四六、一二四五年勅令一三四七、一二四六年勅令一三四八、一二四七年勅令一三四九、一二四八年勅令一三五〇、一二四九年勅令一三五一、一二五〇年勅令一三五二、一二五一年勅令一三五三、一二五二年勅令一三五四、一二五三年勅令一三五五、一二五四年勅令一三五六、一二五五年勅令一三五七、一二五六年勅令一三五八、一二五七年勅令一三五九、一二五八年勅令一三六〇、一二五九年勅令一三六一、一二六〇年勅令一三六二、一二六一年勅令一三六三、一二六二年勅令一三六四、一二六三年勅令一三六五、一二六四年勅令一三六六、一二六五年勅令一三六七、一二六六年勅令一三六八、一二六七年勅令一三六九、一二六八年勅令一三七〇、一二六九年勅令一三七一、一二七〇年勅令一三七二、一二七一年勅令一三七三、一二七二年勅令一三七四、一二七三年勅令一三七五、一二七四年勅令一三七六、一二七五年勅令一三七七、一二七六年勅令一三七八、一二七七年勅令一三七九、一二七八年勅令一三八〇、一二七九年勅令一三八一、一二八〇年勅令一三八二、一二八一年勅令一三八三、一二八二年勅令一三八四、一二八三年勅令一三八五、一二八四年勅令一三八六、一二八五年勅令一三八七、一二八六年勅令一三八八、一二八七年勅令一三八九、一二八八年勅令一三九〇、一二八九年勅令一三九一、一二九〇年勅令一三九二、一二九一年勅令一三九三、一二九二年勅令一三九四、一二九三年勅令一三九五、一二九四年勅令一三九六、一二九五年勅令一三九七、一二九六年勅令一三九八、一二九七年勅令一三九九、一二九八年勅令一四〇〇、一二九九年勅令一四〇一、一三〇〇年勅令一四〇二、一三〇一年勅令一四〇三、一三〇二年勅令一四〇四、一三〇三年勅令一四〇五、一三〇四年勅令一四〇六、一三〇五年勅令一四〇七、一三〇六年勅令一四〇八、一三〇七年勅令一四〇九、一三〇八年勅令一四一〇、一三〇九年勅令一四一一、一三一〇年勅令一四一二、一三一一年勅令一四一三、一三一二年勅令一

●海軍航空本部令

（昭和二年四月五日 勅令第六十一號）

（改正 昭和八年勅令第三〇號、一一年第二九號、一三年第一七七號、一五年第五八九號）

海軍航空本部令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、海軍大臣副官）

海軍航空本部令

第一條　海軍航空本部ハ左ノ事務ヲ掌ル所トス

一　航空兵器ノ計畫、製造、檢查（實驗及修理ヲ除ク）、試驗及實施ニ關スル事項

二　航空兵器ノ準備、保管及供給ニ關スル事項

三　航空ニ關スル陸上設備及航空兵器ノ實驗設備ノ計畫及實施ニ關スル事項

四　航空術ノ教育ニ關スル事項

五　航空兵器ノ造修ニ要スル軍需品、工場等ノ軍需工業關係職員ニ關スル事項

六　航空兵器ニ關スル技術ニ從事スル造兵科士官以下ノ教育及本務ニ關スル事項

七　前各號ニ揭ゲルモノノ外航空ニ關スル一般事項

八　海軍航空技術廠及海軍航空廠ニ於ケル勞務ニ關スル事項

第二條　海軍航空本部ニ總務部、教育部、技術部及補給部ヲ置キ總務部ニ第一課及第二課ヲ、技術部ニ第一課、第二課及第三課ヲ置ク

第三條　削除

第四條　削除

第五條　前條ノ規定ハ匪賊鎭壓ノ大本營ノ令ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍航空本部令

（勅令第六十一號 昭和二年四月四日）

（改正 昭和八年勅令第三〇號、一一年第二九號、一三年第一七七號、一五年第五八九號）

海軍航空本部令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム（大臣、副官、海軍大臣副官）

海軍航空本部令

第一條　海軍航空本部ハ左ノ事務ヲ掌ル所トス

一　航空兵器ノ計畫、製造、檢查（實驗及修理ヲ除ク）、試驗及實施ニ關スル事項

二　航空兵器ノ準備、保管及供給ニ關スル事項

三　航空ニ關スル陸上設備及航空兵器ノ實驗設備ノ計畫及實施ニ關スル事項

四　航空術ノ教育ニ關スル事項

五　航空兵器ノ造修ニ要スル軍需品、工場等ノ軍需工業關係職員ニ關スル事項

六　航空兵器ニ關スル技術ニ從事スル造兵科士官以下ノ教育及本務ニ關スル事項

七　前各號ニ揭ゲルモノノ外航空ニ關スル一般事項

八　海軍航空技術廠及海軍航空廠ニ於ケル勞務ニ關スル事項

第三條　海軍航空本部ニ總務部、教育部、技術部及補給部ヲ置キ總務部ニ第一課及第二課ヲ、技術部ニ第一課、第二課及第三課ヲ置ク

第四條　總務部ニ部長及副官ヲ置キ教育部、技術部及補給部ニ部長ヲ置ク

第五條　削除

第六條　本令ニ規定スルモノノ外必要ナル細則ハ海軍大臣之ヲ定ム

附　則

本令ハ昭和二年四月五日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍航空技術廠令

（勅令第一七號 昭和七年十二月二十三日）

改正 昭和八年勅令第一〇號、第一四四號、一三年第一四七號、一五年第一四七號、第三三號、一五年第八一號、第三三號、一五年第一四七號、第三三號、一五年第一四七號、第三三號、一五年第一四七

第十七條　海軍大臣ハ必要ニ應ジ海軍航空技術廠ヲ置キ同廠ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍航空廠令

勅令第八百七十九號
昭和十六年十月二十五日

改正　昭和一六勅八三七

海軍航空廠令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副大臣、政務次官、參與官、海軍參謀長、海軍次官、艦政本部長、艦政本部第一部長、艦政本部第二部長、艦政本部第三部長、艦政本部第四部長、艦政本部第五部長、艦政本部第六部長、艦政本部第七部長、艦政本部第八部長、艦政本部第九部長、艦政本部第十部長、艦政本部第十一部長、艦政本部第十二部長、艦政本部第十三部長、艦政本部第十四部長、艦政本部第十五部長、艦政本部第十六部長、艦政本部第十七部長、艦政本部第十八部長、艦政本部第十九部長、艦政本部第二十部長、艦政本部第二十一部長、艦政本部第二十二部長、艦政本部第二十三部長、艦政本部第二十四部長、艦政本部第二十五部長、艦政本部第二十六部長、艦政本部第二十七部長、艦政本部第二十八部長、艦政本部第二十九部長、艦政本部第三十部長、艦政本部第三十一部長、艦政本部第三十二部長、艦政本部第三十三部長、艦政本部第三十四部長、艦政本部第三十五部長、艦政本部第三十六部長、艦政本部第三十七部長、艦政本部第三十八部長、艦政本部第三十九部長、艦政本部第四十部長、艦政本部第四十一部長、艦政本部第四十二部長、艦政本部第四十三部長、艦政本部第四十四部長、艦政本部第四十五部長、艦政本部第四十六部長、艦政本部第四十七部長、艦政本部第四十八部長、艦政本部第四十九部長、艦政本部第五十部長、艦政本部第五十一部長、艦政本部第五十二部長、艦政本部第五十三部長、艦政本部第五十四部長、艦政本部第五十五部長、艦政本部第五十六部長、艦政本部第五十七部長、艦政本部第五十八部長、艦政本部第五十九部長、艦政本部第六十部長、艦政本部第六十一部長、艦政本部第六十二部長、艦政本部第六十三部長、艦政本部第六十四部長、艦政本部第六十五部長、艦政本部第六十六部長、艦政本部第六十七部長、艦政本部第六十八部長、艦政本部第六十九部長、艦政本部第七十部長、艦政本部第七十一部長、艦政本部第七十二部長、艦政本部第七十三部長）ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

（大臣、副大臣、海軍參謀長、海軍次官、艦政本部長、艦政本部第一部長、艦政本部第二部長、艦政本部第三部長、艦政本部第四部長、艦政本部第五部長、艦政本部第六部長、艦政本部第七部長、艦政本部第八部長、艦政本部第九部長、艦政本部第十部長、艦政本部第十一部長、艦政本部第十二部長、艦政本部第十三部長、艦政本部第十四部長、艦政本部第十五部長、艦政本部第十六部長、艦政本部第十七部長、艦政本部第十八部長、艦政本部第十九部長、艦政本部第二十部長、艦政本部第二十一部長、艦政本部第二十二部長、艦政本部第二十三部長、艦政本部第二十四部長、艦政本部第二十五部長、艦政本部第二十六部長、艦政本部第二十七部長、艦政本部第二十八部長、艦政本部第二十九部長、艦政本部第三十部長、艦政本部第三十一部長、艦政本部第三十二部長、艦政本部第三十三部長、艦政本部第三十四部長、艦政本部第三十五部長、艦政本部第三十六部長、艦政本部第三十七部長、艦政本部第三十八部長、艦政本部第三十九部長、艦政本部第四十部長、艦政本部第四十一部長、艦政本部第四十二部長、艦政本部第四十三部長、艦政本部第四十四部長、艦政本部第四十五部長、艦政本部第四十六部長、艦政本部第四十七部長、艦政本部第四十八部長、艦政本部第四十九部長、艦政本部第五十部長、艦政本部第五十一部長、艦政本部第五十二部長、艦政本部第五十三部長、艦政本部第五十四部長、艦政本部第五十五部長、艦政本部第五十六部長、艦政本部第五十七部長、艦政本部第五十八部長、艦政本部第五十九部長、艦政本部第六十部長、艦政本部第六十一部長、艦政本部第六十二部長、艦政本部第六十三部長、艦政本部第六十四部長、艦政本部第六十五部長、艦政本部第六十六部長、艦政本部第六十七部長、艦政本部第六十八部長、艦政本部第六十九部長、艦政本部第七十部長、艦政本部第七十一部長、艦政本部第七十二部長、艦政本部第七十三部長）

第十八條　海軍航空廠ニ左ノ職員ヲ置ク

所長
部長
技術官
事務官
副官
部員又ハ副官
附

海軍航空廠ノ支廠ニ左ノ職員ヲ置ク

支廠長
技術官
事務官
副官
部員
附

前二項ノ職員ノ外必要ニ應ジ出仕ヲ置ク

第十九條　海軍大臣ハ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十條　海軍大臣ハ必要ニ應ジ海軍航空廠又ハ其ノ支廠ノ分工場ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十一條　海軍航空廠ニ於テ教育ヲ行フ場合ニ於テハ教官ヲ置ク

第二十二條　海軍大臣ハ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第三十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第三十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第三十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第三十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第三十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第三十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第三十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第三十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第三十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第三十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第六十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第六十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第六十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第六十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第六十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第六十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第六十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第六十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第六十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第六十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百三十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百三十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百三十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百三十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百三十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百三十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百三十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百三十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百三十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百三十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百四十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百四十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百四十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百四十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百四十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百四十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百四十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百四十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百四十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百四十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百五十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百五十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百五十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百五十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百五十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百五十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百五十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百五十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百五十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百五十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百六十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百六十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百六十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百六十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百六十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百六十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百六十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百六十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百六十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百六十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百七十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百七十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百七十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百七十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百七十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百七十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百七十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百七十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百七十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百七十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百八十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百八十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百八十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百八十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百八十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百八十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百八十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百八十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百八十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百八十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百九十條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百九十一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百九十二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百九十三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百九十四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百九十五條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百九十六條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百九十七條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百九十八條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百九十九條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二百條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二百一條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二百二條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二百三條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ置キ其ノ本務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二百四條　海軍航空廠ニ必要ニ應ジ海軍航空廠ノ支廠ヲ

前項職員ノ外必要ニ應ジ出仕ヲ置ク

第四條　本部長ハ法律又ハ法律ニ基ク命令ノ特別ノ委任アル場合ヲ除ク外其ノ所掌事務ニ關シ直接ニ人民ニ對シ義務ヲ課シ又ハ權利ヲ制限スル事項ヲ定メテ之ヲ公布スルコトヲ得ス

第五條　本部長ハ主任ノ事務ヲ處理スル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ所屬ノ官吏又ハ雇員ニ對シ出張ヲ命ジ又ハ他ノ官廳ノ職員ヲ臨時事務ニ從事セシムルコトヲ得

第六條　本部長ハ其ノ所掌事務ニ關シ所屬官吏又ハ雇員ニ對シ職務上必要ナル命令ヲ發シ又ハ訓令ヲ與フルコトヲ得

第七條　本部長ハ其ノ所掌事務ニ關シ所屬官吏又ハ雇員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得

第八條　本部長ハ其ノ所掌事務ニ關シ所屬官吏又ハ雇員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得

第九條　本部長ハ其ノ所掌事務ニ關シ所屬官吏又ハ雇員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得

第十條　本部長ハ其ノ所掌事務ニ關シ所屬官吏又ハ雇員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得

第十一條　本部長ハ其ノ所掌事務ニ關シ所屬官吏又ハ雇員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得

第十二條　本部長ハ其ノ所掌事務ニ關シ所屬官吏又ハ雇員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得

第十三條　本部長ハ其ノ所掌事務ニ關シ所屬官吏又ハ雇員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●水路部令

勅令第四百十四號　大正九年十月一日

改正　昭和九年第一五九號、一一年第一九二號、一三年第一七九號、一四年第二三七號、一六年第五四四號

陸水路部條例改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副大臣、政務次官）

水路部令

第一條　水路部ハ東京ニ之ヲ置ク

第二條　水路部ハ左ノ事務ヲ掌ル

一　水路ノ測量ニ關スル事項

二　兵要港灣ノ測量ニ關スル事項

三　兵要氣象ノ觀測ニ關スル事項

四　水路圖誌及航空圖誌ノ調製ニ關スル事項

五　水路圖誌及航空圖誌ノ修正、供給及供給ニ關スル事項

六　航法及航空ノ保安ニ關スル事項

七　前各號ニ規定スル事項ノ調査及研究ニ關スル事項

八　第一號乃至第四號及前號ニ規定スル事項ノ技術ニ從事スル者ノ教育ニ關スル事項

第三條　水路部ニ總務部、會計部、第一部、第二部、第三部及參技所ヲ置キ第一部ニ第一課及第二課ヲ、第二部ニ第三課、第四課及第五課ヲ、第三部ニ第六課及第七課ヲ置ク

前項ニ規定スル各部及課並ニ參技所ノ事務ノ分掌ハ海軍大臣之ヲ定ム

第四條　水路部ニ左ノ職員ヲ置ク

水路部長

附則　勅任官

●海軍技術會議令

昭和十年一月三十日
勅令第七號

枢密顧問ノ諮詢ヲ經テ海軍技術會議令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副總理、海軍大臣）

海軍技術會議令

第一條　艦船、兵器等ノ技術ニ關スル事項ヲ調査審議セシムル爲海軍技術會議ヲ置ク

海軍技術會議ハ海軍高等技術會議、海軍艦政本部技術會議及海軍航空本部技術會議トス

海軍技術會議ハ海軍大臣ノ監督ニ屬ス

第二條　海軍高等技術會議ハ海軍大臣ノ諮問ニ應ジ艦船、航空機等ノ計畫ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

第三條　海軍艦政本部技術會議ハ海軍艦政本部長ノ諮問ニ應ジ艦船ノ船體、機關、兵器、電氣、造兵、航海ニ關スル事項ヲ調査審議ス

海軍艦政本部技術會議ハ前項ノ外海軍艦政本部長ノ諮問ニ應ジ艦船ノ船體、機關、兵器、電氣、造兵、航海ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第四條　海軍航空本部技術會議ハ海軍航空本部長ノ諮問ニ應ジ航空機其ノ他海軍航空本部所掌ノ兵器ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第五條　海軍技術會議ニ議員ヲ置ク

海軍高等技術會議、海軍艦政本部技術會議及海軍航空本部技術會議ニ各議長ヲ置ク

第六條　海軍次官、海軍省軍務局長、海軍艦政本部長、海軍航空本部長、海軍艦政本部各部長（會計部長ヲ除ク）、海軍航空本部各部長、軍令部次長、軍令部第一部長及軍令部第二部長ハ之ヲ海軍技術會議議員トス

前項ニ揭ゲル者ヲ除ク外海軍技術會議議員ハ他ニ本職アル者ヲ以テ之ニ充ツ

海軍技術會議議員ノ所屬ハ海軍大臣之ヲ定ム

第七條　海軍高等技術會議ノ議長ハ所屬議員中ヨリ海軍大臣之ヲ命ズ

海軍艦政本部技術會議又ハ海軍航空本部技術會議ノ議長ハ各海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長ヲ以テ之ニ充ツ

第八條　特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ海軍大臣ハ議員以外ノ者ヲシテ議事ニ關與セシムルコトヲ得

第九條　本令ニ定ムルモノヲ除ク外海軍技術會議ニ關シ必要ナル事項ハ海軍大臣之ヲ定ム

附　則

本令ハ昭和十年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從ヒス

第十四條　出仕ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第十五條　海軍大臣ハ必要ニ應ジ水路部ノ驗潮所ヲ置キ其ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍大學校令

大正七年八月十五日
勅令第三百十七號
（大正二年勅令第四四號、二年第二三三號、一五年第四四四號、昭和八年第二六二號、二年第四一九號、一五年第五六三號、一六年第七三號）

海軍大學校條例改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（大臣、副總理、海軍大臣）

海軍大學校令

第一條　海軍大學校ハ海軍士官ニ高等ノ學術ヲ教授シ兼テ其ノ研究ヲ行フ所トス

第二條　海軍大學校ノ教育綱領ハ海軍大臣之ヲ定ム

第三條　海軍大學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
教官
教官兼
主計長

第四條　校長ハ作戰用兵ノ研究ニ關シ軍令部總長ノ指示ヲ承ク

第五條　校長ハ部下ノ職員（教官中又ハ亦故アリテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得）ヲ統理ス

第六條　校長（故アリテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得）ハサルトキハ他ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

書、繪圖及雛形並ニ兵器（海軍航空本部所掌ノモノヲ除ク）ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第四條　海軍航空本部技術會議ハ海軍航空本部長ノ諮問ニ應ジ航空機其ノ他海軍航空本部所掌ノ兵器ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第五條　海軍技術會議ニ議員ヲ置ク

海軍高等技術會議、海軍艦政本部技術會議及海軍航空本部技術會議ニ各議長ヲ置ク

第六條　海軍次官、海軍省軍務局長、海軍艦政本部長、海軍航空本部長、軍令部次長、軍令部第一部長及軍令部第二部長ハ海軍技術會議議員トス

前項ニ揭ゲル者ヲ除ク外海軍技術會議議員ハ他ニ本職アル者ヲ以テ之ニ充ツ

海軍技術會議議員ノ所屬ハ海軍大臣之ヲ定ム

第七條　海軍高等技術會議ノ議長ハ所屬議員中ヨリ海軍大臣之ヲ命ズ

海軍艦政本部技術會議又ハ海軍航空本部技術會議ノ議長ハ各海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長ヲ以テ之ニ充ツ

第八條　特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ海軍大臣ハ議員以外ノ者ヲシテ議事ニ關與セシムルコトヲ得

第九條　本令ニ定ムルモノヲ除ク外海軍技術會議ニ關シ必要ナル事項ハ海軍大臣之ヲ定ム

附　則

本令ハ昭和十年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八條　教頭ハ校長ヲ佐ケ教務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス
第九條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教授及研究ヲ掌ル
第十條　主計長ハ校長ノ命ヲ承ケ會計及給與ニ關スルコトヲ掌ル
第十一條　海軍大學校ニ附ニ充ツル爲判任文官ヲ置ク
第十一條ノ二　附ハ海軍士官、特務士官、准士官及判任文官ヲ以テ之ニ充ツル爲海軍士官ハ校長ノ命ヲ承ケ服務ヲ掌ル
又判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス
特務士官、准士官ハ校長ノ命ヲ承ケ服務ヲ掌ル
第十二條　海軍大學校ニ於テ修習スル海軍士官ハ海軍大學校學生トス
第十三條　海軍大學校學生ハ之ヲ左ノ四種ニ區別ス
一　甲種學生
二　特修學生
三　選修學生
四　研究學生
第十四條　甲種學生ハ海軍少佐又ハ大尉ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノニ就キ選定ス
一　身體頑健實務ノ成績優等ニシテ高等ノ兵學ヲ修習セシムルニ適當ナルヲ有スト認ムル者
二　入學試驗ニ合格シタル者
第十五條　特修學生ハ前條ノ規定ニ依ル大佐又ハ中佐ニシテ身體頑健實務ノ成績優等ニシテ高等ノ兵學ヲ修習セシムルニ適當ナルヲ有スト認ムル者ニ就キ選定ス
第十六條　選修學生ハ海軍大臣之ヲ定ム
第十七條　海軍兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク
校長
副官
教頭
教官
監事長
監事
主計長
軍醫長
第十八條　入學試驗ノ規程ハ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム
第十九條　海軍大學校學生ノ修業期間ハ海軍大臣之ヲ定ム
第二十條　削除
第二十一條　削除
第二十二條　校長ハ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ實地研究ノ爲學生ヲ艦船部隊其ノ他海軍各部ニ派遣セラレンヲ修習セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ派遣セラレタル學生ハ其ノ研究ニ關シ當該艦長ノ指揮ヲ受ク
第二十三條　校長ハ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ研究學生ヲ海軍部外ノ學校ニ委託シ修業セシムルコトヲ得
第二十四條　校長ハ學生中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ海軍大臣ニ具申シ海軍大臣ハ其ノ學生ヲ免スルコトヲ得
第二十五條　海軍大臣ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要ト認ムルトキハ學生ヲ現役ニ編入スルコトヲ得
第二十六條　海軍大學校ニ臨時講習科ヲ設ケ海軍將校ヲシテ必要ナル學術ノ講習ヲ受ケシムルコトヲ得

●海軍兵學校令

大正七年八月十五日
勅令第三百八號

改正　大正六年第二〇一號、第五二四號、一一年第四四五號、一二年第二四號、一三年第二三四號、一四年第二三〇號、昭和二年第一二三號、四年第三三〇號、五年第七六號、九年第一九九號、一二年第一五號

第一條　海軍兵學校ハ海軍將校ト爲スベキ生徒ヲ教育シ海軍兵官ニ進ムニ必要ナル素養ヲ與フルヲ以テ教育ノ目的トス
第二條　海軍兵學校ノ教育ヲ分チテ訓育及學術教育トシ其ノ教育綱領ハ海軍大臣之ヲ定ム
第三條　海軍兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク
校長
副官
教頭
教官
監事長
監事
主計長
軍醫長
第四條　校長ハ海軍大臣ニ隷シ部下ノ職員ヲ統督シ其ノ職務ヲ執ルコトヲ得
第五條　校長ハ他ノ職員中又ハ部下ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得
第六條　校長缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ代理スル者ナキトキハ部下ノ兵科將校ヲシテ之ヲ代理セシムルコトヲ得
但シ海軍大臣ニ於テ特ニ代理者ヲ置キタルトキハ此ノ限ニ在ラス
第七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス
第八條　教頭ハ校長ヲ佐ケ教務ヲ監理シ教官ノ統一ヲ圖リ學術教育ヲ整理ス
第九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス
第十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ學生ノ訓育ヲ監理シ紀律ヲ維持ス
第十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ學生ノ訓育ヲ擔任シ校長ヲ中心トシ其ノ他ノ職員ト協力シ學生ノ訓育ニ當ル
第十二條　軍醫長ハ校長ノ命ヲ承ケ醫務及衛生ニ關スルコトヲ掌ル
第十三條　主計長ハ校長ノ命ヲ承ケ會計及給與ニ關スルコトヲ掌ル
第十四條　海軍兵學校ニ附ニ充ツル爲判任文官ヲ置キ校長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事セシム
第十五條　附ハ書記、看護長、看護手、技手、運轉手、給仕、小使、門衛、喇叭手、看守、工手、職工、雜役ノ職務ヲ掌ル

第二十六條　海軍大臣ハ海軍大學校ニ臨時講習科ヲ設ケ海軍將校ヲシテ必要ナル學術ノ講習ヲ受ケシムルコトヲ得

勅令

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ海軍大學校ニ在學スル航海術等修學生ハ之ヲ航海學生、機關術等修學生ハ之ヲ機關學生ト看做ス
當分ノ內機關學生ハ之ヲ選科學生ト看做ス
本令施行ノ際現ニ海軍大學校ニ在學スル少佐ニシテ同條各號ニ該當スルモノニ就キ之ヲ命ズルコトヲ得

●海軍機關學校令

勅令第三百二十三號
昭和三年六月二十五日

改正　昭和四年勅令第三二一號、九年第二〇〇號、一二年第三七號、一四年大機密第三號（海軍省）

改正海軍機關學校令（昭和三年勅令第三二一號）

第一條　海軍機關學校ハ海軍機關科將校ト爲スベキ生徒ヲ教育シ海軍機關ノ科及工作科ノ准士官及一等下士官ニ對シ將來尚官ニ準ズル勤務ニ服スベキ生徒ヲ教育シ又ハ海軍機關ニ關スル學術ヲ教育スル所トス

第二條　海軍機關學校ノ教育ヲ分チテ訓育及學術教育トシ共ノ教育綱領ハ海軍大臣之ヲ定ム

第三條　海軍機關學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
教頭
教官
監事長
監事

校長ハ監事ノ中一人ヲシテ監事長ノ命ヲ承ケ訓育ヲ擔任ス

監事長ハ監事ノ命ヲ承ケ訓育ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第四條　海軍機關學校ニ附ヲ置キ海軍機關學生ヲ以テ之ニ充ツ

附ハ海軍士官、特務士官、准士官、下士官兵及判任文官ヲ以テ之ニ充ツ各上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第五條　附ハ海軍機關學校生徒ノ修業期間ニ於テ修習スル海軍機關術及海軍一等兵曹ヲ海軍兵曹校ノ課業生ト爲ス

第六條　生徒ハ海軍兵曹及ハ海軍一等兵曹ニ任ゼラレ且海軍兵曹ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限リ海軍機關學校ノ教官ニ採用ス

一　有爵ノ者
二　陸軍ノ將校ニ準ズル官ニ在ル者
三　現役ニ在ル海軍下士官兵ニシテ海軍兵學校生徒ノ修業期間ハ從前ノ規定ニ依ル
四　品行不正其ノ他ノ事情ニ依リ將來海軍兵科將校タルニ適セザル者

前項ノ規定ニ依リ派遣シ修業セシムル生徒又ハ海軍機關學生ハ其ノ修業ニ關シ當該官衙ノ命ヲ受ケ海軍機關學校ノ教官ニ準ジ所要ノ人員ヲ採用ス

第七條　生徒ハ海軍兵曹及又ハ海軍一等兵曹ニ任ゼラレ且海軍兵曹ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限リ海軍機關學校ノ教官ニ採用セラルルモノニ就キ將來前官ニ準ジ所要ノ人員ヲ採用ス

一　海軍兵曹ニシテ卒業ノ成績不良ニ非ザル者
二　品行不正又ハ怠情ニシテ罰減ヲ加フルモ改悛セザル者
三　學業ノ成績不良ニ非ザルモ目途ナキ者
四　傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ前途役務ニ堪ヘザルト認ムル者

第八條　生徒ハ海軍兵曹校ニ於テ修習スル海軍兵曹及海軍一等兵曹ノ海軍兵科將校ニ準ズル教育ヲ受ケシムル爲海軍兵曹及ハ海軍一等兵曹ニ任ゼラレタル後一年以上海軍ニ於テ實役ニ服スルニ非ザレバ海軍機關學校ノ教官ニ採用セズ

第九條　生徒ハ海軍兵曹及又ハ海軍一等兵曹ニ任ゼラレタル後海軍ニ於テ實役ニ服スル期間ハ三年六月トス但シ戰時又ハ事變ニ際シテハ之ヲ短縮スルコトヲ得

第十條　生徒ノ修業期間ハ三年六月トス但シ戰時又ハ事變ニ際シテハ之ヲ短縮スルコトヲ得

第十一條　生徒ハ修業期間ヲ以テ退校スルコトヲ得ス

第十二條　生徒ハ情狀ニ依リ海軍大臣之ヲ退校セシム

一　海軍兵曹ニシテ前條ノ規定ニ該當スルトキハ之ニ準ジ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ必要ニ應ジ四月以內之ヲ延長スルコトヲ得

二　品行不正又ハ怠情ニシテ罰減ヲ加フルモ改悛セザル者
三　學業ノ成績不良ニ非ザルモ目途ナキ者
四　傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ前途役務ニ堪ヘザルト認ムル者

第十三條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　海軍兵曹ニシテ卒業ノ成績不良ニ非ザル者
二　品行不正又ハ怠情ニシテ罰減ヲ加フルモ改悛セザル者
三　學業ノ成績不良ニ非ザルモ目途ナキ者
四　傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ前途役務ニ堪ヘザルト認ムル者

第十四條　海軍兵學校ニ於テ修習スル海軍兵曹及海軍一等兵曹ノ海軍兵曹ニ任ゼラレタル後海軍ニ於テ實役ニ服スル期間ハ三年トス但シ戰時又ハ事變ニ際シテハ之ヲ短縮スルコトヲ得

第十五條　生徒ハ海軍兵曹及又ハ海軍一等兵曹ニ任ゼラレタル後海軍ニ於テ實役ニ服スルニ必要ナル實役年ヲ有スル者ニ就キ將來前官ニ準ジ所要ノ人員ヲ採用ス

第十六條　海軍兵學校生徒ハ年齡十六年以上十九年以下ニシテ海軍機關學校ノ教官ニ採用セラルルモノニ就キ將來前官ニ準ジ所要ノ人員ヲ採用ス

第十七條　該當スル者ハ生徒ニ之ヲ採用セズ

一　有爵ノ者
二　陸軍ノ將校ニ準ズル官ニ在ル者
三　現役ニ在ル海軍下士官兵ニシテ海軍兵學校生徒ノ修業期間ハ從前ノ規定ニ依ル
四　品行不正其ノ他ノ事情ニ依リ將來海軍兵科將校タルニ適セザル者又ハ疾病ニ罹リ前途役務ニ堪ヘザルト認ムル者

第十八條　生徒ノ召募及採用ハ每年海軍大臣之ヲ告示ス

第十九條　生徒ハ入校ノ日ヨリ海軍兵籍ニ之ヲ編入ス

第二十條　生徒ノ修業期間ハ三年六月トス但シ戰時又ハ事變ニ際シテハ之ヲ短縮スルコトヲ得

第二十一條　生徒ハ修業期間ヲ以テ退校スルコトヲ得ス

第二十二條　生徒ハ情狀ニ依リ海軍大臣之ヲ退校セシム

第二十三條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　海軍兵曹ニシテ卒業ノ成績不良ニ非ザル者
二　品行不正又ハ怠情ニシテ罰減ヲ加フルモ改悛セザル者
三　學業ノ成績不良ニ非ザルモ目途ナキ者
四　傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ前途役務ニ堪ヘザルト認ムル者

第二十四條　海軍兵學校ニ於テ修習スル海軍兵曹及海軍一等兵曹ノ海軍兵曹ニ任ゼラレタル後海軍ニ於テ實役ニ服スル期間ハ三年トス但シ戰時又ハ事變ニ際シテハ之ヲ短縮スルコトヲ得

第二十五條　選抜ニ依リ海軍機關學校生徒ニ採用セラレタル者ハ海軍兵曹及又ハ海軍一等兵曹ニ任ゼラレタル後海軍ニ於テ實役ニ服スル期間ハ三年トス但シ戰時又ハ事變ニ際シテハ之ヲ短縮スルコトヲ得

第二十六條　海軍機關學校生徒ノ修業期間ハ海軍大臣之ヲ定ム

第二十七條　海軍機關學校生徒ノ修業期間ハ海軍大臣之ヲ定ム

第二十八條　教官ハ海軍機關學校生徒中不適當ト認ムル者アルトキハ海軍大臣ニ之ヲ具申シ海軍大臣ノ指定ニ依リ在籍教官ヲ轉任セシムルコトヲ得

第二十九條　教官ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要ト認ムルトキハ退校生徒ヲ現役ニ在ル海軍下士官兵ノ中ヨリ採用スルコトヲ得

第三十條　海軍機關學校生徒ノ修業期間ハ海軍大臣之ヲ定ム

第三十一條　海軍機關學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
教頭
教官
監事長
監事

校長ハ監事ノ中一人ヲシテ監事長ノ命ヲ承ケ訓育ヲ擔任ス

監事長ハ監事ノ命ヲ承ケ訓育ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第三十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第三十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ノ統一ヲ圖リ學術教育ヲ監理ス

第三十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第三十五條　監事ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第三十六條　監事ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第三十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第三十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ノ統一ヲ圖リ學術教育ヲ監理ス

第三十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第四十條　校長ハ海軍大臣ニ隸シ海軍大臣ノ指定ニ依リ在籍教官ヲ轉任セシム

第四十一條　校長ハ海軍大臣ニ隸シ必要ナル素養ヲ具フル爲志願ニ基キ海軍大臣ノ指定ニ依リ在籍教官ヲ轉任セシム

第四十二條　校長ハ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ生徒又ハ選修學生ヲ編制部隊其ノ他ノ海軍大臣ノ指定ニ依リ在籍教官ヲ轉任セシム

第四十三條　校長ハ海軍大臣ニ隸シ必要ナル素養ヲ具フル爲志願ニ基キ海軍大臣ノ指定ニ依リ在籍教官ヲ轉任セシム

第四十四條　校長ハ海軍大臣ニ隸シ必要ナル素養ヲ具フル爲志願ニ基キ海軍大臣ノ指定ニ依リ在籍教官ヲ轉任セシム

第四十五條　校長ハ他ノ海軍部下ノ職員缺員中又ハ亦故アリテ其ノ職務ヲ執ルコトヲ得ザルトキハ海軍大臣ノ特ニ指定スル者ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第四十六條　校長ハ他ノ海軍部下ノ職員中又ハ亦故アリテ其ノ職務ヲ執ルコトヲ得ザルトキハ海軍大臣ノ特ニ指定スル者ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第四十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第四十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ノ統一ヲ圖リ學術教育ヲ監理ス

第四十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第五十條　校長ハ部下ノ職員缺員中又ハ亦故アリテ其ノ職務ヲ執ルコトヲ得ザルトキハ海軍大臣ノ特ニ指定スル者ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第五十一條　校長ハ海軍大臣ニ隸シ將校ノ教育ヲ掌リ所部ヲ統督ス

第五十二條　校長ハ海軍大臣ニ隸シ將校ノ教育ヲ掌リ所部ヲ統督ス

第五十三條　校長ハ海軍大臣ニ隸シ將校ノ教育ヲ掌リ所部ヲ統督ス

第五十四條　校長ハ海軍大臣ニ隸シ將校ノ教育ヲ掌リ所部ヲ統督ス

第五十五條　校長ハ他ノ海軍部下ノ職員缺員中又ハ亦故アリテ其ノ職務ヲ執ルコトヲ得ザルトキハ海軍大臣ノ特ニ指定スル者ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第五十六條　校長ハ他ノ海軍部下ノ職員缺員中又ハ亦故アリテ其ノ職務ヲ執ルコトヲ得ザルトキハ海軍大臣ノ特ニ指定スル者ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第五十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第五十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理シ教官ノ統一ヲ圖リ學術教育ヲ監理ス

第五十九條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第六十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第六十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第六十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第六十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理シ教官ノ統一ヲ圖リ學術教育ヲ監理ス

第六十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第六十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第六十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第六十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第六十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第六十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第七十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第七十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第七十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第七十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第七十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第七十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第七十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第七十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第七十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第七十九條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第八十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第八十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第八十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第八十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第八十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第八十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第八十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第八十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第八十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第八十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第九十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第九十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第九十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第九十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第九十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第九十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第九十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第九十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第九十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第九十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百二十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百二十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百二十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百二十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百二十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百二十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百二十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百二十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百二十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百二十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百三十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百三十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百三十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百三十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百三十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百三十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百三十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百三十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百三十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百三十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百四十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百四十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百四十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百四十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百四十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百四十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百四十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百四十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百四十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百四十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百五十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百五十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百五十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百五十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百五十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百五十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百五十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百五十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百五十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百五十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百六十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百六十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百六十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百六十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百六十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百六十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百六十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百六十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百六十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百六十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百七十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百七十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百七十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百七十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百七十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百七十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百七十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百七十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百七十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百七十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百八十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百八十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百八十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百八十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百八十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百八十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百八十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百八十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百八十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百八十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百九十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百九十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百九十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百九十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百九十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第百九十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百九十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第百九十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第百九十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第百九十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百二十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百二十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百二十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百二十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百二十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百二十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百二十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百二十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百二十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百二十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百三十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百三十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百三十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百三十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百三十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百三十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百三十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百三十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百三十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百三十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百四十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百四十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百四十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百四十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百四十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百四十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百四十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百四十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百四十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百四十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百五十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百五十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百五十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百五十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百五十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百五十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百五十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百五十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百五十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百五十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百六十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百六十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百六十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百六十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百六十四條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百六十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百六十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百六十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百六十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百六十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百七十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百七十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百七十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百七十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百七十四條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百七十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百七十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百七十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百七十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百七十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百八十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百八十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百八十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百八十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百八十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百八十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百八十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百八十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百八十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百八十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百九十條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百九十一條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百九十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百九十三條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百九十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

第二百九十五條　監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百九十六條　監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第二百九十七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第二百九十八條　教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ監理ス

第二百九十九條　教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ學術教育ヲ擔任ス

一　身體強健實務ノ成績優等ニシテ尉官ニ準ジ所要ノ勤務ニ服セシムルヲ命ズ

ムル爲海軍大臣銓衡ノ上之ヲ命ス

第十六條　普通科學生ハ海軍軍醫科尉官、藥劑科尉官、齒科醫科尉官又ハ齒科醫少尉候補生ニ初級軍醫科士官、藥劑科士官又ハ齒科醫科士官ニ必要ナル學術技能ヲ修習セシムル爲海軍大臣之ヲ命ス

第十七條　選科學生ハ海軍軍醫科士官、藥劑科士官又ハ齒科醫科士官ニシテ專門ノ學科ヲ研究スルコトヲ志願シ且實務ノ成績優等ニシテ之ヲ修習セシムルニ適當ナル才學識量ヲ有スト認ムル者ニ就キ其ノ學科ヲ修習セシムル爲海軍大臣銓衡ノ上之ヲ命ス

海軍大臣必要ト認ムルトキハ海軍軍醫科士官、藥劑科士官又ハ齒科醫科士官ニ其ノ專修スヘキ學科ヲ指定シ選科學生ヲ命スルコトヲ得

第十七條ノ二　選修學生ハ海軍看護兵曹長ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ニ就キ將來看護科特務士官トシテ所要ノ勤務ニ服スルニ必要ナル素養ヲ與フル爲志願ニ基キ海軍大臣ノ指定ニ依リ在籍鎭守府司令長官之ヲ命ス

一　身體强健實務ノ成績優等ニシテ高等武官トシテ所要ノ勤務ニ服セシムルニ適當ナル識量ヲ有スト認ムル者

二　入學試驗ニ合格シタル者

第十八條　海軍軍醫學校學生ノ修業期間ハ海軍大臣之ヲ定ム

第十九條　選修學生所定ノ教程ヲ修了シタルトキハ之ニ修業證書ヲ授與ス

第二十條　校長ハ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ選科學生ヲ海軍部外ノ學校、研究所等ニ委託シ修業セシムルコトヲ得

第二十一條　校長ハ學生中不適當ト認ムル者アルトキハ之ヲ海軍大臣ニ申シ海軍士官ニ在リテハ海軍大臣、海軍准士官ニ在リテハ海軍鎭守府司令長官其ノ學生ヲ免スルコトヲ得

第二十二條　海軍大臣ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要ト認ムルトキハ選修學生以外ノ學生ヲ免スルコトヲ得

海軍大臣ハ前項ノ規定ニ依リ學生ヲ免セラレタル者ニ對シ第十五條及第十六條ノ規定ニ拘ラス再ヒ學生ヲ命スルコトヲ得

鎭守府司令長官ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要ト認ムルトキハ選修學生ヲ免スルコトヲ得

第二十三條　鎭守府司令長官前條ノ規定ニ依リ選修學生ヲ免シタルトキハ其ノ旨海軍大臣ニ報告スヘシ

第二十四條　海軍大臣ハ海軍軍醫學校ニ臨時講習科ヲ設ケ海軍軍醫科藥劑科齒科醫科士官又ハ看護科特務士官准士官ヲシテ必要ナル學術ノ講習ヲ受ケシムルコトヲ得

第二十五條　校長ハ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ患者診療ニ關スル規程ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ海軍軍醫學校ニ在學スル甲種學生ハ之ヲ高等科學生、乙種學生ハ之ヲ普通科學生、研究科學生ハ之ヲ選科學生ト看做ス

●海軍經理學校令

大正七年八月十五日
勅令第三百二十三號

改正　大正九年第二〇五號、第五二六號、一一年第三一八號、第四五一號、一二年第一三七號
昭和三年第一二四號、四年第三三三號、九年第二〇一號、一三年第四二八號、一四年第三八〇號

第一條　海軍經理學校ハ海軍主計科士官ト爲スヘキ生徒ヲ教育シ海軍主計兵曹長及海軍一等主計兵曹ニ對シ將來尉官ニ準ズル勤務ニ服スヘキ者ノ素養ニ必要ナル教育ヲ施シ海軍主計科士官及主計少尉候補生ニ對シ海軍教育ノ規畫ニ關スル研究調査ヲ行フ

第二條　海軍經理學校ノ教育綱領ハ海軍大臣之ヲ定ム

第三條　海軍經理學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
副官
教頭
教官
監事
軍醫長
主計長
附

第四條　校長ハ海軍大臣ニ隸シ軍紀風紀ヲ維持シ校務ヲ總理ス

第五條　校長ハ部下ノ職員缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコトヲ得サルトキハ他ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第六條　校長缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ部下ノ主計科士官席次ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス但シ海軍大臣特ニ代理者ヲ置キタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第八條　教頭ハ校長ヲ佐ケ校務ヲ整理シ教育ノ統一ヲ圖リ調育及學術教育竝ニ第一條第二項ニ規定スル研究調査ヲ監理シ紀律ヲ維持ス

第九條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ各學科ノ教授ヲ擔任シ會計經理ノ研究又ハ教育ノ規畫ニ關スル研究調査ヲ行フ

第十條　監事ハ教頭ノ命ヲ承ケ學生、生徒及練習生ヲ監督ス

第十一條　軍醫長ハ校長ノ命ヲ承ケ醫務及衞生ニ關スルコトヲ掌ル

第十二條　主計長ハ校長ノ命ヲ承ケ會計及給與ニ關スルコトヲ掌ル

第十三條　海軍經理學校ニ附ニ充ツル爲判任文官ヲ置ク

附ハ海軍士官特務士官准士官下士官兵及判任文官ヲ以テ之ニ充ツ各上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第十四條　海軍經理學校生徒ハ年齡十六年以上二十一年以下ニシテ海軍主計科士官タラムコトヲ志願スル者ニ就キ檢查ヲ行ヒ所要ノ人員ヲ採用ス

第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ生徒ニ之ヲ採用セス

一　有妻ノ者

二　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

三　復權ヲ得サル家資分散者又ハ破產者

四　品行不正其ノ他ノ事情ニ依リ將來海軍主計科士官タル體面ヲ保ツコト能ハスト認ムル者

第十六條　生徒ノ召募及檢查格例ハ每年海軍大臣之ヲ告示ス

第十七條　生徒ハ入校ノ日ヨリ海軍兵籍ニ之ヲ編入ス

第十八條　生徒ノ修業期間ハ三年六月トス但シ戰時又ハ事變ニ際シテハ之ヲ短縮スルコトヲ得

第十九條　生徒所定ノ教程ヲ卒業シタルトキハ之ニ卒業證書ヲ授與ス

第二十條　生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス

第二十一條　生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　海軍主計科士官タルヘキ器量ニ乏シキ者

二　品行不正又ハ忠惰ニシテ訓戒ヲ加フルモ改悛セサル者

三　學業ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

〔輯一三〇〕

〔輯一〇〇〕

四　傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ前途役務ニ堪ヘ難シト認ムル者

第二十二條　海軍經理學校ニ於テ修習スル海軍准士官以上ヲ海軍經理學校學生、海軍下士官兵ヲ海軍經理學校練習生ト稱ス但シ將來尉官ニ準ズル勤務ニ服スベキ者ノ素養ニ必要ナル事項ヲ修習スル海軍一等主計兵曹ハ之ヲ學生ト稱ス

第二十三條　海軍經理學校學生ハ之ヲ左ノ六種ニ區別ス

一　甲種學生
二　高等科學生
三　普通科學生
四　補修學生
五　選科學生
六　選修學生

第二十四條　甲種學生ハ身體強健實務ノ成績優等ニシテ會計經理ニ關スル高等ノ學術ヲ修習セシムルニ適當ナル才學識量ヲ有スト認ムル海軍主計少佐又ハ主計大尉ニ就キ要職ニ充ツルニ適スル素養ニ必要ナル會計經理ニ關スル學術ヲ修習セシムル爲海軍大臣銓衡ノ上之ヲ命ス

第二十五條　高等科學生ハ海軍主計大尉又ハ主計中尉ニ就キ主計長ノ素養ニ必要ナル學術ヲ修習セシムル爲海軍大臣之ヲ命ズ

第二十五條ノ二　普通科學生ハ海軍主計中尉又ハ主計少尉ニ就キ初級主計科士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシムル爲海軍大臣之ヲ命ズ

第二十五條ノ三　補修學生ハ海軍經理學校生徒教程ヲ經ザル海軍主計中尉、主計少尉又ハ主計少尉候補生ニ就キ初級主計科士官ニ必要ナル學術ヲ修習セシムル爲海軍大臣之ヲ命ズ

第二十六條　選科學生ハ海軍主計科士官ニシテ專門ノ學科ヲ研究スルコトヲ志願シ且實務ノ成績優等ニシテ之ヲ修習セシムルニ適當ナル才學識量ヲ有スト認ムル者ニ就キ其ノ學科ヲ修習セシムル爲海軍大臣銓衡ノ上之ヲ命ス

海軍大臣必要ト認ムルトキハ海軍主計科士官ニ其ノ專修スヘキ學科ヲ指定シ選科學生ヲ命スルコトヲ得

第二十七條　選修學生ハ海軍主計兵曹長又ハ進級ニ必要ナル實役停年ヲ有スル海軍一等主計兵曹ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノニ就キ將來尉官ニ準ズル勤務ニ服スルニ必要ナル素養ヲ與フル爲志願ニ基キ海軍大臣ノ指定ニ依リ在籍鎭守府司令長官之ヲ命ス

一　身體强健實務ノ成績優等ニシテ尉官ニ準ジ所要ノ勤務ニ服セシムルニ適當ナル識量ヲ有スト認ムル者
二　入學試驗ニ合格シタル者

第二十八條　海軍經理學校學生ノ修業期間ハ海軍大臣之ヲ定ム

第二十九條　選修學生所定ノ教程ヲ修了シタルトキハ之ニ修業證書ヲ授與ス

第三十條　校長ハ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ選科學生ヲ海軍部外ノ學校等ニ委託シ修業セシムルコトヲ得

第三十一條　校長ハ學生中不適當ト認ムル者アルトキハ之ヲ海軍大臣ニ具申シ海軍士官及候補生ニ在リテハ海軍大臣、海軍准士官及下士官ニ在リテハ海軍大臣ノ指定ニ依リ在籍鎭守府司令長官其ノ學生ヲ免スルコトヲ得

第三十二條　海軍大臣ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要ト認ムルトキハ甲種學生、高等科學生、普通科學生、補修學生又ハ選科學生ヲ免スルコトヲ得

海軍大臣ハ前項ノ規定ニ依リ學生ヲ免セラレタル者ニ對シ第二十四條乃至第二十五條ノ三ノ規定ニ拘ラス再ヒ學生ヲ命スルコトヲ得

鎭守府司令長官ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要ト認ムルトキハ選修學生ヲ免スルコトヲ得

第三十二條ノ二　鎭守府司令長官前條ノ規定ニ依リ選修學生ヲ免シタルトキハ其ノ旨海軍大臣ニ報告スヘシ

第三十三條　海軍經理學校練習生ニ關スル事項ハ海軍大臣之ヲ定ム

第三十四條　海軍大臣ハ海軍經理學校ニ臨時講習科ヲ設ケ海軍士官特務士官准士官下士官ヲシテ必要ナル學術ノ講習ヲ受ケシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル生徒ノ修業期間ハ從前ノ規定ニ依ル但シ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ四月ヲ超エサル期間之ヲ短縮スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル甲種學生ハ之ヲ高等科學生、乙種學生ハ之ヲ普通科學生、丙種學生ハ之ヲ特修科學生ト看做ス

附　則　（昭和九年勅令第二百一號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル生徒ノ修業期間ハ從前ノ規定ニ依ル但シ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ必要ニ應ジ四月以內之ヲ延長スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ現役ニ在ル海軍下士官兵ニシテ海軍經理學校生徒ヲ志願スルモノノ年齡ハ從前ノ規定ニ依ル

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル高等科學生ハ之ヲ甲種學生ト看做ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル普通科學生ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

當分ノ內海軍大臣ハ從前ノ規定（附則第二項ノ規定ヲ含ム）ニ依リ海軍經理學校生徒教程ヲ修了シタル者ヲ從前ノ例ニ依リ普通科學生タラシムルコトヲ得

キハ其ノ旨海軍大臣ニ報告スヘシ

第三十三條　海軍經理學校練習生ニ關スル事項ハ海軍大臣之ヲ定ム

第三十四條　海軍大臣ハ海軍經理學校ニ臨時講習科ヲ設ケ海軍士官特務士官准士官下士官ヲシテ必要ナル學術ノ講習ヲ受ケシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル生徒ノ修業期間ハ從前ノ規定ニ依ル但シ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ四月ヲ超エサル期間之ヲ短縮スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル甲種學生ハ之ヲ高等科學生、乙種學生ハ之ヲ普通科學生、丙種學生ハ之ヲ特修科學生ト看做ス

附　則　（昭和九年勅令第二百一號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル生徒ノ修業期間ハ從前ノ規定ニ依ル但シ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ必要ニ應ジ四月以內之ヲ延長スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ現役ニ在ル海軍下士官兵ニシテ海軍經理學校生徒ヲ志願スルモノノ年齡ハ從前ノ規定ニ依ル

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル高等科學生ハ之ヲ甲種學生ト看做ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル普通科學生ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

當分ノ內海軍大臣ハ從前ノ規定（附則第二項ノ規定ヲ含ム）ニ依リ海軍經理學校生徒教程ヲ修了シタル者ヲ從前ノ例ニ依リ普通科學生タラシムルコトヲ得

●昭和十三年勅令第四百二十九號（海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校生徒採用年齡ノ特例ニ關スル件）

昭和十三年六月二十二日
勅令第四百二十九號

〔輯一二三〕

第三十三條　海軍經理學校練習生ニ關スル事項ハ海軍大臣之ヲ定ム

第三十四條　海軍大臣ハ海軍經理學校ニ臨時講習科ヲ設ケ海軍士官特務士官准士官下士官ヲシテ必要ナル學術ノ講習ヲ受ケシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル生徒ノ修業期間ハ從前ノ規定ニ依ル但シ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ四月ヲ超エサル期間之ヲ短縮スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル甲種學生ハ之ヲ高等科學生、乙種學生ハ之ヲ普通科學生、丙種學生ハ之ヲ特修科學生ト看做ス

附　則　（昭和九年勅令第二百一號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル生徒ノ修業期間ハ從前ノ規定ニ依ル但シ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ必要ニ應ジ四月以內之ヲ延長スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ現役ニ在ル海軍下士官兵ニシテ海軍經理學校生徒ヲ志願スルモノノ年齡ハ從前ノ規定ニ依ル

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル高等科學生ハ之ヲ甲種學生ト看做ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル普通科學生ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

當分ノ內海軍大臣ハ從前ノ規定（附則第二項ノ規定ヲ含ム）ニ依リ海軍經理學校生徒教程ヲ修了シタル者ヲ從前ノ例ニ依リ普通科學生タラシムルコトヲ得

●海軍砲術學校令

大正七年八月十五日
勅令第三百二十一號

改正　大正八年第二七〇號、九年第二〇三號、一一年第四四七號、一二年第一三八號、一四年第七一號
昭和三年第九一號、九年第二〇二號、一二年第八六號、一四年第三八一號、一六年第六二三號

〔輯一〇〇〕

第一條　海軍砲術學校ハ海軍兵科將校特務士官准士官及海軍特修兵タルヘキ海軍下士官兵ニ對シ之ニ必要ナル砲術ヲ教授スル所トス

海軍砲術學校ニ於テハ前項ノ外海軍ニ必要ナル砲術ノ研究及其ノ教育ノ規畫ニ關スル研究調査竝ニ海軍ニ必要ナル體育ノ研究、海軍士官以下ニ對スル其ノ教育及其ノ教育ノ規畫ニ關スル研究調査ヲ行ヒ且必要ニ應シ

●昭和十三年勅令第四百二十九號（海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校生徒採用年齡ノ特例ニ關スル件）

昭和十三年六月二十二日
勅令第四百二十九號

〔輯一二三〕

第三十三條　海軍經理學校練習生ニ關スル事項ハ海軍大臣之ヲ定ム

第三十四條　海軍大臣ハ海軍經理學校ニ臨時講習科ヲ設ケ海軍士官特務士官准士官下士官ヲシテ必要ナル學術ノ講習ヲ受ケシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル生徒ノ修業期間ハ從前ノ規定ニ依ル但シ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ四月ヲ超エサル期間之ヲ短縮スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル甲種學生ハ之ヲ高等科學生、乙種學生ハ之ヲ普通科學生、丙種學生ハ之ヲ特修科學生ト看做ス

附　則　（昭和九年勅令第二百一號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル生徒ノ修業期間ハ從前ノ規定ニ依ル但シ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ必要ニ應ジ四月以內之ヲ延長スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ現役ニ在ル海軍下士官兵ニシテ海軍經理學校生徒ヲ志願スルモノノ年齡ハ從前ノ規定ニ依ル

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル高等科學生ハ之ヲ甲種學生ト看做ス

本令施行ノ際現ニ海軍經理學校ニ在學スル普通科學生ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

當分ノ內海軍大臣ハ從前ノ規定（附則第二項ノ規定ヲ含ム）ニ依リ海軍經理學校生徒教程ヲ修了シタル者ヲ從前ノ例ニ依リ普通科學生タラシムルコトヲ得

●海軍砲術學校令

大正七年八月十五日
勅令第三百二十一號

改正　大正八年第二七〇號、九年第二〇三號、一一年第四四七號、一二年第一三八號、一四年第七一號
昭和三年第九一號、九年第二〇二號、一二年第八六號、一四年第三八一號、一六年第六二三號

〔輯一〇〇〕

第一條　海軍砲術學校ハ海軍兵科將校特務士官准士官及海軍特修兵タルヘキ海軍下士官兵ニ對シ之ニ必要ナル砲術ヲ教授スル所トス

海軍砲術學校ニ於テハ前項ノ外海軍ニ必要ナル砲術ノ研究及其ノ教育ノ規畫ニ關スル研究調査竝ニ海軍ニ必要ナル體育ノ研究、海軍士官以下ニ對スル其ノ教育及其ノ教育ノ規畫ニ關スル研究調査ヲ行ヒ且必要ニ應シ